

松戸市総合計画  
後期基本計画進行管理のための  
市民意識調査

— 結果報告書 —



令和3年10月

松 戸 市



# 目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
(1) 調査の対象	3
(2) サンプル数	3
(3) 抽出方法	3
(4) 調査の方法	3
(5) 調査の期間	3
3. 調査の枠組み	3
4. 回収状況	11
5. 報告書の見方	11
6. これまでの調査状況	12
II 市民意識調査（単純集計結果）	13
III 市民意識調査の回答者の特性	35
1. 基本属性	37
(1) 性別	37
(2) 年齢	38
(3) 居住地区	40
(4) 就労状況	41
(5) 居住年数	43
(6) 出身地	44
(7) 家族構成	46
2. 回答者の特性	47
(1) 興味・関心	47
(2) 日常的な行動範囲	49
(3) 主な交通手段	50
(4) 行政情報の入手先	51
(5) 行政サービスに対する満足度	53
IV 市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」	55
1. 指標の現状（値）	57
第1節 連携型地域社会の形成	57
第1項 市民と行政の協働を推進します	57
第2項 一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくれます	64
第3項 男女共同参画の地域社会をつくれます	69

# 目 次

第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現	76
第1項 健康に暮らすことができるようにします	76
第2項 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	90
第3項 安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします	96
第3節 次代を育む文化・教育環境の創造	98
第2項 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	98
第3項 国際的な広い視野と平和を愛する心が生まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします	113
第4節 安全で快適な生活環境の実現	127
第1項 災害に対する不安を減らすようにします	127
第5項 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります	132
第6項 緑と花に親しむことができるようにします	137
第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興	145
第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	145
第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします	153
第5項 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします	158
第6節 都市経営の視点に立った行政運営	162
第1項 市民ニーズに基づく行政経営を行います	162
2 令和2年度指標値一覧	181
V 指標以外の調査結果	183
1. 住みやすさ	185
2. 松戸市の放射能対策について	188
3. 松戸市の魅力について	191
4. 定住意向や生活の中での満足度に関する年齢別の傾向について	199
VI 松戸市に対する意見・要望（自由記載）	205
添付資料：市民意識調査 調査票	237

## I 調査の概要





# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

松戸市の示す方針に従い、第6次実施計画の終了にあたり、松戸市総合計画後期基本計画や個別計画などの進捗状況の検証に活用するとともに、今後の施策展開のため、市の取り組みに対する市民の満足度や意識・行動について調査を行い、市民の意識を探るとともに数値・指標化し、必要なデータを取得することを目的とする。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査の対象 松戸市に居住する20歳以上の男女個人  
(母数：398,827人、令和3年6月15日現在の住民基本台帳に基づく)
- (2) サンプル数 3,000人
- (3) 抽出方法 性別、年齢、支所管区による層化無作為抽出
- (4) 調査の方法 郵送調査法
- (5) 調査の期間 令和3年7月1日～7月16日

## 3. 調査の枠組み

調査の前提となる、後期基本計画「施策展開の方向」の「めざしたい将来像」「指標」および今回の調査対象項目は次のとおりです。

(注釈)

- 1：めざしたい将来像は「松戸の良さ、強み(潜在力)を活かすことにより、実現したい社会の姿」を表します
- 2：主な指標は、「めざしたい将来像にどれだけ近づいたかを計るための尺度」を表します

節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象
1	1	市民と行政の協働を推進します	「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進し、安全・安心な豊かで、活力のある郷土愛に満ち、市民みんなが誇りに思える“ふるさとまつど”を実現します。そのため、支所など地域拠点の機能を高め、市民同士、市民と行政、行政組織同士などの連携を進めます。また、地域活動(町会・自治会活動、地区社会福祉協議会の活動)、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化を図ります。	市民活動(地域活動、NPO活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	○
				市が協働する事業件数	
				NPO 法人の数	
				中間支援分野で活動している団体の割合	
	2	一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります	松戸に住む全ての人々が互いに認め合い、多様な形でかかわりあえる「平等で人間性豊かな地域社会」を、自分たちで創り上げることをめざします。そのために、学習・交流など、様々な活動を心掛けます。	身の回りで人権が守られていると思っている人の割合	○
3	3	男女共同参画の地域社会をつくります	男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	○
				女性の就業割合	○

節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象
2	1	健康に暮らすことができるようにします	自らの健康に関心を持ち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。	生きがい感を持っている人の割合	○
				本人が健康であると思う人の割合	○
				健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	
				ホームドクター(かかりつけ医)を持つ人の割合	
				多様な世代と交流する機会のある人の割合	○
	2	病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします	市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	○
				地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	
	3	安心して子どもを生み、健やかに育てることができるようにします	地域ぐるみで子育てを支援し様々なサービスが選択できるようにすることによって、子育てしやすく、子どもの笑顔があふれる街まつどを実現します。	子育ての満足度	○
				就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	
				合計特殊出生率	
	4	市立病院として高度で良質な医療を提供します	松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。	患者満足度	
				平均在院日数	
紹介・逆紹介率					
一般病床利用率					
年間手術件数					
経常収支比率					



節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象
3	1	子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします	子どもたちの社会での自立のために、家庭、学校、地域の連携のもと、地域の人々の力を活かし、地域を体験の場とするなどして、他人を思いやれる人間として成長できる真の生きる力を引き出す教育を実現します。	目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	
				授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	
				学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	
	2	生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします	生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。	学習活動を行っている市民の割合	○
				学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	○
				目的を持って部活動をしている児童生徒の割合	
				スポーツを行なっている市民の割合	○
	3	国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします	平和を大切にし、松戸を愛する人を増やすため、日本人も外国人も皆が松戸の歴史や文化・伝統が身近に感じられる工夫をこらして、誰もが誇りのもてる“ふるさと松戸”を実現します。	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	○
				文化・芸術に親しむ市民の割合	○
				外国籍市民と交流している人の割合	○
				外国人市民で暮らしに満足している割合	
				世界平和都市宣言の認知度	

節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象
4	1	災害に対する不安を減らすようにします	市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にできる社会を実現します。	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	○
				総合防災訓練への対象団体の参加率	
				自主防災組織の訓練実施率	
				自主防災組織の結成率	
	2	火災等の災害から市民生活を守ります	市民一人ひとりが火災を発生させないようにするとともに、地域と行政で連携して、火災等による被害が少ない安全・安心なまちを実現します。	出火率(火災件数/対人口1万人)	
				住宅用火災警報器の設置率	
	3	救急救命が必要になった市民の生命をつなぎます	救急医療機関の受け入れ状況を的確に把握できるような救急医療システムを構築するとともに、居合わせた市民が応急手当をできるように知識・技能を向上させることで、緊急事態でもより多くの市民の生命を守ることができる安心安全なまちを実現します。	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率(1ヶ月生存者数/心肺蘇生実施者数)	
				救急入電から医療機関に収容するまでに要する時間	
	4	環境にやさしい地域社会をつくります	地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。	温室効果ガス削減量(CO <sub>2</sub> 換算)	
				廃棄物の最終処分量	
				二酸化窒素の環境基準達成率	
	5	犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります	犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。	刑法犯認知件数(対1千人)	
				防犯用品貸与団体数	
				交通事故による死傷者数(対1千人)	
				交通事故の発件数(対1千人)	
				消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	○
	6	緑と花に親しむことができるようにします	生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切にしたい心を持ち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	○
				里やまボランティア活動団体数	
花いっぱい運動活動団体数					
公園緑地活動団体数					
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合				○	

節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象
5	1	地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします	今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	○
				商業の年間商品販売額	
				製造品出荷額	
				農用地利用権設定面積	
				松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	○
				主要観光スポットの観光客数	
	2	個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにします	松戸市に住む人が潤いのある生活を送れるように、若者から高齢者まで就労したい人は誰もが、就労できる環境をつくることによって、松戸に住んでよかったと思えるまちを実現します。	新規求人倍率(松戸市内)	
				65歳以上の完全失業率	
				20歳代の就業率	
				就業者数	
				障害者法定雇用率を達成している企業の割合(松戸市内)	
				障害者法定雇用率を達成している企業数	
	3	ゆとりを感じるまちに住むことができるようになります	文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。	安心やゆとりを感じている人の割合	○
				最低居住面積水準未達率	
				景観づくりに参加する人の数	
				地区計画策定面積	
4	誰もが安心してスムーズに移動できるようにします	誰もが安心して気軽に外出できる街並みを増やすために、人と自然にやさしい公共交通と道を整備することによって、いつまでも住み続けていたいまちを実現します。	道路のバリアフリー地区別完了率		
			鉄道駅のバリアフリー化率(ワンルート整備率)		
			鉄道の混雑率(緩行電車)		
			鉄道の混雑率(快速電車)		
			渋滞箇所数		

節	項	政策名	めざしたい将来像	主な指標	調査対象				
5	5	安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします	清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	○				
				流域整備面積率					
				BOD(75%)値(国分川水系)					
				水質基準達成率(国分川水系BOD)					
				BOD(75%)値(坂川水系)					
				水質基準達成率(坂川水系BOD)					
				河川利用イベントの参加者数					
				下水道利用率(下水道利用者数/市内人口)					
6	6	いつでも安心して水道水が使えるようにします	いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。	水道事業に満足している人の割合					
				浄・配水施設の更新率					
6	1	市民ニーズに基づく行政経営を行います	50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。	住み続けたいと思う人の割合	○				
				行政サービスの改善度	○				
				後期基本計画のめざそう値の達成率					
				行政情報入手手段に係るホームページの割合	○				
				インターネットを利用している人の割合	○				
				いきいきと働くことができる職員の割合					
				2	2	財源、財産を適正に管理し、配分します	市民ニーズに弾力的に応えられる活気に満ちた松戸市となるために、発展性のある健全な財政運営を実現します。そのために、将来を見越して、社会資源の有効活用を図りつつ、柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも不断の見直しを行います。	財政力指数	
								経常収支比率	
自主財源比率									
将来負担比率									

後期基本計画に掲載している「指標」のうち、市民意識調査により把握する「指標」について、設問化しました。設問化にあたっては、前期基本計画から継続している「指標」については、そのまま継続しています。その際、回答者の立場を「個人」「地域」「社会」の3つに、回答者の意図を「態度（認知・評価・関心）」「行動」「意向」の5つに分類し、設問を作成しました。

設問化の方向は次のとおりです。

節	項	主な指標	立場	意図
1	1	市民活動(地域活動、NPO 活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	社会	行動
	2	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	社会	態度 (認知)
	3	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	個人	態度 (認知)
		女性の就業割合		
2	1	生きがい感を持っている人の割合	個人	態度 (認知)
		本人が健康であると思う人の割合	個人	態度 (認知)
		多様な世代と交流する機会のある人の割合	地域	態度 (認知)
	2	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	個人	態度 (認知)
	3	子育ての満足度	個人	態度 (認知)
3	2	学習活動を行っている市民の割合	個人	行動
		学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	個人	態度 (認知)
		スポーツを行なっている市民の割合	個人	行動
	3	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	地域	態度 (評価)
		文化・芸術に親しむ市民の割合	個人	行動
		外国籍市民と交流している人の割合	個人	行動
4	1	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	個人	行動
	5	消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	個人	行動
	6	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	地域	態度 (評価)
		身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	個人	態度 (評価)
5	1	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	地域	態度 (評価)
		松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	個人	行動
	3	安心やゆとりを感じている人の割合	地域	態度 (評価)
	5	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	地域	態度 (評価)
6	1	住み続けたいと思う人の割合	個人	意向
		行政サービスの改善度	個人	態度 (評価)
		行政情報入手手段に係るホームページの割合		
		インターネットを利用している人の割合	個人	行動

さらに、説明変数として属性（「基本的事項」「現在の指向」「行政への関心」）を付け加え、作成しました。

市民意識調査の枠組みは、次のようになります。



## 4. 回収状況

- (1) サンプル数 3,000 人
- (2) 有効回収数 1,585 人
- (3) 有効回収率 52.8%

【参考】単純集計結果の標本誤差（信頼度 95%）

回答比率 (p) (n) 回答者数	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,585 人	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%
1,300 人	±1.7	±2.2	±2.5	±2.7	±2.8
1,000 人	±1.9	±2.5	±2.9	±3.1	±3.2
700 人	±2.3	±3.0	±3.5	±3.7	±3.8
300 人	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
100 人	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0

※上記の標本誤差は、単純無作為抽出を前提としたものです。

全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、母集団の全数を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。

抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。(信頼度 95%)

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left[ \begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{回答者数} \\ p = \text{回答比率} \end{array} \right.$

例えば、今回の調査において、ある設問の回答数 (n) が 1,585 人であり、その設問中の選択肢の回答比率 (p) が 50%であった場合、その回答比率の誤差は ±2.5% となり、47.5%~52.5% の範囲にあると考えられます。

## 5. 報告書の見方

本報告書を見るにあたり結果の表示方法について、以下の事項にご留意ください。

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、すべての選択肢の比率の合計が 100% とならないことがあります。
- (2) 複数回答を求めている質問では、選択肢比率の合計は 100% を超えます。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化しています。

## 6. これまでの調査状況

調査年度	調査期間	サンプル数	有効回収数	有効回収率	データの取り扱い
平成13年度	平成13年10月30日～11月13日(14日間)	3,000人	1,612人	53.7%	平成13年度 起点値
平成16年度	平成16年11月19日～12月31日(42日間)	3,000人	1,144人	38.1%	平成16年度 中間値
平成18年度	平成18年11月29日～12月12日(14日間)	3,000人	1,607人	53.6%	平成18年度 中間値
平成20年度	平成20年6月16日～6月30日(15日間)	3,000人	1,407人	46.9%	平成19年度 実績値
平成21年度	平成22年1月28日～2月12日(16日間)	3,000人	1,524人	50.8%	平成21年度 実績値
平成23年度	平成23年7月25日～8月9日(16日間)	3,000人	1,567人	52.2%	平成22年度 実績値
平成24年度	平成24年7月3日～7月19日(17日間)	3,000人	1,700人	56.7%	平成24年度 中間値
平成26年度	平成26年6月16日～6月30日(15日間)	3,000人	1,678人	55.9%	平成25年度 実績値
平成27年度	平成27年8月17日～9月10日(25日間)	3,000人	1,523人	50.7%	平成27年度 中間値
平成29年度	平成29年8月1日～8月18日(18日間)	3,000人	1,524人	50.8%	平成28年度 実績値
令和3年度	令和3年7月1日～7月16日(16日間)	3,000人	1,585人	52.8%	令和2年度 実績値



## Ⅱ 市民意識調査（単純集計結果）

---

---

---



## Ⅱ 市民意識調査（単純集計結果）

### I あなたの日頃の身の回りのことや、感じていることなどについてお聞きします。

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じるものがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	2,190件	<b>138.2%</b>	138.0%	138.7%	143.4%	137.3%	141.0%	143.8%	146.0%	158.2%	157.6%	156.9%
1 女性の人権問題	600人	242件	<b>15.3%</b>	11.4%	13.7%	17.8%	12.2%	11.9%	11.1%	12.5%	14.3%	16.1%	17.2%
2 子どもの人権問題		170件	<b>10.7%</b>	10.4%	11.0%	11.9%	10.5%	10.6%	9.8%	10.3%	16.3%	15.6%	12.7%
3 高齢者の人権問題		183件	<b>11.5%</b>	15.3%	15.9%	16.2%	17.9%	19.4%	22.5%	26.2%	24.1%	21.3%	19.1%
4 障害者の人権問題		268件	<b>16.9%</b>	18.6%	18.4%	16.6%	16.3%	16.7%	18.9%	19.0%	25.3%	22.8%	24.1%
5 同和問題		26件	<b>1.6%</b>	1.8%	2.0%	1.7%	1.4%	2.2%	2.6%	2.9%	2.5%	3.4%	3.7%
6 外国籍市民の人権問題		137件	<b>8.6%</b>	6.7%	5.3%	6.0%	5.9%	6.9%	7.6%	8.4%	9.0%	10.6%	13.1%
7 患者の人権問題		119件	<b>7.5%</b>	8.8%	9.3%	11.8%	9.9%	12.3%	12.6%	13.6%	17.1%	16.3%	15.5%
8 その他		60件	<b>3.8%</b>	2.6%	3.0%	2.0%	2.6%	3.6%	3.1%	2.6%	2.4%	3.3%	2.8%
9 人権問題は特にない	847人	847件	<b>53.4%</b>	51.7%	50.4%	48.1%	50.5%	48.1%	45.7%	41.3%	37.8%	41.4%	42.4%
無回答	138人	138件	<b>8.7%</b>	10.7%	9.8%	11.4%	10.2%	9.3%	9.9%	9.1%	9.5%	6.8%	6.3%

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感するほうですか、それとも同感しないほうですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	<b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 同感するほう	139人	<b>8.8%</b>	12.8%	14.3%	13.2%	12.6%	11.9%	12.8%	15.6%	15.1%	14.5%	13.3%
2 どちらともいえない	501人	<b>31.6%</b>	33.1%	35.2%	34.9%	38.3%	38.6%	41.1%	38.8%	40.9%	40.7%	41.2%
3 同感しないほう	908人	<b>57.3%</b>	50.5%	48.6%	48.0%	45.6%	47.2%	43.2%	43.8%	41.8%	43.2%	43.4%
4 わからない	23人	<b>1.5%</b>	1.7%	1.3%	1.6%	2.1%	1.1%	1.6%	0.9%	1.3%	0.7%	1.1%
無回答	14人	<b>0.9%</b>	1.8%	0.6%	2.3%	1.3%	1.3%	1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	1.1%

Q3 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	<b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変感じている	137人	<b>8.6%</b>	10.3%	11.0%	10.7%	10.2%	10.7%	12.3%	12.6%	12.8%	13.6%	12.1%
2 かなり感じている	108人	<b>6.8%</b>	8.4%	7.9%	9.2%	8.8%	12.2%	14.2%	13.1%	15.2%	21.4%	22.5%
3 ある程度感じている	936人	<b>59.1%</b>	56.8%	58.0%	55.5%	57.5%	56.2%	52.5%	55.0%	53.0%	48.6%	45.7%
4 あまり感じていない	245人	<b>15.5%</b>	15.0%	15.7%	15.0%	14.4%	13.7%	14.0%	14.1%	14.0%	13.6%	15.8%
5 ほとんど感じていない	144人	<b>9.1%</b>	7.5%	6.7%	7.4%	7.7%	5.7%	5.8%	4.3%	4.1%	2.1%	3.0%
無回答	15人	<b>0.9%</b>	1.9%	0.7%	2.1%	1.5%	1.5%	1.2%	0.9%	0.9%	0.6%	0.9%

Q4 あなたは今、健康だと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 非常に健康だと思う	137人 8.6%	9.3%	9.2%	9.7%	9.5%	8.8%	9.1%	8.8%	9.5%	8.1%	8.6%
2 健康なほうだと思う	840人 53.0%	54.7%	56.7%	54.0%	57.1%	56.4%	56.8%	55.4%	56.1%	57.8%	57.8%
3 どちらとも言えない	236人 14.9%	13.5%	13.9%	14.2%	12.2%	13.3%	13.5%	14.7%	13.3%	13.5%	13.1%
4 あまり健康なほうではないと思う	210人 13.2%	11.5%	10.8%	10.8%	11.9%	11.4%	11.4%	12.7%	12.3%	14.7%	15.0%
5 健康でないと思う	150人 9.5%	9.3%	8.9%	9.2%	8.2%	8.9%	8.3%	7.6%	8.0%	5.5%	5.0%
無回答	12人 0.8%	1.8%	0.5%	2.1%	1.0%	1.1%	1.0%	0.7%	0.7%	0.3%	0.6%

Q5 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になることがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	5,706件 360.0%	350.5%	355.5%	345.2%	359.2%	375.2%	371.2%	356.0%	365.6%	352.8%	362.5%
1 自分の健康	1,482人	829件 52.3%	48.4%	46.8%	45.4%	47.7%	48.9%	46.9%	47.3%	48.3%	46.2%	45.5%
2 家族の健康		838件 52.9%	51.3%	51.4%	47.3%	49.1%	54.4%	54.2%	52.5%	54.9%	53.4%	52.2%
3 将来自分や家族が必要になったときの介護		840件 53.0%	55.2%	54.8%	54.4%	52.6%	53.6%	58.7%	55.2%	55.9%	53.8%	52.7%
4 現在の生活や家計		337件 21.3%	21.6%	21.3%	23.1%	24.4%	25.8%	24.7%	22.8%	23.1%	19.8%	20.8%
5 将来の生活や家計		757件 47.8%	50.9%	53.7%	52.6%	53.2%	54.4%	54.8%	54.7%	56.7%	55.4%	56.1%
6 仕事		351件 22.1%	20.1%	20.7%	21.2%	24.1%	25.6%	25.6%	21.7%	23.3%	22.2%	29.7%
7 出産や子育て		117件 7.4%	8.1%	8.7%	8.4%	8.3%	9.3%	10.2%	9.5%	9.3%	9.4%	10.2%
8 子どもの将来		446件 28.1%	30.8%	29.5%	30.5%	32.9%	34.9%	34.6%	30.5%	33.5%	26.3%	27.7%
9 住居や住まい		293件 18.5%	16.7%	18.1%	16.9%	18.8%	18.1%	17.1%	17.1%	17.5%	18.3%	18.3%
10 財産や資産		333件 21.0%	16.3%	15.4%	14.4%	14.6%	14.3%	14.9%	12.9%	12.2%	14.5%	12.7%
11 人との付き合い		242件 15.3%	14.0%	16.2%	12.9%	15.7%	15.4%	13.3%	14.4%	14.7%	14.1%	17.9%
12 生きがい		171件 10.8%	9.1%	10.8%	9.0%	9.8%	10.6%	9.4%	10.9%	9.9%	11.0%	12.9%
13 その他		49件 3.1%	2.7%	2.8%	2.4%	3.1%	5.0%	2.6%	2.1%	2.4%	2.9%	1.4%
14 特になし		88人 88件 5.6%	3.9%	4.6%	5.1%	3.5%	3.6%	3.0%	4.0%	3.2%	4.7%	3.6%
無回答	15人 15件 0.9%	1.6%	0.7%	1.9%	1.2%	1.2%	1.2%	0.8%	0.5%	0.8%	0.7%	

Q6 あなたは日頃、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものがあれば、全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	1,693件 106.8%	109.4%	111.0%	109.2%	108.8%	108.9%	108.9%	111.5%	111.4%	111.6%	110.0%
1 町会・自治会	400人	259件 16.3%	18.6%	18.6%	19.0%	19.5%	18.5%	16.1%	21.6%	18.1%	19.7%	16.4%
2 ボランティア団体		44件 2.8%	3.9%	4.1%	3.6%	3.9%	3.5%	3.1%	3.7%	4.0%	4.6%	3.8%
3 PTA		45件 2.8%	4.1%	4.4%	3.6%	3.7%	4.1%	3.4%	4.5%	4.9%	3.9%	4.9%
4 NPO法人(特定非営利活動法人)		23件 1.5%	1.1%	1.9%	1.5%	1.6%	1.6%	1.3%	1.6%	1.5%	1.7%	0.6%
5 子ども会育成会		17件 1.1%	1.0%	1.4%	1.7%	1.4%	1.7%	2.0%	2.8%	2.6%	2.9%	4.1%
6 企業による奉仕活動		29件 1.8%	1.7%	2.3%	1.7%	1.9%	2.0%	1.3%	2.3%	2.2%	1.8%	1.3%
7 有志・仲間との奉仕活動		48件 3.0%	3.9%	4.6%	3.9%	4.8%	5.0%	4.6%	5.7%	6.0%	6.6%	5.1%
8 その他		43件 2.7%	3.7%	3.2%	3.0%	2.8%	3.1%	3.1%	3.3%	2.9%	3.8%	0.9%
9 積極的に参加しているものはない	1,124人	1,124件 70.9%	66.5%	66.7%	64.7%	64.6%	64.9%	69.4%	62.3%	64.4%	64.2%	69.0%
無回答	61人 61件 3.8%	4.7%	3.8%	6.4%	4.6%	4.5%	4.6%	3.8%	4.8%	2.4%	3.9%	

Q7 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 ほぼ毎日	118人	7.4%	6.8%	5.7%	7.2%	5.9%	5.2%	6.7%	7.0%	7.0%	8.1%
2 週に数日ほど	215人	13.6%	12.0%	12.7%	12.6%	11.5%	11.5%	11.5%	13.6%	12.8%	14.0%
3 月に数日ほど	296人	18.7%	17.7%	20.9%	19.1%	18.8%	22.6%	21.6%	21.6%	22.8%	22.3%
4 年に数日ほど	217人	13.7%	14.2%	14.1%	13.5%	15.4%	16.4%	13.9%	16.2%	13.9%	17.9%
5 全くない	708人	44.7%	45.8%	44.1%	43.1%	45.1%	41.8%	43.8%	39.8%	41.0%	35.6%
無回答	31人	2.0%	3.5%	2.5%	4.4%	3.3%	2.5%	2.5%	1.8%	2.5%	2.0%

Q8 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	2,197件	138.6%	141.4%	142.3%	140.0%	142.7%	144.4%	139.0%	144.0%	145.7%	143.1%	146.8%
1 仕事、職業に活かされている	974人	438件	27.6%	24.7%	22.8%	24.0%	25.7%	25.5%	23.8%	24.6%	25.4%	24.0%	27.0%
2 自分自身の向上に活かされている		564件	35.6%	34.0%	36.3%	35.9%	37.0%	41.7%	36.1%	38.9%	39.6%	42.7%	41.3%
3 家庭や家族に活かされている		222件	14.0%	14.7%	15.5%	12.8%	13.9%	15.1%	14.0%	16.9%	16.1%	15.4%	17.0%
4 地域活動や社会活動に活かされている		78件	4.9%	7.4%	6.8%	5.1%	5.9%	6.9%	6.0%	6.6%	6.7%	6.6%	5.8%
5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている		270件	17.0%	19.1%	20.7%	19.9%	22.9%	22.1%	21.9%	21.1%	22.2%	21.1%	23.1%
6 その他		14件	0.9%	1.0%	0.8%	1.2%	3.4%	2.4%	3.3%	2.8%	1.1%	2.2%	2.0%
7 活かされていない	138人	138件	8.7%	7.2%	7.7%	6.8%	19.5%	17.5%	19.8%	15.6%	17.0%	16.9%	16.7%
8 学習活動をしたことがない	396人	396件	25.0%	27.2%	26.1%	26.0%	-	-	-	-	-	-	-
無回答	77人	77件	4.9%	6.1%	5.5%	8.2%	14.4%	13.2%	14.1%	17.6%	17.7%	14.2%	13.9%

Q9 あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成21 年度	
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1 日常的にしている	24人	1.5%	1.2%	1.4%	1.9%	2.3%	1.4%
2 ときどきしている	262人	16.5%	16.0%	15.7%	13.9%	17.3%	17.5%
3 あまりしていない	567人	35.8%	33.9%	34.7%	33.7%	36.3%	40.2%
4 全くしていない	714人	45.0%	46.7%	47.4%	47.9%	42.6%	39.5%
無回答	18人	1.1%	2.2%	0.8%	2.6%	1.5%	1.3%

Q10 あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成21 年度
	全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 守られ、増えていると感じている	112人	7.1%	7.2%	7.4%	7.0%	8.2%	6.2%
2 守られていると感じているが、増えているとは感じていない	1,128人	71.2%	72.1%	72.0%	70.3%	69.4%	68.1%
3 守られていないと感じている	315人	19.9%	17.9%	19.8%	19.4%	20.5%	23.5%
無回答	30人	1.9%	2.8%	0.9%	3.3%	2.0%	2.2%

Q11 あなたは、ご自身でインターネット（携帯電話やスマートフォンによるネット利用を含む）を利用しますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
	全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 毎日のように利用している	1,062人	67.0%	58.6%	54.4%	51.0%	44.8%	45.8%	37.2%	38.1%	27.8%	27.3%	17.3%
2 時々利用している	132人	8.3%	8.3%	9.1%	11.0%	12.9%	14.9%	15.2%	13.9%	15.3%	13.0%	11.3%
3 たまに利用している	53人	3.3%	6.0%	5.2%	6.5%	6.3%	7.2%	7.6%	9.3%	9.9%	10.4%	9.5%
4 ほとんど利用していない	102人	6.4%	6.8%	7.3%	7.0%	9.1%	6.8%	9.6%	6.8%	9.0%	7.2%	8.1%
5 全く利用していない	203人	12.8%	17.4%	22.0%	20.3%	24.4%	23.4%	28.0%	29.4%	36.2%	39.3%	51.8%
無回答	33人	2.1%	3.0%	2.0%	4.2%	2.5%	1.9%	2.3%	2.4%	1.9%	2.8%	2.0%

(Q11で「毎日のように利用している」「時々利用している」「たまに利用している」を選択した人のみお答えください)

SQ1 あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
	全体	1,247人	3,306件	265.1%	261.1%	259.1%	249.5%	256.2%	250.5%	239.9%	229.4%	212.4%	222.4%
1 電子メールの送信によく利用している	1,238人	776件	62.2%	65.4%	66.8%	62.6%	62.4%	65.0%	63.1%	63.6%	52.2%	62.2%	72.5%
2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している		677件	54.3%	55.5%	49.6%	48.1%	45.4%	44.0%	45.7%	42.8%	33.1%	39.5%	36.3%
3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している		990件	79.4%	76.7%	77.3%	75.8%	80.2%	81.6%	77.6%	76.2%	83.2%	80.5%	73.6%
4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引きをしている		599件	48.0%	43.4%	43.6%	41.5%	44.9%	42.8%	40.7%	35.8%	34.6%	31.0%	24.3%
5 自分自身でホームページやブログ(フェイスブックやツイッター含む)などを利用し、情報を発信している		206件	16.5%	15.3%	15.9%	15.3%	17.6%	13.2%	9.0%	7.9%	5.2%	4.3%	4.9%
6 その他		49件	3.9%	4.1%	4.8%	4.5%	3.9%	2.6%	2.8%	2.2%	4.0%	4.7%	0.3%
無回答	9人	9件	0.7%	0.7%	1.1%	1.7%	1.7%	1.2%	1.1%	0.9%	0.1%	0.2%	0.2%

(Q11で「毎日のように利用している」「時々利用している」「たまに利用している」を選択した人のみお答えください)  
 SQ2 あなたのインターネット利用は、次の中のどれにあてはまりますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度
全体	1,247人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 パソコンからのみ利用している	49人 3.9%	10.6%	15.8%	20.4%	27.3%	29.6%	34.3%	37.2%
2 パソコンが主で、補助的に携帯電話・スマートフォンを利用している	129人 10.3%	13.2%	16.0%	18.3%	27.1%	30.1%	29.6%	31.2%
3 パソコン、携帯電話・スマートフォンの利用がほぼ半々である	208人 16.7%	13.2%	16.6%	14.3%	14.6%	11.9%	11.7%	10.1%
4 携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパソコンを利用している	431人 34.6%	34.3%	30.0%	25.4%	16.7%	14.7%	11.9%	9.0%
5 携帯電話・スマートフォンからのみ利用している	389人 31.2%	24.4%	17.0%	14.4%	9.9%	8.7%	7.7%	8.2%
6 その他	7人 0.6%	0.8%	1.4%	1.6%	0.4%	0.4%	-	-
無回答	34人 2.7%	3.4%	3.2%	5.5%	4.0%	4.5%	4.8%	4.3%

Q12 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 現在も継続的にしている	474人 29.9%	30.4%	33.2%	30.6%	30.5%	31.5%	31.9%	30.5%	29.0%	31.2%	28.7%
2 最近、始めた	90人 5.7%	4.3%	4.3%	3.9%	4.9%	4.5%	4.0%	5.5%	5.0%	3.7%	4.8%
3 以前はしていたが、現在はしていない	585人 36.9%	36.8%	34.6%	35.4%	35.9%	37.7%	37.2%	37.5%	39.0%	37.9%	41.4%
4 以前も、現在もしていない	413人 26.1%	26.5%	27.0%	26.4%	26.5%	24.3%	25.0%	24.5%	25.3%	26.0%	24.5%
無回答	23人 1.5%	2.0%	1.0%	3.8%	2.2%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	1.1%	0.6%

Q13 あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 鑑賞し、自分でも創作や実践もしている	122人 7.7%	7.1%	8.1%	9.4%	9.1%	9.4%	9.0%	9.5%	9.4%	10.1%	10.7%
2 よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない	293人 18.5%	12.4%	14.1%	12.3%	13.9%	14.8%	14.3%	14.7%	16.7%	15.3%	13.6%
3 時々鑑賞している	340人 21.5%	22.0%	23.2%	22.0%	22.1%	22.7%	25.1%	20.0%	20.2%	21.5%	22.5%
4 たまに鑑賞している	388人 24.5%	30.2%	28.4%	29.0%	28.6%	30.2%	28.6%	31.1%	30.4%	31.5%	31.6%
5 ほとんど鑑賞しない	420人 26.5%	26.5%	25.0%	23.2%	24.1%	20.9%	21.1%	22.5%	21.5%	20.6%	20.8%
無回答	22人 1.4%	1.8%	1.2%	4.1%	2.1%	2.0%	1.8%	2.2%	1.9%	1.0%	0.8%

Q14 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変よくある	38人 2.4%	1.9%	1.5%	1.0%	2.1%	1.7%	2.0%	1.5%	1.6%	2.2%	1.6%
2 しばしばある	30人 1.9%	1.7%	1.8%	1.1%	1.6%	1.5%	1.3%	1.5%	1.4%	2.4%	2.0%
3 とときどきある	107人 6.8%	9.4%	7.9%	7.0%	7.5%	8.2%	7.9%	8.7%	8.2%	5.7%	7.4%
4 あまりない	258人 16.3%	16.5%	16.4%	13.9%	14.7%	16.1%	14.8%	13.9%	15.0%	11.1%	10.9%
5 ほとんどない	1,133人 71.5%	68.8%	71.4%	73.5%	72.5%	71.3%	72.2%	72.8%	72.3%	77.8%	77.7%
無回答	19人 1.2%	1.6%	0.9%	3.4%	1.6%	1.2%	1.6%	1.6%	1.6%	0.9%	0.4%

Q15 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	4,336件	<b>273.6%</b>	267.8%	276.3%	276.6%	291.2%	248.8%	200.1%	210.0%	212.4%	212.7%	192.5%
1 消火器の設置	1,290人	406件	<b>25.6%</b>	28.7%	29.7%	28.6%	28.8%	29.2%	32.7%	32.3%	32.7%	38.3%	31.0%
2 住宅用火災警報器の設置		597件	<b>37.7%</b>	38.3%	38.9%	36.3%	39.8%	-	36.2%	-	-	-	-
3 家具などの転倒防止		518件	<b>32.7%</b>	32.7%	35.5%	33.1%	34.6%	36.9%	24.6%	25.3%	25.9%	21.3%	19.6%
4 水や食糧の備蓄		888件	<b>56.0%</b>	49.0%	51.7%	50.8%	54.8%	48.3%	29.3%	33.2%	31.3%	27.0%	24.3%
5 非常持ち出し用品の確保		580件	<b>36.6%</b>	34.1%	34.7%	33.6%	40.6%	38.4%	24.0%	25.8%	28.6%	28.5%	24.8%
6 身内との連絡方法の確立		439件	<b>27.7%</b>	25.5%	26.0%	29.3%	32.6%	31.8%	20.0%	20.7%	23.4%	23.6%	18.9%
7 避難経路や避難場所の確認		431件	<b>27.2%</b>	25.1%	25.5%	27.4%	30.7%	31.9%	24.7%	26.9%	27.2%	29.9%	24.4%
8 防災訓練などへの参加		175件	<b>11.0%</b>	14.3%	15.3%	14.0%	12.8%	12.0%	14.6%	14.1%	13.0%	14.4%	11.0%
9 その他		7件	<b>0.4%</b>	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.8%	0.5%	0.6%	0.6%	0.4%	0.2%
10 特に準備はしていない	274人	274件	<b>17.3%</b>	18.0%	17.8%	19.6%	14.5%	18.4%	28.0%	30.1%	28.5%	28.5%	38.2%
無回答	21人	21件	<b>1.3%</b>	1.6%	0.7%	3.5%	1.5%	1.1%	1.7%	0.9%	1.2%	0.8%	0.1%

Q16 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中から、トラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	1,607件	<b>101.4%</b>	100.9%	100.5%	100.4%	100.9%	100.6%	101.2%	100.7%	101.3%	101.1%	101.4%
1 店舗で購入した商品やサービスでの トラブルや被害	1,173人	59件	<b>3.7%</b>	2.8%	3.0%	3.6%	4.6%	4.8%	4.7%	5.7%	5.2%	5.4%	6.6%
2 訪問販売で購入した商品やサービス でのトラブルや被害		10件	<b>0.6%</b>	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.3%	0.8%	0.7%	1.4%	1.6%	2.4%
3 通信販売（ネットオークション含む）で購 入した商品やサービスでのトラブルや被害		83件	<b>5.2%</b>	3.6%	2.9%	2.6%	1.7%	2.1%	2.3%	2.1%	2.3%	1.4%	2.2%
4 電話勧誘販売で購入した商品や サービスでのトラブルや被害		11件	<b>0.7%</b>	0.7%	0.3%	0.5%	0.6%	0.8%	0.5%	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%
5 その他		32件	<b>2.0%</b>	1.0%	1.7%	1.3%	1.8%	1.3%	2.0%	2.2%	1.7%	2.2%	0.3%
6 トラブルや被害にあっていない	1,376人	1,376件	<b>86.8%</b>	88.1%	88.7%	85.7%	87.8%	86.8%	86.5%	86.0%	86.7%	87.2%	86.3%
無回答	36人	36件	<b>2.3%</b>	4.0%	3.2%	6.0%	3.8%	4.5%	4.5%	3.0%	2.9%	2.1%	2.3%

Q17 あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成21 年度
全体	1,585人	<b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 以前より非常に良くなっている	63人	<b>4.0%</b>	3.9%	2.7%	1.8%	3.9%	3.6%
2 以前より多少良くなっている	390人	<b>24.6%</b>	21.8%	21.4%	18.1%	22.7%	23.2%
3 以前と変わらない	1,011人	<b>63.8%</b>	64.1%	65.3%	66.5%	62.7%	61.2%
4 以前より多少悪くなっている	57人	<b>3.6%</b>	4.8%	5.4%	5.9%	5.4%	5.2%
5 以前より非常に悪くなっている	20人	<b>1.3%</b>	1.4%	2.3%	2.1%	1.6%	1.9%
無回答	44人	<b>2.8%</b>	4.0%	2.8%	5.5%	3.7%	4.9%



Q18 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

		全 体	十 分 満 足	ま ま あ ま あ 満 足	普 通 で あ る	や や 不 満 で あ る	で き わ め て 不 満	わ か ら な い	無 回 答
ア 保健・医療・福祉 サービス	令和2年度 (今回)	1,585人 <b>100.0%</b>	121人 <b>7.6%</b>	436人 <b>27.5%</b>	729人 <b>46.0%</b>	113人 <b>7.1%</b>	43人 <b>2.7%</b>	99人 <b>6.2%</b>	44人 <b>2.8%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	4.6%	24.3%	45.4%	10.4%	3.8%	5.8%	5.6%
	平成27年度	100.0%	3.7%	22.7%	46.4%	12.4%	5.7%	5.5%	3.6%
	平成25年度	100.0%	3.5%	17.8%	51.3%	12.1%	5.7%	6.4%	3.3%
	平成24年度	100.0%	4.6%	16.8%	46.5%	15.6%	5.9%	7.4%	3.4%
	平成22年度	100.0%	3.3%	16.6%	46.5%	17.9%	5.9%	6.3%	3.4%
	平成21年度	100.0%	2.8%	15.0%	48.8%	17.5%	7.6%	5.6%	2.6%
	平成19年度	100.0%	2.9%	15.7%	42.3%	19.3%	9.7%	7.4%	2.6%
	平成18年度	100.0%	1.9%	12.3%	43.3%	18.9%	11.4%	8.2%	4.0%
	平成16年度	100.0%	3.3%	16.4%	43.5%	16.6%	7.2%	10.2%	2.7%
	平成13年度	100.0%	3.3%	15.4%	44.5%	14.8%	7.8%	11.6%	2.6%
イ まちの賑わいや 買い物の便	令和2年度 (今回)	1,585人 <b>100.0%</b>	119人 <b>7.5%</b>	416人 <b>26.2%</b>	586人 <b>37.0%</b>	292人 <b>18.4%</b>	95人 <b>6.0%</b>	38人 <b>2.4%</b>	39人 <b>2.5%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	5.1%	22.9%	39.2%	19.9%	6.2%	1.5%	5.2%
	平成27年度	100.0%	5.6%	25.5%	37.4%	19.0%	8.8%	1.1%	2.6%
	平成25年度	100.0%	4.5%	21.7%	39.8%	21.2%	8.3%	2.0%	2.6%
	平成24年度	100.0%	6.3%	22.6%	40.0%	18.7%	7.9%	1.6%	2.8%
	平成22年度	100.0%	6.2%	24.3%	36.4%	21.8%	7.6%	1.0%	2.7%
	平成21年度	100.0%	4.4%	24.0%	37.1%	21.5%	8.5%	1.2%	3.3%
	平成19年度	100.0%	4.7%	24.0%	38.4%	20.5%	8.4%	1.1%	3.1%
	平成18年度	100.0%	5.4%	24.0%	35.7%	21.0%	10.0%	1.0%	3.0%
	平成16年度	100.0%	6.6%	26.6%	37.2%	18.5%	7.8%	0.8%	2.5%
	平成13年度	100.0%	7.0%	28.5%	35.7%	18.1%	7.6%	1.2%	2.0%
ウ 通勤・通学などの 交通の便	令和2年度 (今回)	1,585人 <b>100.0%</b>	161人 <b>10.2%</b>	456人 <b>28.8%</b>	576人 <b>36.3%</b>	165人 <b>10.4%</b>	47人 <b>3.0%</b>	106人 <b>6.7%</b>	74人 <b>4.7%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	7.4%	26.9%	36.4%	13.5%	3.6%	4.6%	7.7%
	平成27年度	100.0%	6.4%	25.0%	39.1%	12.6%	5.4%	5.6%	5.8%
	平成25年度	100.0%	5.7%	26.1%	37.4%	15.0%	5.8%	4.6%	5.4%
	平成24年度	100.0%	7.4%	25.7%	39.3%	12.1%	5.8%	4.0%	5.8%
	平成22年度	100.0%	7.1%	27.4%	37.8%	14.5%	4.7%	3.0%	5.6%
	平成21年度	100.0%	7.2%	25.4%	37.2%	14.4%	6.2%	3.9%	5.7%
	平成19年度	100.0%	9.0%	25.9%	36.6%	13.7%	5.8%	4.0%	5.0%
	平成18年度	100.0%	7.4%	26.8%	36.5%	14.9%	5.7%	3.4%	5.3%
	平成16年度	100.0%	8.3%	25.1%	34.8%	14.9%	6.7%	4.3%	5.9%
	平成13年度	100.0%	7.6%	28.5%	31.8%	15.6%	8.0%	3.5%	4.9%
エ 子どもの教育環境	令和2年度 (今回)	1,585人 <b>100.0%</b>	44人 <b>2.8%</b>	218人 <b>13.8%</b>	664人 <b>41.9%</b>	119人 <b>7.5%</b>	45人 <b>2.8%</b>	412人 <b>26.0%</b>	83人 <b>5.2%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	1.8%	12.7%	42.4%	10.0%	2.6%	21.7%	8.7%
	平成27年度	100.0%	1.5%	10.1%	43.4%	11.5%	3.5%	23.1%	6.9%
	平成25年度	100.0%	1.2%	11.9%	43.9%	12.5%	3.3%	20.7%	6.6%
	平成24年度	100.0%	0.9%	10.9%	44.5%	12.1%	4.5%	20.4%	6.7%
	平成22年度	100.0%	1.0%	11.3%	43.5%	12.3%	4.3%	20.7%	6.9%
	平成21年度	100.0%	2.0%	12.7%	40.7%	11.5%	5.9%	20.7%	6.5%
	平成19年度	100.0%	1.4%	10.1%	40.2%	14.1%	6.7%	21.1%	6.4%
	平成18年度	100.0%	1.7%	9.1%	38.5%	16.8%	8.1%	20.2%	5.7%
	平成16年度	100.0%	1.8%	11.0%	41.9%	13.4%	6.3%	19.3%	6.3%
	平成13年度	100.0%	1.6%	9.8%	42.4%	14.2%	6.2%	19.4%	6.4%

		全 体	十 分 満 足 し て い る	ま あ ま あ 満 足 し て い る	普 通 で あ る	や や 不 満 で あ る	ま だ 不 満 で あ る	わ か ら な い	無 回 答
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	令和2年度(今回)	1,585人	23人	149人	703人	205人	66人	356人	83人
		100.0%	1.5%	9.4%	44.4%	12.9%	4.2%	22.5%	5.2%
	平成28年度(前回)	100.0%	0.8%	8.0%	41.2%	17.7%	4.9%	19.7%	7.7%
	平成27年度	100.0%	0.7%	8.1%	44.8%	15.7%	6.2%	19.1%	5.4%
	平成25年度	100.0%	0.5%	6.9%	46.2%	16.5%	6.0%	18.4%	5.6%
	平成24年度	100.0%	0.8%	8.6%	46.1%	16.6%	5.9%	16.5%	5.4%
	平成22年度	100.0%	0.6%	7.9%	44.0%	19.4%	6.3%	16.8%	5.0%
	平成21年度	100.0%	1.3%	9.3%	43.8%	19.0%	5.9%	15.6%	5.1%
	平成19年度	100.0%	1.1%	8.1%	43.2%	19.5%	7.8%	15.2%	5.0%
	平成18年度	100.0%	0.8%	7.9%	41.8%	19.8%	7.9%	16.8%	5.0%
	平成16年度	100.0%	0.8%	9.6%	41.8%	19.9%	6.5%	16.3%	5.1%
平成13年度	100.0%	0.9%	10.3%	41.4%	20.4%	5.6%	16.3%	5.1%	
カ スポーツや健康づくりのための環境	令和2年度(今回)	1,585人	35人	201人	724人	220人	55人	271人	79人
		100.0%	2.2%	12.7%	45.7%	13.9%	3.5%	17.1%	5.0%
	平成28年度(前回)	100.0%	1.0%	10.2%	43.5%	17.5%	4.6%	15.3%	7.9%
	平成27年度	100.0%	1.4%	11.8%	43.9%	17.5%	6.0%	14.3%	5.1%
	平成25年度	100.0%	0.7%	9.1%	46.1%	18.5%	5.8%	14.4%	5.4%
	平成24年度	100.0%	1.4%	11.0%	45.5%	18.1%	5.1%	13.9%	5.0%
	平成22年度	100.0%	1.9%	8.9%	41.8%	22.1%	6.4%	13.8%	5.0%
	平成21年度	100.0%	1.7%	11.0%	42.7%	21.4%	6.8%	11.4%	4.9%
	平成19年度	100.0%	1.9%	10.6%	43.5%	19.6%	7.9%	11.6%	4.9%
	平成18年度	100.0%	1.4%	10.2%	39.3%	21.8%	10.1%	12.9%	4.4%
	平成16年度	100.0%	1.7%	14.3%	39.9%	19.8%	7.2%	12.2%	5.0%
平成13年度	100.0%	1.9%	12.7%	41.2%	19.3%	7.1%	12.9%	4.9%	
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	令和2年度(今回)	1,585人	78人	296人	659人	284人	119人	89人	60人
		100.0%	4.9%	18.7%	41.6%	17.9%	7.5%	5.6%	3.8%
	平成28年度(前回)	100.0%	3.0%	18.5%	42.0%	18.0%	7.8%	4.2%	6.5%
	平成27年度	100.0%	3.4%	19.0%	42.8%	17.1%	9.4%	4.9%	3.4%
	平成25年度	100.0%	2.2%	16.2%	44.0%	19.0%	9.4%	4.9%	4.4%
	平成24年度	100.0%	3.0%	18.8%	42.2%	19.7%	9.1%	3.3%	3.9%
	平成22年度	100.0%	2.9%	16.3%	41.7%	21.6%	10.3%	3.7%	3.5%
	平成21年度	100.0%	3.5%	17.9%	40.9%	19.6%	11.0%	3.1%	3.9%
	平成19年度	100.0%	2.6%	16.8%	39.0%	23.5%	11.4%	3.5%	3.3%
	平成18年度	100.0%	3.0%	14.9%	35.7%	23.2%	17.2%	2.5%	3.5%
	平成16年度	100.0%	3.6%	18.7%	34.4%	22.3%	15.3%	2.5%	3.1%
平成13年度	100.0%	3.2%	17.3%	32.8%	23.5%	15.2%	4.5%	3.4%	
ク 出産や子育てのしやすさ	令和2年度(今回)	1,585人	52人	209人	618人	102人	32人	480人	92人
		100.0%	3.3%	13.2%	39.0%	6.4%	2.0%	30.3%	5.8%
	平成28年度(前回)	100.0%	1.5%	10.9%	36.9%	10.6%	3.0%	27.6%	9.5%
	平成27年度	100.0%	1.2%	7.7%	38.5%	11.1%	4.3%	29.3%	7.8%
平成25年度	100.0%	0.7%	7.3%	38.6%	12.8%	4.6%	28.4%	7.7%	

		全 体	十分 満 足	ま ま 満 足	普 通 で あ る	や や 不 満 で あ る	で き わ め て 不 満	わ か ら な い	無 回 答
ケ 緑地・河川などの 自然環境	令和2年度 (今回)	1,585人	53人	335人	755人	201人	64人	109人	68人
		<b>100.0%</b>	<b>3.3%</b>	<b>21.1%</b>	<b>47.6%</b>	<b>12.7%</b>	<b>4.0%</b>	<b>6.9%</b>	<b>4.3%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	2.6%	18.5%	47.0%	13.3%	4.4%	6.8%	7.3%
	平成27年度	100.0%	2.6%	18.9%	47.8%	15.2%	5.5%	6.0%	3.9%
	平成25年度	100.0%	2.1%	16.7%	48.5%	16.3%	5.3%	5.9%	5.1%
	平成24年度	100.0%	2.9%	19.1%	45.6%	17.8%	5.1%	5.5%	3.9%
	平成22年度	100.0%	2.6%	18.0%	46.9%	17.9%	6.3%	4.1%	4.2%
	平成21年度	100.0%	2.2%	17.3%	46.7%	19.4%	6.9%	4.0%	3.5%
	平成19年度	100.0%	2.9%	19.8%	44.5%	19.5%	7.2%	3.2%	3.0%
	平成18年度	100.0%	2.4%	15.8%	40.9%	22.9%	10.8%	3.6%	3.5%
	平成16年度	100.0%	1.4%	17.0%	40.5%	23.3%	11.4%	3.0%	3.6%
平成13年度	100.0%	2.4%	18.7%	37.4%	24.2%	10.7%	3.3%	3.2%	
コ 空気のきれいさ、 騒音・悪臭などの 公害の少なさ	令和2年度 (今回)	1,585人	73人	324人	739人	267人	87人	49人	46人
		<b>100.0%</b>	<b>4.6%</b>	<b>20.4%</b>	<b>46.6%</b>	<b>16.8%</b>	<b>5.5%</b>	<b>3.1%</b>	<b>2.9%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	2.4%	19.6%	44.5%	19.7%	5.2%	2.4%	6.2%
	平成27年度	100.0%	2.8%	22.3%	47.7%	15.9%	4.9%	3.0%	3.4%
	平成25年度	100.0%	2.3%	18.7%	46.9%	18.4%	7.0%	3.0%	3.8%
	平成24年度	100.0%	2.6%	17.1%	45.8%	20.5%	8.2%	3.1%	2.7%
	平成22年度	100.0%	2.4%	16.8%	43.5%	23.8%	8.8%	2.1%	2.6%
	平成21年度	100.0%	2.8%	18.0%	46.3%	19.6%	8.0%	2.4%	2.9%
	平成19年度	100.0%	3.2%	15.5%	46.1%	21.8%	8.6%	2.1%	2.7%
	平成18年度	100.0%	1.9%	14.7%	41.9%	24.3%	11.9%	1.9%	3.2%
	平成16年度	100.0%	1.6%	14.3%	43.3%	25.4%	10.5%	2.2%	2.7%
平成13年度	100.0%	2.1%	14.1%	40.6%	24.4%	14.2%	1.9%	2.7%	
サ まち並み、建物など まち全体の景観	令和2年度 (今回)	1,585人	43人	221人	831人	321人	82人	41人	46人
		<b>100.0%</b>	<b>2.7%</b>	<b>13.9%</b>	<b>52.4%</b>	<b>20.3%</b>	<b>5.2%</b>	<b>2.6%</b>	<b>2.9%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	1.8%	12.5%	49.6%	20.6%	6.4%	2.8%	6.4%
	平成27年度	100.0%	1.5%	13.9%	51.1%	18.2%	7.7%	4.0%	3.7%
	平成25年度	100.0%	1.3%	11.6%	51.7%	21.4%	6.7%	3.5%	3.9%
	平成24年度	100.0%	2.2%	11.1%	51.2%	21.1%	8.4%	3.1%	3.0%
	平成22年度	100.0%	1.1%	12.3%	50.4%	22.5%	8.2%	2.7%	2.8%
	平成21年度	100.0%	1.5%	10.4%	51.2%	21.2%	9.6%	3.0%	3.0%
	平成19年度	100.0%	1.6%	11.2%	47.8%	24.7%	8.7%	2.6%	3.3%
	平成18年度	100.0%	1.2%	11.0%	42.6%	25.3%	14.1%	2.7%	3.0%
	平成16年度	100.0%	1.4%	10.0%	46.2%	26.8%	11.0%	2.1%	2.5%
平成13年度	100.0%	1.9%	10.6%	47.6%	24.1%	10.8%	2.3%	2.7%	
シ 事故や災害に強い 安全なまち	令和2年度 (今回)	1,585人	38人	204人	808人	239人	68人	173人	55人
		<b>100.0%</b>	<b>2.4%</b>	<b>12.9%</b>	<b>51.0%</b>	<b>15.1%</b>	<b>4.3%</b>	<b>10.9%</b>	<b>3.5%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	1.5%	9.2%	48.9%	15.5%	6.0%	12.3%	6.7%
	平成27年度	100.0%	1.7%	10.7%	47.6%	17.0%	5.6%	13.4%	3.9%
	平成25年度	100.0%	0.7%	7.9%	49.2%	18.2%	6.3%	12.8%	5.0%
	平成24年度	100.0%	1.4%	7.4%	46.5%	20.7%	8.2%	12.2%	3.6%
	平成22年度	100.0%	0.9%	8.2%	47.2%	20.2%	8.0%	12.0%	3.5%
	平成21年度	100.0%	0.7%	5.8%	47.8%	21.8%	8.1%	12.3%	3.5%
	平成19年度	100.0%	1.1%	6.0%	46.1%	20.8%	8.2%	14.3%	3.6%
	平成18年度	100.0%	0.9%	5.4%	41.6%	22.0%	11.9%	14.8%	3.4%
	平成16年度	100.0%	0.3%	5.7%	38.4%	25.3%	9.6%	18.0%	2.6%
平成13年度	100.0%	1.2%	5.9%	43.3%	21.2%	9.1%	16.7%	2.5%	

		全 体	し 十 分 満 足	ま あ ま あ 満 足	普 通 で あ る	や や 不 満 で あ る	で き わ め て 不 満	わ か ら な い	無 回 答
ス 史跡や神社仏閣など 歴史・伝統文化遺産	令和2年度 (今回)	1,585人	46人	300人	825人	92人	28人	236人	58人
		<b>100.0%</b>	<b>2.9%</b>	<b>18.9%</b>	<b>52.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>1.8%</b>	<b>14.9%</b>	<b>3.7%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	2.4%	16.7%	50.3%	8.1%	1.9%	13.6%	7.0%
	平成27年度	100.0%	2.0%	17.7%	51.3%	7.8%	2.0%	14.8%	4.4%
	平成25年度	100.0%	1.9%	15.1%	53.6%	9.3%	1.8%	13.6%	4.7%
	平成24年度	100.0%	2.4%	18.6%	53.4%	7.5%	1.9%	13.1%	3.1%
	平成22年度	100.0%	2.2%	15.8%	54.2%	9.6%	1.9%	13.3%	2.9%
	平成21年度	100.0%	2.6%	15.6%	55.8%	8.5%	2.4%	11.9%	3.1%
	平成19年度	100.0%	2.4%	15.6%	54.6%	9.0%	2.2%	12.9%	3.3%
	平成18年度	100.0%	2.6%	14.9%	51.7%	10.4%	2.5%	14.4%	3.5%
	平成16年度	100.0%	2.1%	15.8%	52.4%	8.3%	2.2%	15.8%	3.3%
平成13年度	100.0%	3.0%	17.4%	48.8%	7.9%	1.6%	17.1%	4.2%	
セ 特色ある祭りや地域 ぐるみのイベント	令和2年度 (今回)	1,585人	31人	157人	785人	219人	57人	283人	53人
		<b>100.0%</b>	<b>2.0%</b>	<b>9.9%</b>	<b>49.5%</b>	<b>13.8%</b>	<b>3.6%</b>	<b>17.9%</b>	<b>3.3%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	2.3%	14.4%	51.0%	11.3%	2.4%	11.9%	6.7%
	平成27年度	100.0%	2.4%	16.9%	48.8%	11.7%	3.7%	13.1%	3.5%
	平成25年度	100.0%	1.2%	12.1%	53.2%	12.5%	3.7%	13.1%	4.4%
	平成24年度	100.0%	2.3%	14.2%	52.5%	12.9%	3.5%	11.6%	3.0%
	平成22年度	100.0%	1.7%	12.8%	52.9%	13.7%	3.9%	11.9%	3.0%
	平成21年度	100.0%	2.2%	12.5%	48.2%	17.2%	4.3%	12.5%	3.1%
	平成19年度	100.0%	2.1%	11.7%	53.1%	13.3%	3.5%	13.3%	3.0%
	平成18年度	100.0%	2.1%	13.6%	47.8%	14.4%	5.9%	12.9%	3.3%
	平成16年度	100.0%	1.5%	13.4%	48.6%	14.5%	4.5%	13.9%	3.7%
平成13年度	100.0%	1.7%	14.1%	49.2%	12.8%	4.2%	13.6%	4.4%	
ソ 多様な世代との交流	令和2年度 (今回)	1,585人	10人	61人	769人	211人	51人	427人	56人
		<b>100.0%</b>	<b>0.6%</b>	<b>3.8%</b>	<b>48.5%</b>	<b>13.3%</b>	<b>3.2%</b>	<b>26.9%</b>	<b>3.5%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	0.7%	4.6%	47.0%	13.5%	3.1%	23.9%	7.2%
	平成27年度	100.0%	0.3%	4.9%	45.9%	14.4%	3.5%	26.6%	4.5%
	平成25年度	100.0%	0.5%	3.6%	47.1%	15.6%	3.8%	24.2%	5.2%
	平成24年度	100.0%	0.9%	3.6%	47.8%	16.8%	3.5%	23.4%	4.0%
平成21年度	100.0%	1.3%	4.3%	45.9%	17.1%	5.5%	22.4%	3.4%	
タ 地域とのつながり	令和2年度 (今回)	1,585人	16人	90人	904人	160人	43人	318人	54人
		<b>100.0%</b>	1.0%	5.7%	57.0%	10.1%	2.7%	20.1%	3.4%
	平成28年度(前回)	100.0%	1.0%	7.0%	54.5%	11.0%	2.8%	16.7%	7.0%
平成27年度	100.0%	1.1%	7.6%	54.7%	11.8%	3.0%	17.3%	4.5%	
チ 住環境のゆとり などの住宅事情	令和2年度 (今回)	1,585人	35人	195人	859人	209人	43人	147人	97人
		<b>100.0%</b>	<b>2.2%</b>	<b>12.3%</b>	<b>54.2%</b>	<b>13.2%</b>	<b>2.7%</b>	<b>9.3%</b>	<b>6.1%</b>
	平成28年度(前回)	100.0%	1.7%	11.6%	52.6%	14.1%	2.7%	7.6%	9.6%
	平成27年度	100.0%	2.4%	12.1%	50.5%	15.3%	3.5%	9.3%	7.0%
	平成25年度	100.0%	1.4%	9.5%	54.7%	15.5%	4.7%	10.1%	4.1%
	平成24年度	100.0%	1.6%	10.3%	51.6%	18.8%	5.1%	8.2%	4.4%
	平成22年度	100.0%	1.9%	12.1%	48.9%	20.4%	6.1%	7.1%	3.6%
	平成21年度	100.0%	1.8%	11.2%	49.3%	21.7%	7.5%	4.9%	3.4%
	平成19年度	100.0%	1.6%	12.4%	46.7%	23.3%	7.7%	4.5%	3.8%
	平成18年度	100.0%	1.6%	11.3%	44.2%	25.0%	10.0%	4.4%	3.4%
平成16年度	100.0%	1.8%	12.3%	43.1%	25.6%	9.4%	5.2%	2.5%	
平成13年度	100.0%	2.0%	11.7%	43.2%	24.3%	10.9%	4.7%	3.2%	

(Q18ーチで「やや不満である」または「きわめて不満である」を選択した方のみお答えください)  
 SQ2 あなたが、住環境のゆとりなどの住宅事情に、「やや不満」または「きわめて不満」と感じる理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度
	全体	252人	924件	366.7%	362.5%	393.7%	352.5%	368.0%
1 高齢者等への配慮が足りない (段差がないなど)	247人	91件	36.1%	35.9%	39.5%	44.8%	42.1%	34.5%
2 冷暖房の機器が省エネルギー対応に なっていないため、費用負担がかさむ		51件	20.2%	15.6%	26.2%	20.9%	20.9%	18.6%
3 地震・台風時の住宅の安全性が心配		125件	49.6%	49.2%	51.7%	50.4%	57.4%	49.8%
4 住宅の断熱性や気密性が不足している		53件	21.0%	21.1%	23.1%	18.3%	22.2%	18.4%
5 住宅の防犯性が心配		82件	32.5%	41.8%	36.7%	32.2%	35.0%	36.5%
6 住宅が古く、いたんでいる		100件	39.7%	34.0%	37.1%	28.3%	36.2%	30.7%
7 収納が少なく、使いにくい		71件	28.2%	25.0%	29.4%	28.3%	25.9%	27.5%
8 外部からの騒音などに対する遮音性 が足りない		83件	32.9%	27.0%	29.0%	27.1%	30.3%	30.0%
9 火災時の避難が心配		47件	18.7%	26.6%	21.0%	22.4%	17.7%	19.8%
10 換気性能(臭気や煙などの残留感 がない)が悪い		35件	13.9%	13.3%	13.6%	11.5%	13.1%	14.0%
11 台所・トイレ・浴室等が使いにくい		53件	21.0%	21.9%	22.7%	17.1%	16.7%	15.9%
12 住宅の維持や管理がしにくい		36件	14.3%	11.3%	19.2%	11.2%	11.1%	11.4%
13 居間など主たる居住室の採光が 悪く、暗い		34件	13.5%	13.3%	16.1%	11.2%	13.1%	11.8%
14 住宅の広さや間取りそのものに 不満がある		58件	23.0%	24.6%	27.3%	23.3%	25.9%	26.3%
無回答	5人	5件	2.0%	2.0%	1.0%	5.3%	0.5%	3.1%

Q19 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成20 年度 市民 ニーズ 調査	平成18 年度 市民 ニーズ 調査
	全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 大変住みやすい	204人	12.9%	10.5%	9.7%	8.2%	12.4%	14.7%	13.1%
2 どちらかといえば、住みやすい	1,187人	74.9%	71.2%	72.5%	72.8%	70.1%	70.3%	70.2%
3 どちらかといえば、住みにくい	130人	8.2%	11.9%	13.5%	13.8%	13.6%	10.3%	13.5%
4 大変住みにくい	19人	1.2%	1.4%	1.6%	1.3%	1.1%	1.3%	2.6%
無回答	45人	2.8%	5.0%	2.7%	3.9%	2.9%	3.4%	0.6%

Q20 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
	全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 住み続けたい	528人	33.3%	29.5%	30.4%	29.6%	30.7%	33.1%	31.9%	32.3%	28.8%	31.4%	31.2%
2 できることなら住み続けたい	566人	35.7%	38.8%	36.1%	31.7%	34.1%	28.3%	28.1%	25.9%	27.6%	28.3%	27.4%
3 どちらとも言えない	300人	18.9%	17.3%	18.1%	25.2%	20.1%	28.6%	30.5%	30.9%	31.3%	28.9%	29.7%
4 あまり住み続けたくない	111人	7.0%	9.3%	9.7%	9.0%	8.8%	6.3%	5.8%	6.9%	7.5%	7.1%	6.5%
5 住み続けたくない	26人	1.6%	2.2%	1.9%	1.4%	1.7%	2.1%	2.4%	2.6%	3.0%	3.0%	3.0%
無回答	54人	3.4%	3.0%	3.7%	3.1%	4.6%	1.7%	1.3%	1.4%	1.7%	1.3%	2.2%

(Q20で「住み続けたい」または「できることなら住み続けたい」を選択した方のみお答えください)  
 SQ1 あなたが、これからも松戸市に、「住み続けたい」または「できることなら住み続けたい」と感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	
	1,094人	2,775件	253.7%	271.7%	278.1%	251.2%	241.8%
全体							
1 親の代から住んでいるまちだから	7,088人	292件	26.7%	24.8%	25.8%	25.9%	25.0%
2 隣近所との付き合いを失いたくないから		185件	16.9%	18.5%	20.0%	18.4%	20.3%
3 通勤や通学に便利だから		389件	35.6%	37.2%	34.8%	33.5%	32.2%
4 自然災害の心配が少ないから		455件	41.6%	34.1%	36.8%	28.9%	34.0%
5 下水道や道路などの基盤が整備されているから		149件	13.6%	15.2%	16.7%	12.4%	8.9%
6 緑が多く、静かな住環境に満足しているから		217件	19.8%	24.7%	26.8%	23.3%	28.3%
7 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから		118件	10.8%	10.4%	9.2%	8.5%	7.6%
8 子育てや教育などの環境が充実しているから		30件	2.7%	3.4%	2.8%	2.4%	1.8%
9 子どもの学校が変わることが困るから		80件	7.3%	8.0%	6.6%	6.2%	5.6%
10 治安や防犯の心配が少ないから		81件	7.4%	7.2%	10.4%	8.1%	7.3%
11 買い物や娯楽に便利なまちだから		208件	19.0%	18.5%	21.0%	16.4%	12.7%
12 東京に近いから		363件	33.2%	44.0%	44.1%	38.4%	35.7%
13 商売や事業を続けているから		38件	3.5%	3.7%	4.0%	3.1%	2.4%
14 家賃などが安いから		41件	3.7%	4.9%	5.2%	4.2%	5.0%
15 経済的な理由など、仕方ないから		66件	6.0%	9.1%	9.1%	9.6%	8.9%
16 その他		57件	5.2%	7.3%	4.0%	6.6%	4.9%
無回答	6人	6件	0.5%	0.8%	0.8%	5.3%	1.1%

(Q20で「あまり住み続けたくない」または「住み続けたくない」を選択した方のみお答えください)  
 SQ2 あなたが、これからは松戸市に、「あまり住み続けたくない」または「住み続けたくない」と感じる理由は何ですか。(〇は3つまで)

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度
	人数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	137人	320件	233.6%	290.3%	313.7%	246.3%	243.6%
1 住宅や土地の価格・広さに満足できないから	135人	19件	13.9%	13.7%	16.4%	11.4%	7.8%
2 通勤や通学に不便だから		38件	27.7%	24.0%	32.8%	28.6%	23.5%
3 自然災害への備え(防災)が心配だから		16件	11.7%	10.9%	10.7%	13.7%	14.0%
4 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから		28件	20.4%	22.9%	21.5%	18.3%	21.8%
5 騒音などの生活環境に満足できないから		27件	19.7%	13.7%	14.1%	7.4%	14.5%
6 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから		25件	18.2%	28.6%	27.7%	26.9%	24.0%
7 子育てや教育などの環境に満足できないから		11件	8.0%	16.6%	28.8%	16.6%	19.6%
8 近所付き合いなどがわずらわしいから		17件	12.4%	5.1%	11.9%	5.1%	6.7%
9 治安や防犯などが心配だから		37件	27.0%	43.4%	32.2%	24.0%	28.5%
10 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから		42件	30.7%	40.0%	42.4%	33.7%	27.9%
11 もっと自然の多い土地で暮らしたいから		22件	16.1%	20.0%	26.6%	18.3%	17.3%
12 商売や事業を行いやすい環境ではないから		2件	1.5%	4.6%	9.0%	3.4%	1.7%
13 もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから		8件	5.8%	17.1%	13.0%	10.3%	5.0%
14 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから		12件	8.8%	12.0%	10.2%	6.3%	10.1%
15 その他		14件	10.2%	17.7%	15.3%	14.3%	21.2%
無回答	2人	2件	1.5%	0.0%	1.1%	8.0%	0.0%

## II 松戸市の放射能対策についてお聞きします。

Q1 あなたは、現在の松戸市内の生活において、放射能に対する不安を感じることはありますか。次の中から、あてはまる番号1つに〇をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度
	人数	割合	割合	割合	割合
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 おおいにある	40人	2.5%	4.8%	7.7%	9.3%
2 ときどきある	170人	10.7%	17.8%	24.4%	27.8%
3 ほとんどない	915人	57.7%	55.8%	51.2%	47.7%
4 まったくない	427人	26.9%	18.3%	13.7%	10.6%
無回答	33人	2.1%	3.2%	2.9%	4.6%

(Q1で「おおいにある」または「ときどきある」を選択した人のみお答えください)

SQ1 あなたは、どのような内容で放射能に対する不安を感じていますか。次の中から、特にあてはまる番号1つに〇をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度
	人数	割合	割合	割合	割合
全体	210人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 除染対策について	87人	41.4%	45.2%	30.8%	28.9%
2 食品安全対策について	54人	25.7%	24.6%	19.8%	24.3%
3 健康管理対策について	33人	15.7%	12.2%	11.0%	13.0%
4 焼却灰対策について	21人	10.0%	13.3%	16.1%	14.5%
5 その他	11人	5.2%	2.0%	3.1%	2.4%
無回答	4人	1.9%	2.6%	19.2%	16.9%

### Ⅲ 松戸市の魅力についておたずねします。

Q1 あなたが思う松戸市の魅力や愛着を感じる箇所は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度
	1,585人	2,937件	185.3%		
全体				177.8%	179.6%
1 交通の便が良い	1,304人	975件	61.5%	56.7%	55.2%
2 自然が多い		470件	29.7%	28.3%	30.4%
3 行事やイベントなど活気がある		75件	4.7%	8.0%	9.3%
4 地域や市民の活動がさかん		54件	3.4%	4.7%	5.8%
5 人と人のつながりがある		128件	8.1%	7.5%	9.7%
6 暮らしやすい		769件	48.5%	42.8%	40.7%
7 子育てがしやすい		151件	9.5%	6.8%	5.3%
8 その他		34件	2.1%	2.2%	2.7%
9 特になし	246人	246件	15.5%	17.7%	17.2%
無回答	35人	35件	2.2%	3.1%	3.3%

Q2 市内の施設や名所・イベントなどについて、知っているもの全てに○をつけてください。

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度
	1,585人	12,182件	768.6%		
全体				790.0%	810.7%
1 戸定邸・戸定歴史館	1,532人	1,134件	71.5%	71.9%	76.0%
2 21世紀の森と広場		1,399件	88.3%	89.8%	90.3%
3 市立博物館		735件	46.4%	44.8%	49.8%
4 森のホール21		1,385件	87.4%	88.3%	90.2%
5 東松戸ゆいの花公園		467件	29.5%	30.7%	30.6%
6 和名ヶ谷スポーツセンター		885件	55.8%	52.0%	52.6%
7 矢切の渡し		1,245件	78.5%	77.6%	80.6%
8 七草マラソン大会		529件	33.4%	35.9%	38.0%
9 桜まつり(市内各所)		1,052件	66.4%	68.1%	71.0%
10 松戸子育てフェスティバル		131件	8.3%	8.0%	8.3%
11 緑と花のフェスティバル		255件	16.1%	17.8%	18.0%
12 オープンフォレストin松戸		45件	2.8%	3.1%	1.7%
13 こども祭り		113件	7.1%	9.0%	9.4%
14 松戸花火大会		1,329件	83.8%	91.3%	89.2%
15 松戸まつり		936件	59.1%	62.1%	63.3%
16 ドコでもシアター		7件	0.4%	1.4%	0.9%
17 大農業まつり		76件	4.8%	5.4%	5.1%
18 観光梨園		402件	25.4%	29.5%	32.5%
19 ジャパンポップカルチャーカーニバル(JPCC)		4件	0.3%	0.8%	0.9%
無回答	53人	53件	3.3%	2.4%	2.2%

Q3 あなたは、この松戸市をイメージしたロゴマークとスローガンを知っていますか。

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度
	1,585人	100.0%		
全体			100.0%	100.0%
1 両方とも知っている	378人	23.8%	15.9%	17.9%
2 ロゴマークのみ知っている	126人	7.9%	6.6%	5.8%
3 スローガンのみ知っている	349人	22.0%	24.7%	23.2%
4 両方とも知らない	696人	43.9%	49.0%	50.4%
無回答	36人	2.3%	3.7%	2.8%



## IV あなた自身についておたずねします。

### F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1 女性	854人	53.9%	53.8%	56.3%	55.1%	53.3%	55.6%	52.5%	54.9%	56.4%	54.4%	55.6%
2 男性	688人	43.4%	41.1%	42.1%	40.8%	43.1%	42.1%	43.8%	43.4%	42.1%	44.6%	42.1%
無回答	43人	2.7%	5.1%	1.6%	4.1%	3.6%	2.3%	3.7%	1.6%	1.4%	1.0%	2.2%

### F2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1 20～24歳	64人	4.0%	3.3%	3.3%	4.2%	4.0%	3.1%	4.1%	3.7%	4.0%	4.7%	5.5%
2 25～29歳	73人	4.6%	5.2%	4.5%	5.0%	6.4%	5.3%	6.1%	5.8%	6.2%	7.4%	8.4%
3 30～34歳	92人	5.8%	5.9%	5.6%	6.4%	5.9%	8.5%	7.2%	8.7%	9.4%	9.8%	11.2%
4 35～39歳	113人	7.1%	6.1%	7.8%	7.4%	8.4%	10.2%	10.0%	8.9%	10.6%	9.1%	8.4%
5 40～44歳	113人	7.1%	9.0%	8.9%	8.3%	9.1%	8.6%	8.2%	8.5%	7.8%	7.0%	7.6%
6 45～49歳	139人	8.8%	8.7%	8.8%	8.6%	8.2%	9.6%	6.8%	8.0%	7.7%	5.7%	8.1%
7 50～54歳	135人	8.5%	7.7%	8.0%	8.3%	6.9%	7.4%	6.6%	8.0%	6.9%	8.5%	10.6%
8 55～59歳	128人	8.1%	6.9%	6.6%	7.1%	7.4%	7.9%	9.6%	9.2%	12.2%	11.1%	10.2%
9 60～64歳	115人	7.3%	7.5%	8.9%	9.8%	10.8%	9.8%	10.9%	11.4%	10.6%	10.6%	9.9%
10 65～69歳	126人	7.9%	9.9%	12.0%	11.5%	9.5%	10.3%	11.5%	10.2%	11.2%	10.4%	8.1%
11 70～74歳	179人	11.3%	9.8%	9.9%	9.0%	9.8%	8.1%	9.2%	10.0%	7.8%	7.0%	6.1%
12 75～79歳	121人	7.6%	8.3%	7.8%	6.7%	6.9%	5.4%	4.8%	6.1%	4.5%	4.1%	4.0%
13 80歳以上	154人	9.7%	7.8%	6.8%	5.4%	4.2%	4.5%	4.3%	0.6%	0.1%	4.0%	0.1%
無回答	33人	2.1%	3.9%	1.1%	2.0%	2.6%	1.3%	0.7%	0.9%	1.1%	0.6%	1.7%

### F3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1 会社員	501人	31.6%	28.5%	27.6%	28.2%	28.8%	27.8%	26.1%	27.9%	27.8%	27.4%	32.1%
2 公務員(教員、団体職員などを含む)	64人	4.0%	4.3%	4.5%	4.1%	3.4%	4.1%	3.8%	3.9%	5.5%	5.2%	5.9%
3 自営業(農業を含む)	92人	5.8%	5.4%	5.9%	6.0%	5.6%	5.6%	7.1%	8.2%	7.8%	9.0%	8.9%
4 アルバイトやパートなどの臨時雇用	241人	15.2%	14.4%	13.5%	15.7%	16.3%	14.4%	14.0%	15.1%	13.9%	12.4%	13.0%
5 学生	30人	1.9%	2.2%	1.6%	2.0%	1.5%	1.5%	1.6%	1.5%	2.0%	2.2%	2.0%
6 その他	30人	1.9%	2.7%	2.6%	2.6%	2.5%	3.4%	2.2%	3.1%	2.7%	3.1%	0.7%
7 専業主婦	262人	16.5%	19.1%	20.7%	20.6%	18.8%	21.6%	22.9%	21.8%	22.8%	21.2%	21.7%
8 無職	321人	20.3%	19.0%	21.5%	18.4%	20.4%	19.8%	20.1%	14.9%	15.1%	18.7%	13.9%
無回答	44人	2.8%	4.5%	2.0%	2.4%	2.8%	1.9%	2.1%	3.5%	2.4%	0.9%	1.7%

(F3で「専業主婦」または「無職」以外を選択した人のみお答えください)

SQ1 あなたの勤務地または通学地をお答えください。(1つに〇)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全 体	958人 <b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 自宅	60人 <b>6.3%</b>	6.1%	7.3%	7.3%	6.0%	6.0%	7.8%	8.2%	8.8%	8.0%	8.8%
2 松戸市内(自宅を除く)	279人 <b>29.1%</b>	27.5%	30.5%	27.9%	27.9%	27.4%	26.2%	26.4%	27.9%	24.5%	25.1%
3 千葉県内(松戸市を除く)	167人 <b>17.4%</b>	17.9%	16.0%	19.6%	16.7%	18.9%	15.0%	17.0%	14.6%	15.8%	15.7%
4 東京都内	382人 <b>39.9%</b>	39.9%	37.9%	37.2%	41.2%	40.7%	42.2%	41.3%	39.9%	44.1%	42.9%
5 埼玉県・茨城県	40人 <b>4.2%</b>	5.3%	4.0%	4.0%	4.0%	3.4%	4.4%	3.3%	3.4%	4.1%	4.1%
6 その他	21人 <b>2.2%</b>	3.0%	2.8%	2.4%	1.9%	2.4%	2.5%	1.9%	2.8%	2.4%	2.4%
無回答	9人 <b>0.9%</b>	0.3%	1.4%	1.5%	2.3%	1.3%	1.9%	1.9%	2.5%	1.2%	1.0%

F4 あなたの松戸市在住年数をお答えください。(1つに〇)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全 体	1,585人 <b>100.1%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 1年未満	46人 <b>2.9%</b>	3.6%	2.0%	2.3%	2.6%	2.9%	2.6%	2.3%	3.4%	3.7%	4.8%
2 1年以上5年未満	147人 <b>9.3%</b>	9.3%	7.7%	7.7%	9.6%	8.7%	8.3%	9.6%	9.6%	10.6%	12.1%
3 5年以上10年未満	95人 <b>6.0%</b>	8.3%	7.2%	9.8%	8.1%	9.8%	7.8%	8.8%	10.1%	10.3%	11.2%
4 10年以上15年未満	136人 <b>8.6%</b>	7.3%	7.8%	9.9%	7.4%	8.7%	9.8%	9.7%	8.2%	8.5%	8.1%
5 15年以上20年未満	117人 <b>7.4%</b>	8.3%	8.9%	8.7%	8.8%	6.9%	7.2%	6.7%	8.6%	8.3%	8.7%
6 20年以上	1,000人 <b>63.1%</b>	58.5%	64.1%	58.9%	60.2%	60.6%	62.7%	60.0%	57.9%	57.0%	52.9%
無回答	44人 <b>2.8%</b>	4.7%	2.2%	2.6%	3.4%	2.2%	1.6%	2.9%	2.3%	1.7%	2.3%

F5 あなたの出身地をお答えください。(1つに〇)

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全 体	1,585人 <b>100.1%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 松戸市	299人 <b>18.9%</b>	16.8%	17.6%	18.0%	18.1%	17.9%	17.8%	16.3%	17.2%	15.2%	15.4%
2 千葉県(松戸市を除く)	185人 <b>11.7%</b>	11.9%	9.5%	11.0%	11.1%	11.2%	10.4%	8.8%	10.6%	9.4%	10.0%
3 東京都	328人 <b>20.7%</b>	20.1%	24.4%	22.6%	22.2%	22.7%	22.6%	25.7%	24.3%	27.4%	24.1%
4 関東地方(千葉県・東京都を除く)	229人 <b>14.4%</b>	14.2%	13.7%	15.7%	15.6%	14.2%	15.6%	13.5%	14.5%	14.5%	14.5%
5 北海道地方	46人 <b>2.9%</b>	3.3%	2.2%	2.3%	1.9%	3.4%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	2.7%
6 東北地方	140人 <b>8.8%</b>	9.4%	10.0%	8.0%	9.8%	9.3%	9.6%	9.0%	9.1%	8.7%	9.9%
7 中部地方	112人 <b>7.1%</b>	7.3%	7.1%	6.5%	5.1%	7.1%	5.6%	6.8%	6.3%	5.7%	7.4%
8 近畿地方	65人 <b>4.1%</b>	3.9%	3.7%	4.8%	3.9%	4.1%	3.9%	4.5%	4.1%	4.3%	3.6%
9 中国・四国地方	50人 <b>3.2%</b>	3.4%	3.3%	2.6%	2.5%	2.4%	3.9%	3.4%	4.2%	3.8%	3.6%
10 九州・沖縄地方	82人 <b>5.2%</b>	4.7%	5.4%	5.4%	5.9%	5.7%	5.1%	5.6%	4.4%	5.5%	5.5%
11 海外	3人 <b>0.2%</b>	0.3%	0.6%	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%	0.5%	0.1%	0.5%	0.3%
無回答	46人 <b>2.9%</b>	4.6%	2.6%	2.8%	3.3%	1.7%	2.4%	3.0%	2.3%	1.9%	3.1%

F6 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 ひとり世帯	253人	16.0%	14.5%	13.3%	11.9%	12.4%	10.8%	10.0%	10.7%	9.3%	9.7%	12.1%
2 夫婦のみ世帯	446人	28.1%	26.8%	27.4%	26.2%	26.7%	27.1%	27.6%	25.8%	25.6%	26.7%	23.7%
3 親と子供世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯	240人	15.1%	16.1%	16.2%	15.0%	15.2%	17.1%	18.1%	17.6%	19.0%	17.9%	17.5%
4 親と子供世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯	464人	29.3%	29.9%	26.9%	30.3%	33.6%	29.9%	28.0%	28.1%	35.2%	29.7%	33.0%
5 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯	21人	1.3%	2.2%	2.2%	2.0%	2.2%	2.9%	2.4%	2.8%	2.9%	3.1%	4.2%
6 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯	41人	2.6%	3.1%	2.8%	3.0%	3.6%	2.7%	3.2%	2.8%	3.0%	3.1%	4.2%
7 その他	76人	4.8%	2.4%	7.9%	7.8%	2.5%	7.3%	9.7%	9.1%	2.3%	7.7%	2.4%
無回答	44人	2.8%	5.1%	3.4%	3.9%	3.6%	2.3%	1.1%	3.2%	2.7%	2.1%	3.0%

F7 あなたが今、興味や関心をお持ちのことについてお答えください。(3つまで○)

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全体	1,585人	3,594件	226.8%	240.2%	242.8%	234.4%	240.6%	247.9%	275.5%	270.5%	265.0%	258.6%	257.9%
1 家族の日常生活のこと	1,401人	738件	46.6%	47.9%	46.5%	41.2%	44.0%	45.9%	46.2%	43.4%	44.7%	41.6%	36.2%
2 友人との交流やつながりなど、友人関係のこと		352件	22.2%	20.2%	24.6%	21.4%	23.4%	24.4%	23.7%	22.5%	22.4%	24.4%	22.5%
3 近隣の人たちとの交流のこと		135件	8.5%	9.8%	10.9%	10.1%	10.4%	13.1%	14.6%	12.3%	12.1%	14.2%	11.2%
4 地域の住み易さなど生活環境のこと		296件	18.7%	21.0%	16.6%	20.2%	21.5%	20.2%	25.1%	23.0%	25.0%	25.8%	19.7%
5 昇進や収入など仕事や職場のこと		317件	20.0%	17.8%	18.6%	18.6%	18.6%	19.4%	18.9%	17.6%	18.2%	18.5%	20.2%
6 不況、失業や低金利などの経済のこと		201件	12.7%	12.1%	13.5%	14.8%	20.6%	22.1%	31.6%	21.9%	17.4%	22.2%	36.9%
7 公的年金や医療保障など社会福祉のこと		633件	39.9%	45.7%	45.5%	49.9%	47.9%	44.2%	53.8%	55.6%	55.9%	52.2%	45.2%
8 子供の教育環境などの教育関係のこと		213件	13.4%	17.7%	15.7%	15.3%	15.1%	16.7%	20.1%	18.9%	22.7%	16.0%	16.6%
9 貧困や民族紛争などの国際問題のこと		113件	7.1%	7.7%	8.9%	6.4%	4.1%	4.9%	6.2%	7.0%	7.4%	10.6%	16.7%
10 地球温暖化や自然破壊などの地球環境のこと		335件	21.1%	23.4%	26.4%	20.2%	21.1%	26.5%	27.1%	38.7%	29.5%	25.6%	23.7%
11 外国人の世話をしたり日本を外国に紹介するなどの国際交流のこと		20件	1.3%	2.7%	3.2%	1.7%	1.7%	1.1%	1.8%	2.0%	1.7%	1.7%	1.8%
12 その他		57件	3.6%	6.2%	6.2%	3.5%	4.4%	4.0%	1.7%	2.6%	2.3%	2.1%	0.7%
13 特になし	123人	123件	7.8%	2.7%	2.6%	6.1%	3.5%	3.4%	3.3%	1.7%	2.8%	1.9%	2.5%
無回答	61人	61件	3.8%	5.4%	3.6%	4.9%	4.4%	2.2%	1.4%	3.3%	3.1%	1.8%	3.8%

F8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲についてお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 隣近所	123人	7.8%	4.1%	4.3%	2.7%	3.8%	4.0%	3.9%	2.5%	3.3%	3.2%	3.6%
2 町会程度	19人	1.2%	2.1%	1.4%	1.0%	1.4%	1.7%	1.2%	1.1%	1.4%	1.4%	1.7%
3 近隣町会程度	56人	3.5%	2.6%	3.3%	3.8%	3.2%	4.4%	4.5%	3.9%	4.2%	4.7%	4.5%
4 松戸市内程度	538人	33.9%	28.6%	29.0%	26.5%	29.9%	31.3%	33.2%	31.5%	32.6%	38.5%	35.2%
5 千葉県内	445人	28.1%	27.6%	26.5%	27.8%	25.8%	28.0%	26.9%	25.9%	27.0%	21.4%	23.1%
6 東京都内	296人	18.7%	24.4%	24.4%	28.1%	26.2%	24.3%	23.0%	25.8%	25.2%	24.7%	25.3%
7 その他	52人	3.3%	5.0%	4.1%	3.8%	5.5%	4.1%	3.7%	2.9%	3.0%	3.1%	2.6%
無回答	56人	3.5%	5.6%	6.9%	6.4%	4.1%	2.4%	3.5%	6.4%	3.3%	2.9%	3.9%

F9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけの時に利用する主な交通手段をお答えください。(2つまで○)

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	2,641件	<b>166.6%</b>	171.0%	174.1%	165.9%	167.0%	166.4%	171.7%	167.0%	166.6%	167.2%	168.1%
1 電車	7,530人	978件	<b>61.7%</b>	66.4%	67.7%	64.3%	65.9%	64.6%	65.2%	66.8%	64.9%	67.0%	67.0%
2 バス		249件	<b>15.7%</b>	14.8%	16.7%	15.4%	14.6%	14.0%	14.8%	15.4%	15.0%	16.4%	16.7%
3 タクシー		40件	<b>2.5%</b>	2.9%	3.5%	2.6%	2.4%	2.2%	3.3%	1.9%	2.4%	1.9%	2.0%
4 自家用車		691件	<b>43.6%</b>	42.8%	46.1%	42.3%	40.4%	38.0%	46.2%	41.4%	42.0%	39.9%	40.2%
5 オートバイ・スクーター		40件	<b>2.5%</b>	2.6%	2.4%	2.4%	2.9%	2.7%	2.0%	3.9%	2.5%	2.4%	2.8%
6 自転車		308件	<b>19.4%</b>	19.8%	20.6%	20.4%	21.9%	23.2%	22.5%	20.8%	23.0%	22.7%	21.7%
7 徒歩		269件	<b>17.0%</b>	15.5%	13.0%	13.3%	14.5%	15.9%	15.7%	12.9%	13.5%	13.7%	14.0%
8 その他		11件	<b>0.7%</b>	0.7%	0.8%	0.6%	0.8%	0.5%	0.7%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
無回答	55人	55件	<b>3.5%</b>	5.5%	3.3%	4.6%	3.6%	5.2%	1.3%	3.6%	3.0%	2.9%	3.3%

F10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。(2つまで○)

選択肢	令和2年度 (今回)			平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	2,310件	<b>145.7%</b>	148.0%	146.6%	146.0%	150.4%	143.9%	146.9%	142.4%	143.5%	149.3%	144.7%
1 テレビ・ラジオ	7,339人	106件	<b>6.7%</b>	6.4%	5.6%	8.2%	10.6%	9.8%	8.7%	8.2%	10.1%	7.8%	6.7%
2 新聞・雑誌		157件	<b>9.9%</b>	11.4%	13.1%	16.2%	15.5%	14.0%	19.2%	18.1%	17.9%	22.2%	23.3%
3 広報誌(広報まつど)		895件	<b>56.5%</b>	65.7%	67.4%	65.0%	66.2%	69.3%	73.7%	73.1%	73.1%	78.8%	76.7%
4 松戸市のホームページ		456件	<b>28.8%</b>	17.9%	16.6%	18.5%	18.9%	20.5%	14.4%	11.3%	9.3%	8.9%	4.8%
5 松戸市安全安心メール		124件	<b>7.8%</b>	4.2%	3.5%	3.2%	2.7%	-	-	-	-	-	-
6 ツイッター、フェイスブック等のSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)		120件	<b>7.6%</b>	3.1%	2.6%	1.8%	3.0%	-	-	-	-	-	-
7 各種パンフレット		90件	<b>5.7%</b>	10.0%	9.1%	7.2%	9.5%	6.8%	9.3%	8.1%	8.3%	7.8%	9.0%
8 町会などでの集会や会合		75件	<b>4.7%</b>	9.8%	8.1%	5.6%	8.8%	6.7%	7.3%	7.2%	7.7%	9.4%	8.1%
9 市が主催する説明会など		3件	<b>0.2%</b>	0.5%	0.4%	0.3%	0.5%	0.2%	0.1%	0.6%	0.5%	1.0%	0.7%
10 その他		38件	<b>2.4%</b>	2.4%	1.8%	1.7%	1.2%	2.4%	2.0%	0.7%	2.0%	1.2%	1.1%
11 特になし	229人	229件	<b>14.4%</b>	13.7%	15.7%	14.7%	11.8%	9.6%	11.0%	11.9%	12.2%	10.7%	11.5%
無回答	17人	17件	<b>1.1%</b>	2.8%	2.7%	3.6%	1.6%	4.5%	1.4%	3.1%	2.5%	1.5%	2.8%

F11 あなたは、納めた税金などの対価として提供された市の行政サービスについて、どのように感じているかお答えください。(1つに○)

選択肢	令和2年度 (今回)		平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度
全体	1,585人	<b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 非常に満足している	28人	<b>1.8%</b>	1.2%	0.9%	1.0%	0.8%	0.4%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	1.0%
2 まあまあ満足している	372人	<b>23.5%</b>	22.9%	17.7%	17.7%	17.1%	14.6%	14.7%	13.9%	10.6%	16.2%	15.1%
3 どちらとも言えない	700人	<b>44.2%</b>	40.6%	43.2%	41.0%	41.8%	41.7%	39.7%	36.3%	35.7%	40.6%	41.9%
4 あまり満足していない	283人	<b>17.9%</b>	19.4%	22.5%	23.6%	24.5%	26.0%	27.4%	29.8%	30.8%	25.8%	26.1%
5 ほとんど満足していない	158人	<b>10.0%</b>	11.2%	11.6%	11.5%	12.2%	12.1%	14.5%	15.3%	19.0%	14.1%	12.6%
無回答	44人	<b>2.8%</b>	4.7%	4.2%	5.2%	3.6%	5.1%	3.0%	4.0%	3.2%	2.7%	3.4%

<回答者の居住地区>

選択肢	令和2年度 (今回)	平成28 年度 (前回)	平成27 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成16 年度	平成13 年度	
全 体	1,585人	<b>100.0%</b>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1 本庁	452人	<b>28.5%</b>	26.4%	27.1%	24.8%	24.8%	25.9%	26.6%	27.6%	27.9%	24.9%	27.3%
2 常盤平	301人	<b>19.0%</b>	19.7%	18.5%	19.7%	18.7%	20.0%	20.3%	20.7%	19.1%	19.4%	18.4%
3 小金	133人	<b>8.4%</b>	9.1%	8.5%	9.2%	7.6%	9.8%	8.5%	8.9%	9.1%	8.7%	9.2%
4 小金原	100人	<b>6.3%</b>	5.7%	7.0%	6.8%	7.8%	6.7%	7.3%	5.5%	6.2%	7.1%	7.0%
5 六実	110人	<b>6.9%</b>	6.0%	5.8%	6.3%	6.5%	6.2%	5.8%	6.0%	5.8%	6.0%	6.5%
6 馬橋	105人	<b>6.6%</b>	7.1%	8.9%	9.1%	8.8%	7.4%	9.1%	8.2%	8.1%	8.9%	7.3%
7 新松戸	178人	<b>11.2%</b>	13.5%	11.7%	11.9%	13.1%	11.8%	11.5%	10.7%	12.4%	13.7%	12.2%
8 矢切	90人	<b>5.7%</b>	4.7%	6.0%	5.2%	5.8%	5.7%	5.0%	6.0%	5.9%	5.6%	5.6%
9 東部	116人	<b>7.3%</b>	7.7%	6.5%	7.2%	6.8%	6.3%	6.0%	6.3%	5.4%	5.6%	6.5%
無回答	0人	<b>0.0%</b>	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### Ⅲ 市民意識調査の回答者の特性





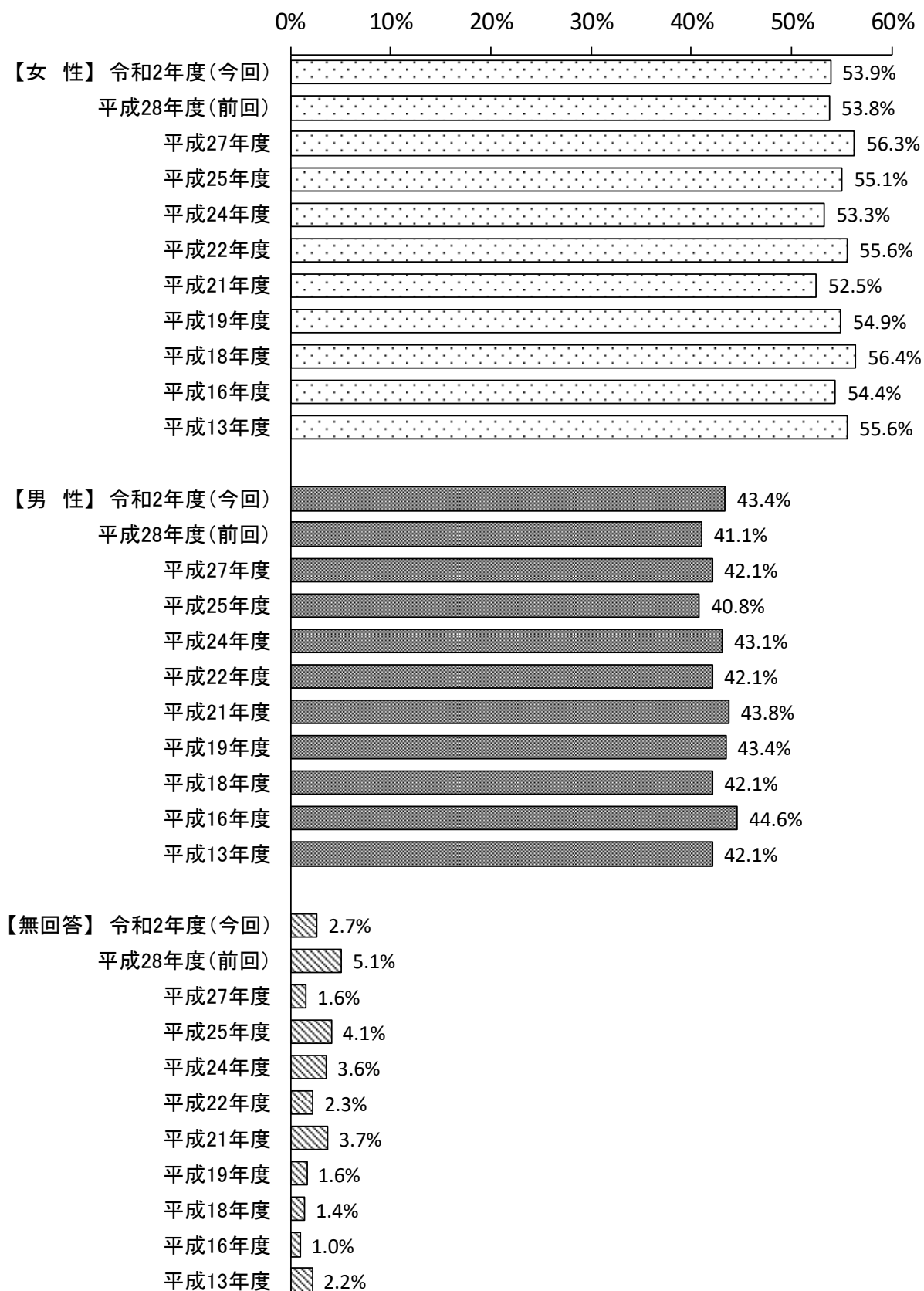


### Ⅲ 市民意識調査の回答者の特性

#### 1. 基本属性

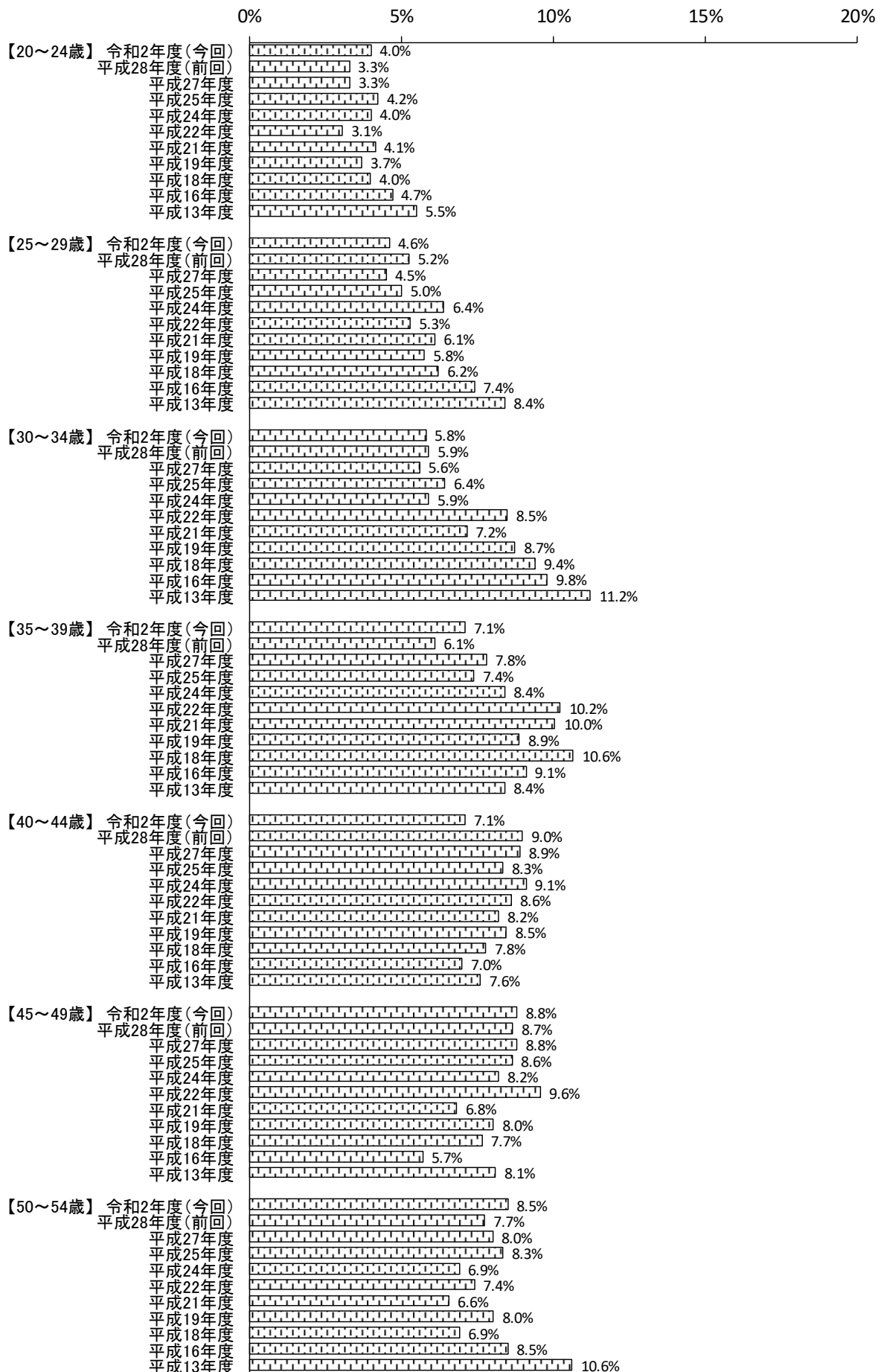
##### (1) 性別

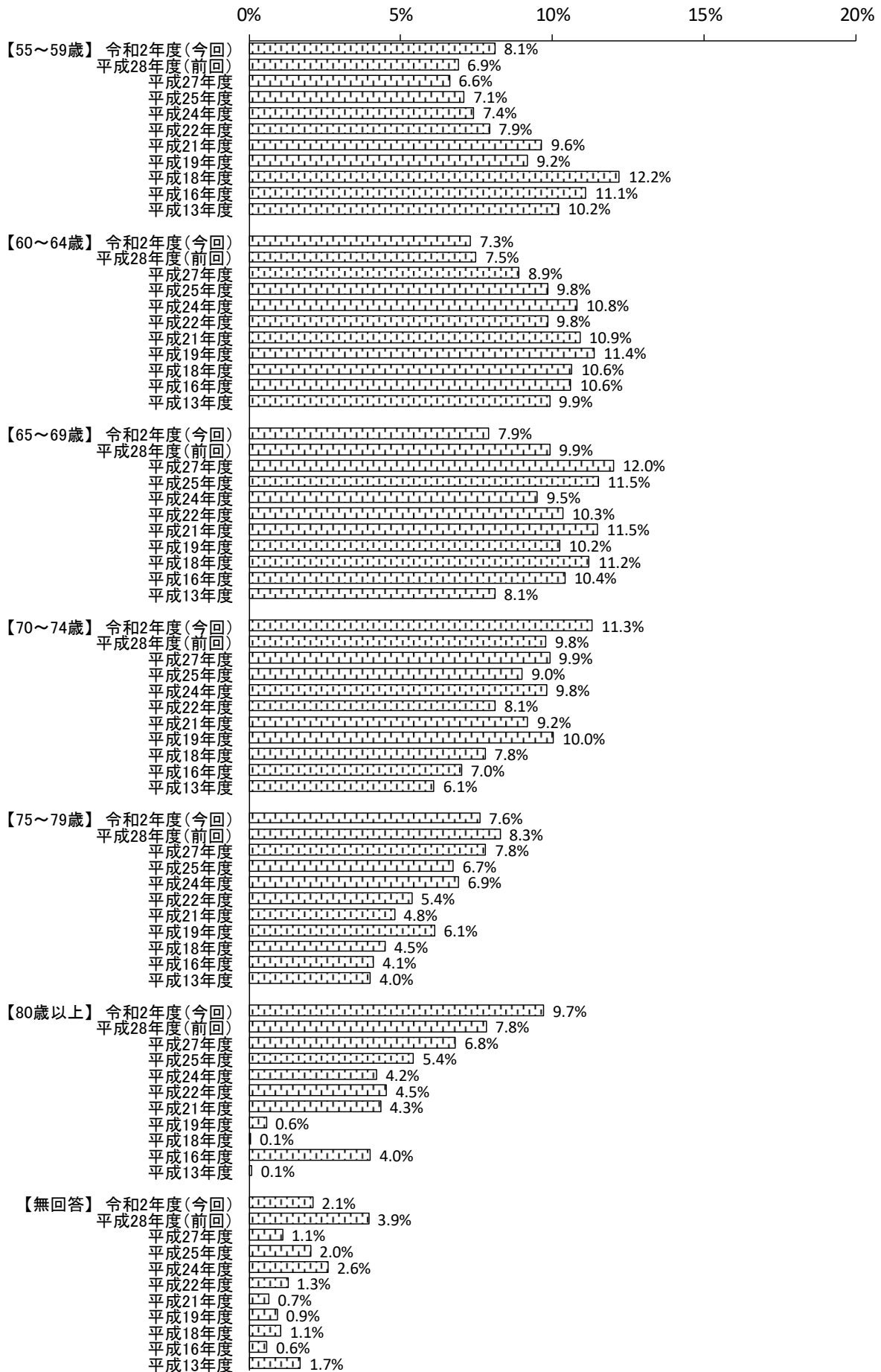
回答者の性別は、「女性」(53.9%)が「男性」(43.4%)より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



## (2) 年齢

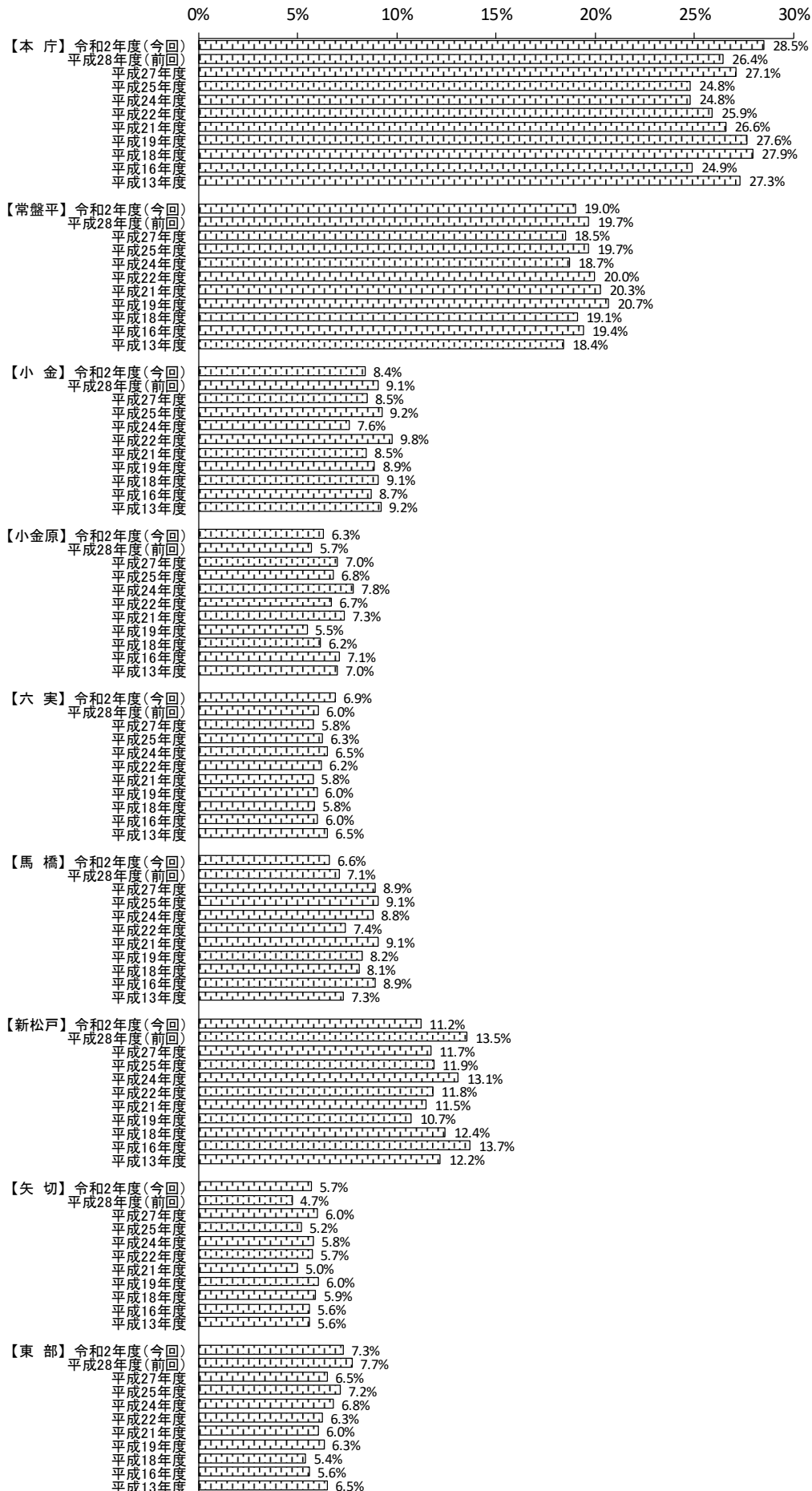
回答者の年齢は、「70～74歳」(11.3%)が最も高く、次いで「80歳以上」(9.7%)、「45～49歳」(8.8%)となっており、平成28年度調査と同様に高齢層の占める割合が高くなっています。





### (3) 居住地区

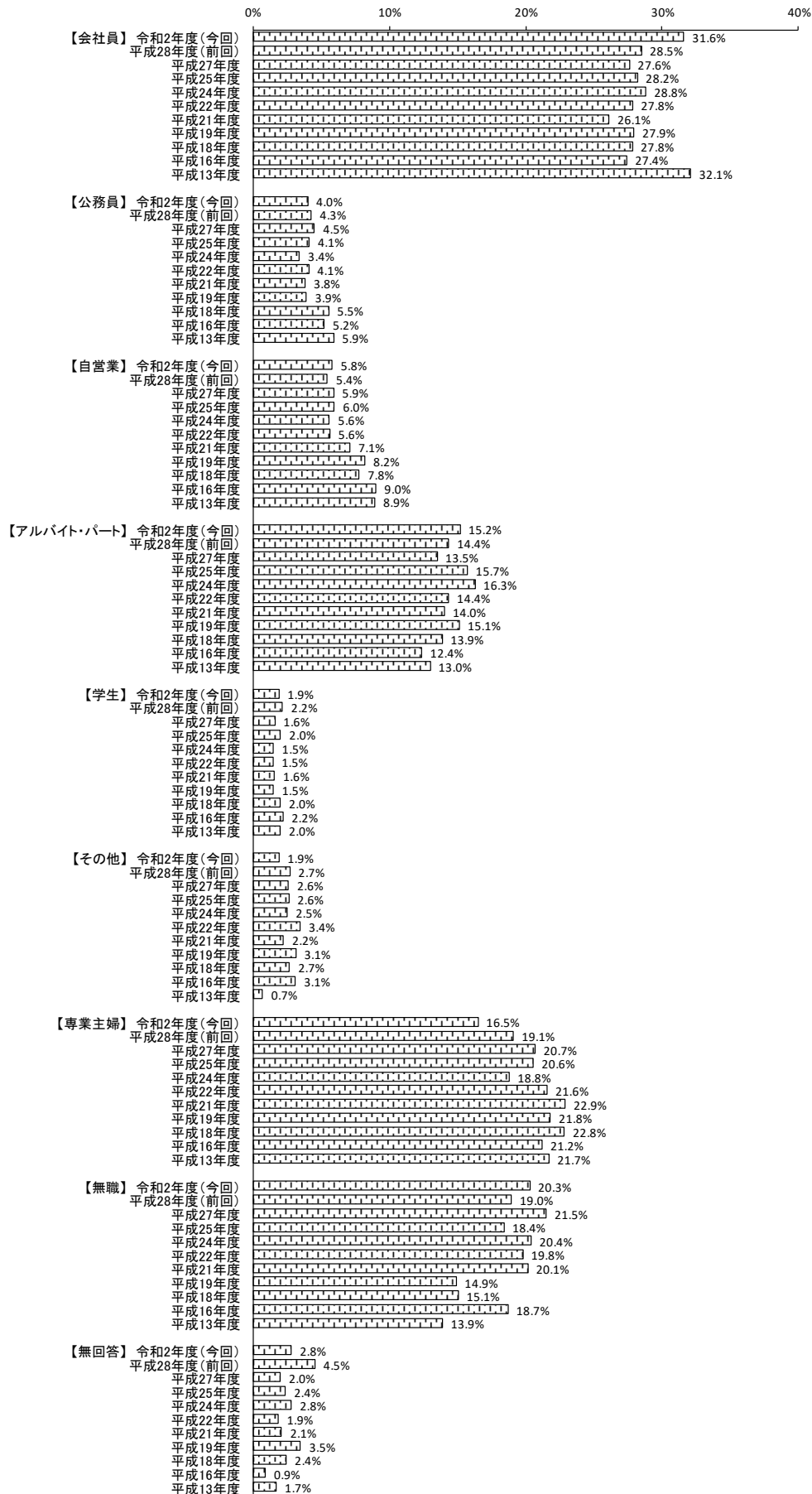
回答者の居住地区は、「本庁」(28.5%) が最も高く、回答者全体の約3割となっています。次いで「常盤平」(19.0%)、「新松戸」(11.2%) となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



## (4) 就労状況

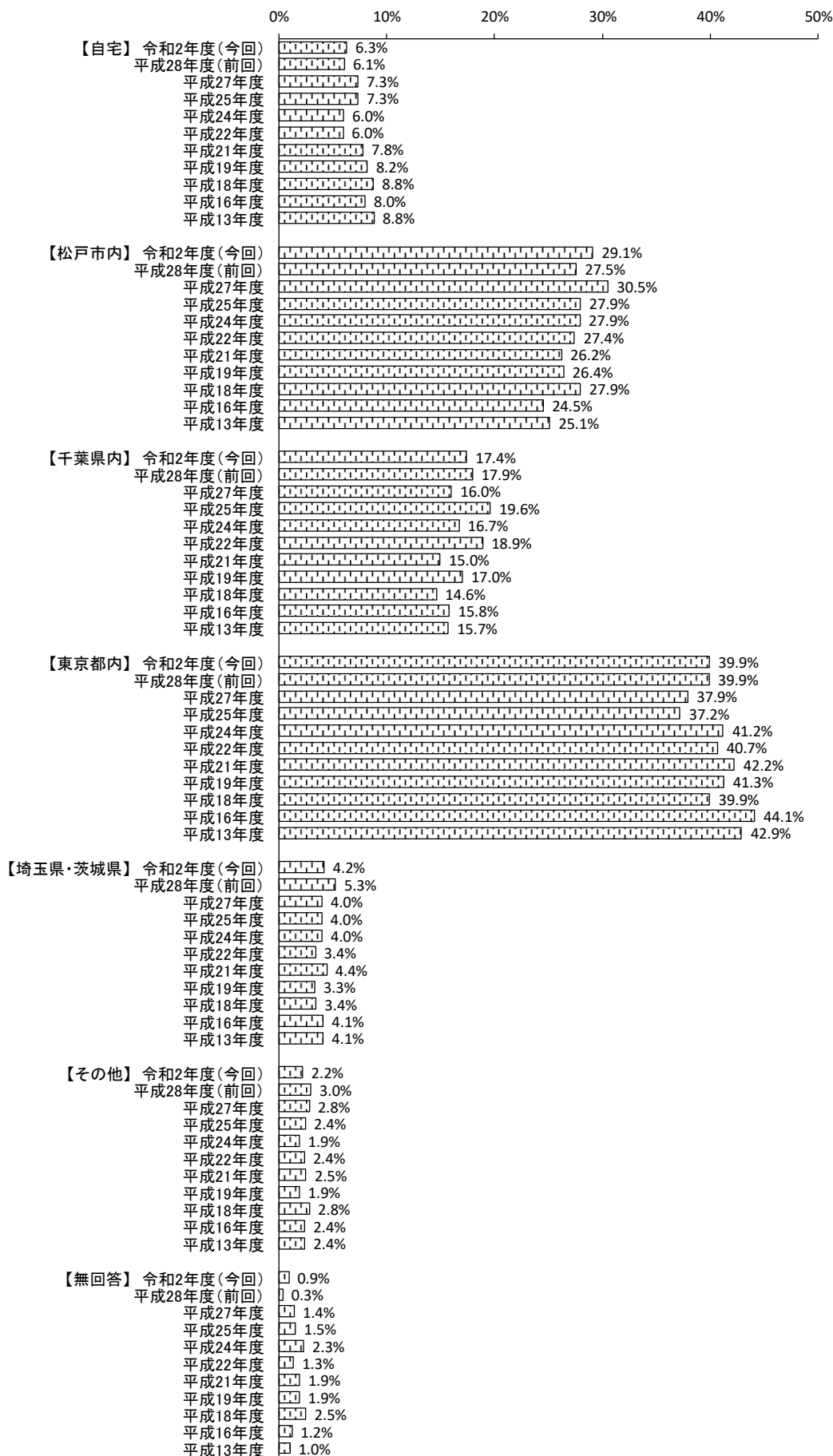
### ① 職業

回答者の職業は、「会社員」(31.6%) が最も高く、次いで「無職」(20.3%)、「専業主婦」(16.5%) となっています。また、「会社員」は平成28年度調査と比べて3.1ポイント増加しています。



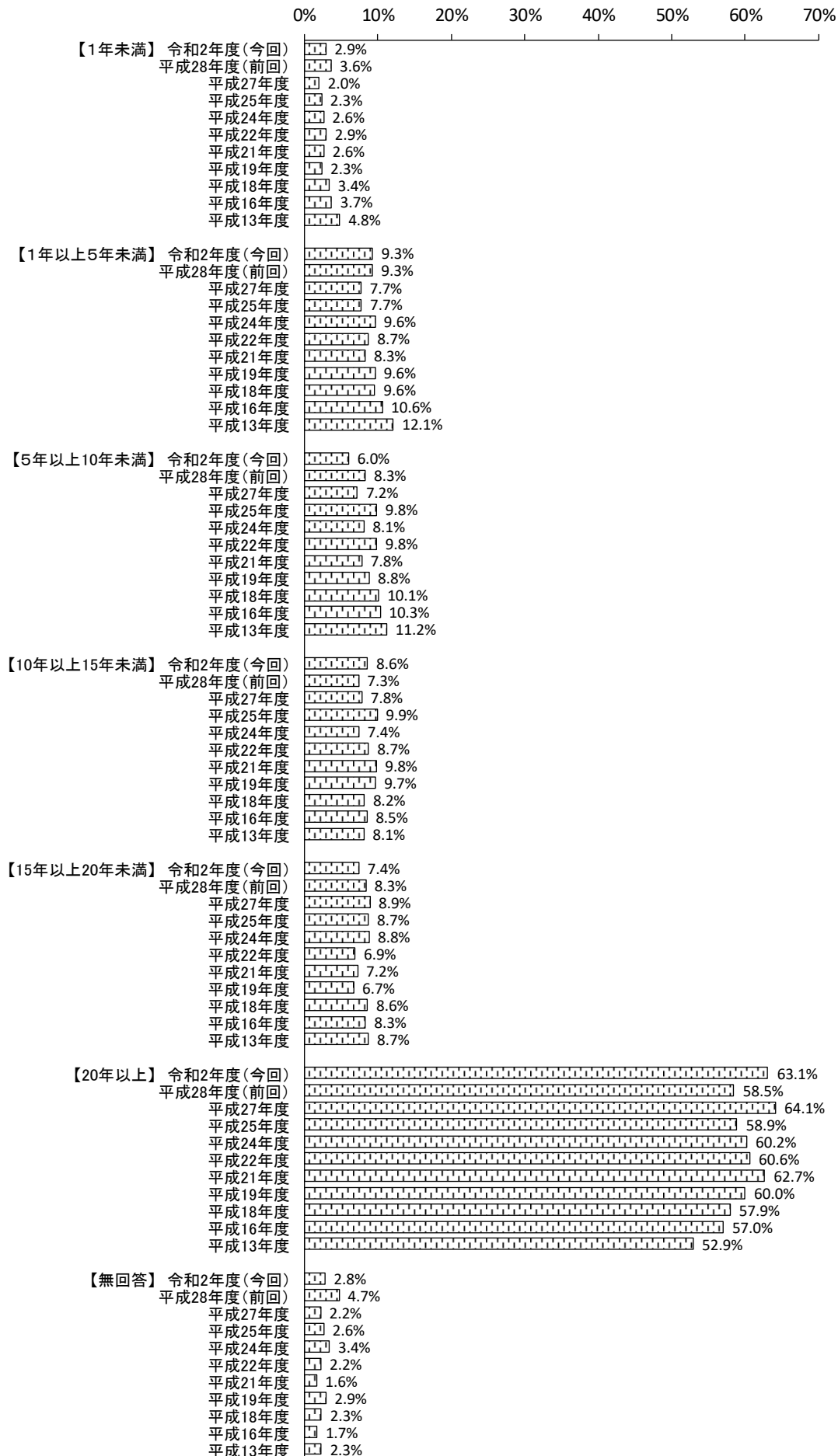
## ② 勤務地・通学地

職業に対する回答で「専業主婦」と「無職」と答えた方を除いた958人に対して、勤務地・通学地を聞いたところ、「東京都内」(39.9%)が最も高く、回答者全体の約4割となっています。次いで「松戸市内(自宅を除く)」(29.1%)、「千葉県内(松戸市を除く)」(17.4%)となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



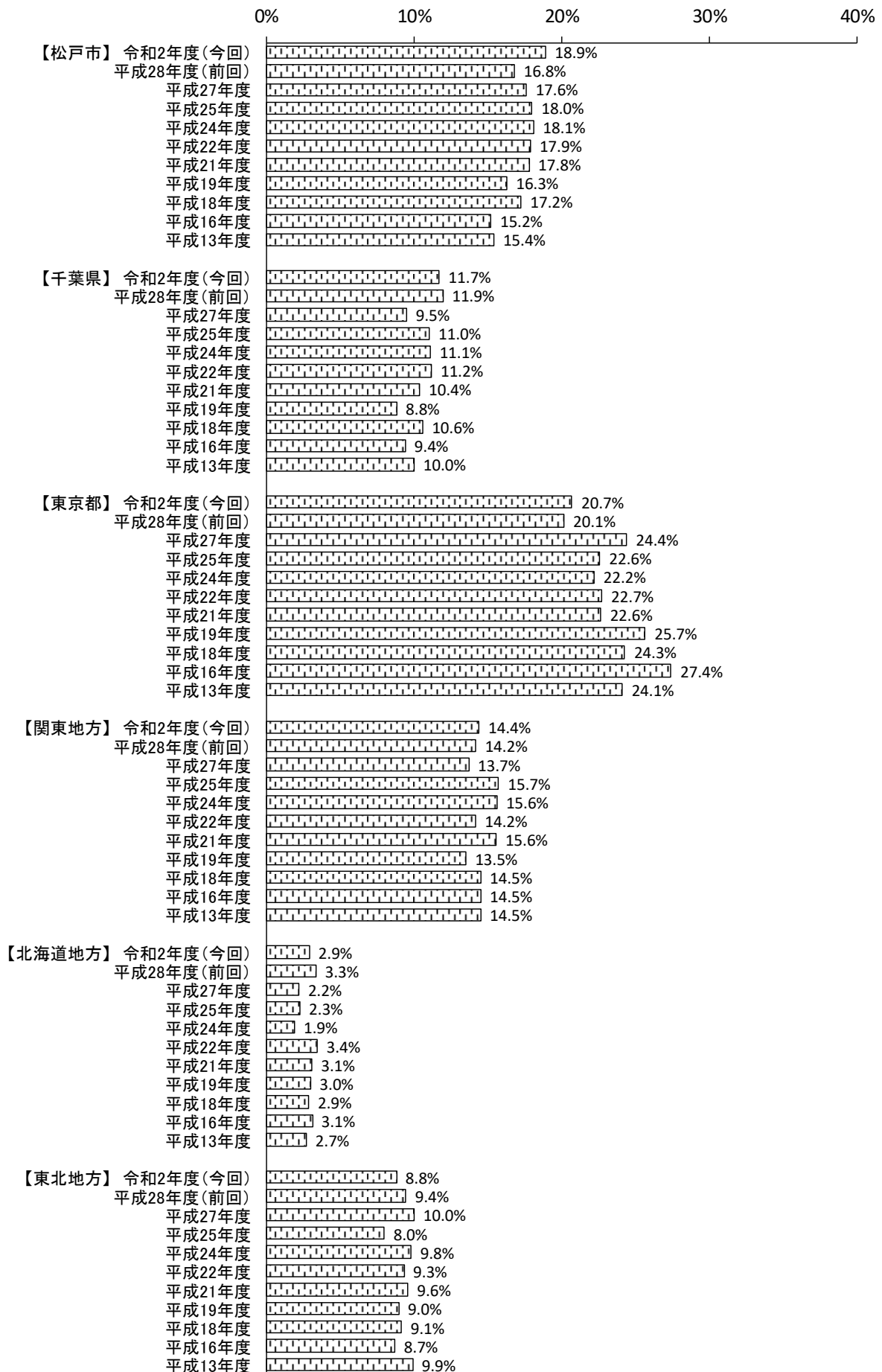
## (5) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」(63.1%)が最も高く、回答者全体の6割を超えており、平成28年度調査と比べて4.6ポイント増加しています。

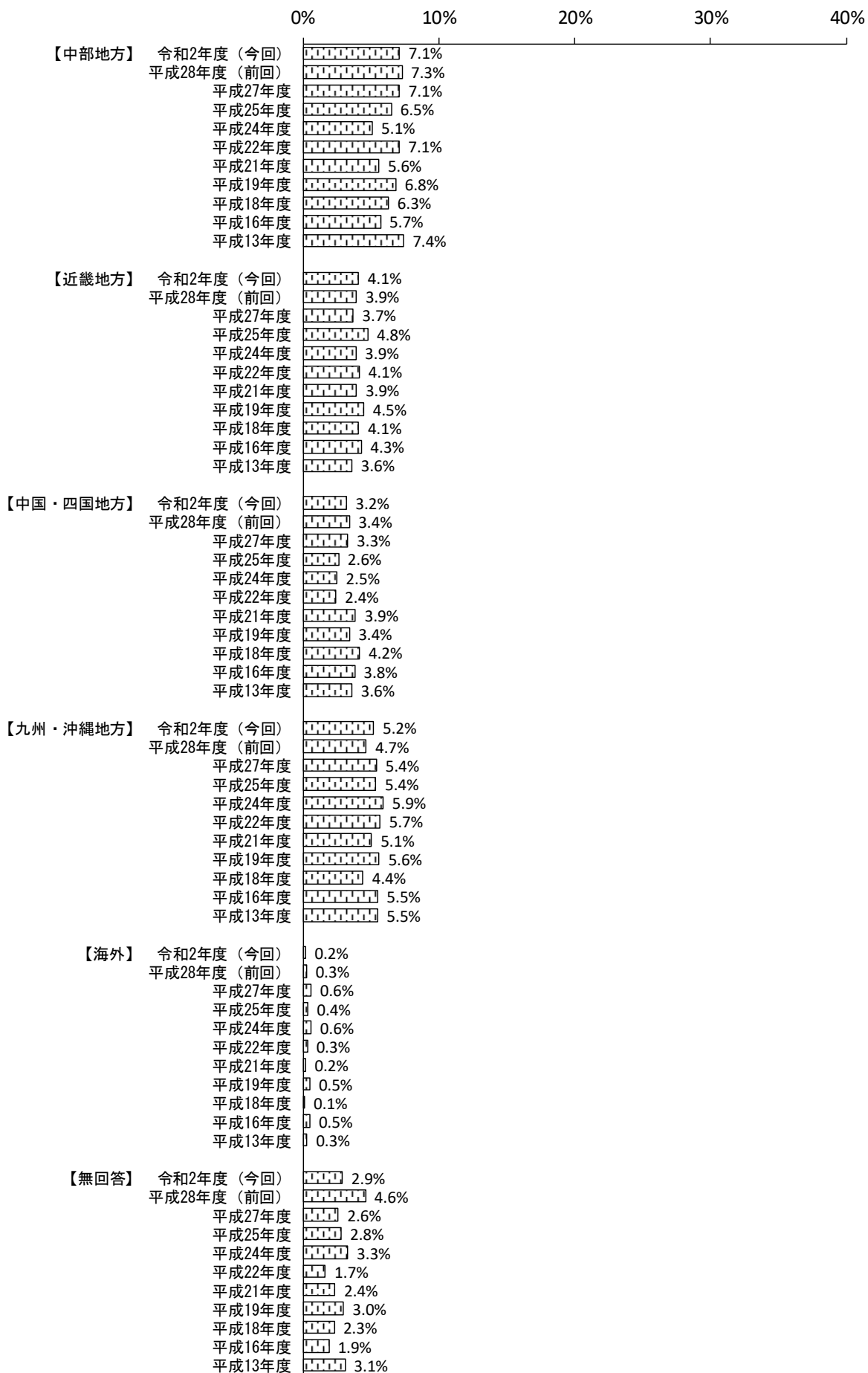


## (6) 出身地

回答者の出身地は、「東京都」(20.7%)が最も高く、次いで「松戸市」(18.9%)、「関東地方(千葉県・東京都を除く)」(14.4%)となっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。

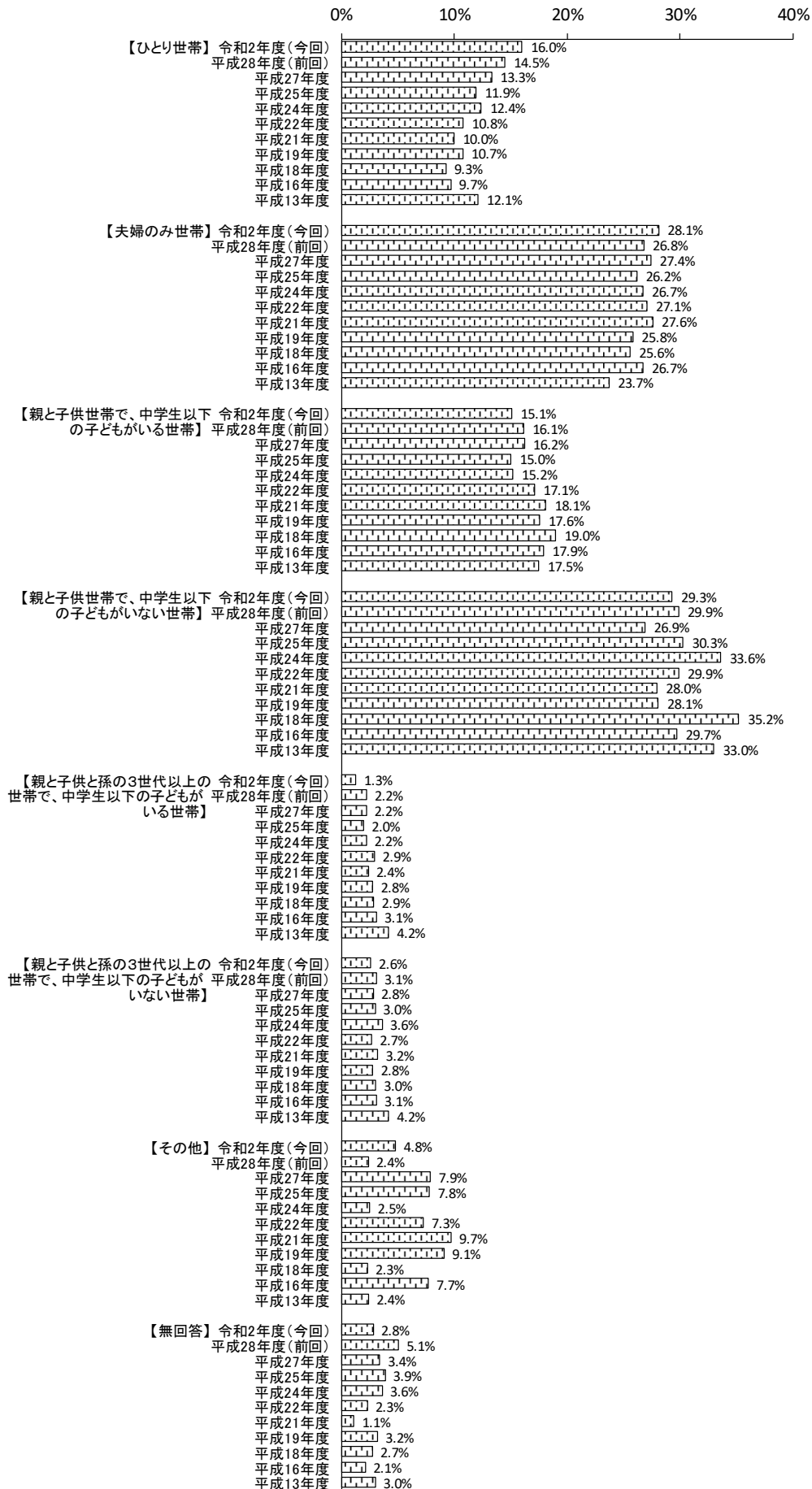






## (7) 家族構成

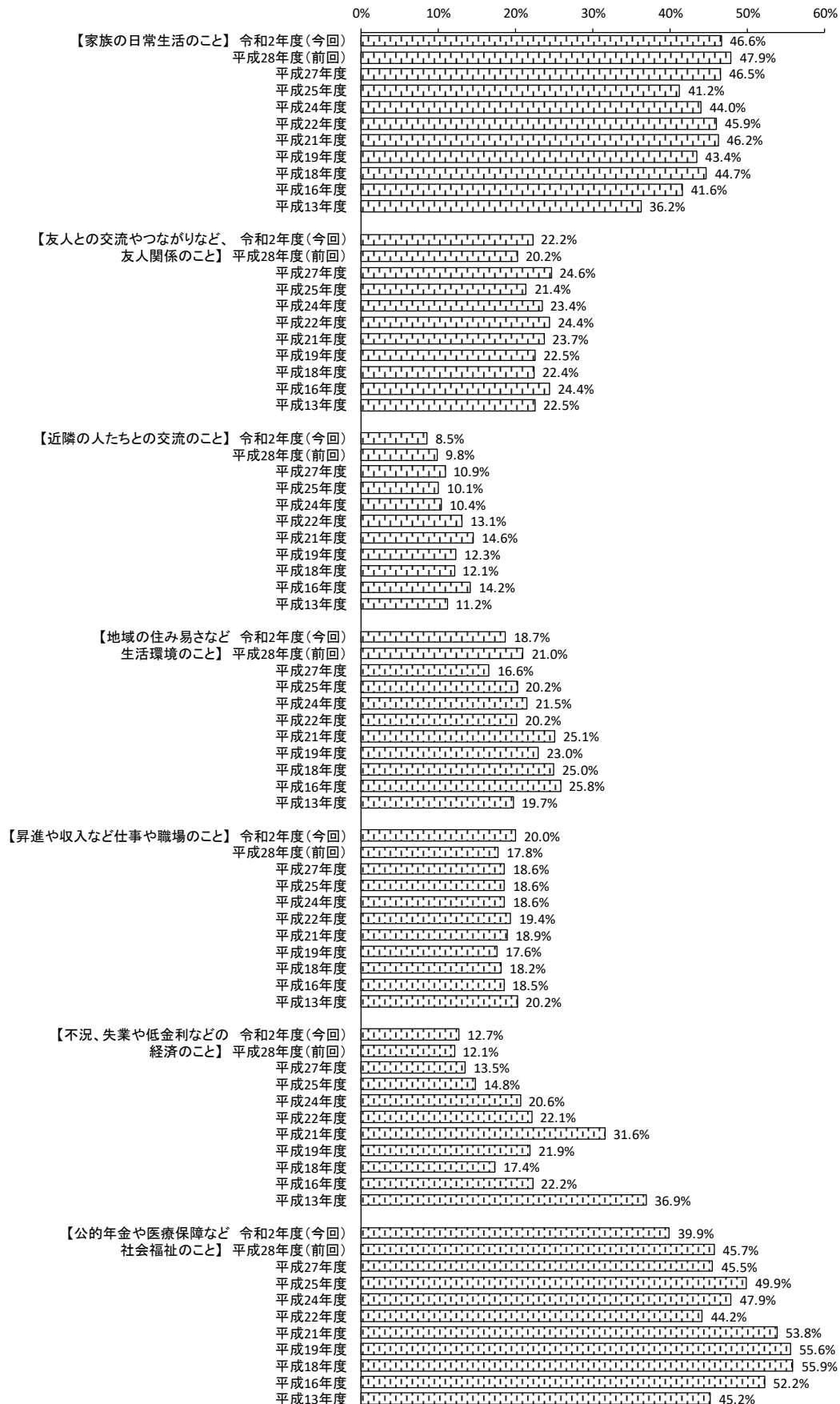
回答者の家族構成は、「親と子供世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯」(29.3%)が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」(28.1%)、「ひとり世帯」(16.0%)となっています。また、「ひとり世帯」は平成25年度調査以降増加傾向を示しています。

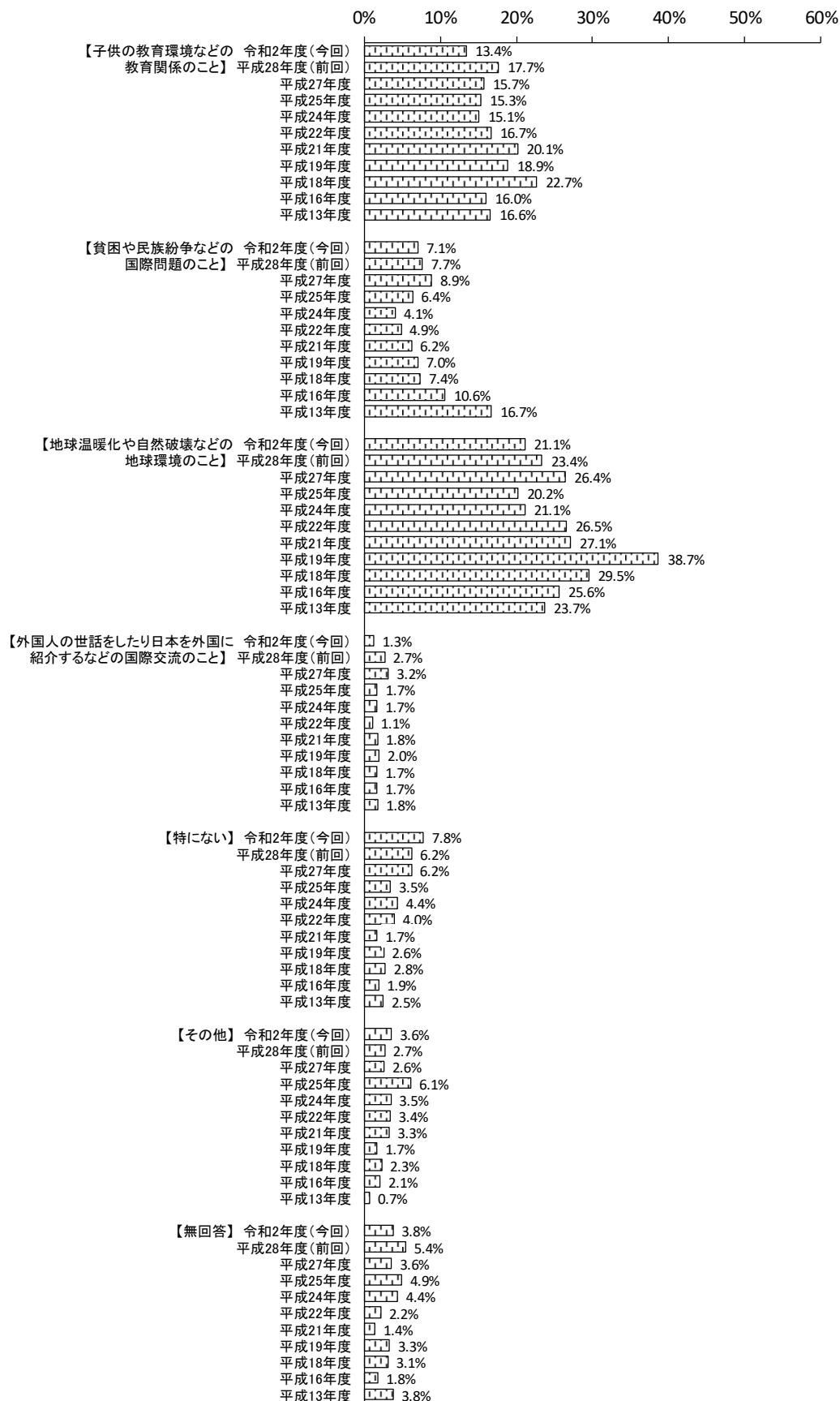


## 2. 回答者の特性

### (1) 興味・関心

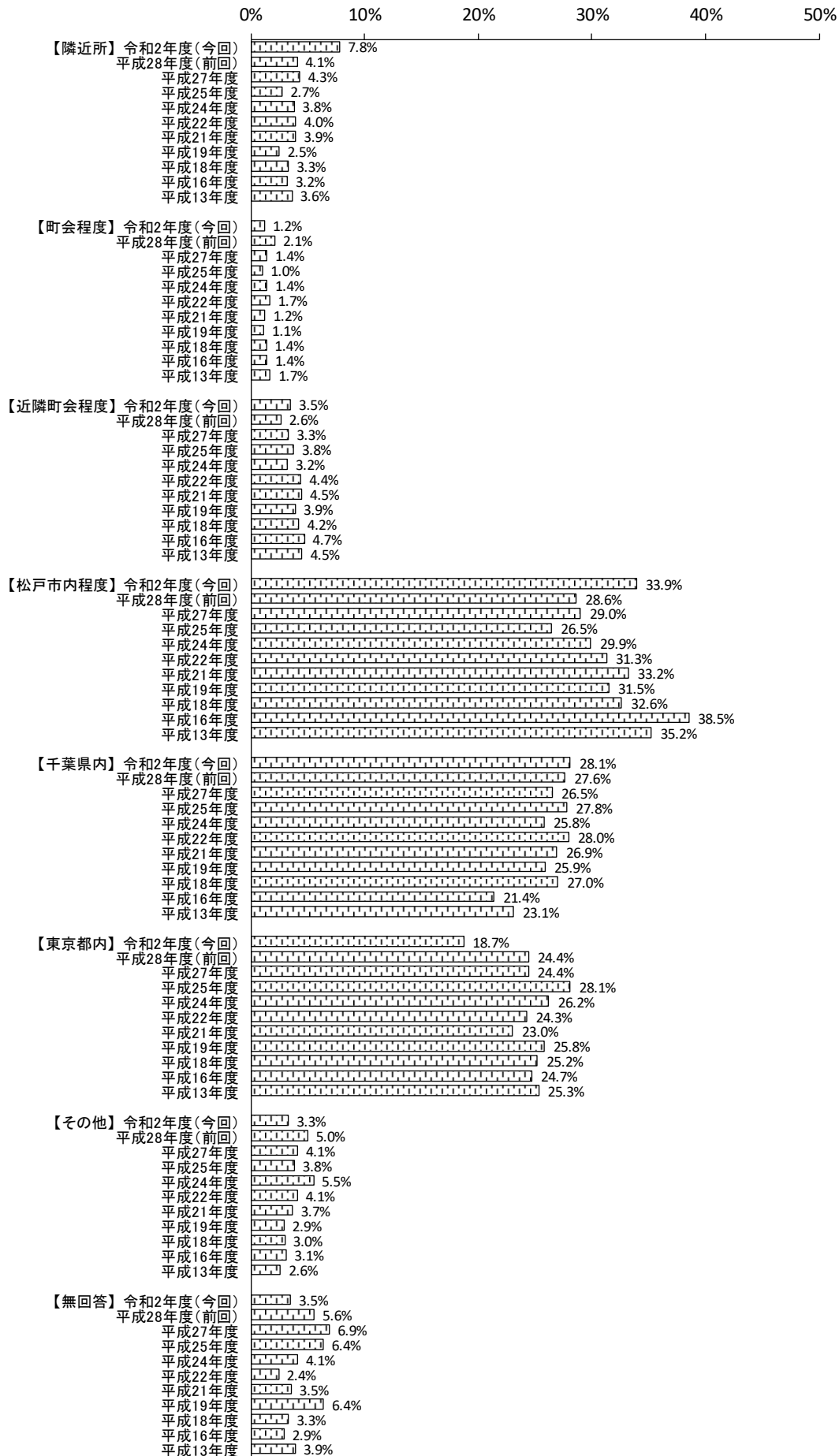
回答者の興味や関心は、「家族の日常生活のこと」(46.6%) が最も高く、次いで「公的年金や医療保障など社会福祉のこと」(39.9%)、「友人との交流やつながりなど、友人関係のこと」(22.2%) となっています。また、「公的年金や医療保障など社会福祉のこと」は平成28年度調査と比べて5.8ポイント減少しています。





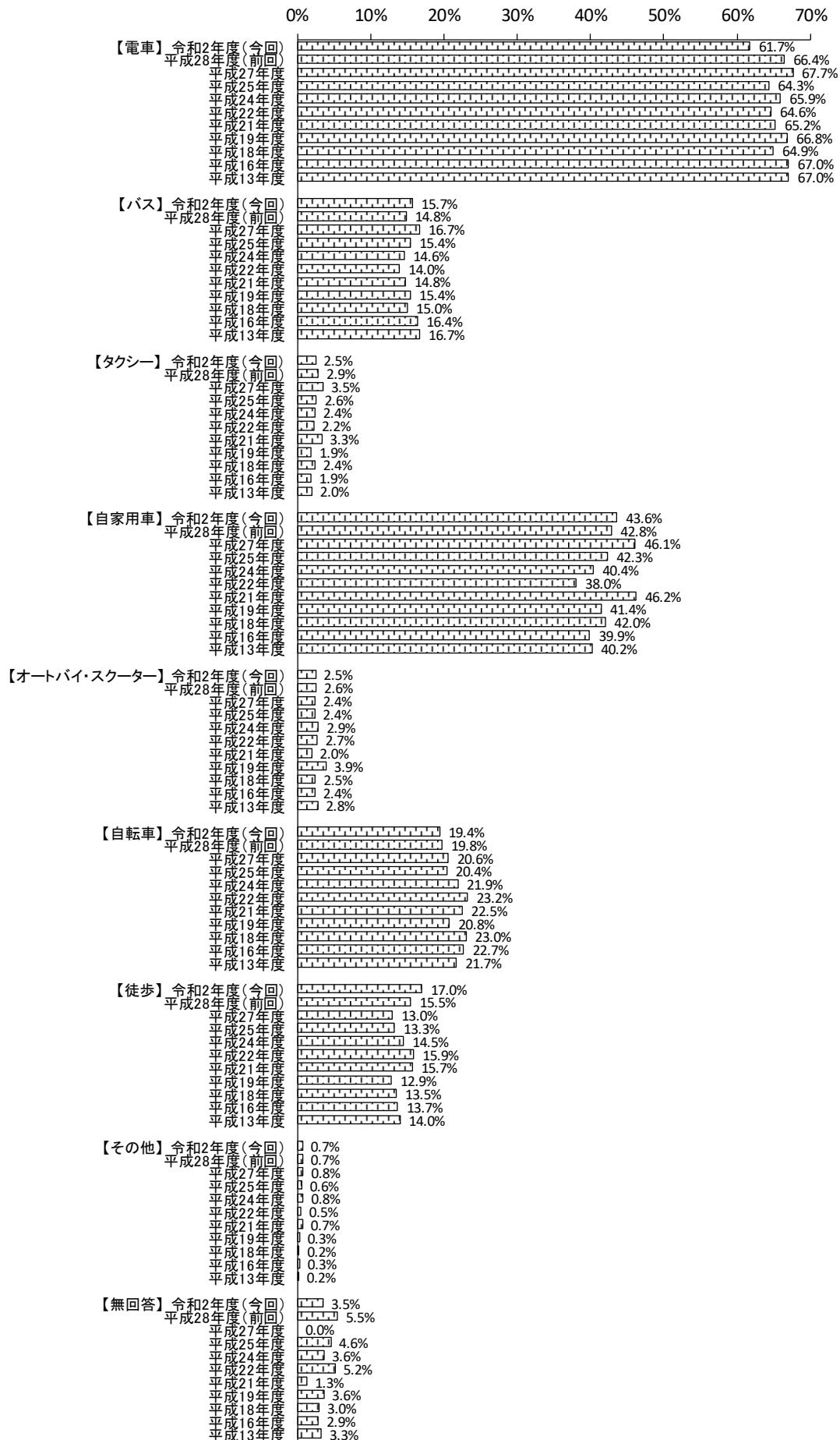
## (2) 日常的な行動範囲

回答者の日常的な行動範囲は、「松戸市内程度」(33.9%)が最も多く、次いで「千葉県内」(28.1%)、「東京都内」(18.7%)となっています。また、「松戸市内程度」は平成28年度調査と比べて5.3ポイント増加し、「東京都内」は平成28年度調査と比べて5.7ポイント減少しています。



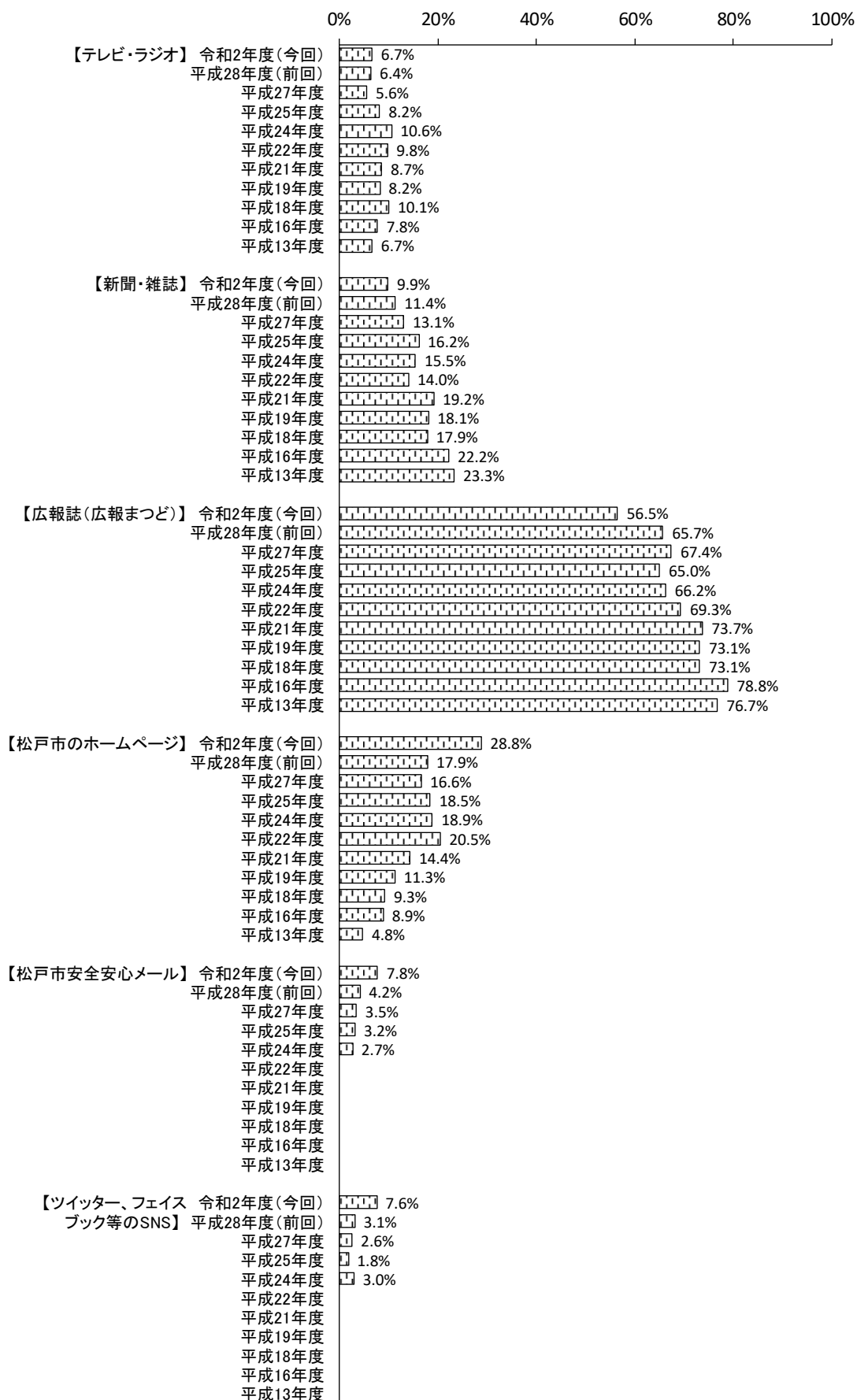
### (3) 主な交通手段

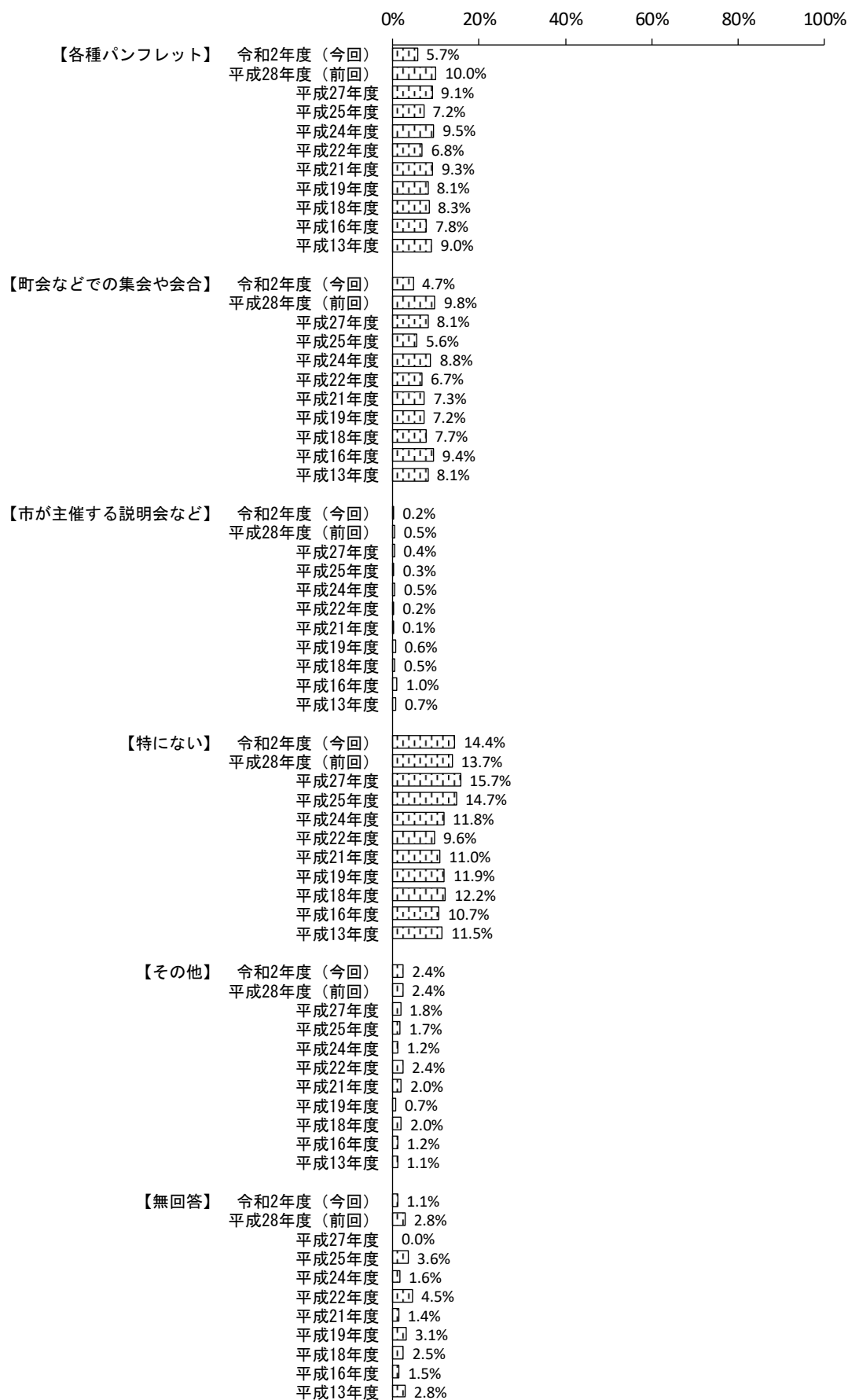
回答者の出かける際に利用する主な交通手段は、「電車」(61.7%) が最も高く、回答者全体の約6割となっています。次いで「自家用車」(43.6%)、「自転車」(19.4%) となっています。また、「電車」は平成28年度調査と比べて4.7ポイント減少しています。



#### (4) 行政情報の入手先

回答者の行政情報の入手先は、「広報誌(広報まつど)」(56.5%)が最も多く、回答者全体の5割を超えています。次いで「松戸市のホームページ」(28.8%)、「新聞・雑誌」(9.9%)となっています。また、「松戸市のホームページ」は平成28年度調査と比べて10.9ポイント増加し、「広報誌(広報まつど)」は平成28年度調査と比べて9.2ポイント減少しています。

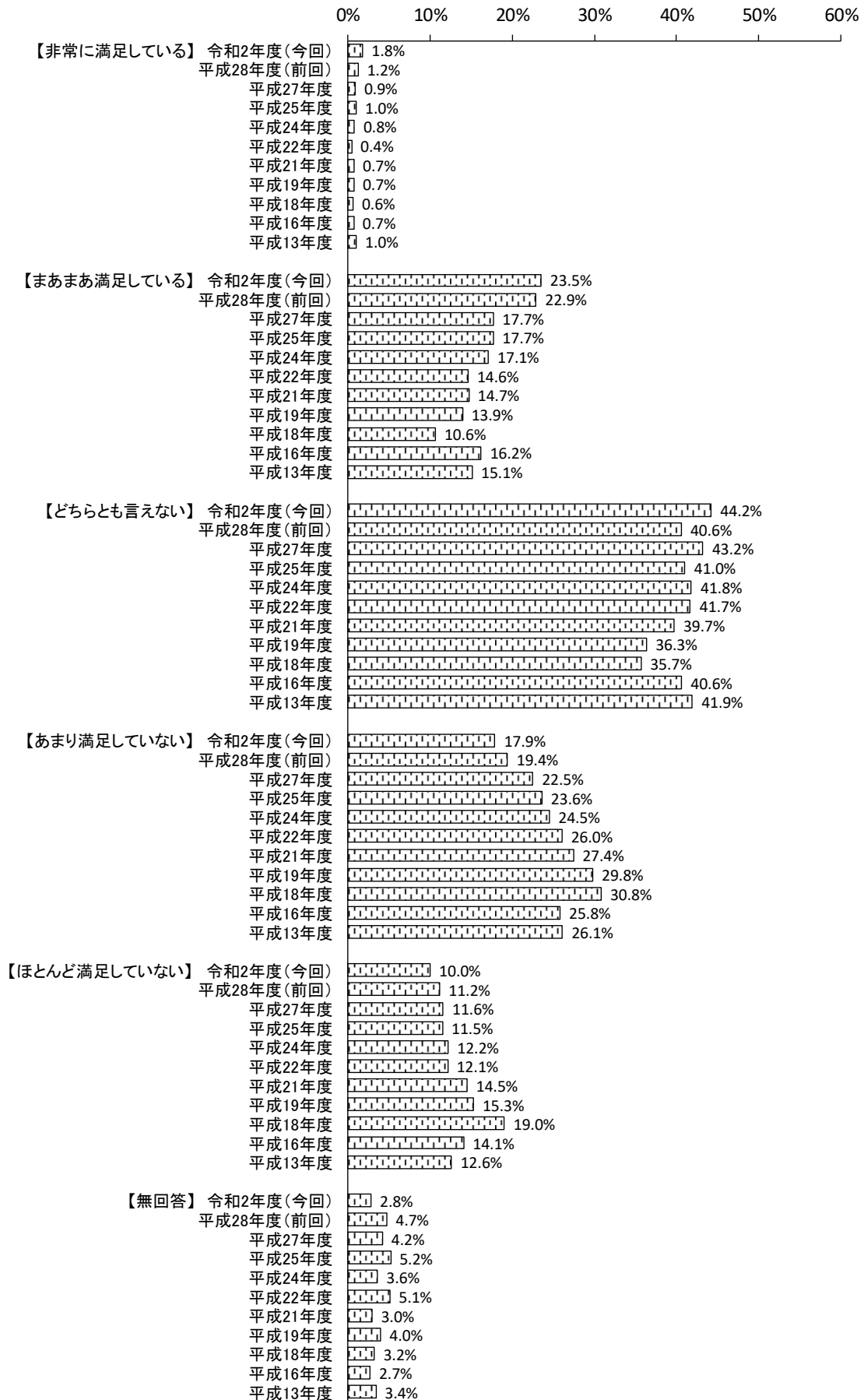






## (5) 行政サービスに対する満足度

回答者の行政サービスに対する満足度は、「どちらとも言えない」(44.2%) が最も高く、平成28年度調査と比べて3.6ポイント増加しています。また、「まあまあ満足している」は平成22年度調査以降増加傾向、「あまり満足していない」は平成18年度調査以降減少傾向を示しています。





## IV 市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」

---

---

---



## IV 市民意識調査に基づく「指標の現状（値）」

### 1. 指標の現状（値）

#### 第1節 連携型地域社会の形成

##### 第1項 市民と行政の協働を推進します

めざしたい将来像：

「市民の自立」「市民や事業者などと行政の対等な関係」をめざす協働のまちづくりを推進し、安全・安心な豊かで、活力のある郷土愛に満ち、市民みんなが誇りに思える”ふるさとまつど”を実現します。そのため、支所など地域拠点の機能を高め、市民同士、市民と行政、行政組織同士などの連携を進めます。また、地域活動（町会・自治会活動、地区社会福祉協議会の活動）、NPO活動、ボランティア活動のそれぞれの活性化を図ります。

《指標》

市民活動（地域活動、NPO活動、ボランティア活動など）に参加している人の割合

#### (1) 指標の説明

市民が、企業、NPO法人、ボランティア団体、町会、自治会などの一員として社会に貢献するという意志をもち、積極的に地域活動に参加している状況を把握するため、市民活動に参加している人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により地域を限定すると共に、積極性を加味し、直接的に聞いています。「社会・行動」

Q6 あなたは日頃、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものがあれば、全てに○をつけてください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 町会・自治会           | 6 企業による奉仕活動       |
| 2 ボランティア団体         | 7 有志・仲間との奉仕活動     |
| 3 PTA              | 8 その他（ ）          |
| 4 NPO法人（特定非営利活動法人） | 9 積極的に参加しているものはない |
| 5 子ども会育成会          |                   |

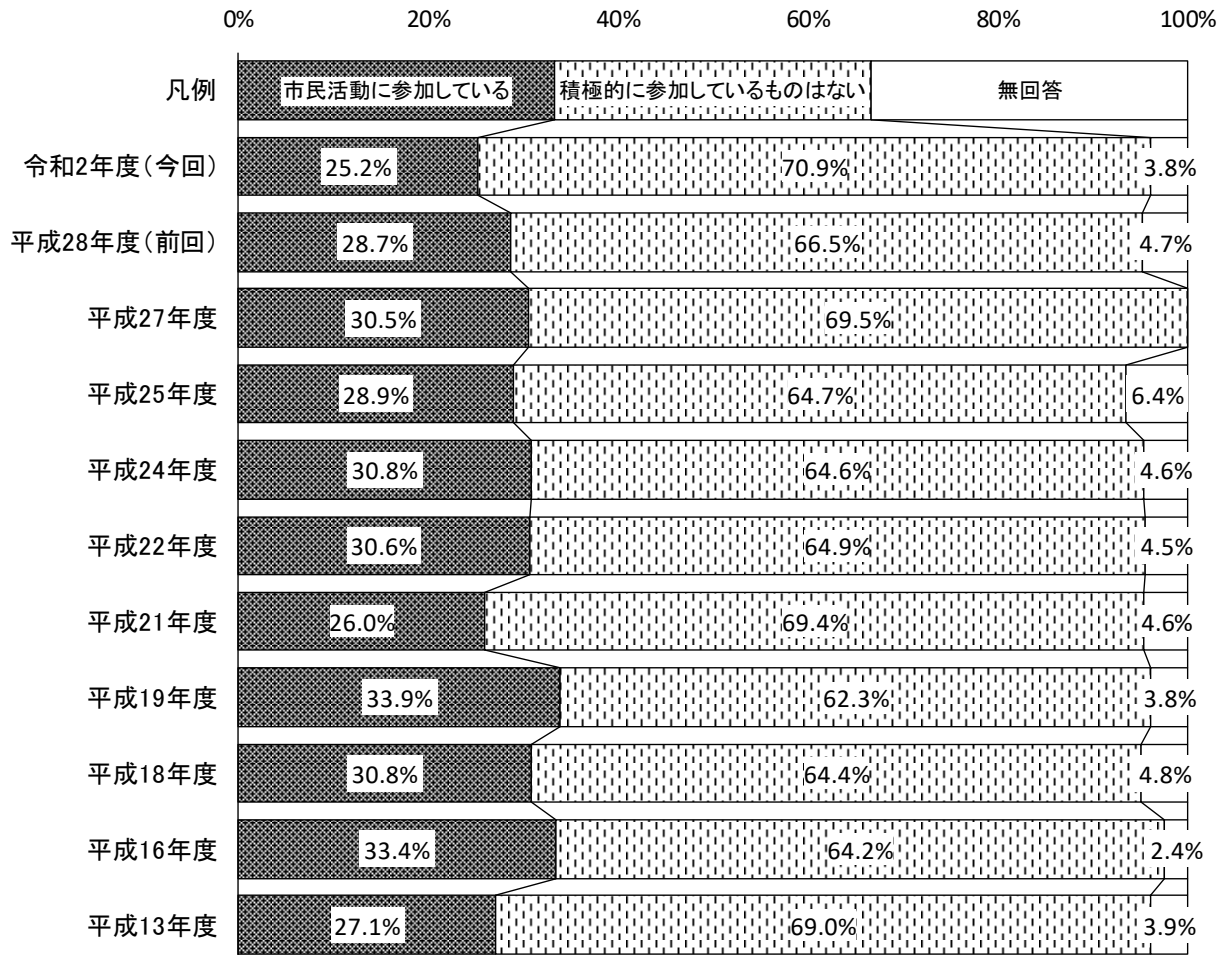
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
市民活動に参加 している	27.1%	33.4%	30.8%	33.9%	26.0%	30.6%	30.8%	28.9%	30.5%	28.7%	25.2%

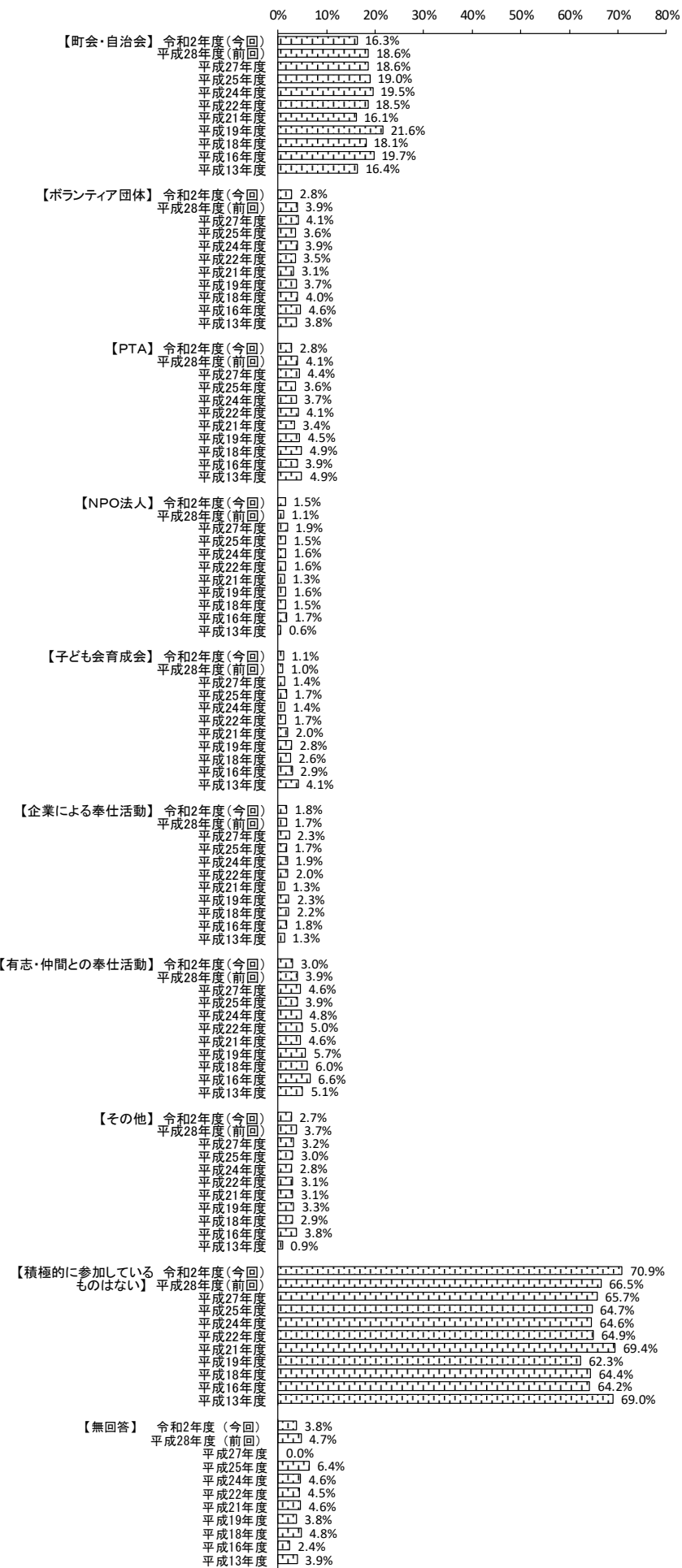
#### (4) 指標の分析

##### ☆市民活動への参加者は2割半ばとなっています

市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、積極的に「参加している」(25.2%)と答えた方は2割台となっており、平成28年度調査と比べて3.5ポイント減少しています。一方、「積極的に参加しているものはない」(70.9%)は約7割となっており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。

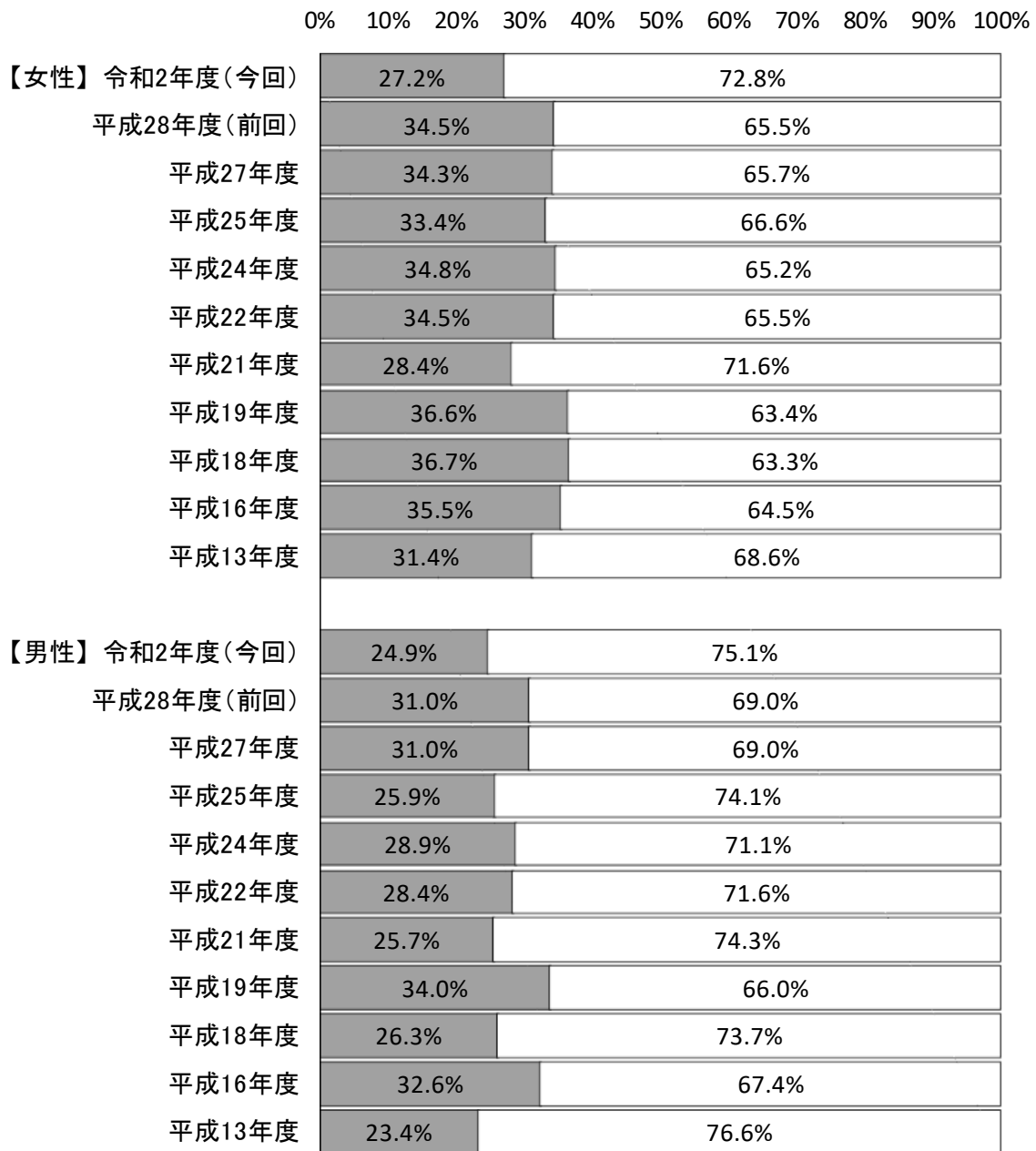


参加している活動の内容をみると、「町会・自治会」(16.3%)が最も高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



<市民活動×性別>

性別でみると、「市民活動に参加している」は“女性”（27.2%）が“男性”（24.9%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて、女性では7.3ポイント、男性では6.1ポイント、それぞれ減少しています。

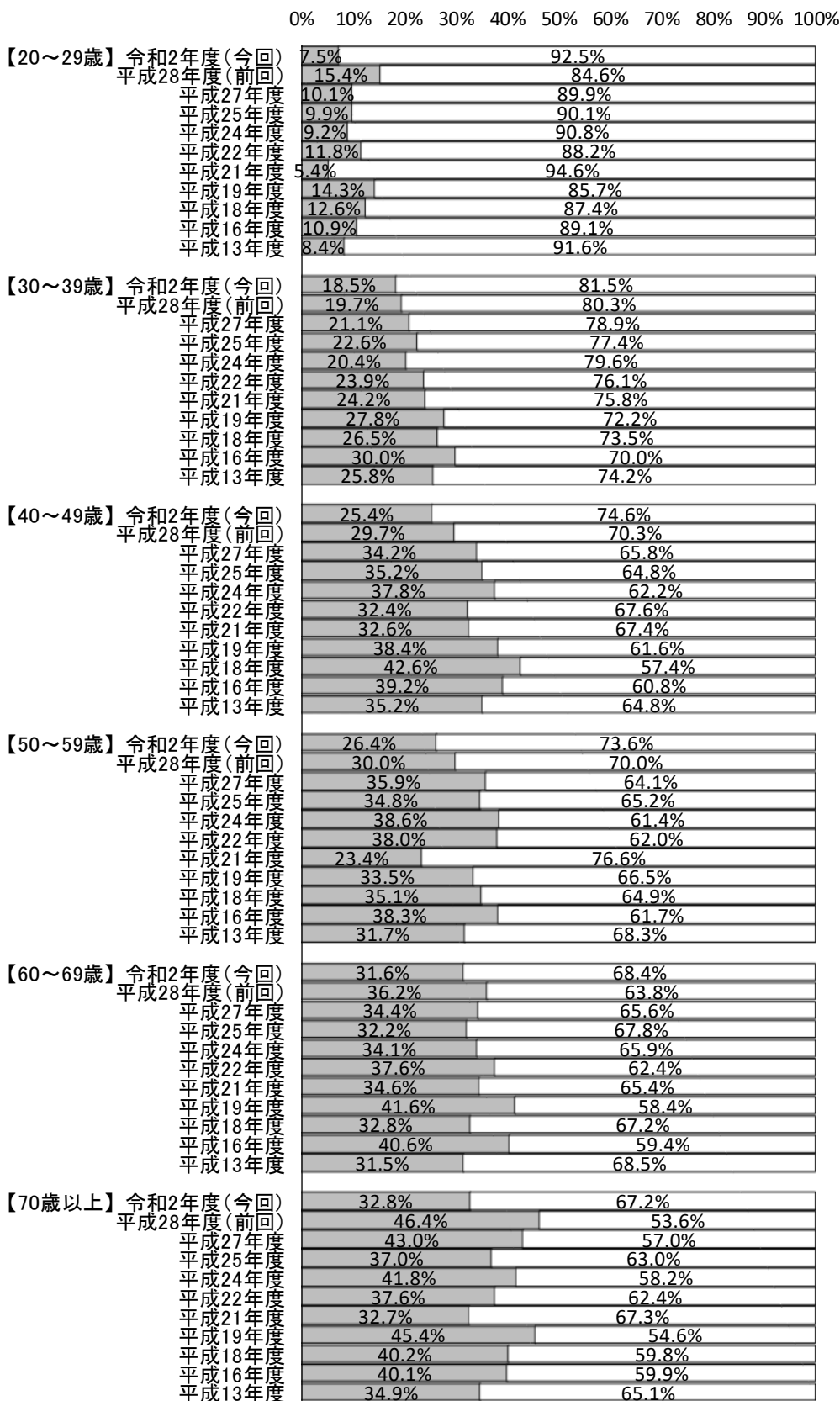


■「市民活動に参加している」の比率 □「積極的に参加しているものはない」の比率



<市民活動×年齢別>

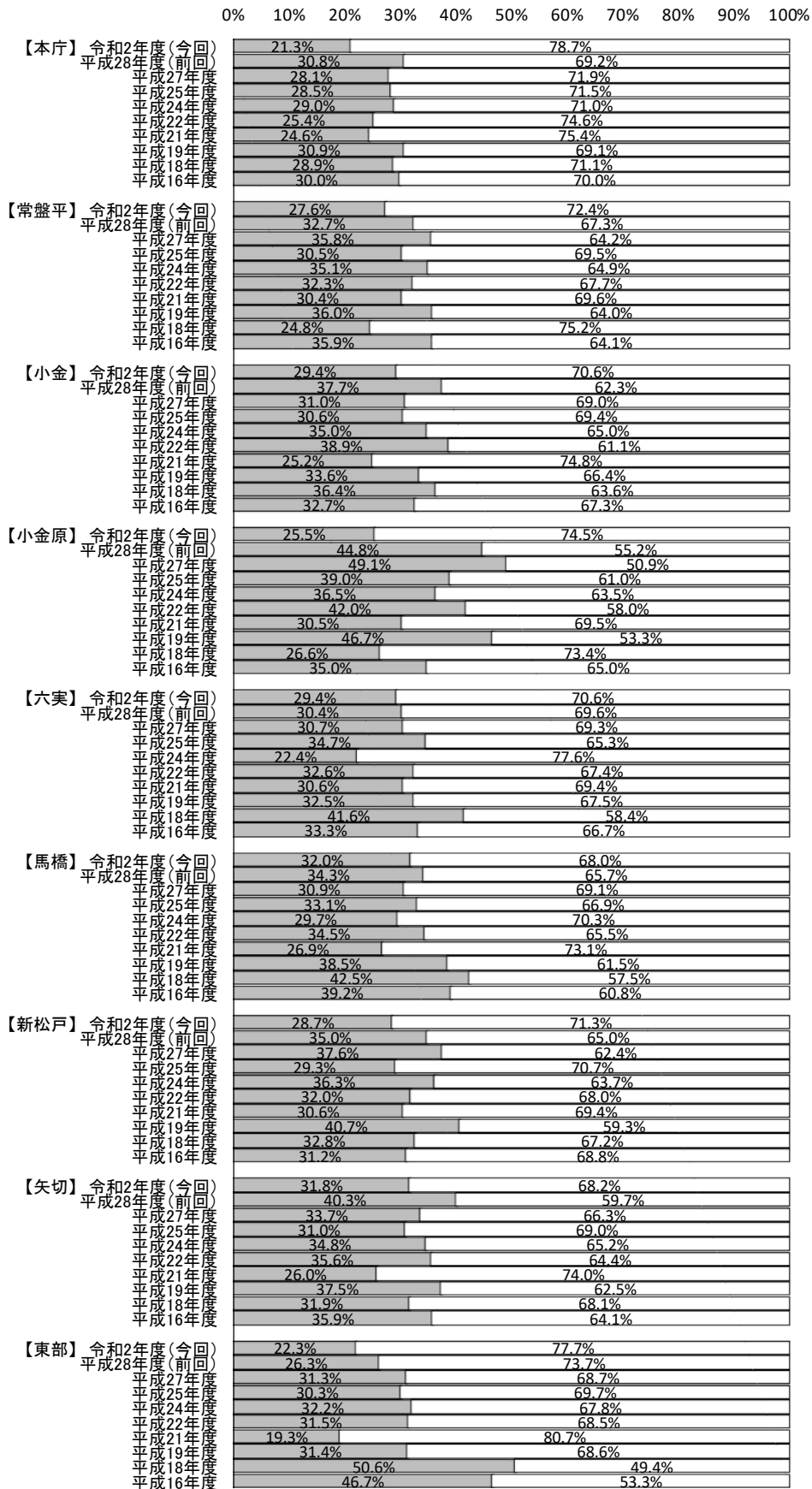
年齢別でみると、「市民活動に参加している」は年代が上がるにつれて割合が高くなっており、“70 歳以上” (32.8%) で最も高くなっています。また、全ての年代で「市民活動に参加している」は平成28年度調査と比べて減少しています。



■「市民活動に参加している」の比率 □「積極的に参加しているものはない」の比率

<市民活動×居住地区別>

居住地区別でみると、「市民活動に参加している」は“馬橋”（32.0%）で最も高く、次いで“矢切”（31.8%）となっています。また、全ての居住地区で「市民活動に参加している」は平成28年度調査と比べて減少しています。

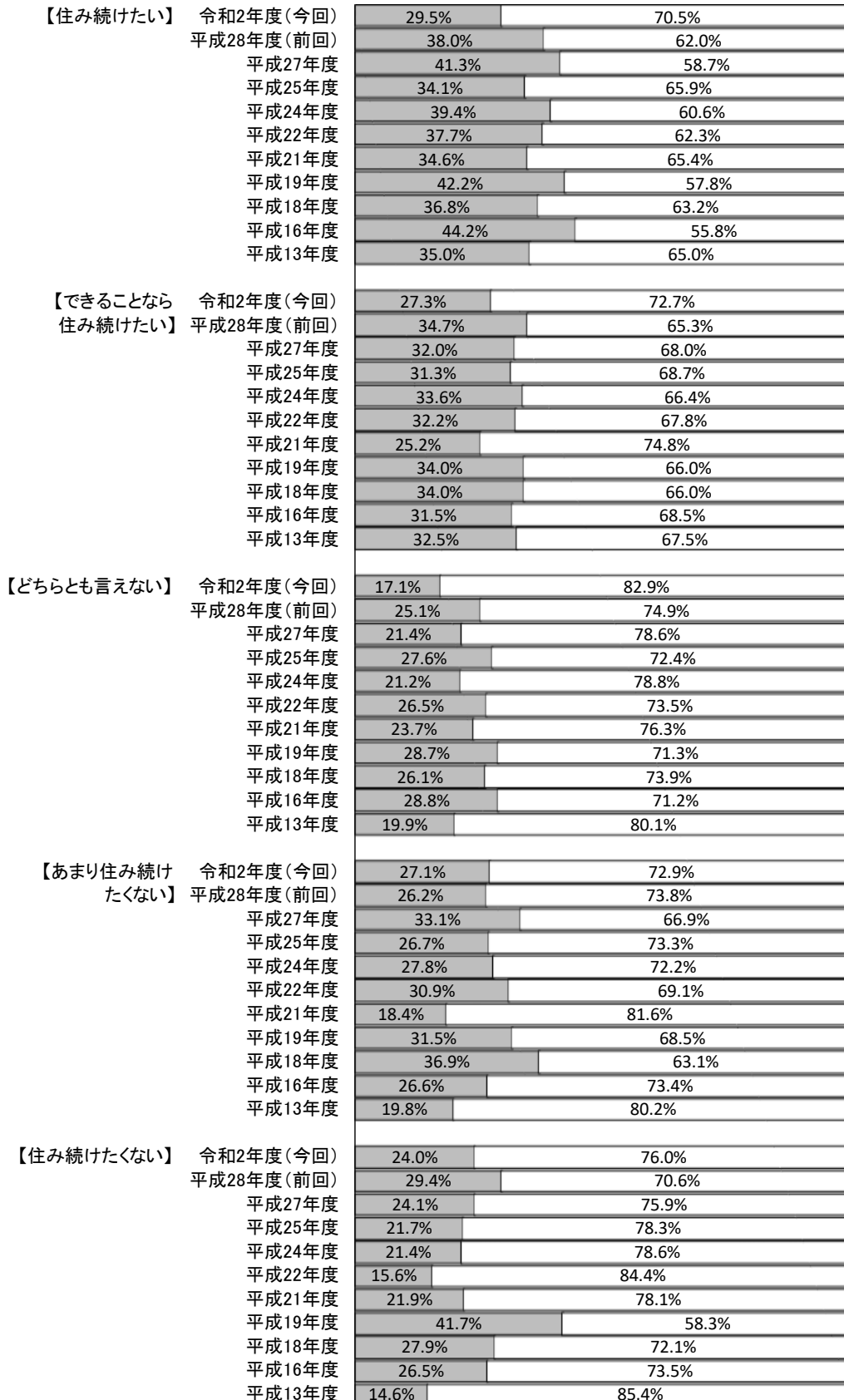


■「市民活動に参加している」の比率 □「積極的に参加しているものはない」の比率

<市民活動×定住意向別>

定住意向別でみると、「市民活動に参加している」は“住み続けたい”（29.5%）、“できることなら住み続けたい”（27.3%）と答えた方が、“あまり住み続けたくない”（27.1%）、“住み続けたくない”（24.0%）と答えた方より高くなっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■「市民活動に参加している」の比率 □「積極的に参加しているものはない」の比率

## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第2項 一人ひとりの人権が尊重される地域社会をつくります

めざしたい将来像：

松戸に住む全ての人々が互いに認め合い、多様な形でかかわりあえる「平等で人間性豊かな地域社会」を、自分たちで創り上げることをめざします。そのために、学習・交流など、様々な活動を心掛けます。

《指標》

身の回りで人権が守られていると思っている人の割合

#### (1) 指標の説明

差別や偏見などに代表される人権問題は、問題を他人ごととして捉えられがちな傾向や、被害にあった方々が声を出しにくい環境などから、その実態を正確なデータとして捉えることは難しい状況にあります。このことから、身の回りで人権が守られていると思っている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「社会・態度（認知）」

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じることがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |            |              |             |
|------------|--------------|-------------|
| 1 女性の人権問題  | 4 障害者の人権問題   | 7 患者の人権問題   |
| 2 子どもの人権問題 | 5 同和問題       | 8 その他( )    |
| 3 高齢者の人権問題 | 6 外国籍市民の人権問題 | 9 人権問題は特にない |

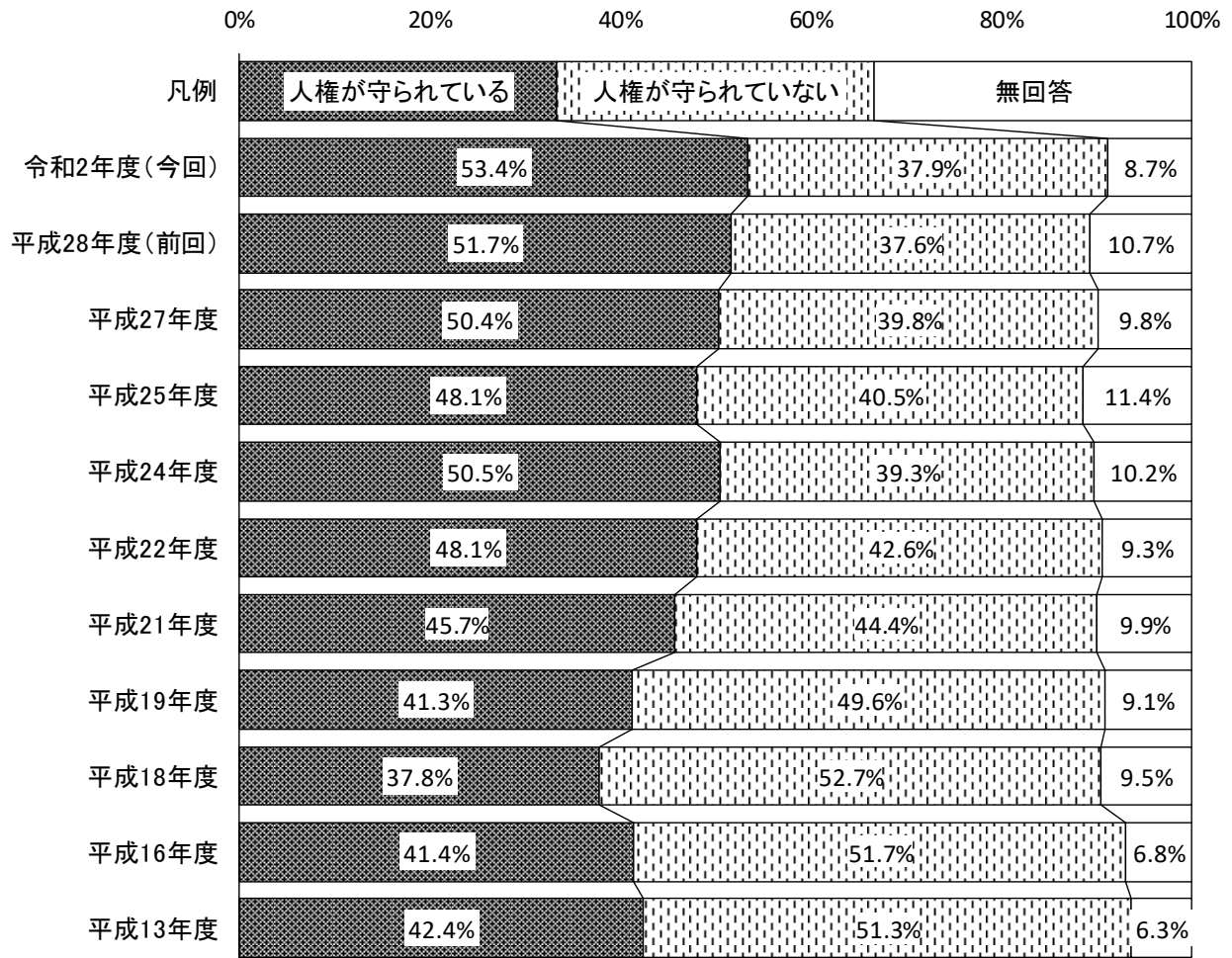
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
人権が守られている	42.4%	41.4%	37.8%	41.3%	45.7%	48.1%	50.5%	48.1%	50.4%	51.7%	53.4%

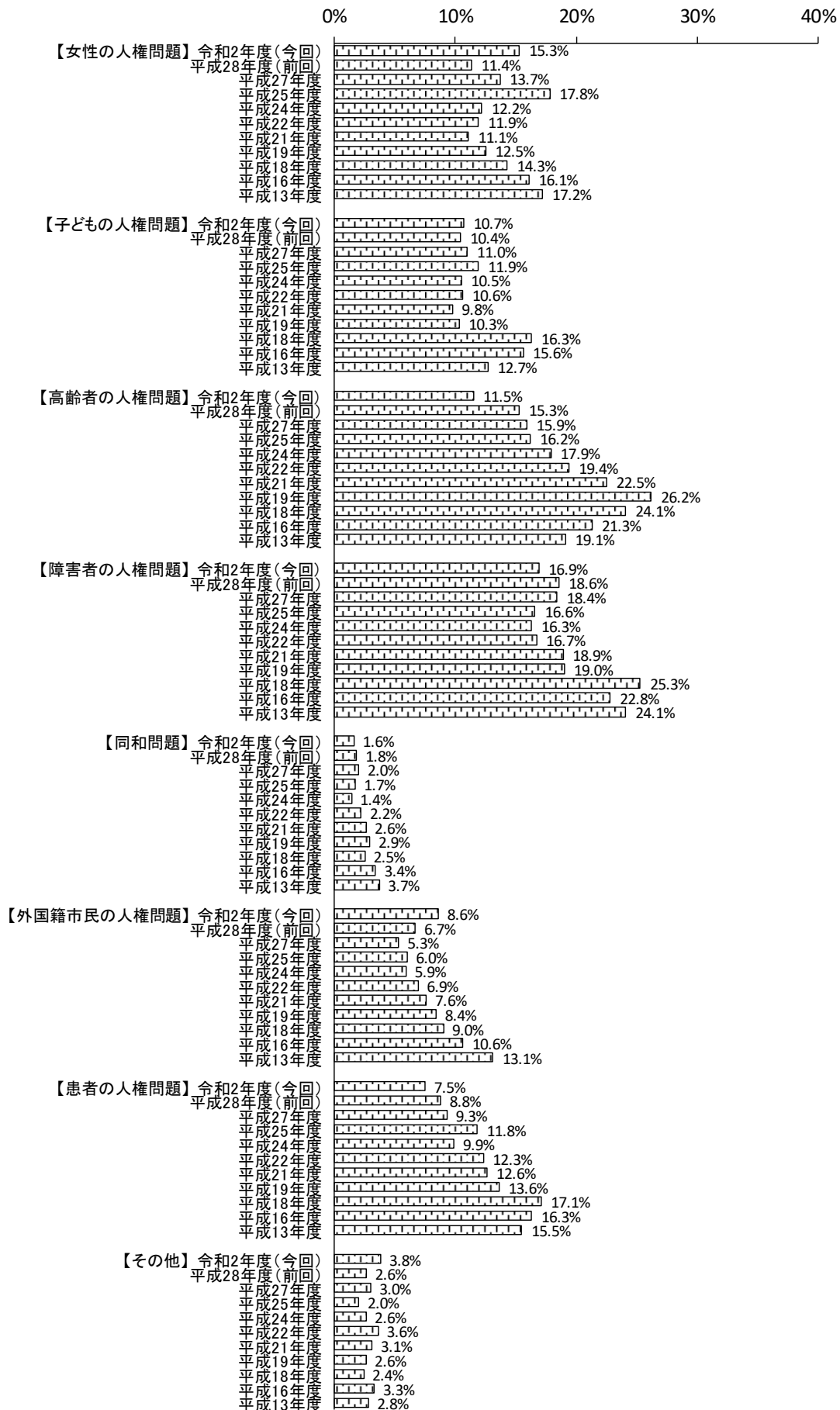
#### (4) 指標の分析

☆半数以上が人権が守られていると評価しており、平成25年度以降増加傾向を示しています

「人権が守られている」(53.4%)と答えた方は5割を超えており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。

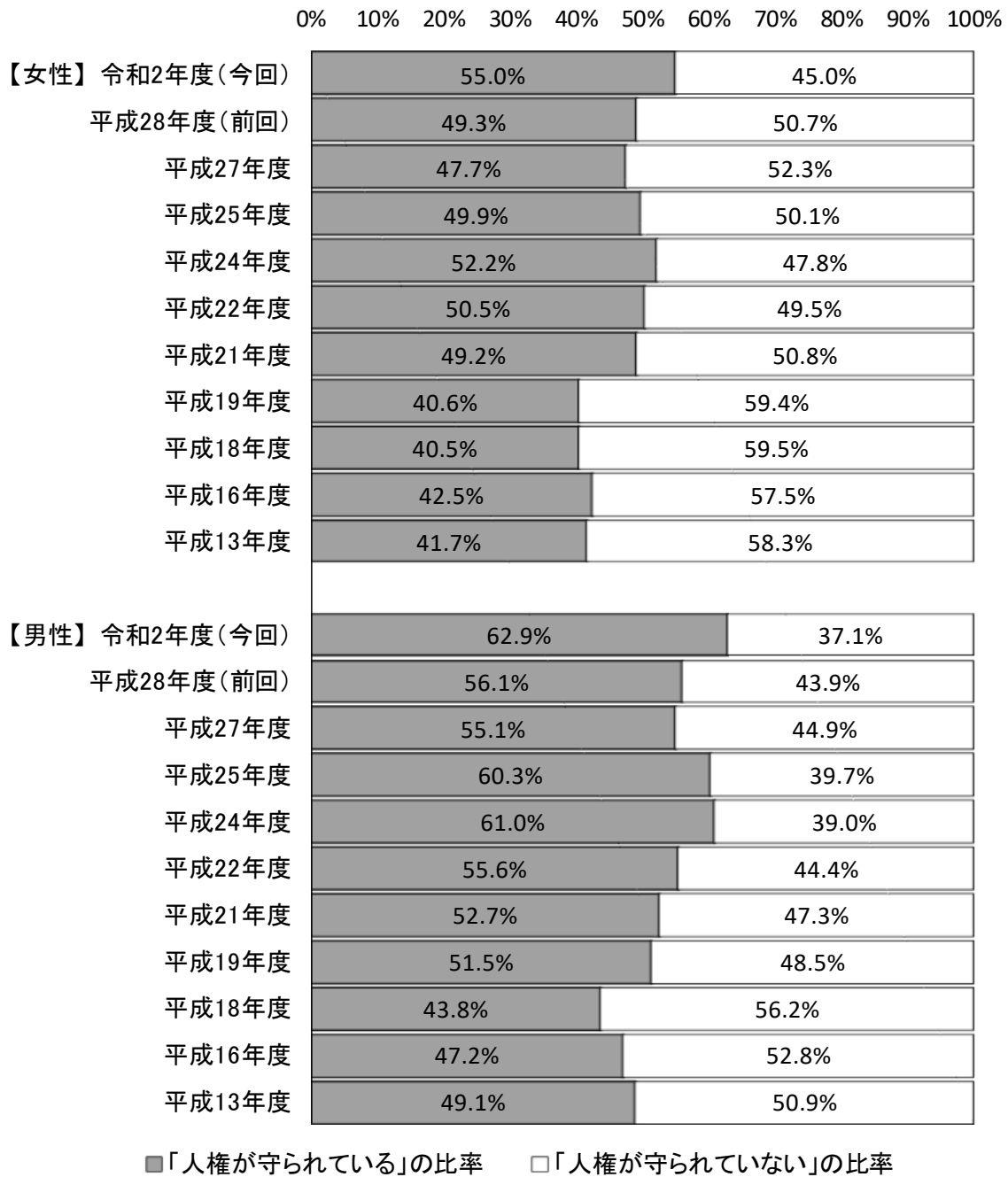


人権が守られていないと日頃感じることは、「障害者の人権問題」(16.9%)が最も高く、次いで「女性の人権問題」(15.3%)、「高齢者の人権問題」(11.5%)となっています。また、平成28年度調査と比べて、「女性の人権問題」は3.9ポイント増加し、「高齢者の人権問題」は3.8ポイント減少しています。



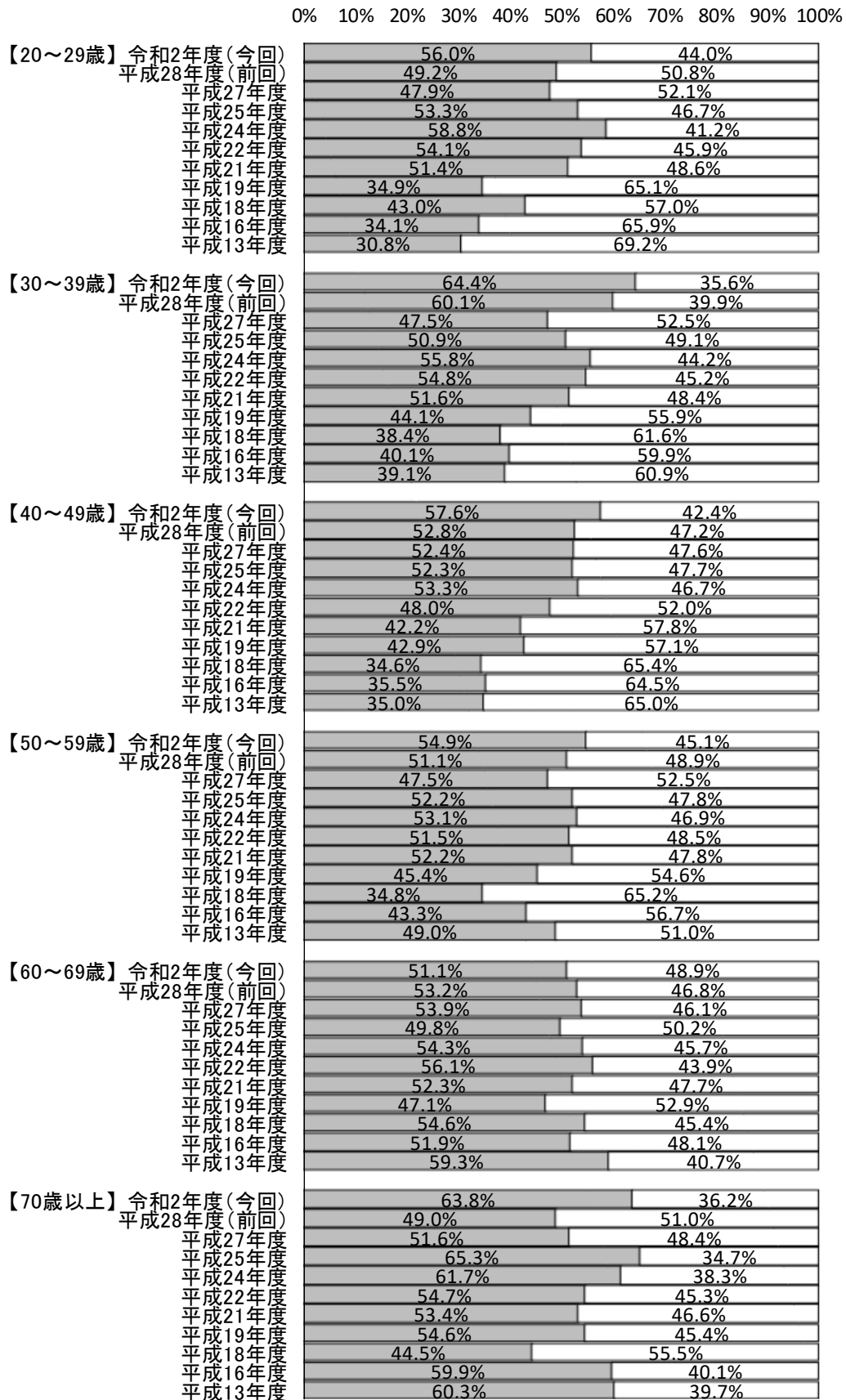
<人権問題×性別>

性別で見ると、「人権が守られている」は“男性”（62.9%）が“女性”（55.0%）より高くなっており、男女ともに平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<人権問題×年齢別>

年齢別でみると、「人権が守られている」は“30～39歳”（64.4%）で最も高く、次いで“70歳以上”（63.8%）となっています。また、“60～69歳”を除く全ての年代で「人権が守られている」は平成28年度調査と比べて増加しています。



■「人権が守られている」の比率 □「人権が守られていない」の比率



## 第1節 連携型地域社会の形成

### 第3項 男女共同参画の地域社会をつくります

めざしたい将来像：

男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。

《指標》

固定的性別役割分担を支持しない人の割合

#### (1) 指標の説明

固定的な男女の役割意識が払拭されていくことで、家庭環境、社会環境が改善され、性別に係わらず役割が今以上に選択できるようになると考えられます。そこで、固定的性別役割分担を支持しない人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度（認知）」

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感するほうですか、それとも同感しないほうですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 同感するほう    | 3 同感しないほう |
| 2 どちらともいえない | 4 わからない   |

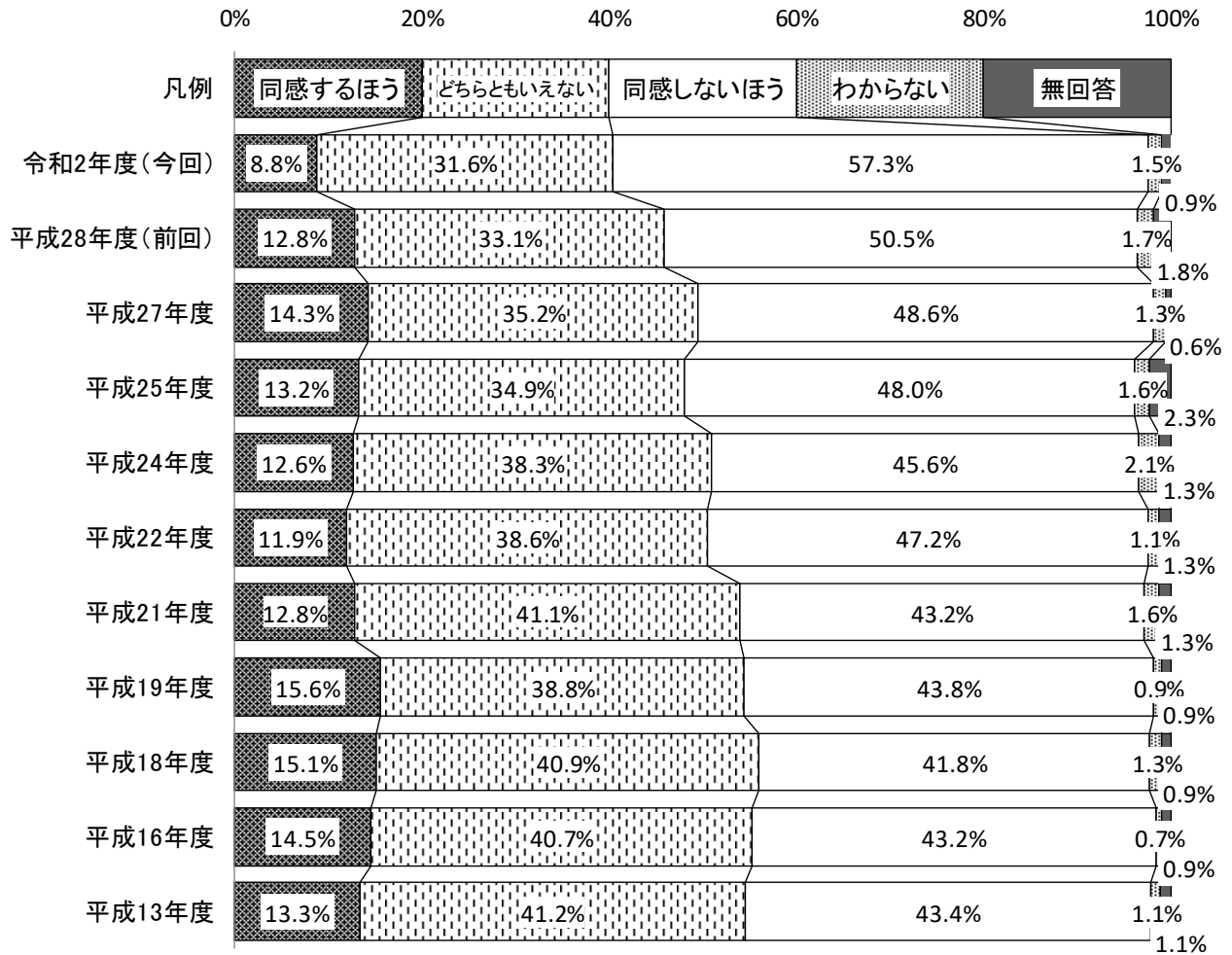
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
同感しないほう	43.4%	43.2%	41.8%	43.8%	43.2%	47.2%	45.6%	48.0%	48.6%	50.5%	57.3%

(4) 指標の分析

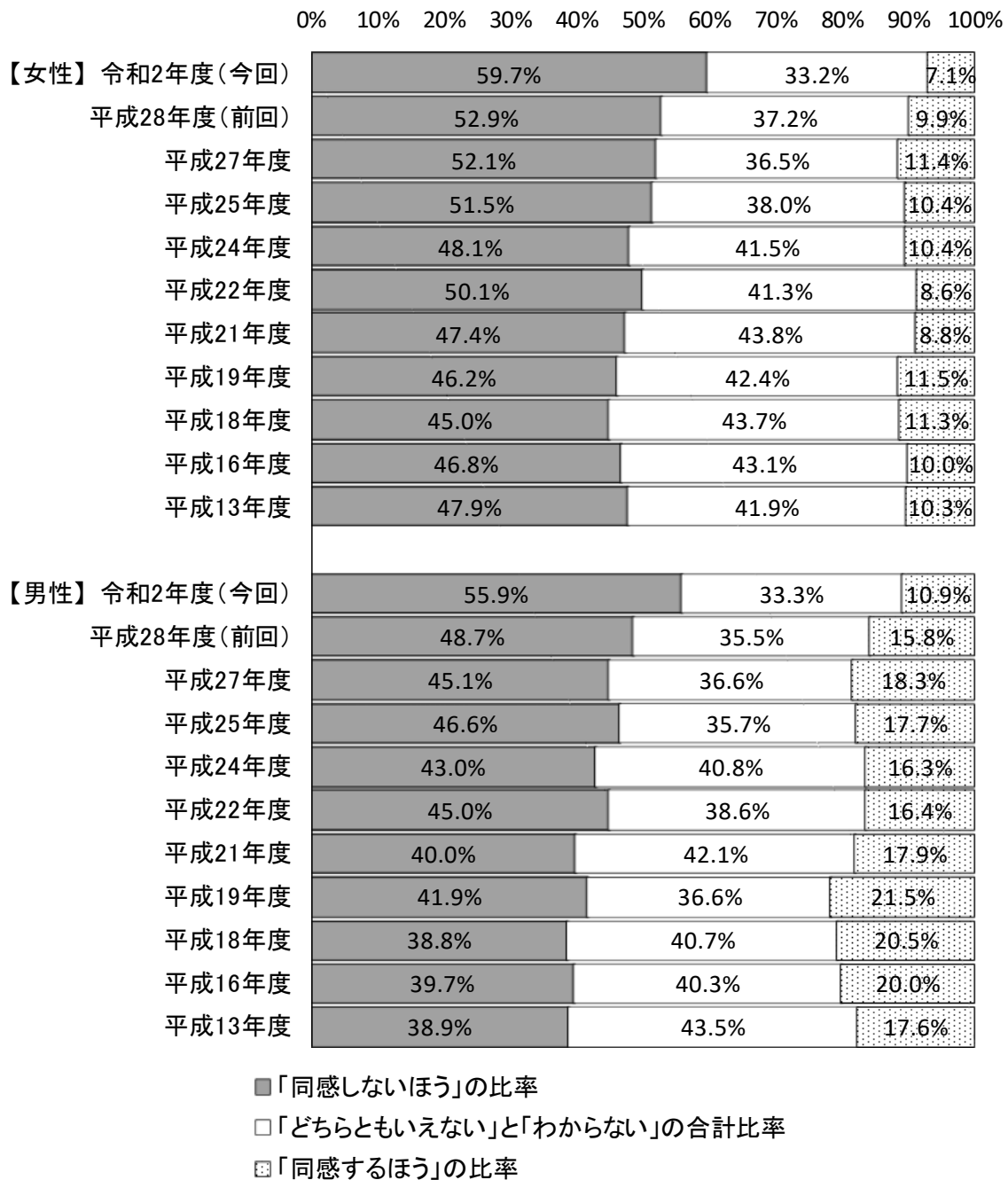
☆性別による役割固定を支持しない人は、平成24年度以降増加傾向を示しています

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感しないほう」(57.3%)が「同感するほう」(8.8%)より大幅に高くなっています。また、「同感しないほう」は平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



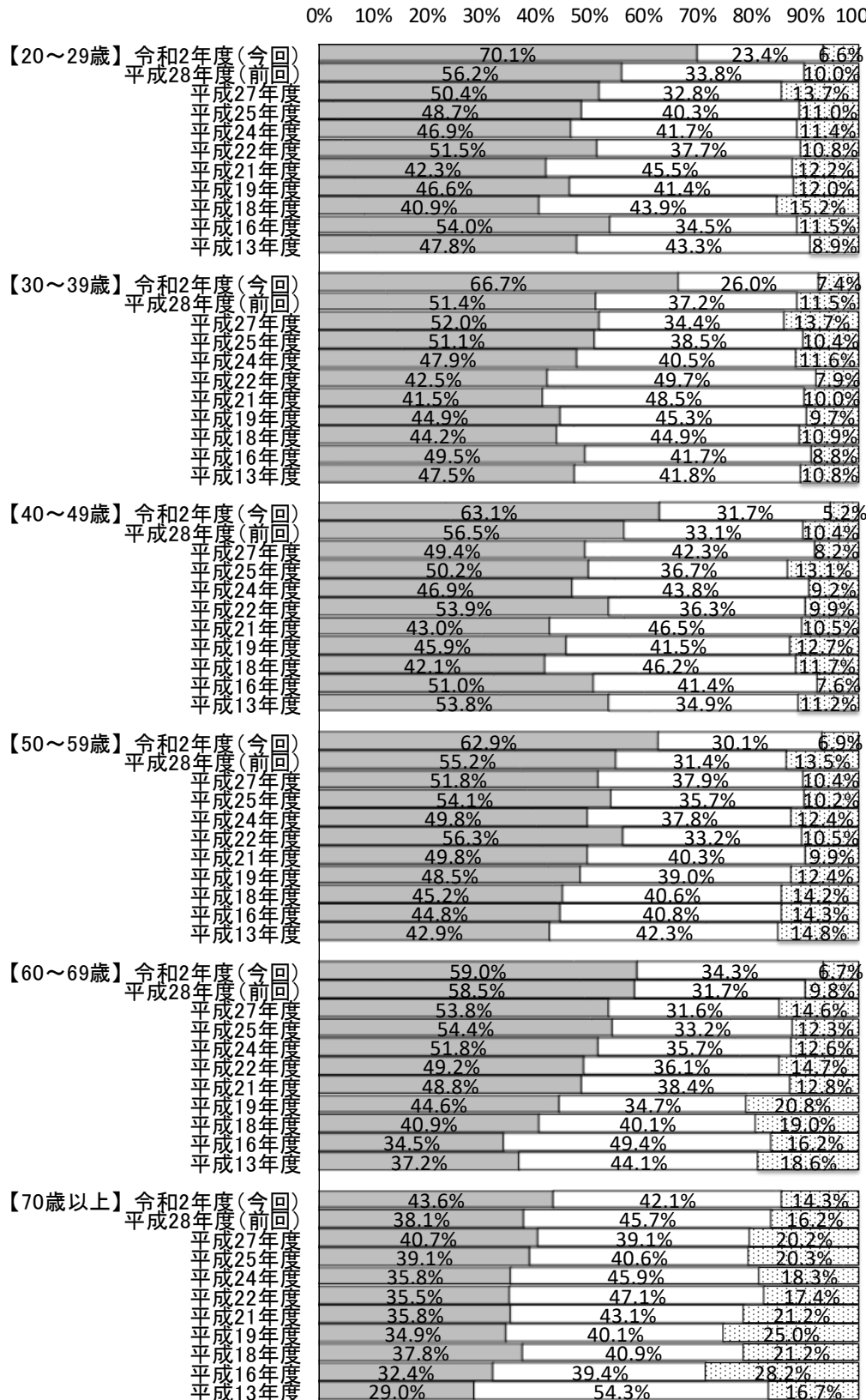
<性別による役割×性別>

性別で見ると、「同感しないほう」は“女性”（59.7%）が“男性”（55.9%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて、女性では6.8ポイント、男性では7.2ポイント、それぞれ増加しています。



<性別による役割×年齢別>

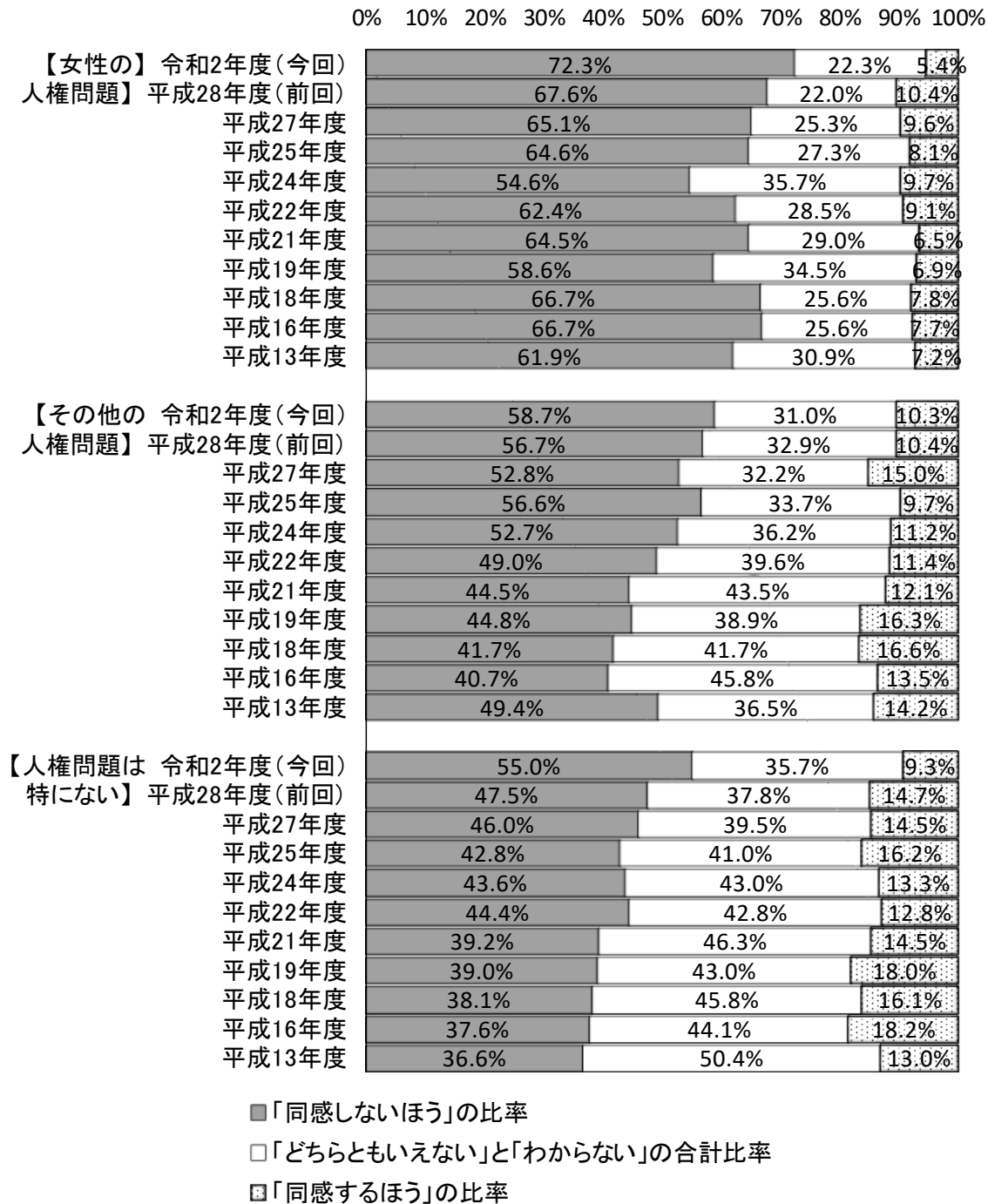
年齢別で見ると、「同感しないほう」は年代が下がるにつれて割合が高くなっており、「20～29歳」（70.1％）で最も高くなっています。また、全ての年代で「同感しないほう」は平成28年度調査と比べて増加しています。



- 「同感しないほう」の比率
- 「どちらともいえない」と「わからない」の合計比率
- ▨「同感するほう」の比率

<性別による役割×人権問題の認識別>

人権問題の認識別でみると、「同感しないほう」は“女性の人権問題が守られていない”（72.3%）と答えた方で最も高くなっており、平成28年度調査と同様に、男女共同参画に係る問題が、女性の人権と密接に結びついた問題として意識されていると考えられます。



《指標》

女性の就業割合

(1) 指標の説明

就労を希望する女性が働けるようになることで、男女が対等なパートナーとしてさまざまな分野に参画でき、能力を発揮できるまちになると考えられます。そこで、女性の就業割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。

F3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| 1 会社員                | 5 学生     |
| 2 公務員(教員、団体職員などを含む。) | 6 その他( ) |
| 3 自営業(農業を含む。)        | 7 専業主婦   |
| 4 アルバイトやパートなどの臨時雇用   | 8 無職     |

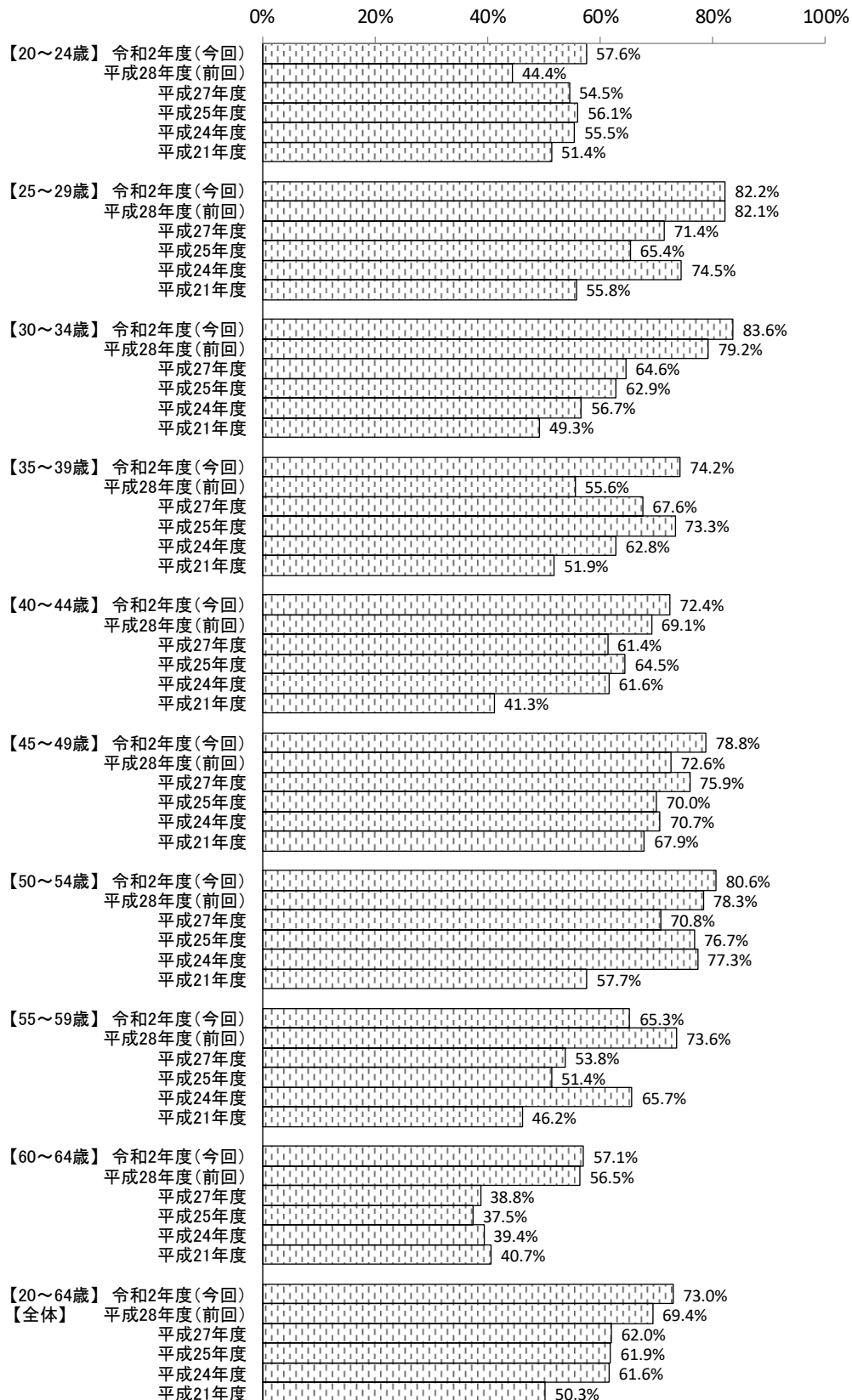
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
働いている女性の 割合	50.3%	61.6%	61.9%	64.4%	69.4%	73.0%

#### (4) 指標の分析

##### ☆20～64歳の女性の就業割合は7割を超えています

全体では、女性の就業割合（73.0%）は7割を超えており、平成21年度調査以降増加傾向を示しています。年齢別でみると、女性の就業割合は「30～34歳」（83.6%）で最も高く、次いで「25～29歳」（82.2%）、「50～54歳」（80.6%）となっています。また、女性の就業割合は平成28年度調査と比べて、「35～39歳」で18.6ポイント、「20～24歳」で13.2ポイント、それぞれ増加しています。一方、「55～59歳」で8.3ポイント減少しています。



## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第1項 健康に暮らすことができるようにします

めざしたい将来像：

自らの健康に関心をもち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。

《指標》

生きがい感を持っている人の割合

#### (1) 指標の説明

生涯にわたり、その意欲や能力に応じて地域活動や就労等の社会参加の機会をもち、年齢や身体状況に係わりなく、いつでも心のはりや生きがいを持ち続ける人を把握するため、生きがい感を持っている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度（認知）」

Q3 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1 大変感じている  | 3 ある程度感じている | 5 ほとんど感じていない |
| 2 かなり感じている | 4 あまり感じていない |              |

#### (3) 指標の現状

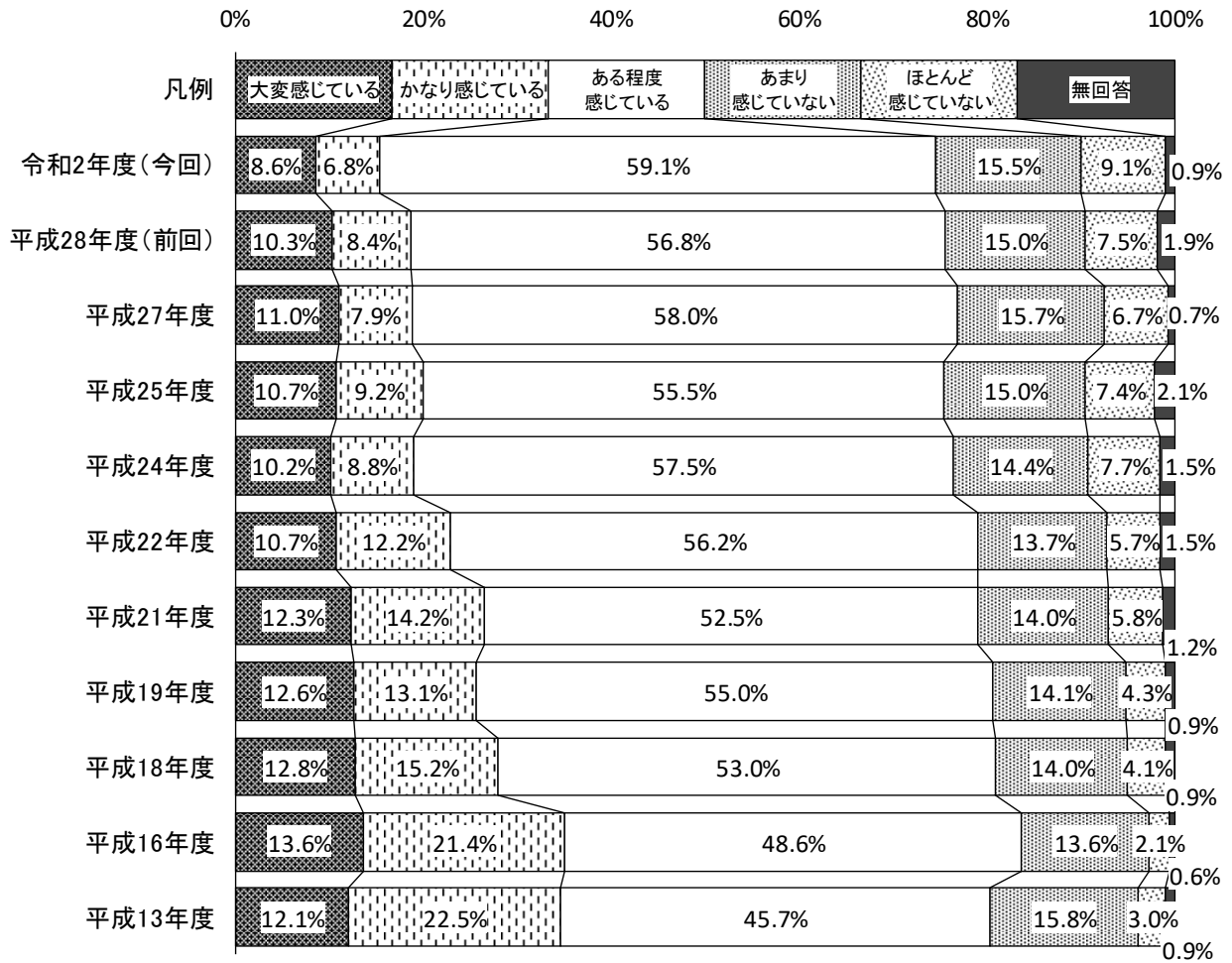
	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
大変感じている	12.1%	13.6%	12.8%	12.6%	12.3%	10.7%	10.2%	10.7%	11.0%	10.3%	8.6%
かなり感じている	22.5%	21.4%	15.2%	13.1%	14.2%	12.2%	8.8%	9.2%	7.9%	8.4%	6.8%
ある程度感じている	45.7%	48.6%	53.0%	55.0%	52.5%	56.2%	57.5%	55.5%	58.0%	56.8%	59.1%
計	80.3%	83.6%	81.0%	80.7%	79.0%	79.1%	76.5%	75.4%	76.9%	75.5%	74.5%



#### (4) 指標の分析

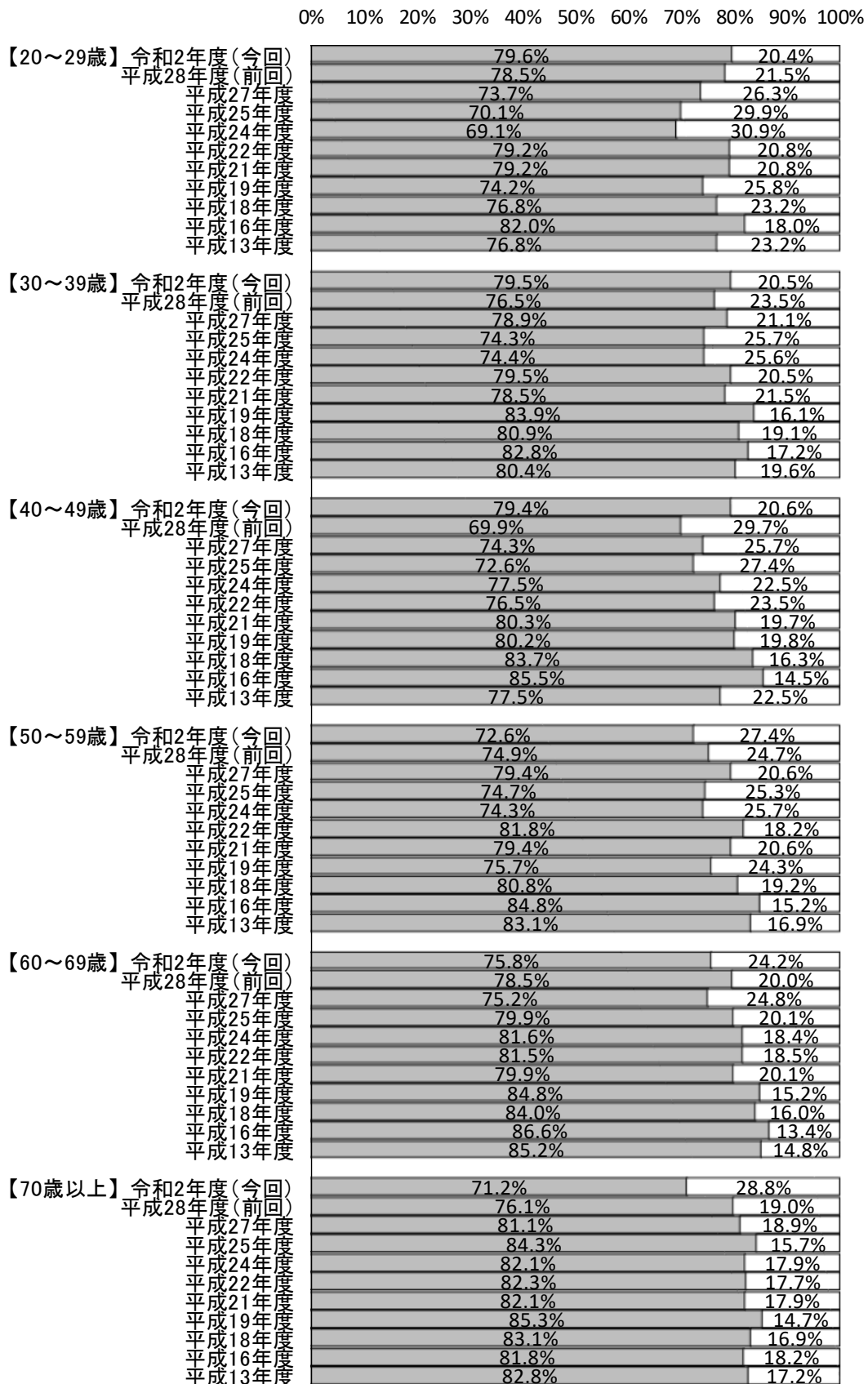
##### ☆生活の中で生きがいを感じている人は7割半ばとなっています

生活の中での生きがいについて、「大変感じている」、「かなり感じている」、「ある程度感じている」を合わせた『生きがいを感じている』(74.5%)と答えた方は7割半ばとなっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。



<生きがい感×年齢別>

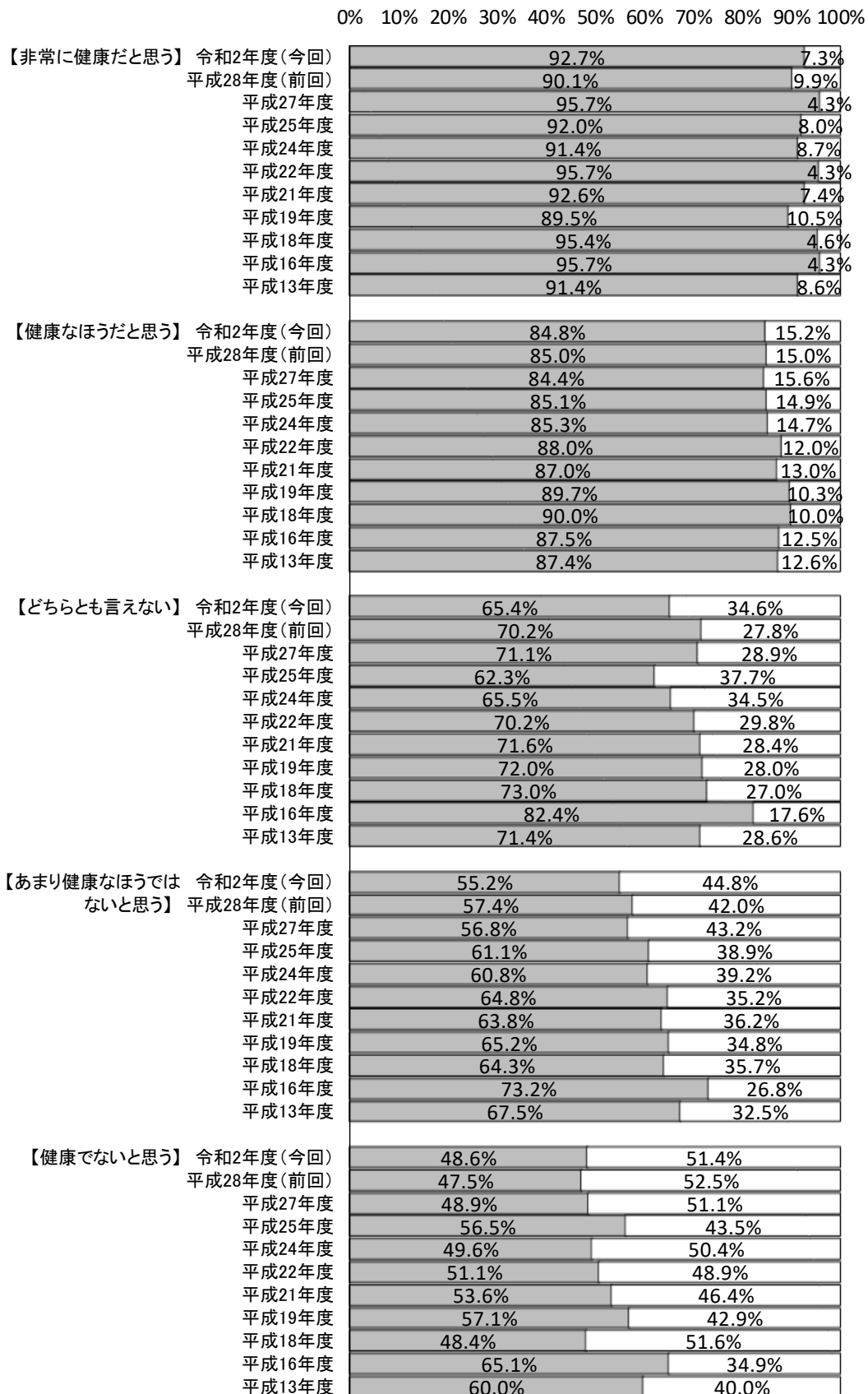
年齢別でみると、『生きがいを感じている』は“20～29歳”（79.6%）で最も高く、次いで“30～39歳”（79.5%）となっており、全ての年代で7割台となっています。また、『生きがいを感じている』は平成28年度調査と比べて“40～49歳”で9.5ポイント増加しています。



■「大変感じている」と「かなり感じている」と「ある程度感じている」の合計比率  
 □「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」の合計比率

<生きがい感×本人の健康感別>

本人の健康感別でみると、『生きがいを感じている』は健康状況が良くなるにつれて割合が高くなっており、“非常に健康だと思う”（92.7%）と答えた方で最も高くなっています。一方、“健康でないと思う”（48.6%）と答えた方では5割未満にとどまっています。

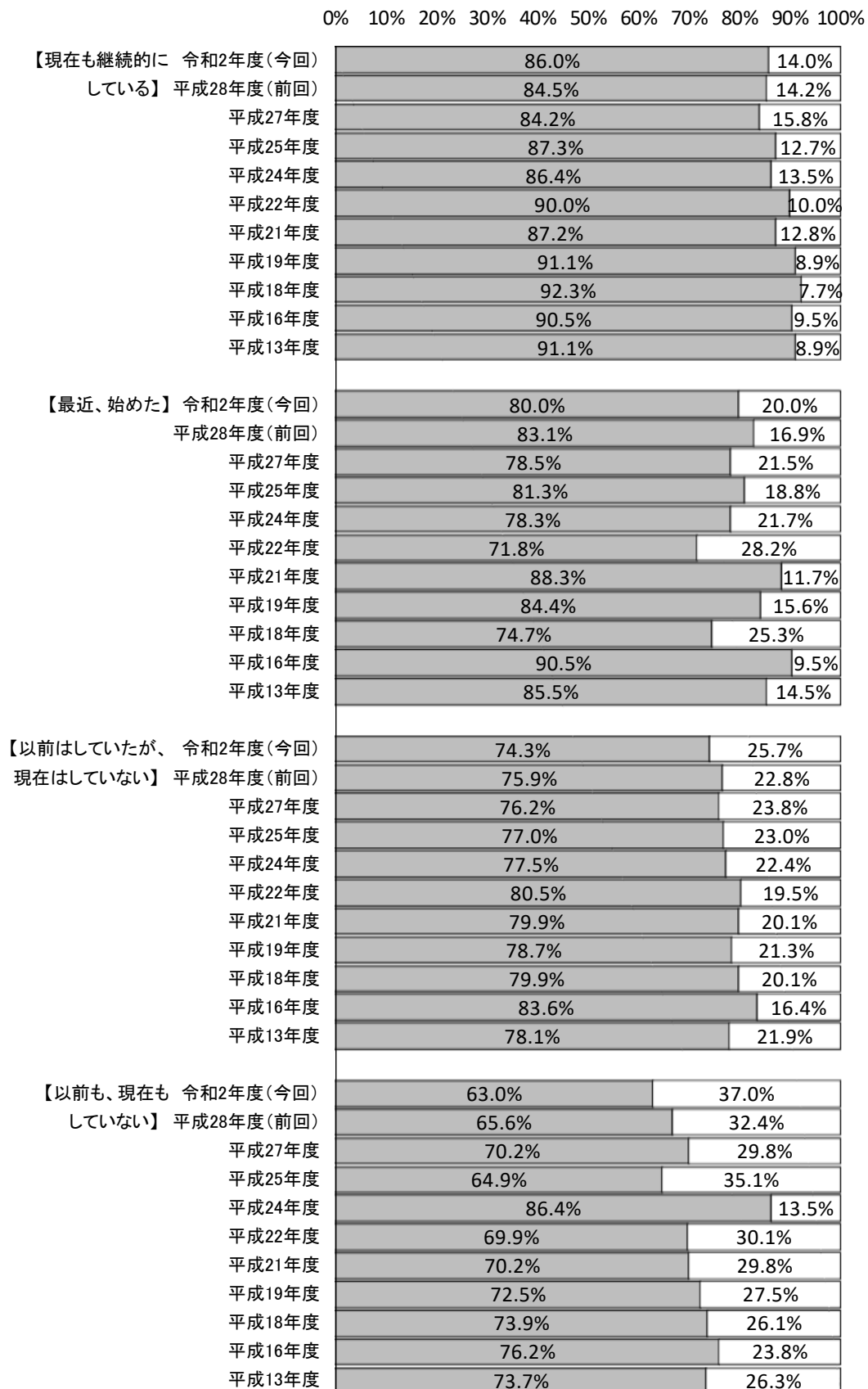


■「大変感じている」と「かなり感じている」と「ある程度感じている」の合計比率

□「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」の合計比率

<生きがい感×スポーツの実施状況別>

スポーツの実施状況別でみると、『生きがいを感じている』は“現在も継続的にスポーツをしている”（86.0%）と答えた方で最も高くなっています。一方、“以前も現在もスポーツをしていない”（63.0%）と答えた方では6割を超える程度にとどまっています。



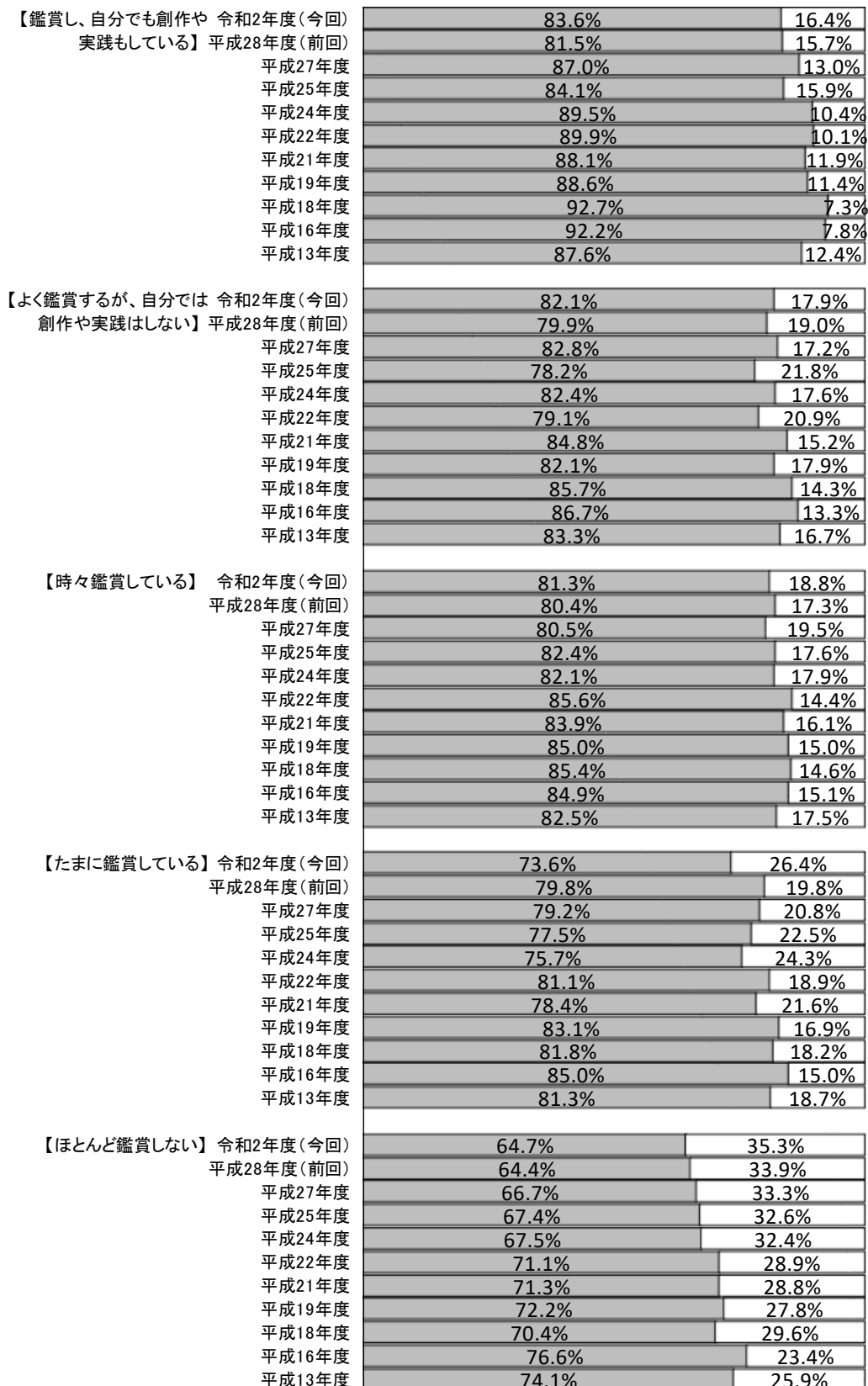
■「大変感じている」と「かなり感じている」と「ある程度感じている」の合計比率

□「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」の合計比率

<生きがい感×芸術文化の実施状況別>

芸術文化の実施状況別でみると、『生きがいを感じている』は実施頻度が高くなるにつれて割合が高くなっており、“鑑賞し、自分でも創作や実践もしている”（83.6%）と答えた方で最も高くなっています。一方、“ほとんど鑑賞しない”（64.7%）と答えた方では6割半ば程度にとどまっています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■「大変感じている」と「かなり感じている」と「ある程度感じている」の合計比率  
 □「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」の合計比率

《指標》

本人が健康であると思う人の割合

(1) 指標の説明

健康は、あらゆる社会活動と市民生活の基盤であり、病気や障害を持つことになっても、その人の置かれた状況に応じて健康な生活が送れることが必要となります。そこで、本人が健康であると思う人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度（認知）」

Q4 あなたは今、健康だと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |                   |            |
|-------------|-------------------|------------|
| 1 非常に健康だと思う | 3 どちらとも言えない       | 5 健康でないと思う |
| 2 健康なほうだと思う | 4 あまり健康なほうではないと思う |            |

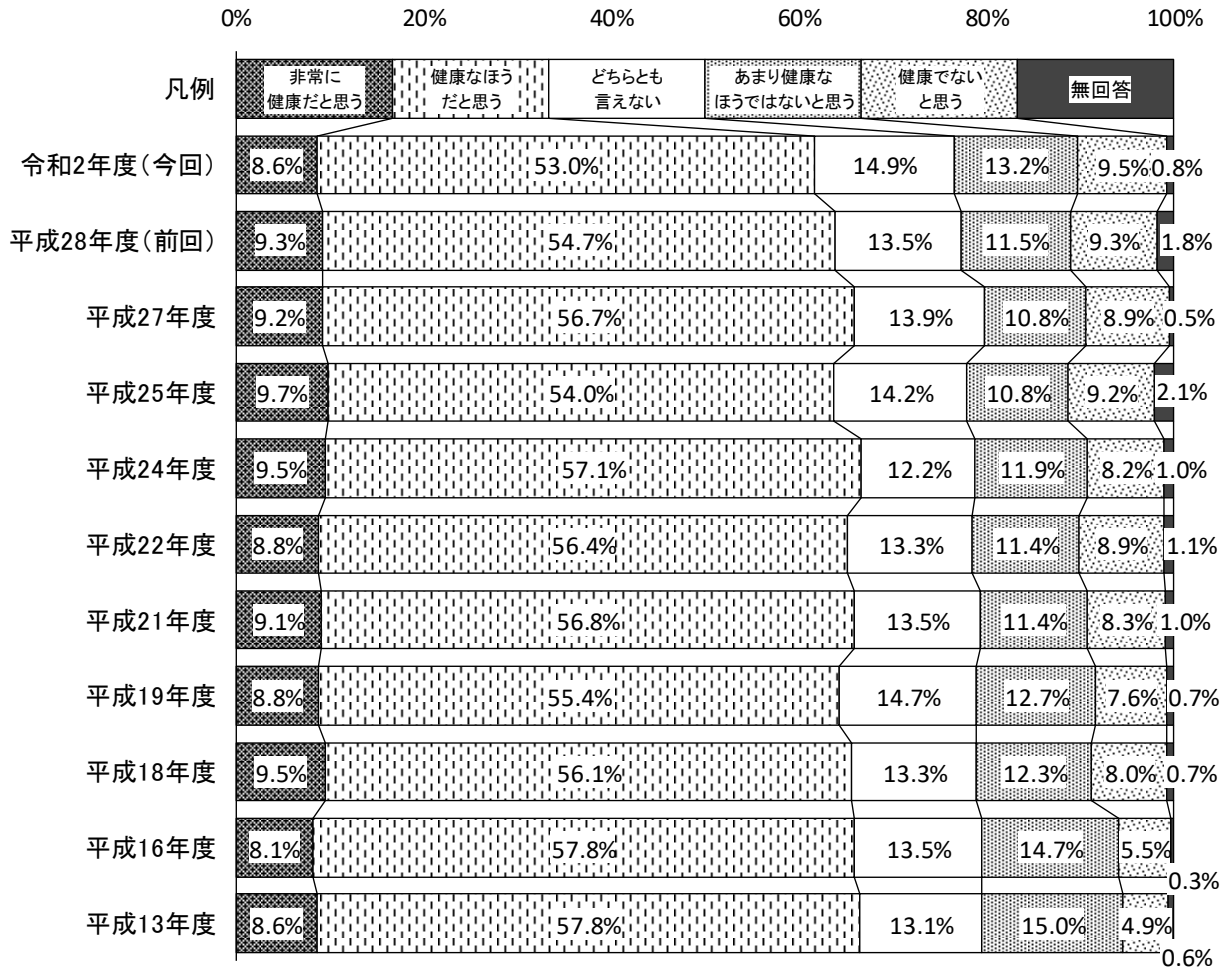
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
非常に健康だと思う	8.6%	8.1%	9.5%	8.8%	9.1%	8.8%	9.5%	9.7%	9.2%	9.3%	8.6%
健康なほうだと思う	57.8%	57.8%	56.1%	55.4%	56.8%	56.4%	57.1%	54.0%	56.7%	54.7%	53.0%
計	66.4%	65.9%	65.7%	64.3%	65.9%	65.2%	66.6%	63.6%	65.9%	63.9%	61.6%

(4) 指標の分析

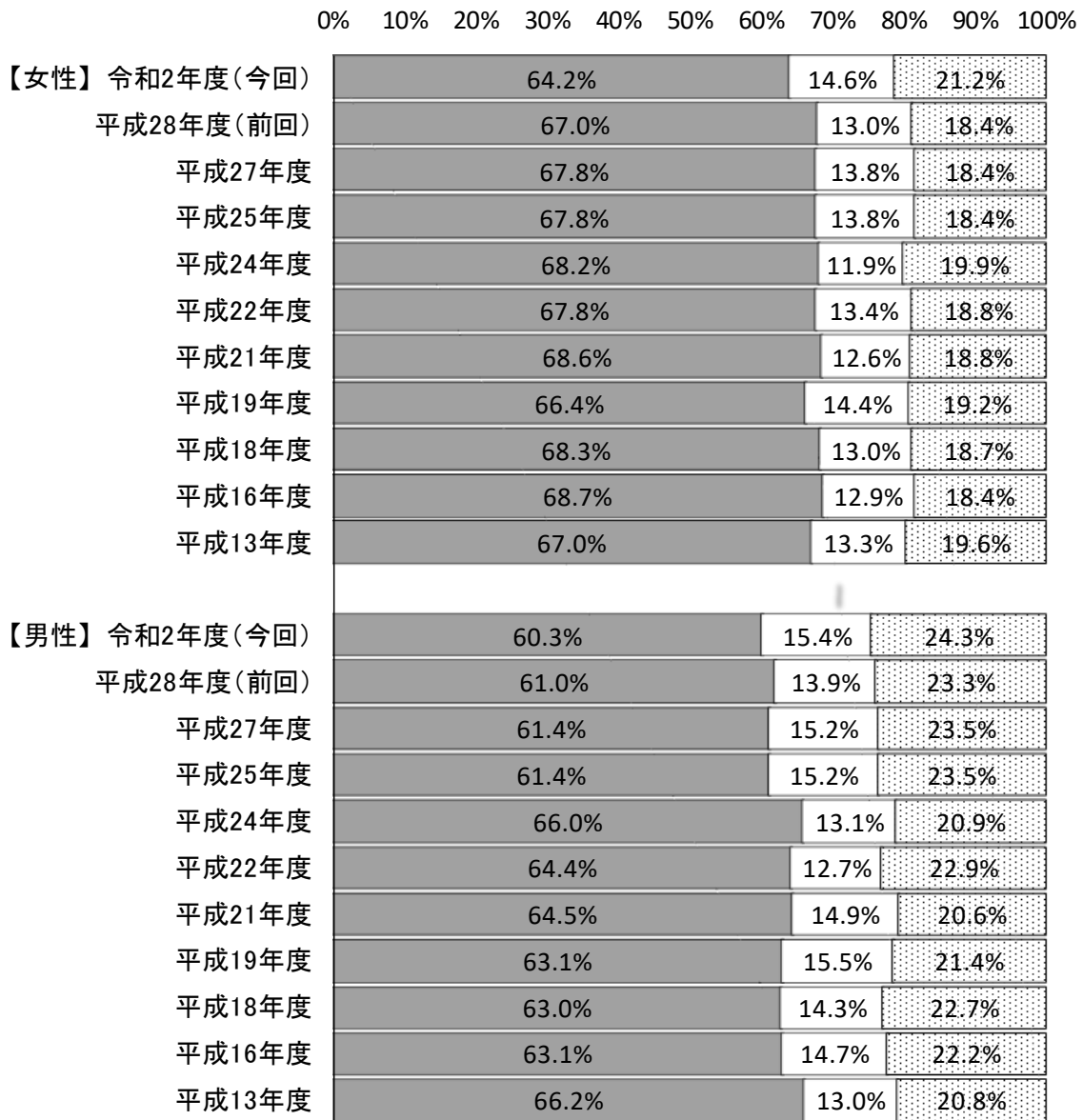
☆健康だと思う人は約6割となっています

主観的な自身の健康感をみると、「非常に健康だと思う」、「健康なほうだと思う」を合わせた『健康だと思う』(61.6%)と答えた方は約6割となっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。



<健康感×性別>

性別でみると、『健康だと思う』は“女性”（64.2%）が“男性”（60.3%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



■「非常に健康だと思う」と「健康なほうだと思う」の合計比率

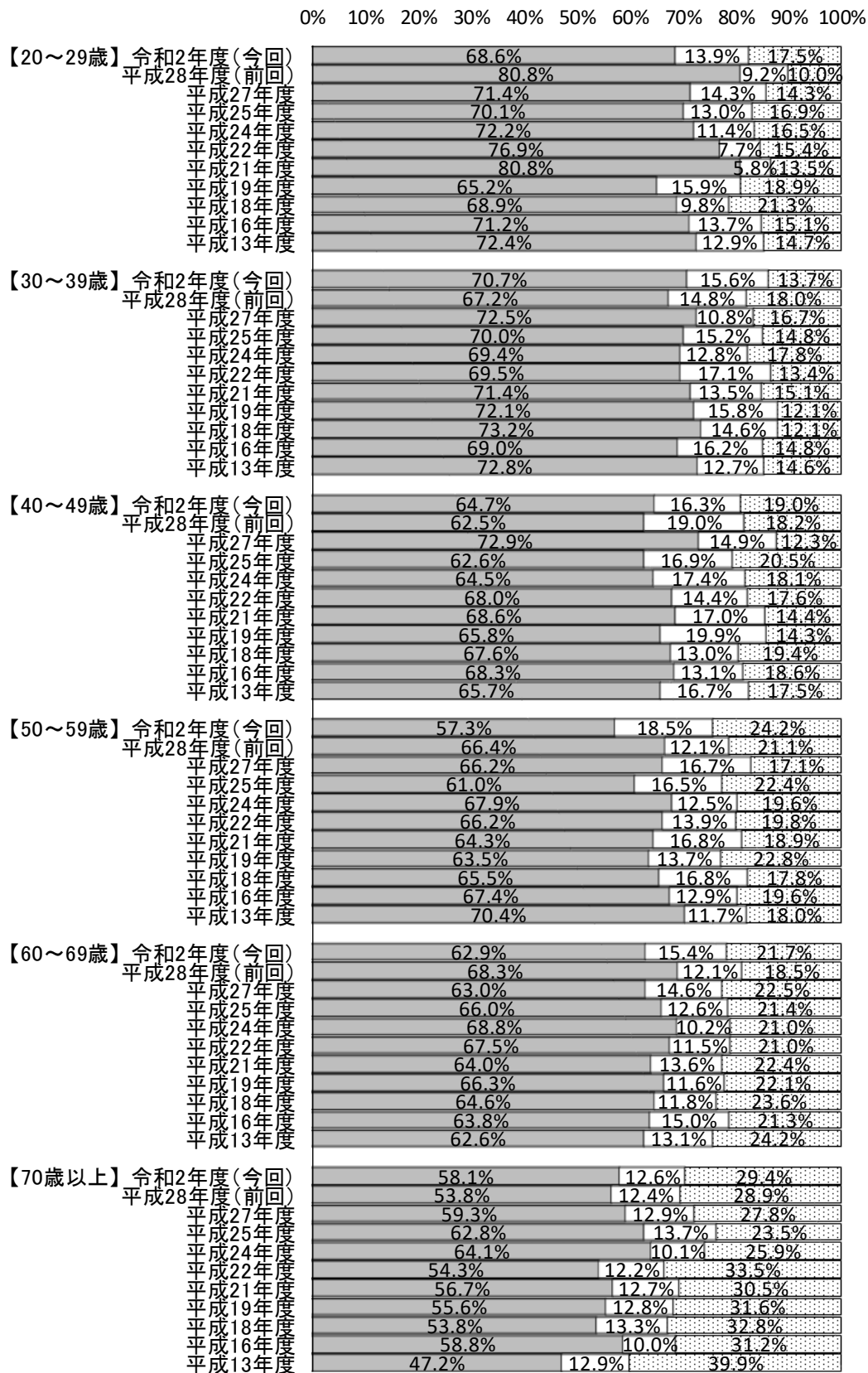
□「どちらとも言えない」の比率

■「あまり健康なほうではないと思う」と「健康でないと思う」の合計比率



<健康感×年齢別>

年齢別でみると、『健康だと思う』は“30～39歳”（70.7%）で最も高く、次いで“20～29歳”（68.6%）、“40～49歳”（64.7%）となっています。また、『健康だと思う』は平成28年度調査と比べて、“20～29歳”で12.2ポイント、“50～59歳”で9.1ポイント、それぞれ減少しています。



- 「非常に健康だと思う」と「健康なほうだと思う」の合計比率
- 「どちらとも言えない」の比率
- 「あまり健康なほうではないと思う」と「健康でないと思う」の合計比率

<健康感×スポーツの実施状況別>

スポーツの実施状況別でみると、『健康だと思う』は“現在も継続的にスポーツをしている”（73.0%）と答えた方で最も高くなっています。一方、“以前も現在もスポーツをしていない”（52.1%）と答えた方では5割を超える程度にとどまっています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【現在も継続的に している】	令和2年度(今回)	73.0%	12.3%	14.6%
	平成28年度(前回)	76.3%	10.3%	12.3%
	平成27年度	79.0%	9.9%	11.1%
	平成25年度	75.0%	12.2%	12.8%
	平成24年度	79.9%	9.5%	10.5%
	平成22年度	80.6%	9.8%	9.6%
	平成21年度	79.0%	9.1%	11.9%
	平成19年度	75.5%	10.7%	13.8%
	平成18年度	77.6%	10.1%	12.3%
	平成16年度	75.6%	11.5%	12.9%
平成13年度	79.3%	8.3%	12.4%	
【最近、始めた】	令和2年度(今回)	66.7%	15.6%	17.8%
	平成28年度(前回)	72.3%	10.8%	16.9%
	平成27年度	62.5%	17.2%	20.3%
	平成25年度	63.1%	12.3%	24.6%
	平成24年度	63.8%	12.0%	24.1%
	平成22年度	63.4%	15.5%	21.1%
	平成21年度	68.3%	15.0%	16.7%
	平成19年度	64.9%	15.6%	19.5%
	平成18年度	67.5%	12.5%	20.0%
	平成16年度	73.8%	11.9%	14.3%
平成13年度	66.2%	14.3%	19.5%	
【以前はしていたが、 現在はしていない】	令和2年度(今回)	59.8%	14.1%	26.0%
	平成28年度(前回)	59.5%	15.7%	23.2%
	平成27年度	59.8%	15.8%	24.4%
	平成25年度	61.7%	14.1%	24.1%
	平成24年度	61.7%	13.8%	24.4%
	平成22年度	61.2%	14.7%	24.2%
	平成21年度	63.6%	14.9%	21.5%
	平成19年度	63.3%	15.8%	20.9%
	平成18年度	61.9%	14.8%	23.3%
	平成16年度	62.3%	15.3%	22.5%
平成13年度	64.2%	14.3%	21.5%	
【以前も、現在も していない】	令和2年度(今回)	52.1%	19.2%	28.7%
	平成28年度(前回)	56.2%	14.6%	27.7%
	平成27年度	58.7%	16.1%	25.2%
	平成25年度	58.5%	18.2%	23.2%
	平成24年度	60.8%	13.7%	25.5%
	平成22年度	56.2%	15.6%	28.1%
	平成21年度	55.9%	17.2%	26.9%
	平成19年度	53.8%	18.7%	27.5%
	平成18年度	60.6%	14.9%	24.5%
	平成16年度	60.9%	14.1%	24.9%
平成13年度	57.3%	16.5%	26.2%	

- 「非常に健康だと思う」と「健康なほうだと思う」の合計比率
- 「どちらとも言えない」の比率
- ▣「あまり健康なほうではないと思う」と「健康でないと思う」の合計比率

《指標》

多様な世代と交流する機会のある人の割合

(1) 指標の説明

生きがいを持って暮らせるように、多様な世代と交流する機会のある人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18 (ソ) あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ソ 多様な世代との交流	1	2	3	4	5	6

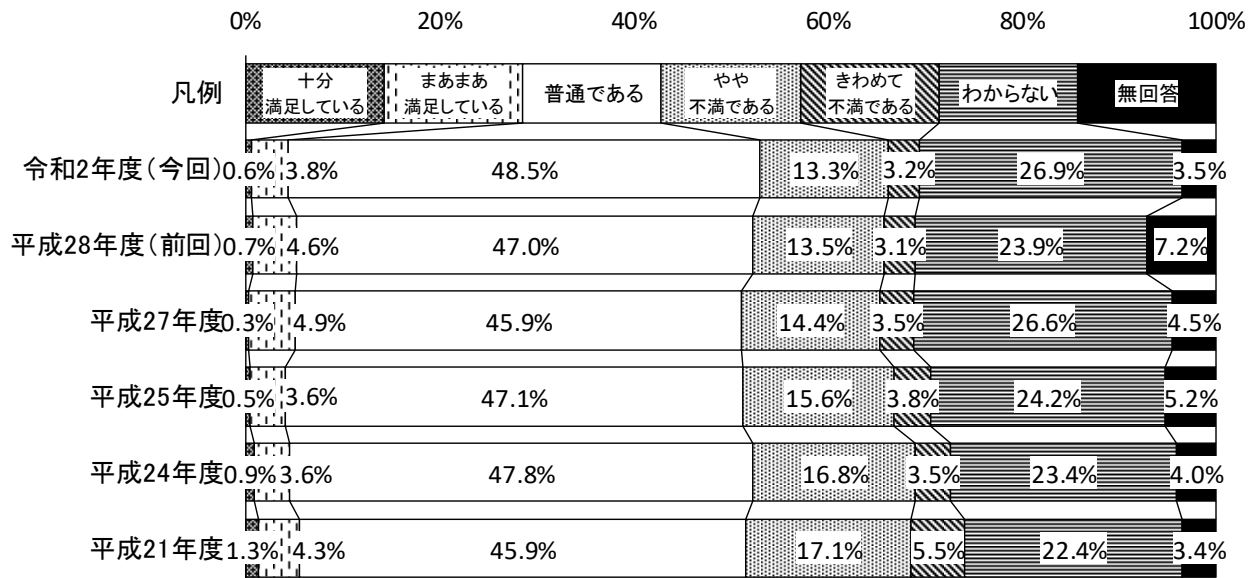
(3) 指標の現状

	平成21年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	1.3%	0.9%	0.5%	0.3%	0.7%	0.6%
まあまあ満足している	4.3%	3.6%	3.6%	4.9%	4.6%	3.8%
計	5.6%	4.5%	4.1%	5.2%	5.3%	4.4%

#### (4) 指標の分析

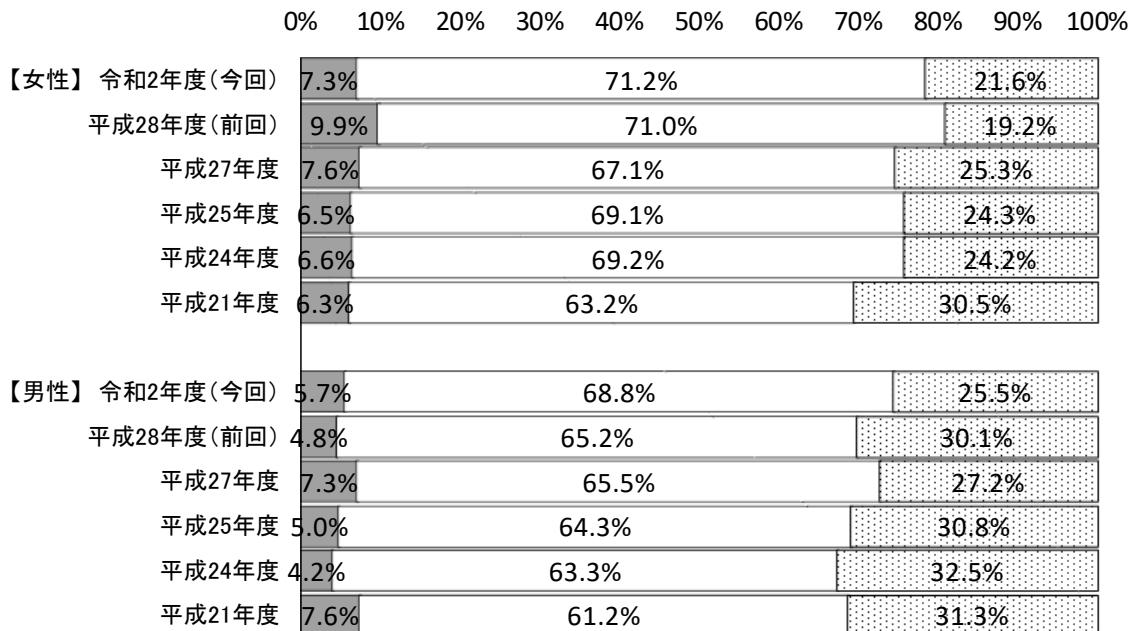
☆多様な世代との交流の満足度は、平成28年度調査と同様に1割未満となっています

多様な世代との交流について、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(4.4%)と答えた方はわずかとなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



#### <多様な世代との交流×性別>

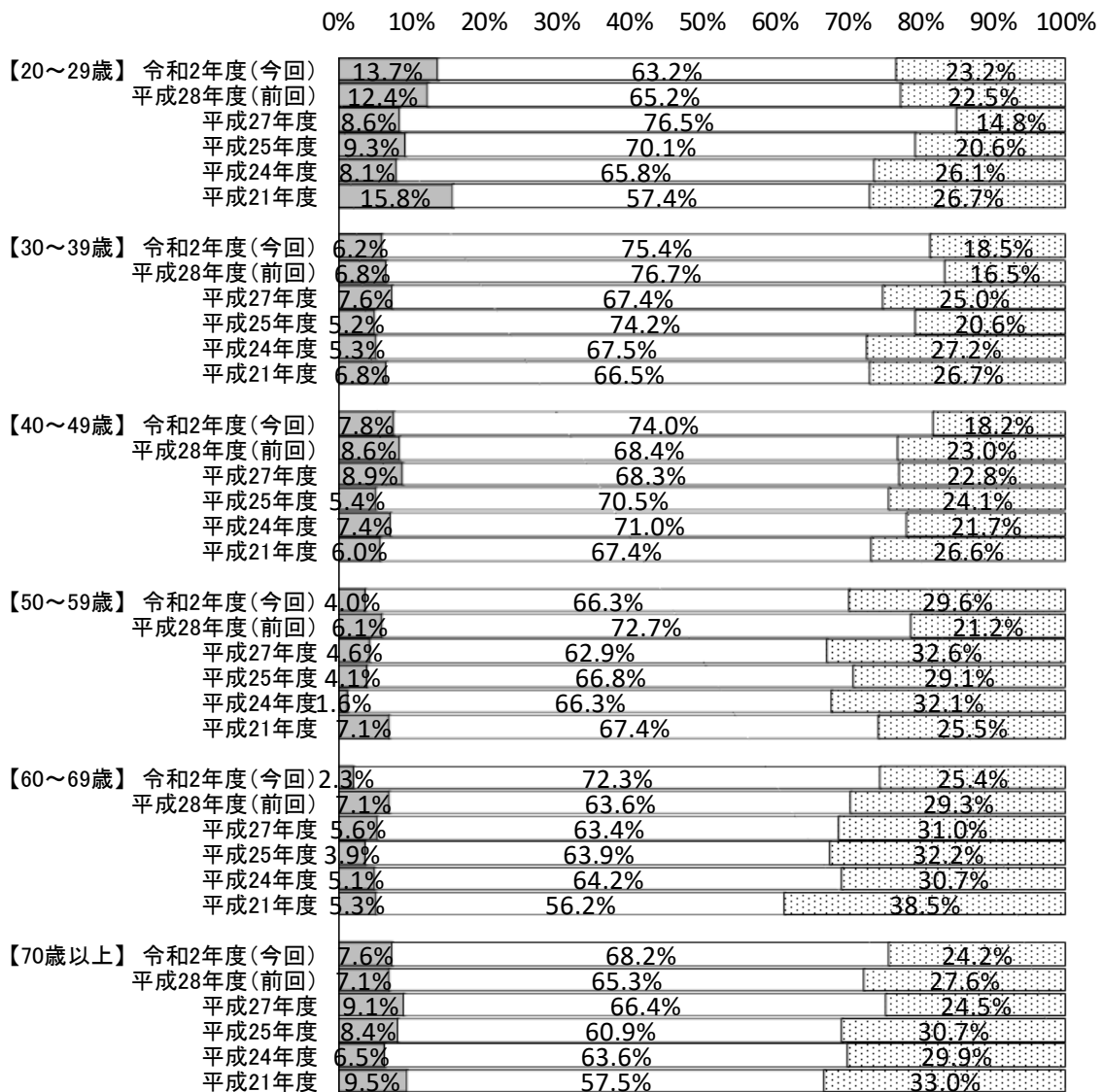
性別でみると、『満足している』は“女性”(7.3%)が“男性”(5.7%)より高くなっています。



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨ 「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<多様な世代との交流×年齢別>

年齢別でみると、『満足している』は“20～29歳”（13.7%）で最も高く、次いで“40～49歳”（7.8%）となっています。また、『満足している』は平成28年度調査と比べて“60～69歳”で4.8ポイント減少しています。



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

## 第2節 豊かな人生を支える福祉社会の実現

### 第2項 病気や障害、高齢などを理由に生活に支障があっても、自立した生活が送れるようにします

めざしたい将来像：

市民一人ひとりが、どう生きたいか、どう老いるかを考えて生活を送るようにします。そして、自助・共助・公助を高めて、個人の尊厳を保ちながら生きられ、誰もが自立した生活を安心して送れるまちを実現します。

《指標》

日常生活に対して不安を感じていない人の割合

#### (1) 指標の説明

社会的・経済的状況による生活保護世帯の増加、万が一のための救急医療体制、高齢化社会の進展による要介護者の増加等、市民を取り巻く社会環境のなかで、日常生活上のセーフティネット（安全網）を確立し、生活する上での安心感を把握する必要があると考えられます。そこで、日常生活に対して不安を感じていない人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により逆説的に聞いています。「個人・態度（認知）」

Q5 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になることがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1 自分の健康               | 8 子どもの将来   |
| 2 家族の健康               | 9 住居や住まい   |
| 3 将来自分や家族が必要になったときの介護 | 10 財産や資産   |
| 4 現在の生活や家計            | 11 人との付き合い |
| 5 将来の生活や家計            | 12 生きがい    |
| 6 仕事                  | 13 その他（ ）  |
| 7 出産や子育て              | 14 特にない    |

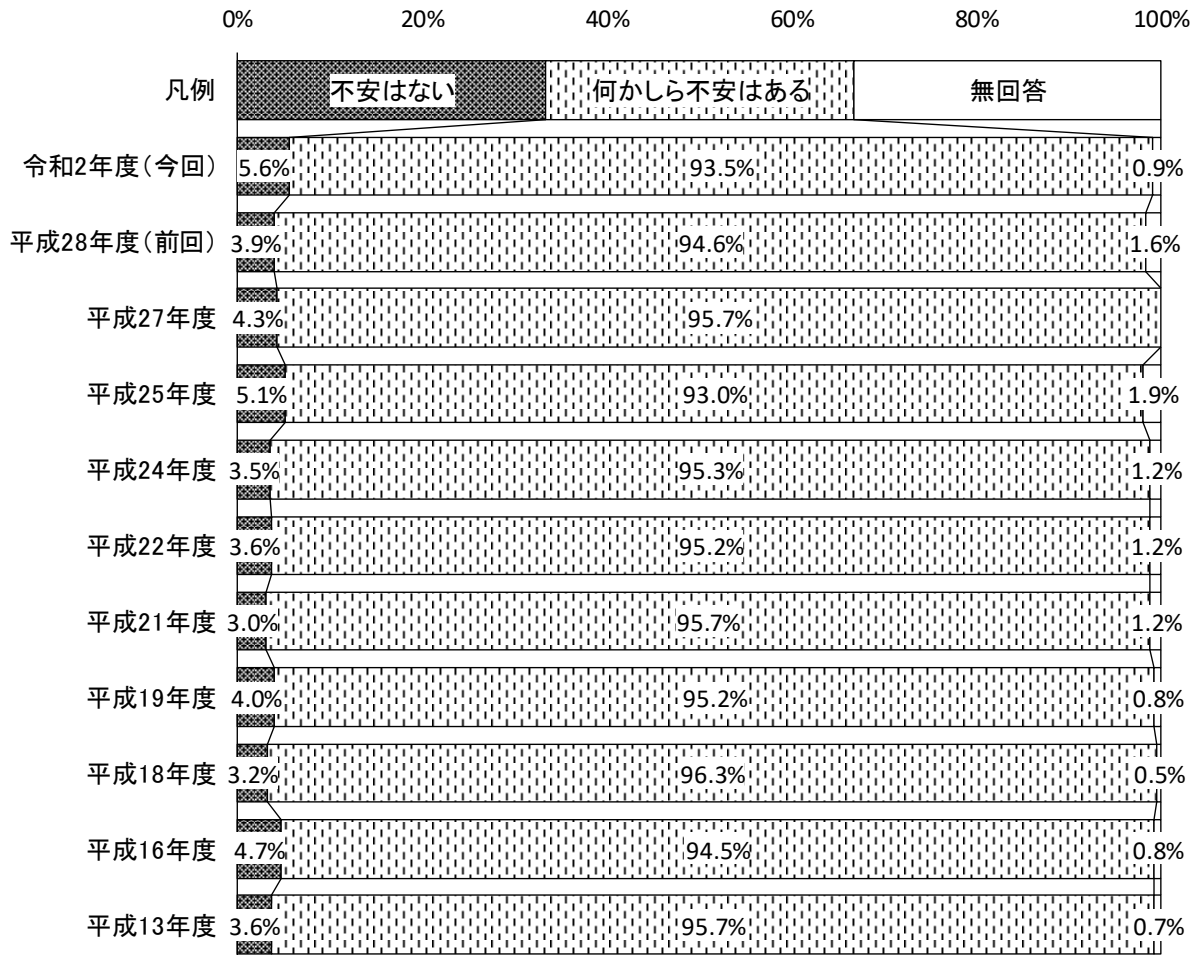
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
不安はない	3.6%	4.7%	3.2%	4.0%	3.0%	3.6%	3.5%	5.1%	4.3%	3.9%	5.6%

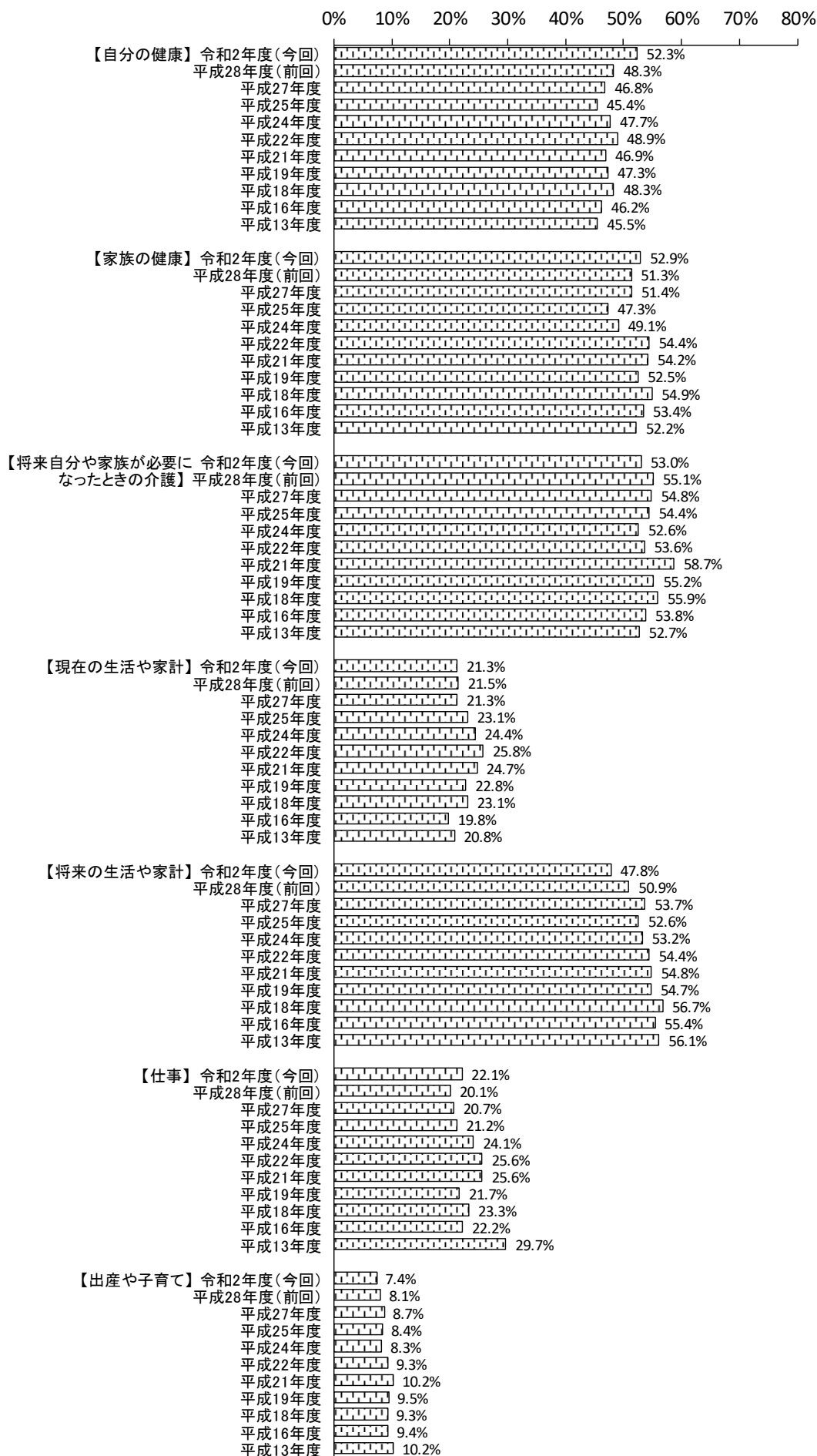
#### (4) 指標の分析

##### ☆日常生活に何かしら不安がある人は9割を超えています

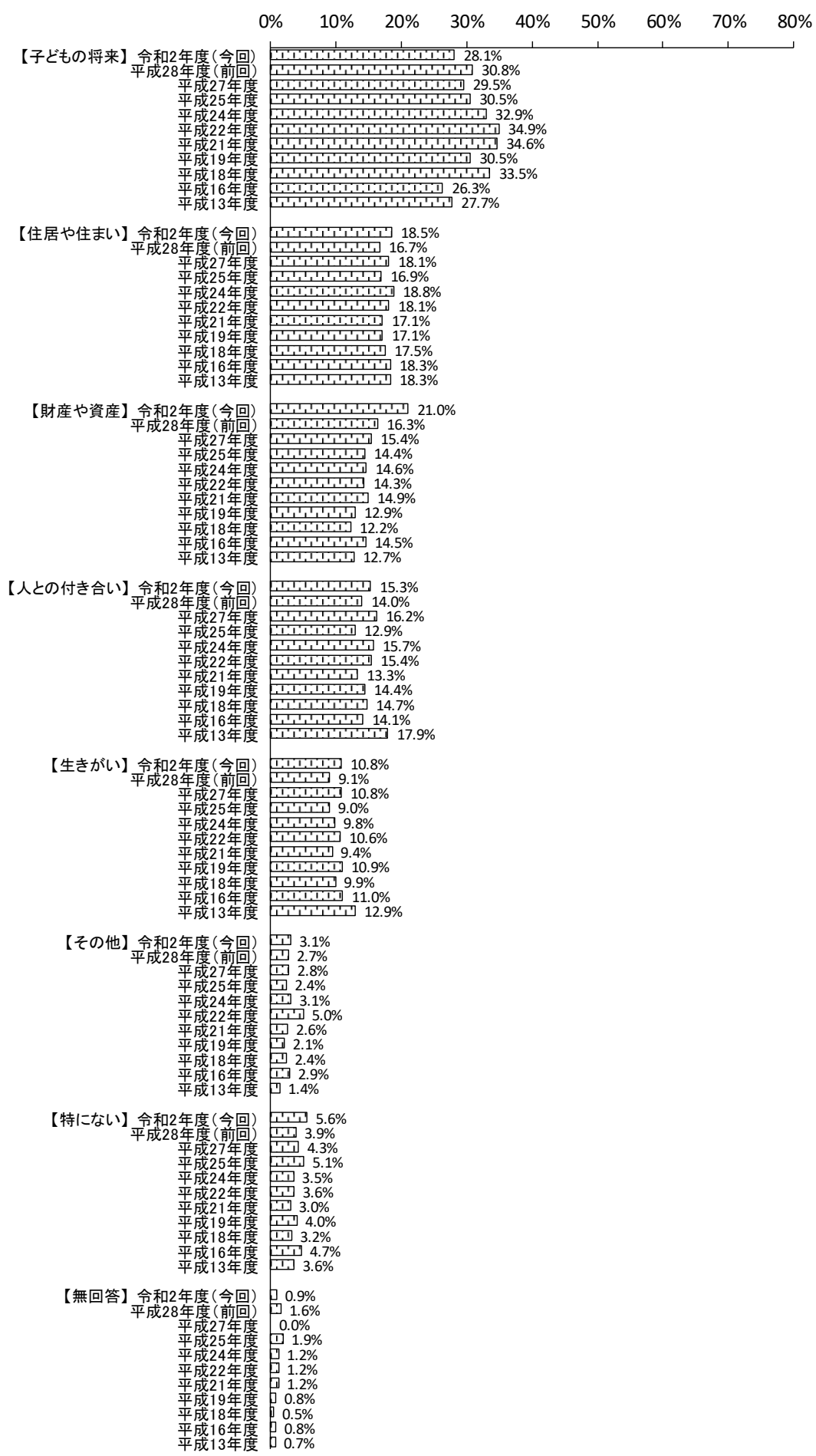
日常生活に「不安はない」(5.6%)と答えた方は1割未満で、「何かしら不安はある」(93.5%)と答えた方が9割を超えており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



不安や心配なことを具体的にみると、「将来自分や家族が必要になったときの介護」(53.0%) が最も高く、次いで「家族の健康」(52.9%)、「自分の健康」(52.3%) となっており、この3項目が5割を超えています。

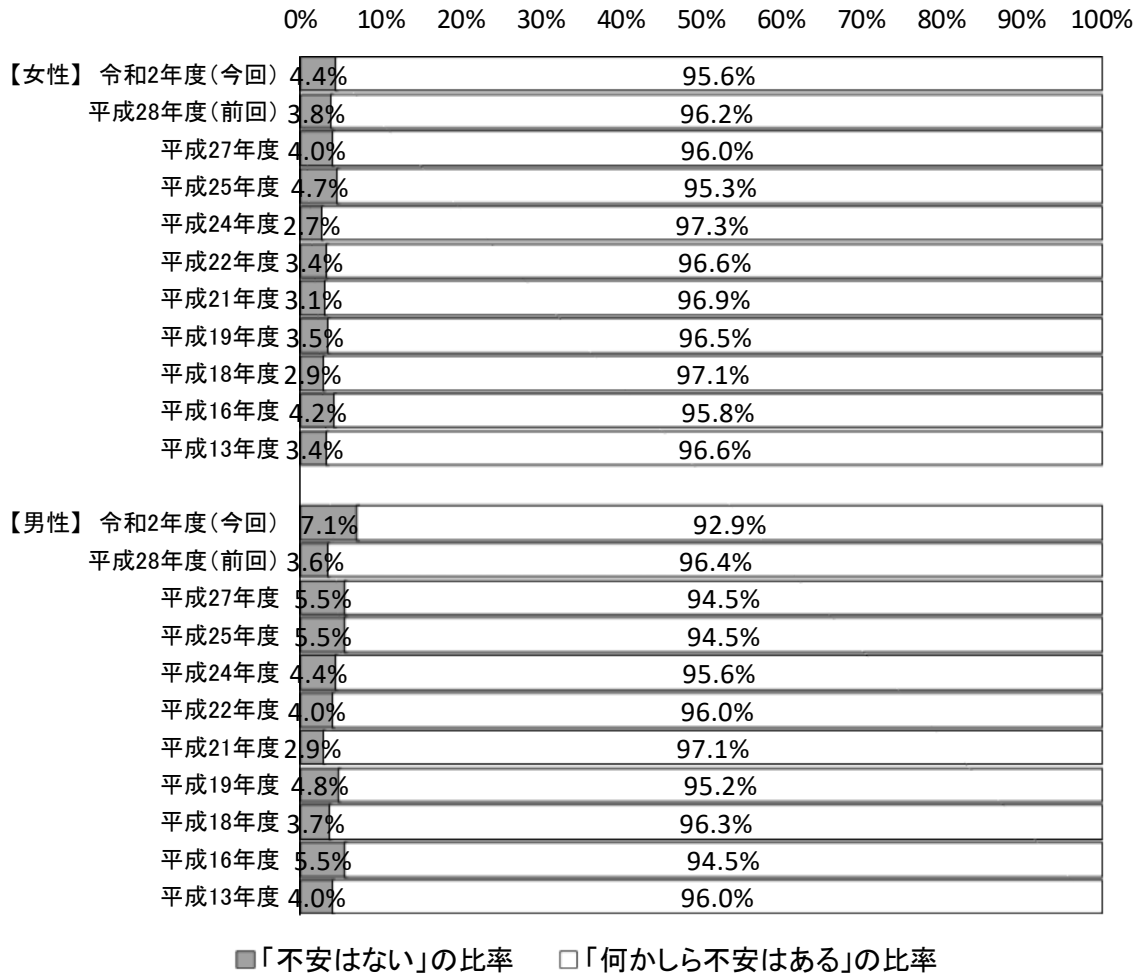






<安心感×性別>

性別でみると、「何かしら不安はある」は“女性”（95.6%）が“男性”（92.9%）より高くなっています。



<安心感×年齢別>

年齢別で見ると、「何かしら不安はある」は“50～59歳”（98.1%）で最も高く、次いで“40～49歳”（96.0%）となっています。また、“50～59歳”を除く全ての年代で「何かしら不安はある」は平成28年度調査と比べて減少しています。

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
【20～29歳】	令和2年度(今回)	8.8%									91.2%
	平成28年度(前回)	3.1%									96.9%
	平成27年度	5.0%									95.0%
	平成25年度	4.5%									95.5%
	平成24年度	3.4%									96.6%
	平成22年度	6.9%									93.1%
	平成21年度	1.9%									98.1%
	平成19年度	3.8%									96.2%
	平成18年度	3.1%									96.9%
	平成16年度	5.0%									95.0%
平成13年度	3.6%									96.4%	
【30～39歳】	令和2年度(今回)	8.9%									91.1%
	平成28年度(前回)	3.3%									96.7%
	平成27年度	3.4%									96.6%
	平成25年度	4.3%									95.7%
	平成24年度	4.1%									95.9%
	平成22年度	3.1%									96.9%
	平成21年度	2.3%									97.7%
	平成19年度	3.2%									96.8%
	平成18年度	3.1%									96.9%
	平成16年度	4.2%									95.8%
平成13年度	3.5%									96.5%	
【40～49歳】	令和2年度(今回)	4.0%									96.0%
	平成28年度(前回)	1.9%									98.1%
	平成27年度	3.0%									97.0%
	平成25年度	2.5%									97.5%
	平成24年度	2.1%									97.9%
	平成22年度	2.5%									97.5%
	平成21年度	1.3%									98.7%
	平成19年度	3.5%									96.5%
	平成18年度	1.6%									98.4%
	平成16年度	3.4%									96.6%
平成13年度	2.4%									97.6%	
【50～59歳】	令和2年度(今回)	1.9%									98.1%
	平成28年度(前回)	4.1%									95.9%
	平成27年度	2.7%									97.3%
	平成25年度	4.3%									95.7%
	平成24年度	2.1%									97.9%
	平成22年度	3.8%									96.2%
	平成21年度	2.1%									97.9%
	平成19年度	3.3%									96.7%
	平成18年度	3.9%									96.1%
	平成16年度	3.6%									96.4%
平成13年度	3.9%									96.1%	
【60～69歳】	令和2年度(今回)	5.8%									94.2%
	平成28年度(前回)	3.4%									96.6%
	平成27年度	5.0%									95.0%
	平成25年度	6.8%									93.2%
	平成24年度	3.8%									96.2%
	平成22年度	3.5%									96.5%
	平成21年度	3.5%									96.5%
	平成19年度	3.9%									96.1%
	平成18年度	2.8%									97.2%
	平成16年度	5.4%									94.6%
平成13年度	3.1%									96.9%	
【70歳以上】	令和2年度(今回)	6.3%									93.7%
	平成28年度(前回)	5.8%									94.2%
	平成27年度	7.0%									93.0%
	平成25年度	7.2%									92.8%
	平成24年度	4.6%									95.4%
	平成22年度	4.0%									96.0%
	平成21年度	6.2%									93.8%
	平成19年度	6.5%									93.5%
	平成18年度	5.1%									94.9%
	平成16年度	7.2%									92.8%
平成13年度	6.7%									93.3%	

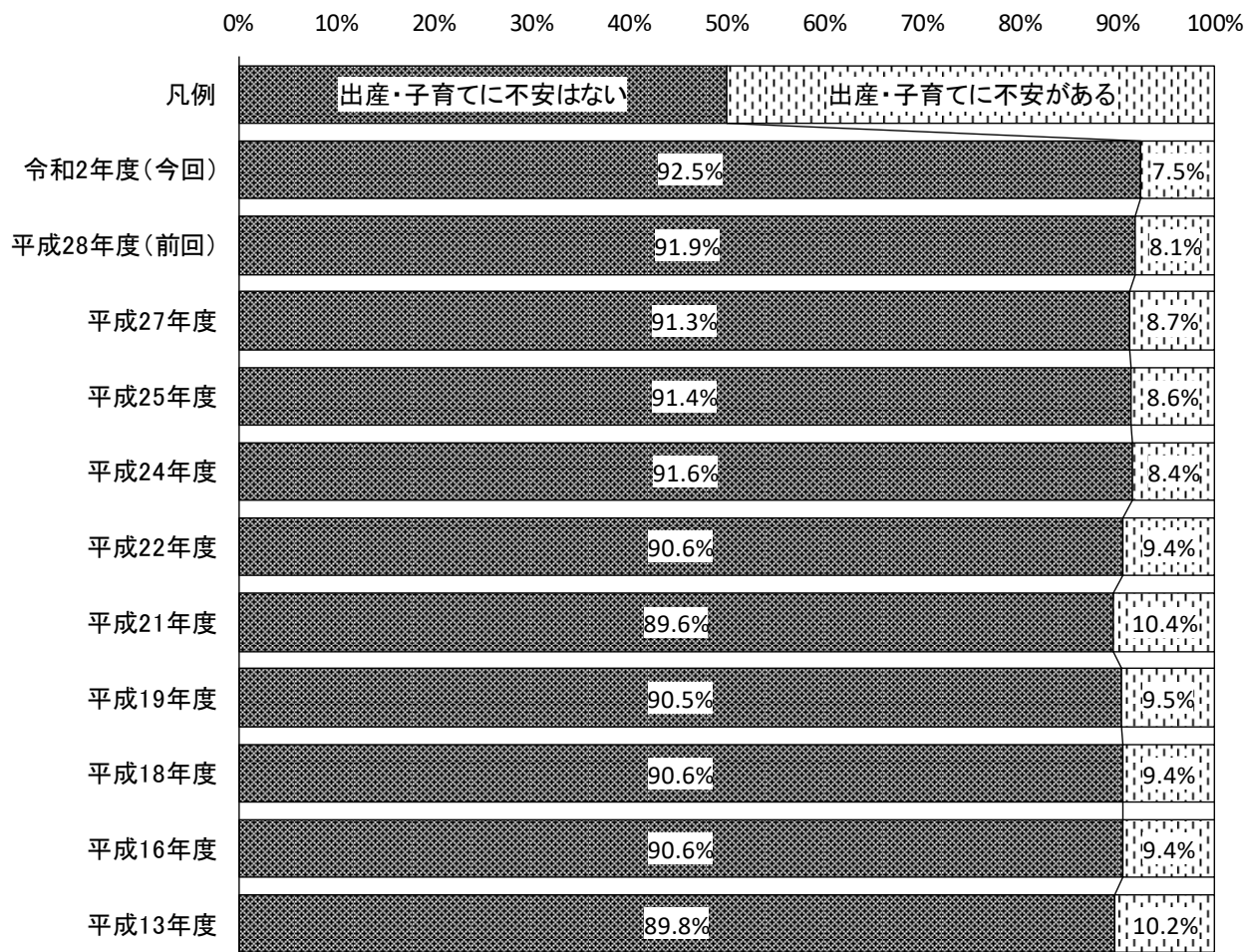
■「不安はない」の比率 □「何かしら不安はある」の比率



#### (4) 指標の分析

##### ☆出産や子育てについて不安を感じていない人が9割を超えています

出産や子育てについて不安を感じていない人は9割を超えており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



### 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

#### 第2項 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

めざしたい将来像：

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

《指標》

学習活動を行っている市民の割合

#### (1) 指標の説明

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動を行っている市民の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q7 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間で振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 ほぼ毎日   | 3 月に数日ほど | 5 全くない |
| 2 週に数日ほど | 4 年に数日ほど |        |

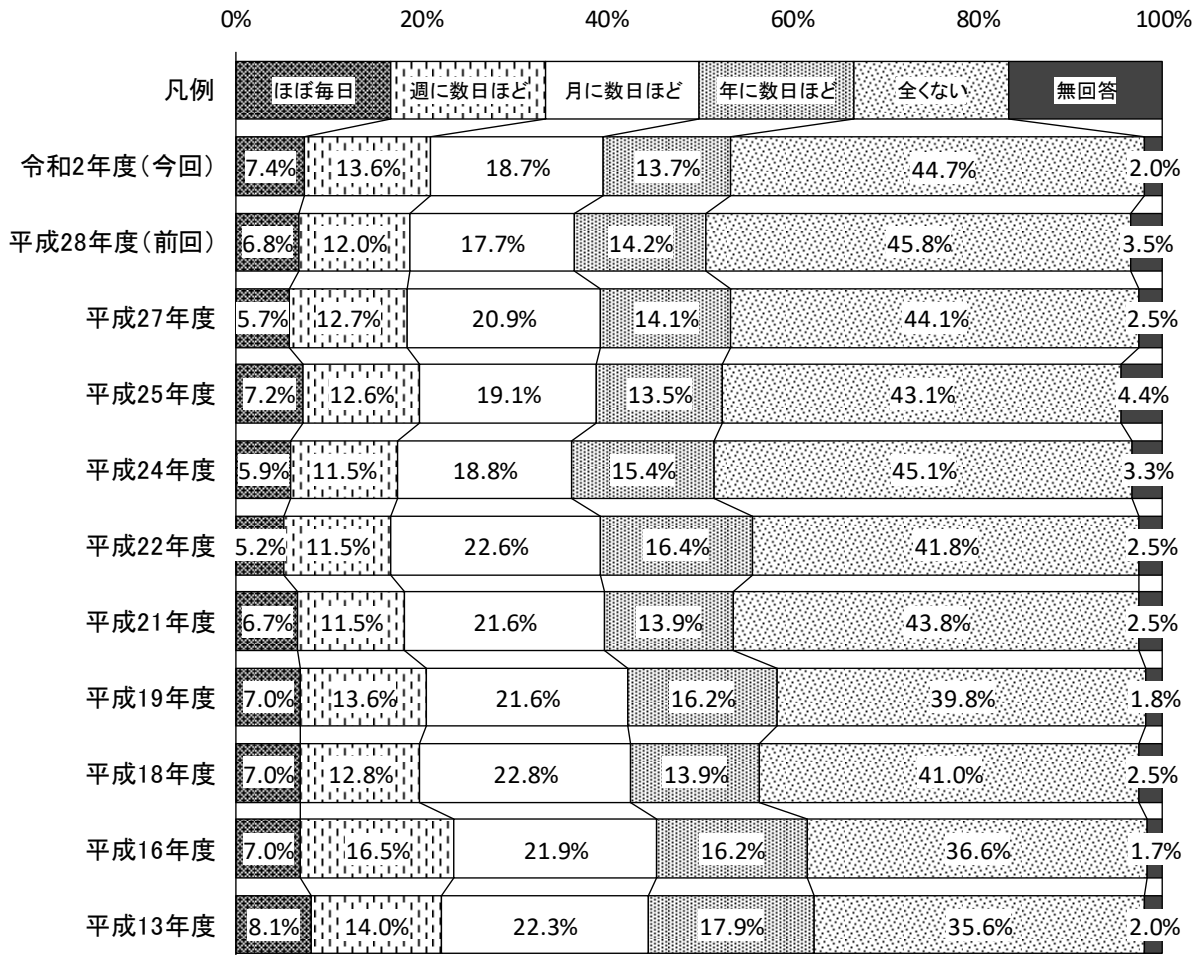
#### (3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
ほぼ毎日	8.1%	7.0%	7.0%	7.0%	6.7%	5.2%	5.9%	7.2%	5.7%	6.8%	7.4%
週に数日ほど	14.0%	16.5%	12.8%	13.6%	11.5%	11.5%	11.5%	12.6%	12.7%	12.0%	13.6%
月に数日ほど	22.3%	21.9%	22.8%	21.6%	21.6%	22.6%	18.8%	19.1%	20.9%	17.7%	18.7%
計	44.4%	45.4%	42.6%	42.2%	39.8%	39.3%	36.2%	39.0%	39.3%	36.5%	39.7%

#### (4) 指標の分析

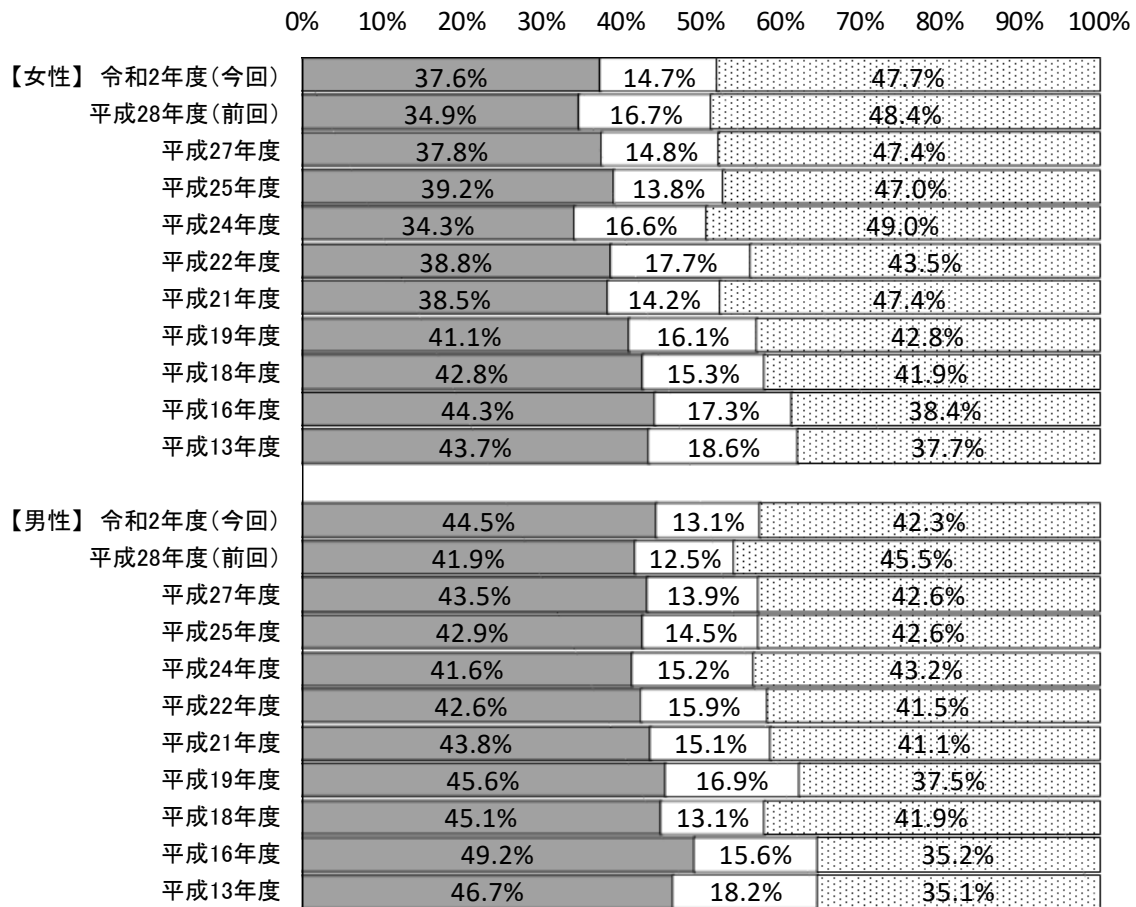
##### ☆定期的に学習活動を行っている人は約4割となっています

学習活動について、「ほぼ毎日」、「週に数日ほど」、「月に数日ほど」を合わせた『定期的に学習活動を行っている』(39.7%)と答えた方は約4割となっており、平成28年度調査と比べて3.2ポイント増加しています。



<学習活動×性別>

性別で見ると、『定期的に学習活動を行っている』は“男性”（44.5%）が“女性”（37.6%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



- 「ほぼ毎日」と「週に数日ほど」と「月に数日ほど」の合計比率
- 「年に数日ほど」の比率
- ▨「全くない」の比率



<学習活動×年齢別>

年齢別でみると、『定期的に学習活動を行っている』は“20～29歳”（56.9%）で最も高く、次いで“30～39歳”と“60～69歳”（ともに44.4%）となっています。また、“70歳以上”を除く全ての年代で『定期的に学習活動を行っている』は平成28年度調査と比べて増加しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

年齢別	年度	「ほぼ毎日」と「週に数日ほど」と「月に数日ほど」の合計比率	「年に数日ほど」の比率	「全くない」の比率
【20～29歳】	令和2年度(今回)	56.9%	21.2%	21.9%
	平成28年度(前回)	54.6%	10.0%	35.4%
	平成27年度	52.1%	10.1%	37.8%
	平成25年度	46.1%	12.5%	41.4%
	平成24年度	40.6%	21.7%	37.7%
	平成22年度	48.1%	17.1%	34.9%
	平成21年度	50.6%	16.7%	32.7%
	平成19年度	58.6%	14.3%	27.1%
	平成18年度	58.4%	9.9%	31.7%
	平成16年度	56.1%	16.5%	27.3%
平成13年度	49.3%	17.3%	33.3%	
【30～39歳】	令和2年度(今回)	44.4%	14.6%	41.0%
	平成28年度(前回)	32.8%	18.6%	48.6%
	平成27年度	38.1%	18.3%	43.6%
	平成25年度	40.9%	17.0%	42.2%
	平成24年度	35.3%	14.5%	50.2%
	平成22年度	36.0%	23.2%	40.8%
	平成21年度	42.5%	18.8%	38.7%
	平成19年度	41.5%	19.4%	39.1%
	平成18年度	40.4%	19.1%	40.4%
	平成16年度	46.0%	19.1%	34.9%
平成13年度	46.8%	21.5%	31.6%	
【40～49歳】	令和2年度(今回)	40.9%	13.9%	45.2%
	平成28年度(前回)	32.2%	16.5%	51.3%
	平成27年度	35.3%	16.9%	47.7%
	平成25年度	35.6%	16.4%	48.0%
	平成24年度	33.1%	18.8%	48.1%
	平成22年度	42.4%	19.4%	38.2%
	平成21年度	41.4%	12.3%	46.3%
	平成19年度	44.6%	21.6%	33.8%
	平成18年度	40.5%	22.3%	37.2%
	平成16年度	51.7%	20.7%	27.6%
平成13年度	45.8%	25.5%	28.7%	
【50～59歳】	令和2年度(今回)	38.8%	18.1%	43.1%
	平成28年度(前回)	38.7%	14.4%	46.8%
	平成27年度	40.7%	17.6%	41.6%
	平成25年度	38.3%	17.8%	43.9%
	平成24年度	37.7%	16.7%	45.6%
	平成22年度	41.2%	17.2%	41.6%
	平成21年度	33.2%	15.6%	51.2%
	平成19年度	36.4%	18.2%	45.5%
	平成18年度	39.2%	15.0%	45.8%
	平成16年度	37.2%	18.8%	43.9%
平成13年度	42.2%	17.6%	40.1%	
【60～69歳】	令和2年度(今回)	44.4%	12.9%	42.7%
	平成28年度(前回)	39.5%	14.3%	46.1%
	平成27年度	36.8%	11.6%	51.6%
	平成25年度	43.7%	12.2%	44.0%
	平成24年度	39.3%	15.1%	45.6%
	平成22年度	41.5%	12.5%	46.0%
	平成21年度	40.8%	14.2%	45.0%
	平成19年度	43.1%	13.8%	43.1%
	平成18年度	46.1%	9.3%	44.6%
	平成16年度	49.2%	11.4%	39.4%
平成13年度	44.6%	13.3%	42.1%	
【70歳以上】	令和2年度(今回)	32.6%	9.6%	57.8%
	平成28年度(前回)	36.3%	14.0%	49.7%
	平成27年度	44.5%	11.8%	43.7%
	平成25年度	40.4%	10.2%	49.4%
	平成24年度	40.4%	11.6%	48.0%
	平成22年度	36.7%	11.7%	51.5%
	平成21年度	40.0%	9.2%	50.8%
	平成19年度	41.0%	11.3%	47.7%
	平成18年度	43.9%	7.8%	48.3%
	平成16年度	42.5%	13.8%	43.8%
平成13年度	40.0%	12.0%	48.0%	

- 「ほぼ毎日」と「週に数日ほど」と「月に数日ほど」の合計比率
- 「年に数日ほど」の比率
- ▨「全くない」の比率

<学習活動×芸術文化の実施状況別>

芸術文化の実施状況別でみると、『定期的に学習活動を行っている』は実施頻度が高くなるにつれて割合が高くなっており、「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」(75.2%)と答えた方で最も高くなっています。一方、「ほとんど鑑賞しない」(18.9%)と答えた方では2割に達していません。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

【鑑賞し、自分でも創作や実践もしている】	令和2年度(今回)	75.2%	5.8%	19.0%
	平成28年度(前回)	74.0%	8.7%	17.3%
	平成27年度	69.4%	11.6%	19.0%
	平成25年度	76.3%	6.4%	17.3%
	平成24年度	60.8%	14.4%	24.8%
	平成22年度	74.1%	13.6%	12.2%
	平成21年度	70.4%	8.1%	21.5%
	平成19年度	75.2%	14.3%	10.5%
	平成18年度	71.4%	9.5%	19.0%
	平成16年度	74.6%	7.9%	17.5%
平成13年度	82.6%	8.7%	8.7%	
【よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない】	令和2年度(今回)	55.9%	15.5%	28.6%
	平成28年度(前回)	48.4%	12.2%	39.4%
	平成27年度	52.1%	12.8%	35.1%
	平成25年度	51.3%	18.6%	30.2%
	平成24年度	51.4%	17.8%	30.9%
	平成22年度	50.6%	13.4%	35.9%
	平成21年度	52.6%	16.0%	31.5%
	平成19年度	55.2%	12.3%	32.5%
	平成18年度	59.0%	14.3%	26.7%
	平成16年度	62.6%	16.1%	21.3%
平成13年度	53.2%	16.7%	30.1%	
【時々鑑賞している】	令和2年度(今回)	45.3%	20.4%	34.2%
	平成28年度(前回)	44.9%	18.3%	36.8%
	平成27年度	51.0%	17.2%	31.8%
	平成25年度	44.4%	16.4%	39.2%
	平成24年度	43.8%	17.6%	38.6%
	平成22年度	45.3%	19.3%	35.4%
	平成21年度	43.3%	19.8%	36.9%
	平成19年度	46.0%	20.9%	33.1%
	平成18年度	47.3%	16.1%	36.6%
	平成16年度	54.6%	17.1%	28.3%
平成13年度	51.1%	21.1%	27.8%	
【たまたま鑑賞している】	令和2年度(今回)	37.0%	13.0%	50.0%
	平成28年度(前回)	34.6%	18.6%	46.8%
	平成27年度	36.1%	18.3%	45.7%
	平成25年度	35.5%	15.3%	49.2%
	平成24年度	33.6%	19.5%	46.9%
	平成22年度	33.0%	20.5%	46.5%
	平成21年度	35.7%	14.3%	50.0%
	平成19年度	38.7%	19.1%	42.2%
	平成18年度	39.1%	16.5%	44.4%
	平成16年度	39.3%	17.4%	43.3%
平成13年度	39.2%	21.5%	39.2%	
【ほとんど鑑賞しない】	令和2年度(今回)	18.9%	11.0%	70.1%
	平成28年度(前回)	20.6%	10.1%	69.3%
	平成27年度	19.0%	9.5%	71.5%
	平成25年度	22.6%	12.9%	64.4%
	平成24年度	18.8%	10.0%	71.2%
	平成22年度	22.6%	13.0%	64.4%
	平成21年度	25.0%	8.5%	66.5%
	平成19年度	24.8%	13.4%	61.8%
	平成18年度	23.9%	12.1%	64.0%
	平成16年度	22.3%	18.9%	58.8%
平成13年度	24.3%	16.7%	59.0%	

■「ほぼ毎日」と「週に数日ほど」と「月に数日ほど」の合計比率

□「年に数日ほど」の比率

▣「全くない」の比率

《指標》

学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合

(1) 指標の説明

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度（認知）」

Q8 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください。

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1 仕事、職業に活かされている           | 6 その他（ ）       |
| 2 自分自身の向上に活かされている         | 7 活かされていない     |
| 3 家庭や家族に活かされている           | 8 学習活動をしたことがない |
| 4 地域活動や社会活動に活かされている       |                |
| 5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている |                |

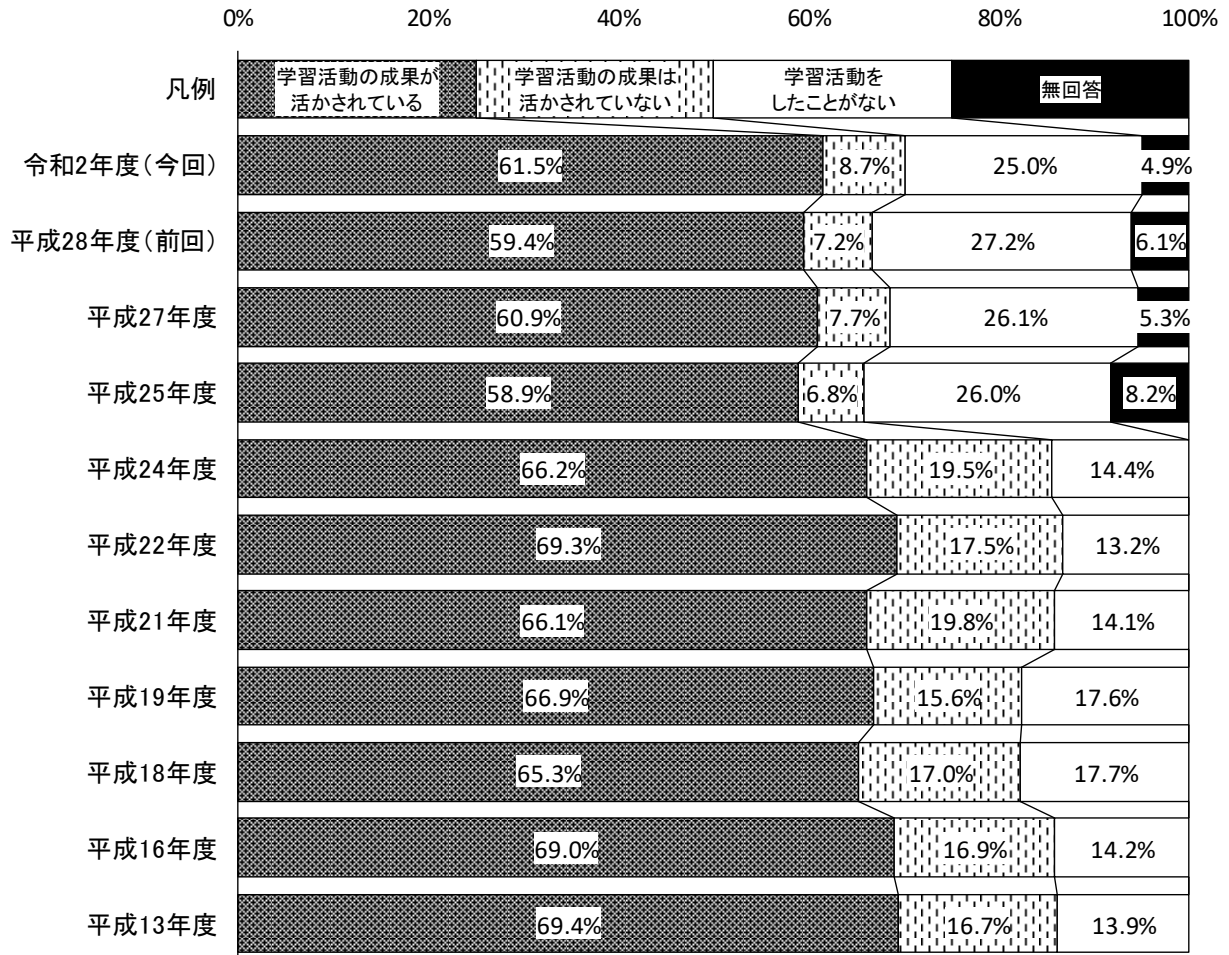
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
学習活動の成果が 活かされている	69.4%	69.0%	65.3%	66.9%	66.1%	69.3%	66.2%	58.9%	60.9%	59.4%	61.5%

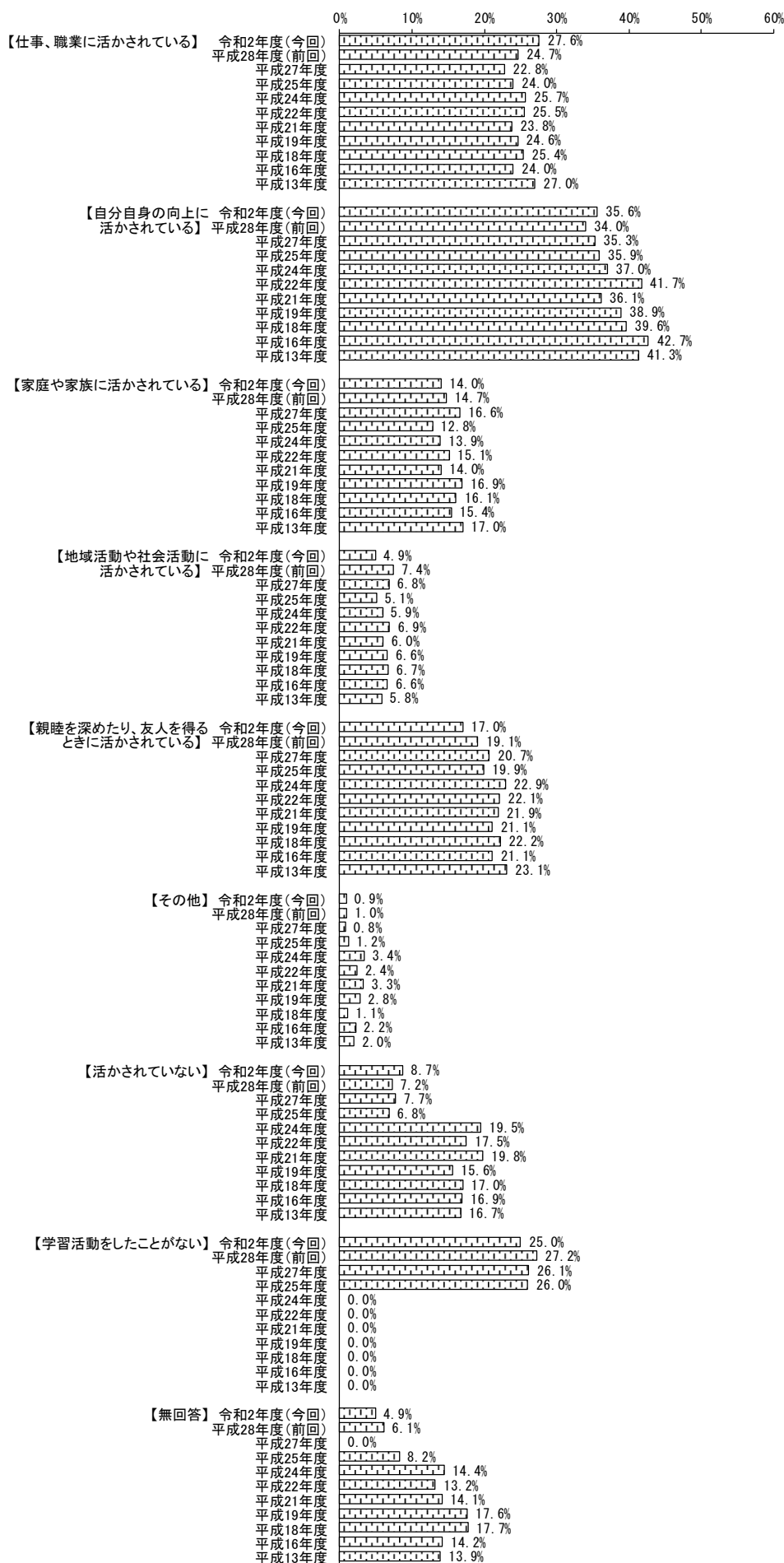
(4) 指標の分析

☆学習活動の成果が活かされていると思う人は約6割となっています

自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされているかについて、「学習活動の成果が活かされている」(61.5%)と答えた方は約6割となっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。

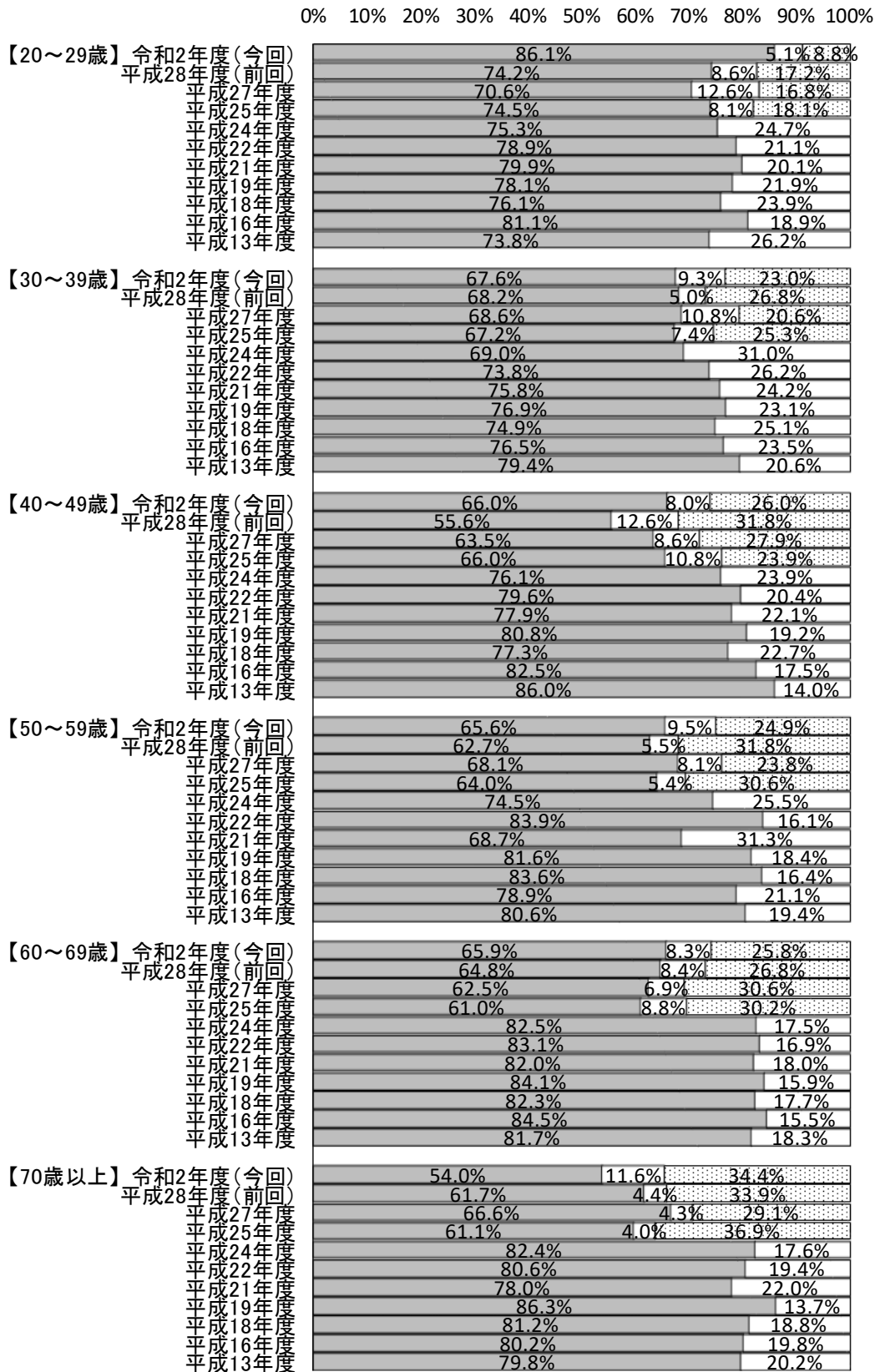


学習活動の成果が活かされていると思う具体的な機会は、「自分自身の向上に活かされている」(35.6%)が最も高く、次いで「仕事、職業に活かされている」(27.6%)となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはありません。



<学習活動の成果×年齢別>

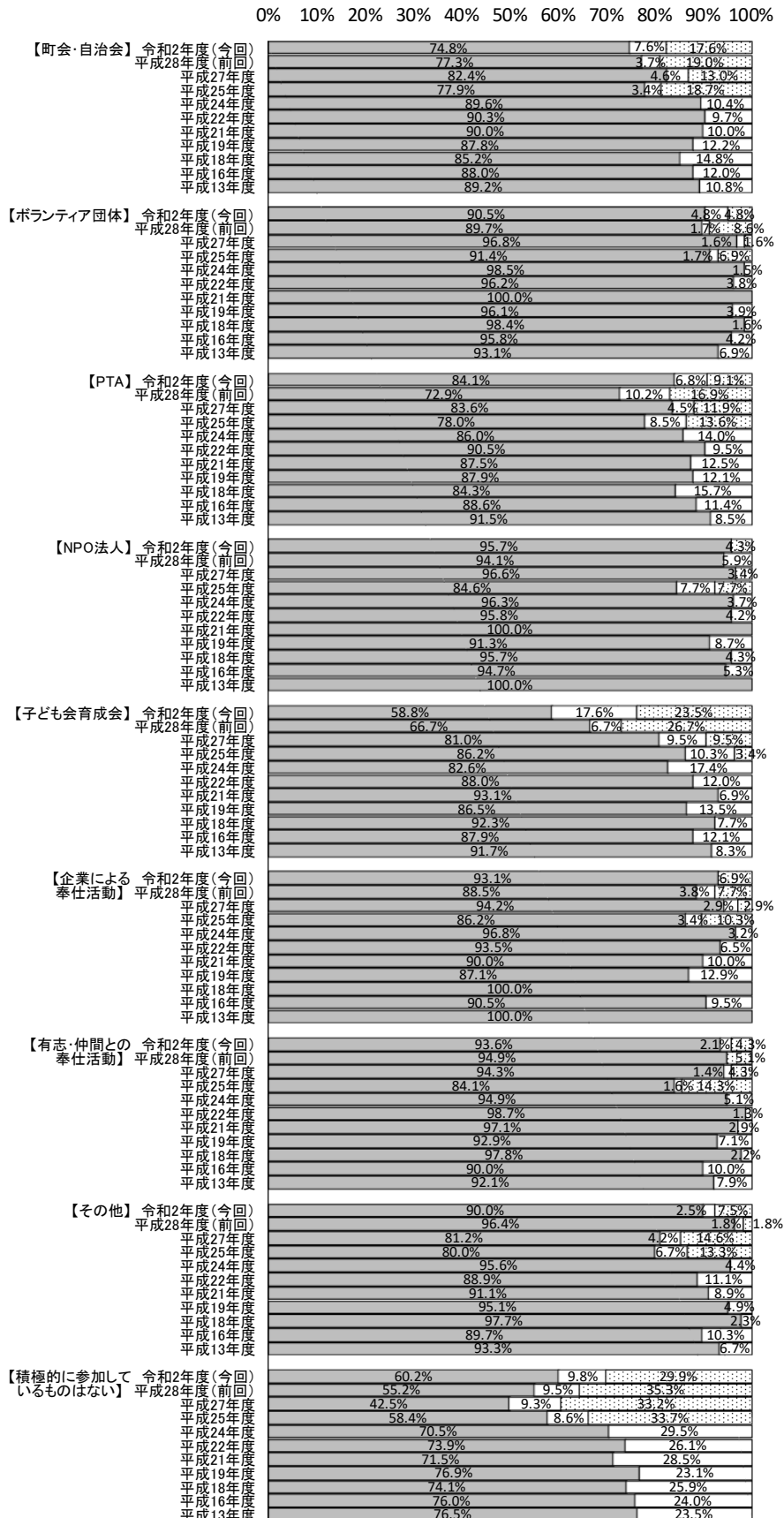
年齢別でみると、「学習活動の成果が活かされている」は“20～29歳”（86.1%）で最も高く、次いで“30～39歳”（67.6%）となっています。また、「学習活動の成果が活かされている」は平成28年度調査と比べて、“20～29歳”で11.9ポイント、“40～49歳”で10.4ポイント、それぞれ増加しています。



- 「学習活動の成果が活かされている」の比率
- 「学習活動の成果は活かされていない」の比率
- ▨「学習活動をしたことがない」の比率

<学習活動の成果×地域活動への参加別>

地域活動への参加別で見ると、「学習活動の成果が活かされている」は“NPO法人”(95.7%)、“有志・仲間との奉仕活動”(93.6%)、“企業による奉仕活動”(93.1%)、“ボランティア団体”(90.5%)に参加していると答えた方で9割台と高くなっています。



- 「学習活動の成果が活かされている」の比率
- 「学習活動の成果は活かされていない」の比率
- ▨「学習活動をしたことがない」の比率

《指標》

スポーツを行なっている市民の割合

(1) 指標の説明

スポーツをすることで、身体・精神の両面に良好な影響を与え、ストレスの多い現代社会において人生をより豊かにします。そこで、スポーツの振興度合を把握するため、スポーツを行なっている市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q12 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 1 ほぼ毎日   | 3 以前はしていたが、現在はしていない |
| 2 最近、始めた | 4 以前も、現在もしていない      |

(3) 指標の現状

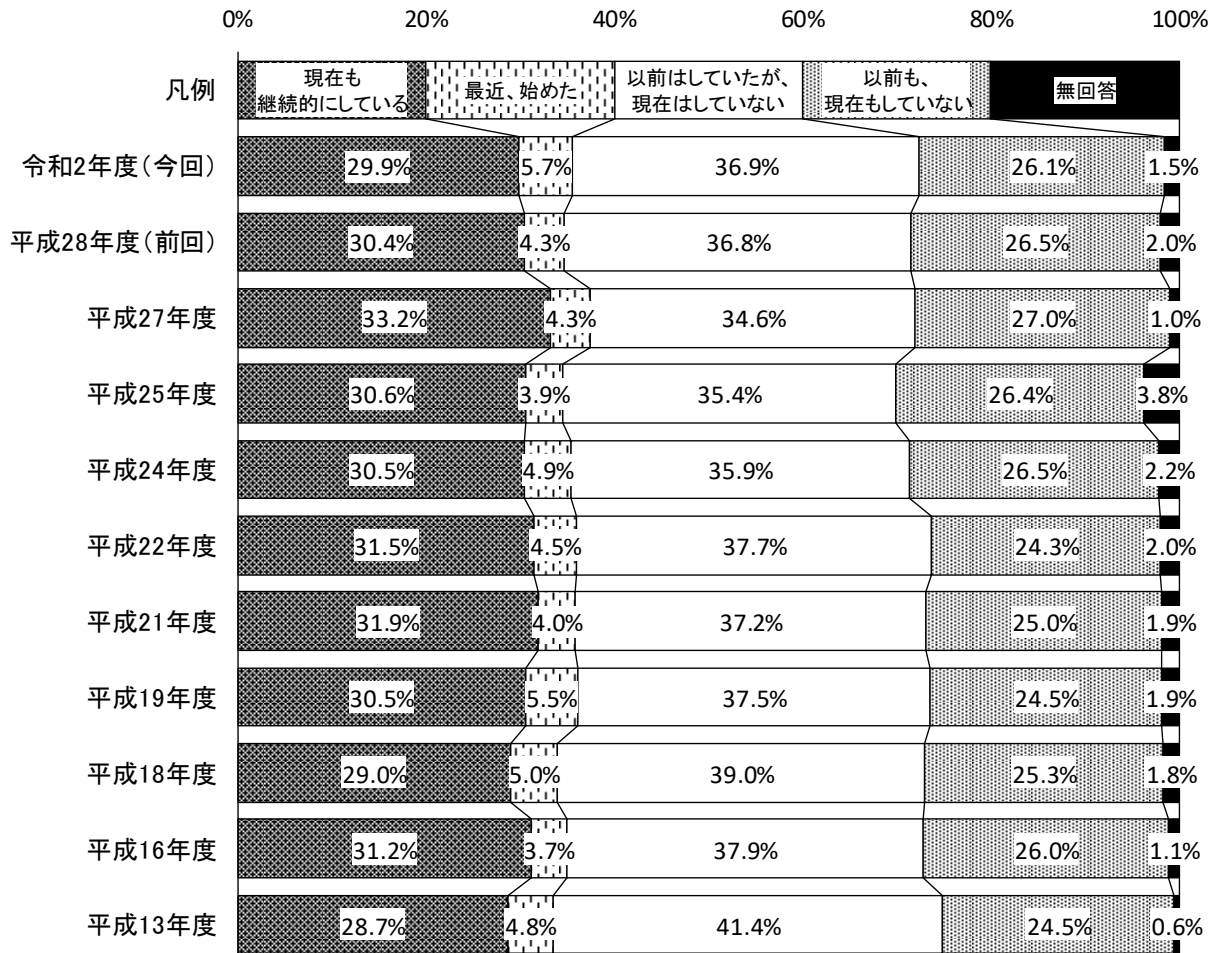
	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
現在も継続的に している	28.7%	31.2%	29.0%	30.5%	31.9%	31.5%	30.5%	30.6%	33.2%	30.4%	29.9%
最近、始めた	4.8%	3.7%	5.0%	5.5%	4.0%	4.5%	4.9%	3.9%	4.3%	4.3%	5.7%
計	33.5%	34.9%	34.0%	36.0%	35.9%	36.1%	35.4%	34.4%	37.5%	34.7%	35.6%



#### (4) 指標の分析

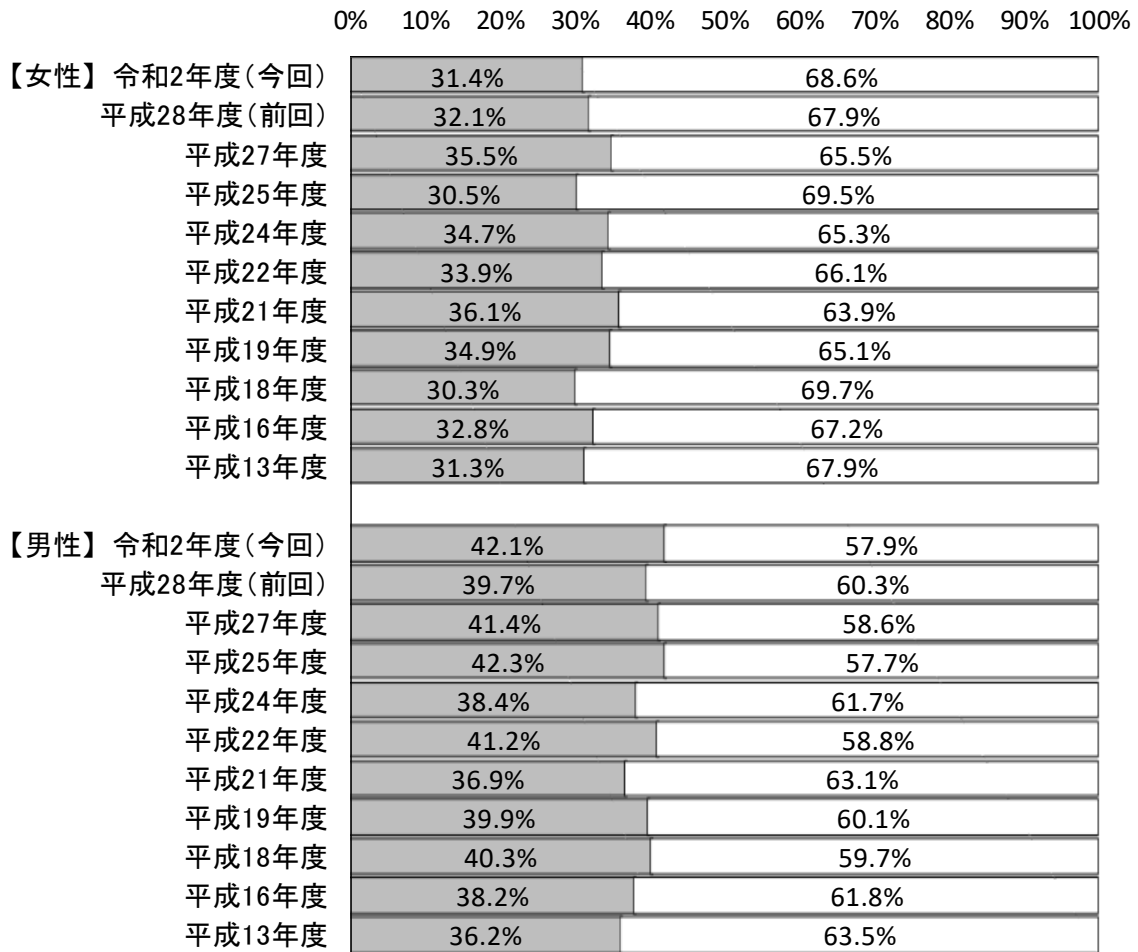
##### ☆日頃、運動・スポーツをしている人は3割半ばとなっています

日頃の運動・スポーツの実施状況について、「現在も継続的にしている」、「最近、始めた」を合わせた『運動・スポーツをしている』(35.6%)と答えた方は3割半ばとなっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。



<スポーツ活動×性別>

性別でみると、『運動・スポーツをしている』は“男性”（42.1%）が“女性”（31.4%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。

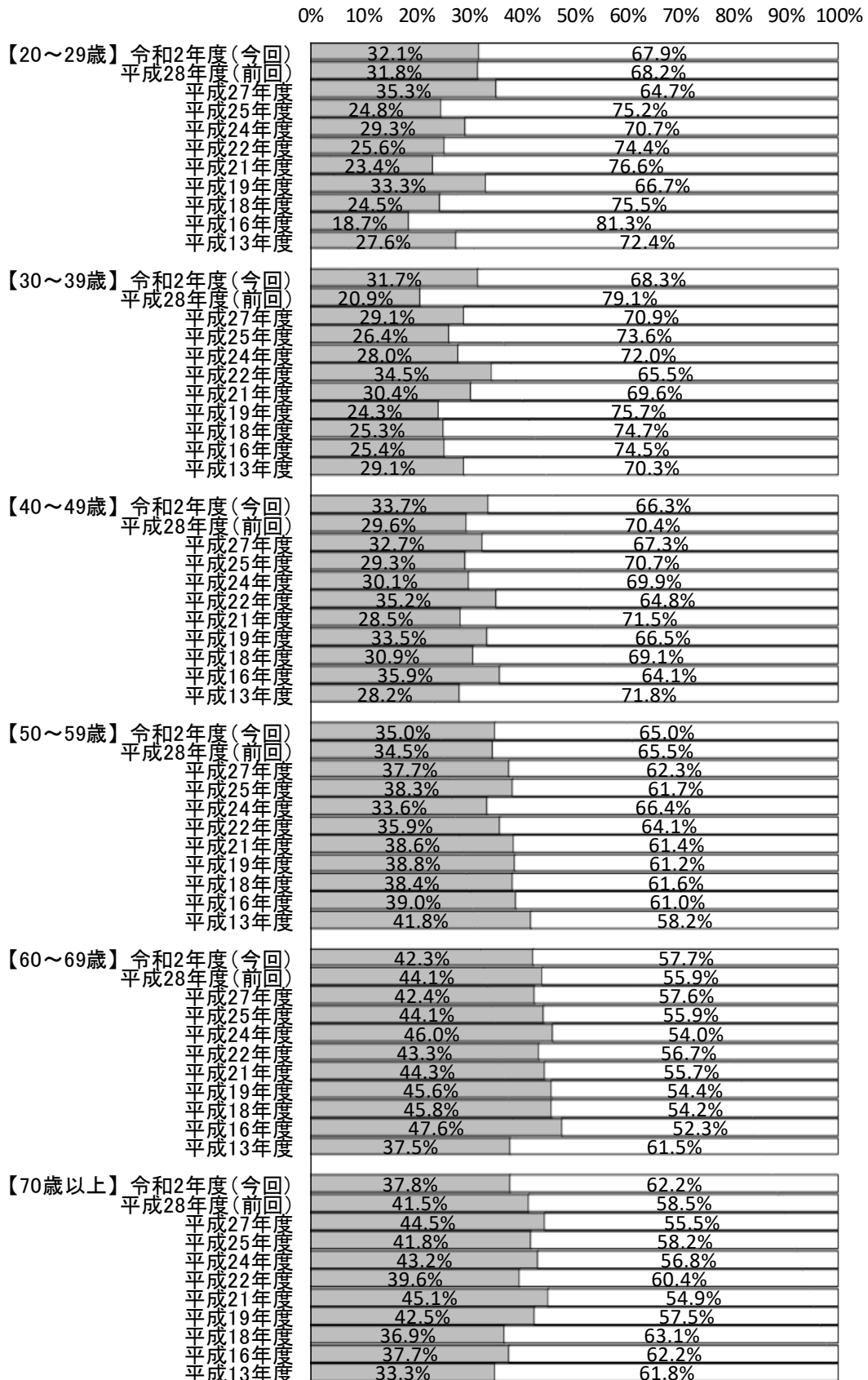


■「現在も継続的にしている」と「最近、始めた」の合計比率

□「以前はしていたが、現在はしていない」と「以前も、現在もしていない」の合計比率

<スポーツ活動×年齢別>

年齢別で見ると、『運動・スポーツをしている』は“60～69歳”（42.3%）で最も高く、次いで“70歳以上”（37.8%）となっています。また、『運動・スポーツをしている』は平成28年度調査と比べて“30～39歳”で10.8ポイント増加しています。

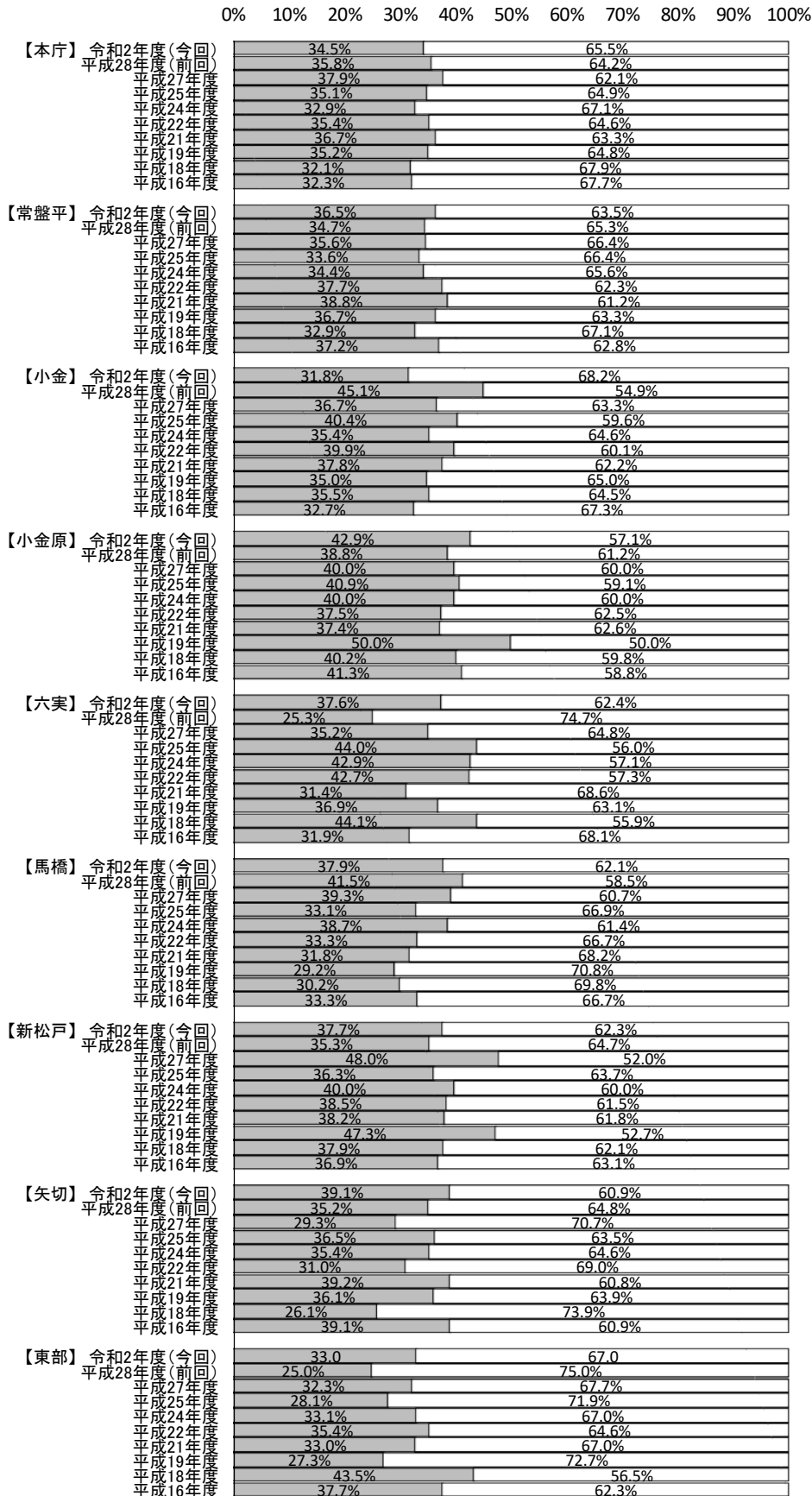


■「現在も継続的にしている」と「最近、始めた」の合計比率

□「以前はしていたが、現在はしていない」と「以前も、現在もしていない」の合計比率

<スポーツ活動×居住地区別>

居住地区別でみると、『運動・スポーツをしている』は“小金原”（42.9%）で最も高く、次いで“矢切”（39.1%）となっています。また、『運動・スポーツをしている』は平成28年度調査と比べて、“六実”で12.3ポイント、“東部”で8.0ポイント、それぞれ増加しています。



■「現在も継続的にしている」と「最近、始めた」の合計比率

□「以前はしていたが、現在はしていない」と「以前も、現在もしていない」の合計比率

### 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

#### 第3項 国際的な広い視野と平和を愛する心が生まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします

めざしたい将来像：

平和を大切にし、松戸を愛する人を増やすため、日本人も外国人も皆が松戸の歴史や文化・伝統が身近に感じられる工夫をこらして、誰もが誇りのもてる“ふるさと松戸”を実現します。

《指標》

史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度

#### (1) 指標の説明

松戸の歴史、文化身近に感じ、満足している人の割合を把握するため、史跡や神社、仏閣など歴史など・伝統文化遺産の満足度を指標にします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（ス） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ス	史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	1	2	3	4	5	6

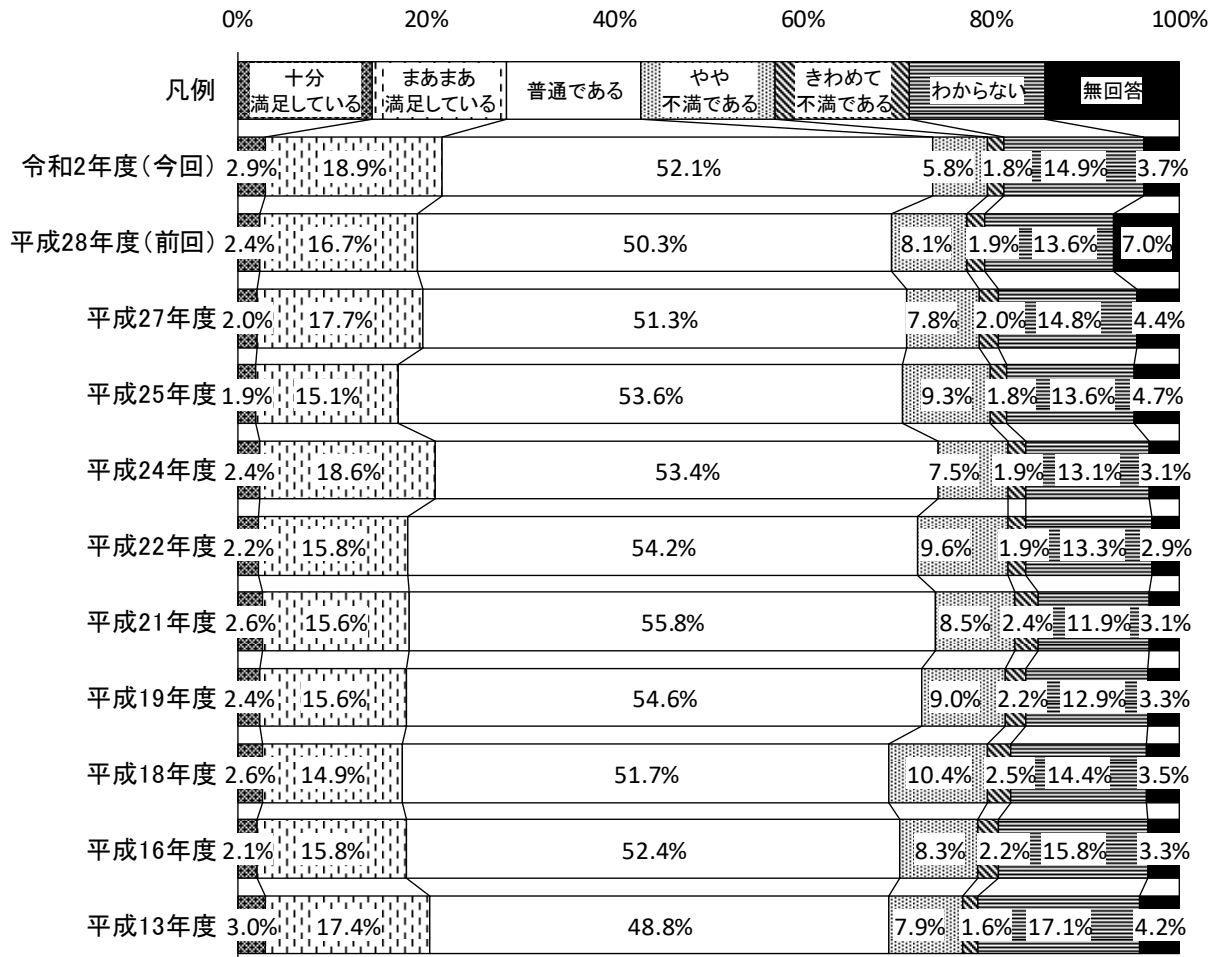
#### (3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	3.0%	2.1%	2.6%	2.4%	2.6%	2.2%	2.4%	1.9%	2.0%	2.4%	2.9%
まあまあ満足している	17.4%	15.8%	14.9%	15.6%	15.6%	15.8%	18.6%	15.1%	17.7%	16.7%	18.9%
計	20.4%	17.9%	17.5%	18.0%	18.2%	18.0%	21.0%	17.0%	19.7%	19.1%	21.8%

(4) 指標の分析

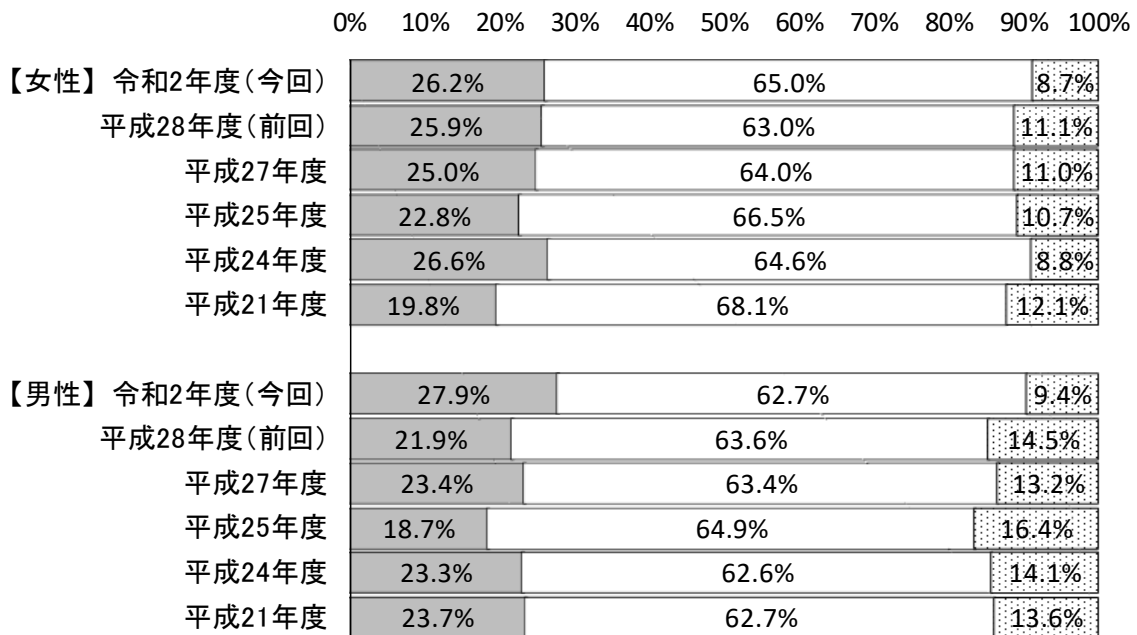
☆史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度は約2割

史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産に、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(21.8%)と答えた方は約2割となっており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産×性別>

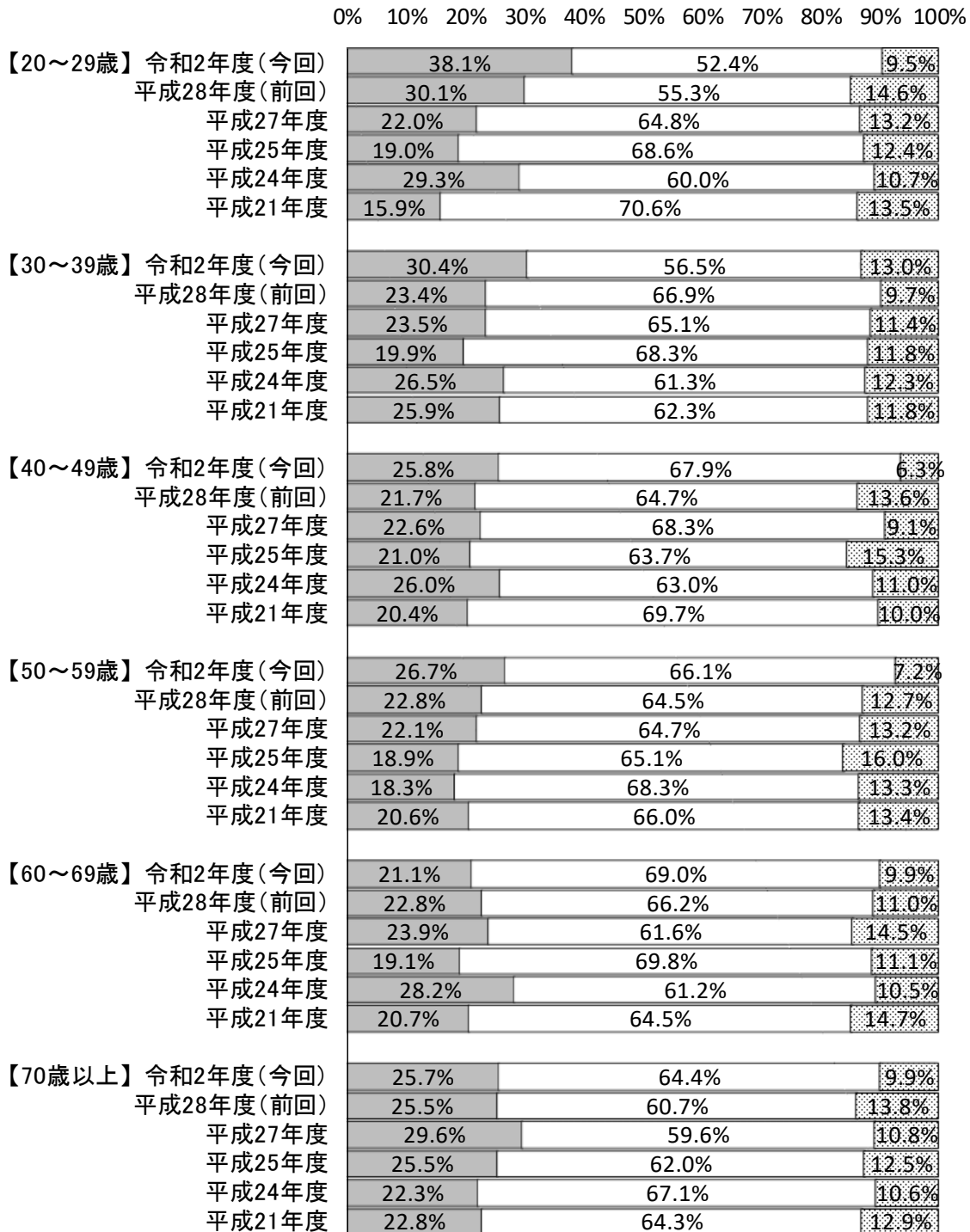
性別で見ると、『満足している』は“男性”（27.9%）が“女性”（26.2%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて男性では6.0ポイント増加しています。



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産×年齢別>

年齢別で見ると、『満足している』は“20～29歳”（38.1%）で最も高く、次いで“30～39歳”（30.4%）、“50～59歳”（26.7%）となっています。また、『満足している』は平成28年度調査と比べて、“20～29歳”で8.0ポイント、“30～39歳”で7.0ポイント、それぞれ増加しています。

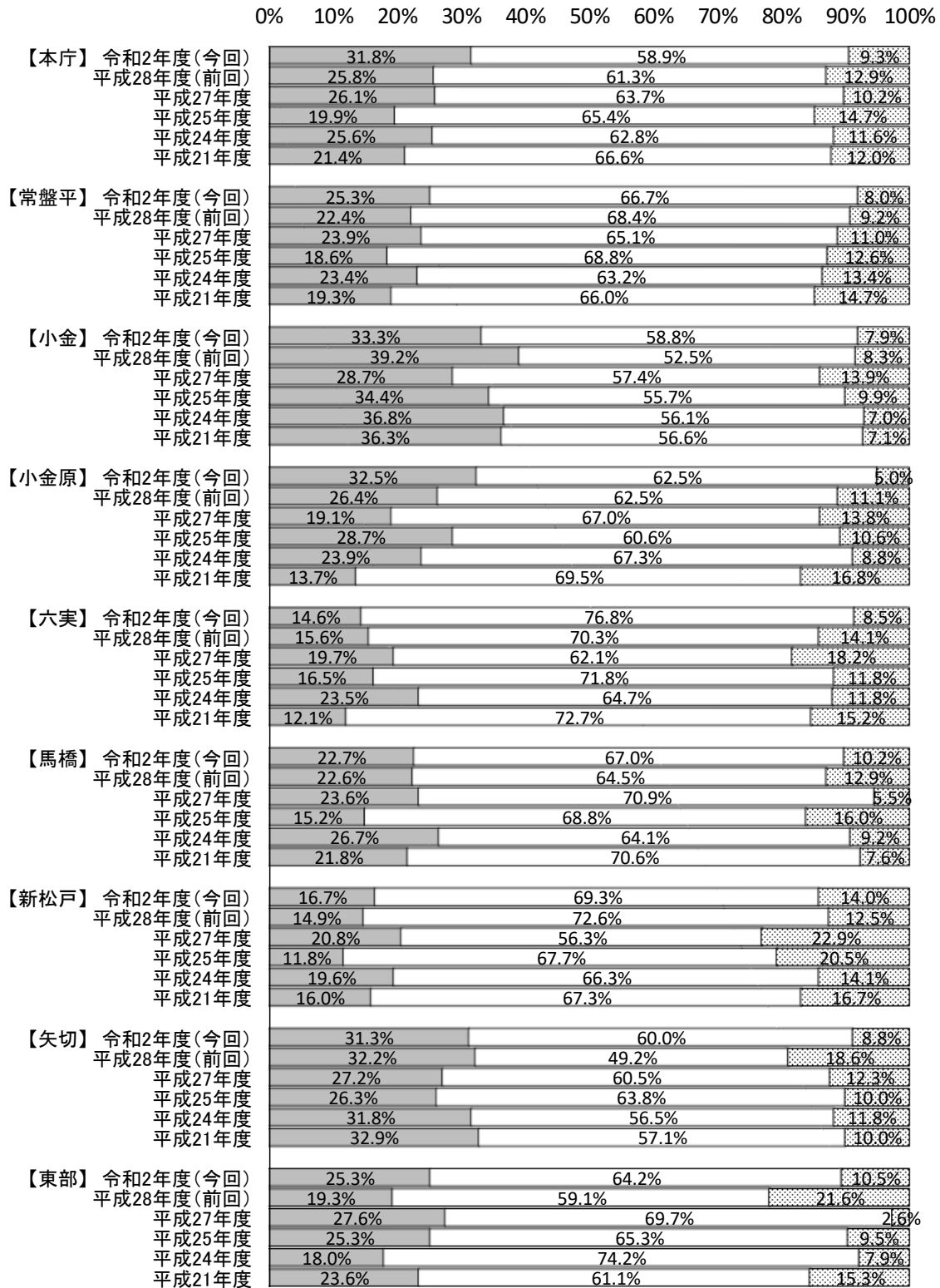


- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率



<史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産×居住地区別>

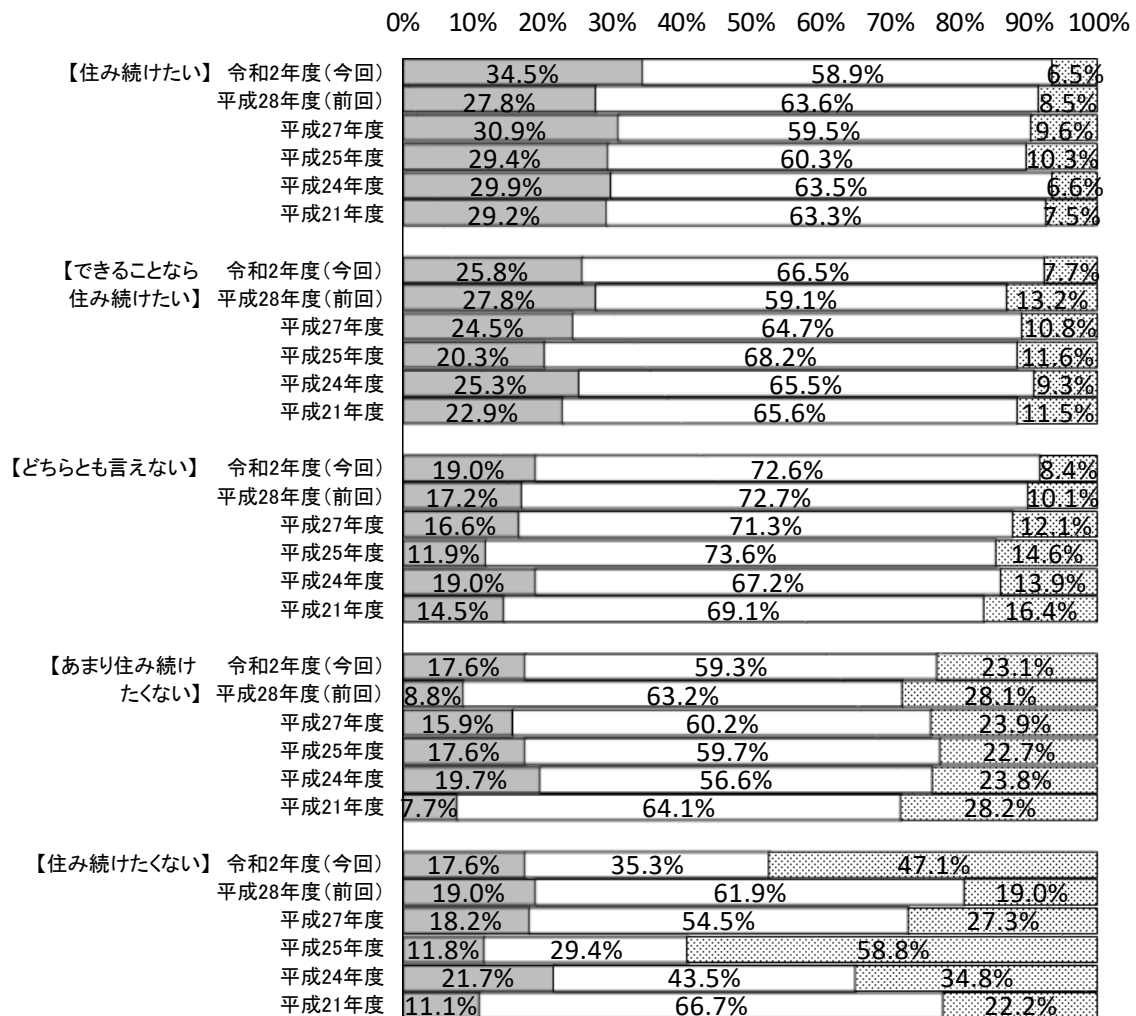
居住地区別でみると、『満足している』は“小金” (33.3%) で最も高く、次いで“小金原” (32.5%) となっています。また、『満足している』は平成28年度調査と比べて、“小金原” で6.1ポイント、“本庁” と“東部” でともに6.0ポイント、それぞれ増加しています。



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産×定住意向別>

定住意向別でみると、『満足している』は定住意向が強くなるにつれて割合が高くなっており、「住み続けたい」(34.5%)と答えた方で最も高くなっています。



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

《指標》

文化・芸術に親しむ市民の割合

(1) 指標の説明

市民が親しんだり活動したりしている文化や芸術には様々なものがありますが、市民の自主的活動や自ら創造的な活動をする市民が増えていくことをめざします。そこで文化・芸術に親しむ市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により創作や実践と鑑賞を区分して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q13 あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 1 鑑賞し、自分でも創作や実践もしている    | 4 たまに鑑賞している |
| 2 よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない | 5 ほとんど鑑賞しない |
| 3 時々鑑賞している              |             |

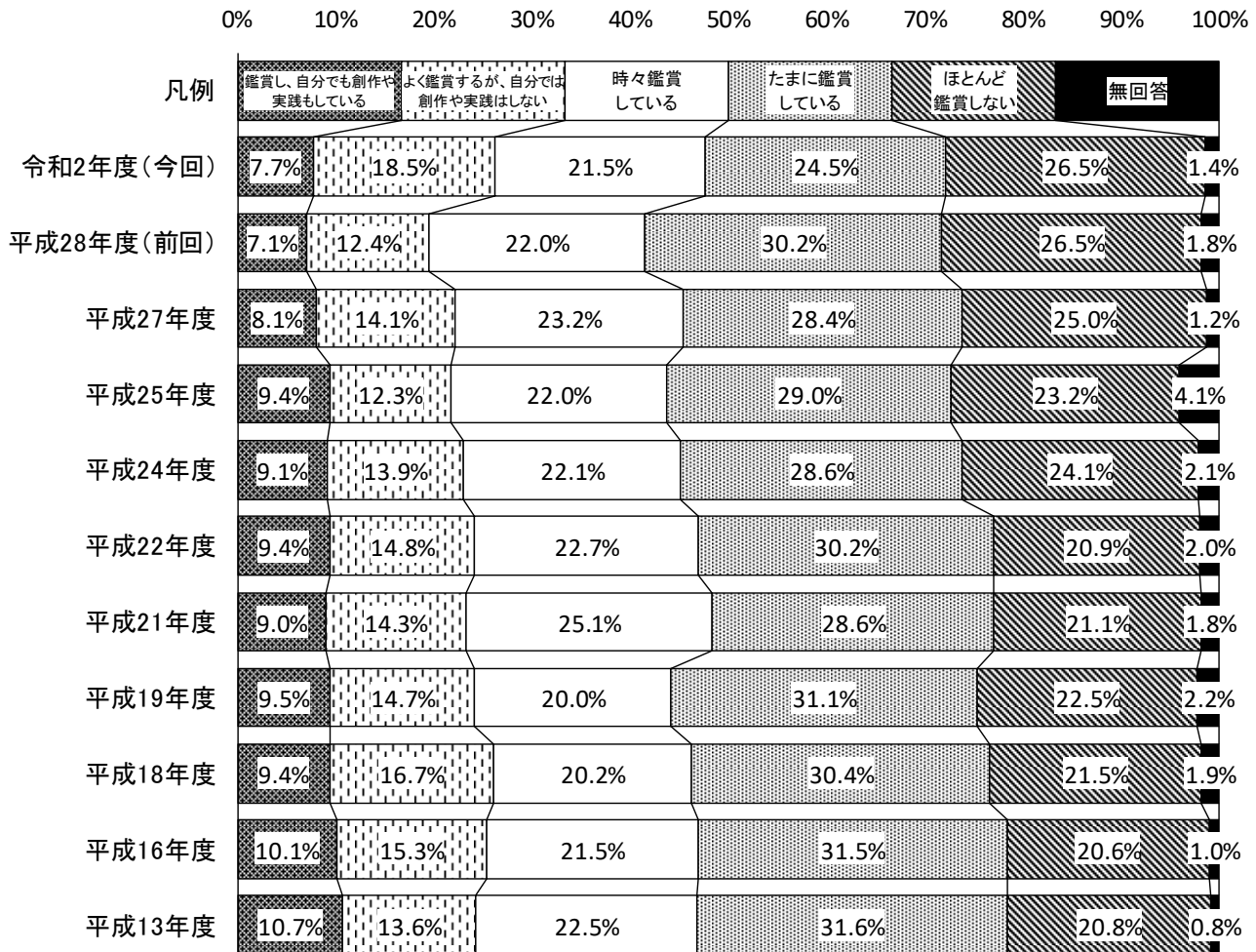
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
鑑賞し、自分でも 創作や実践もして いる	10.7%	10.1%	9.4%	9.5%	9.0%	9.4%	9.1%	9.4%	8.1%	7.1%	7.7%
よく鑑賞するが、 自分では創作や 実践はしない	13.6%	15.3%	16.7%	14.7%	14.3%	14.8%	13.9%	12.3%	14.1%	12.4%	18.5%
時々鑑賞している	22.5%	21.5%	20.2%	20.0%	25.1%	22.7%	22.1%	22.0%	23.2%	22.0%	21.5%
計	46.8%	46.9%	46.2%	44.2%	48.4%	47.0%	45.1%	43.7%	45.4%	41.5%	47.7%

#### (4) 指標の分析

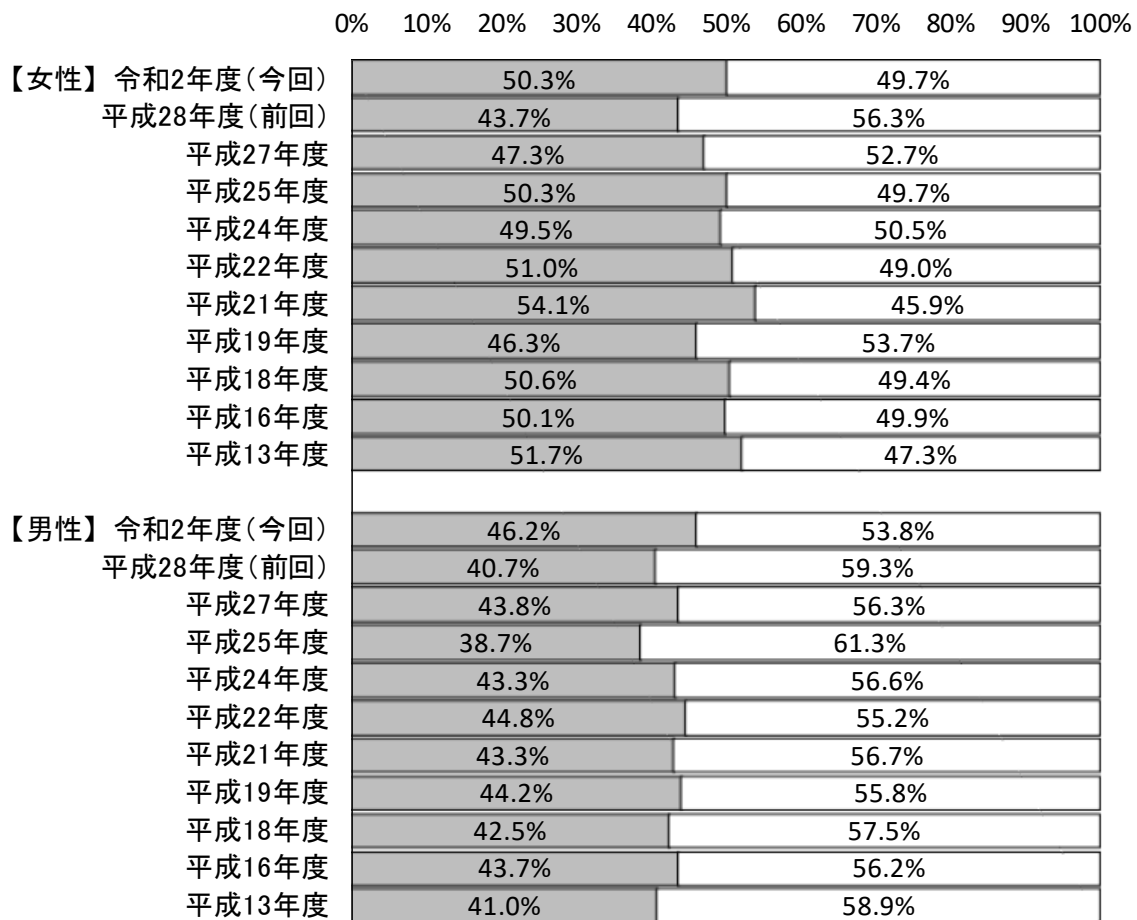
##### ☆文化・芸術に親しんでいる人は約5割となっています

文化・芸術について、「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」、「よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない」、「時々鑑賞している」を合わせた『文化・芸術に親しんでいる』(47.7%)と答えた方は約5割となっており、平成28年度調査と比べて6.2ポイント増加しています。



<文化・芸術活動×性別>

性別で見ると、『文化・芸術に親しんでいる』は“女性”（50.3%）が“男性”（46.2%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて、女性では6.6ポイント、男性では5.5ポイント、それぞれ増加しています。

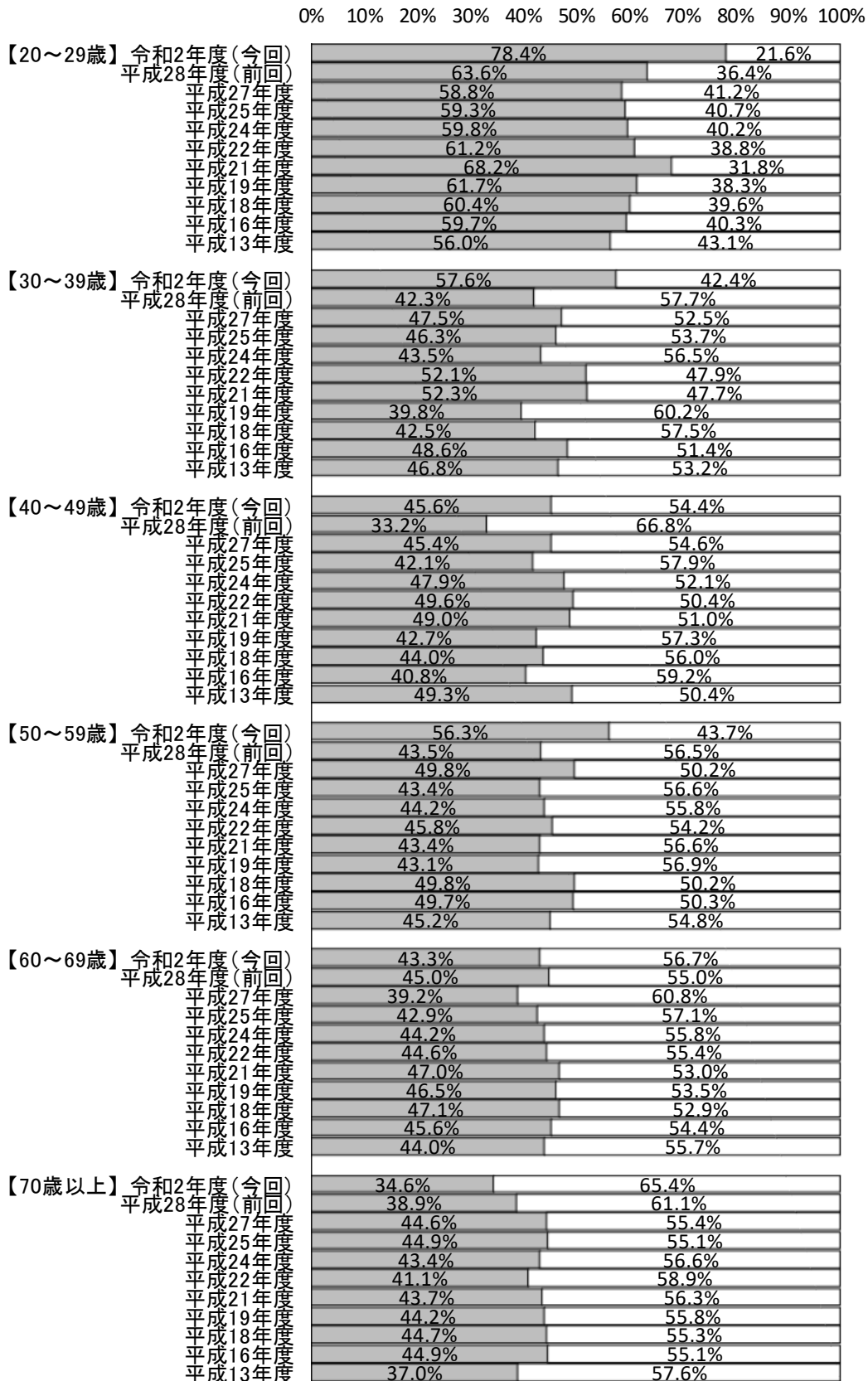


■「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」と「よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない」と「時々鑑賞している」の合計比率

□「たまに鑑賞している」と「ほとんど鑑賞しない」の合計比率

<文化・芸術活動×年齢別>

年齢別でみると、『文化・芸術に親しんでいる』は“20～29 歳”（78.4%）で最も高く、次いで“30～39 歳”（57.6%）、“50～59 歳”（56.3%）となっています。また、59 歳以下の年代で『文化・芸術に親しんでいる』は平成 28 年度調査と比べて 10 ポイント以上増加しています。



■「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」と「よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない」と「時々鑑賞している」の合計比率

□「たまたま鑑賞している」と「ほとんど鑑賞しない」の合計比率

《指標》

外国籍市民と交流している人の割合

(1) 指標の説明

外国籍市民と交流する人達がより増えることにより、日常生活の中で様々な不安やトラブルが減少すると考えられます。そこで、外国籍市民と交流している人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q14 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 大変よくある | 3 ときどきある | 5 ほとんどない |
| 2 しばしばある | 4 あまりない  |          |

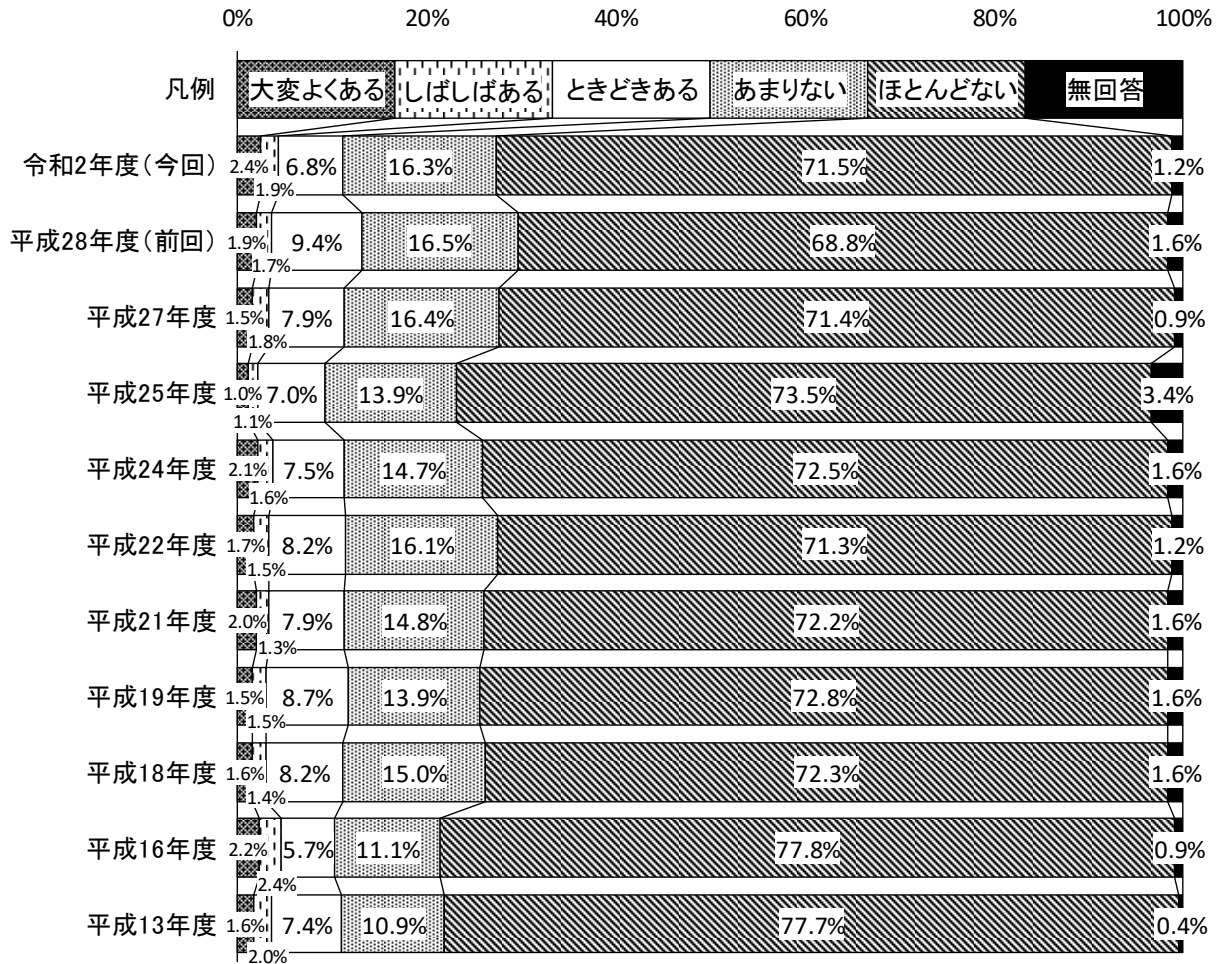
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
大変よくある	1.6%	2.2%	1.6%	1.5%	2.0%	1.7%	2.1%	1.0%	1.5%	1.9%	2.4%
しばしばある	2.0%	2.4%	1.4%	1.5%	1.3%	1.5%	1.6%	1.1%	1.8%	1.7%	1.9%
計	3.6%	4.6%	2.9%	3.0%	3.3%	3.2%	3.7%	2.1%	3.3%	3.6%	4.3%

#### (4) 指標の分析

##### ☆外国籍市民と頻繁に交流している人は、平成28年度調査と同様に1割未満となっています

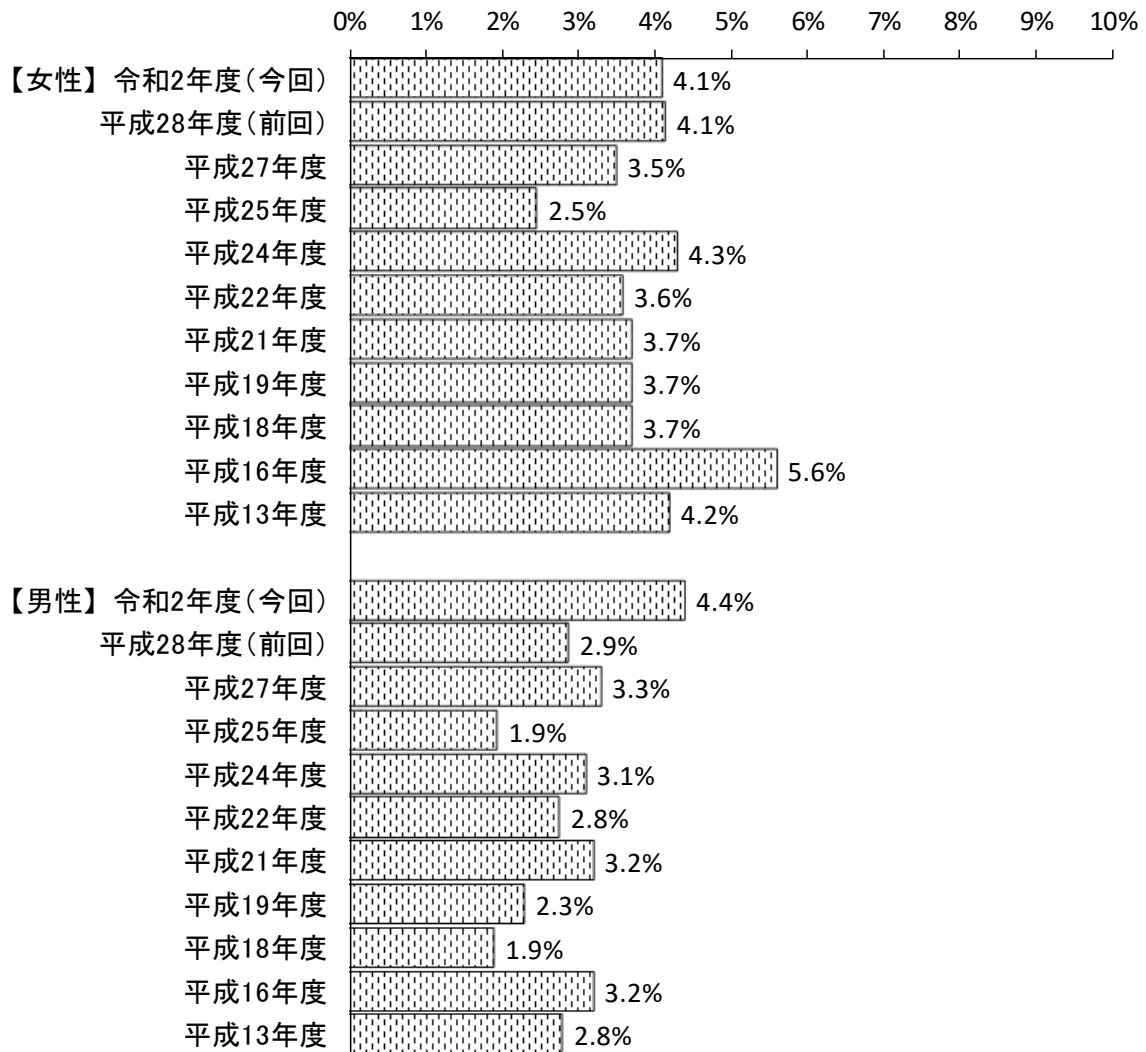
外国籍市民との交流について、「大変よくある」、「しばしばある」を合わせた『頻繁に交流している』(4.3%)と答えた方はわずかとなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。





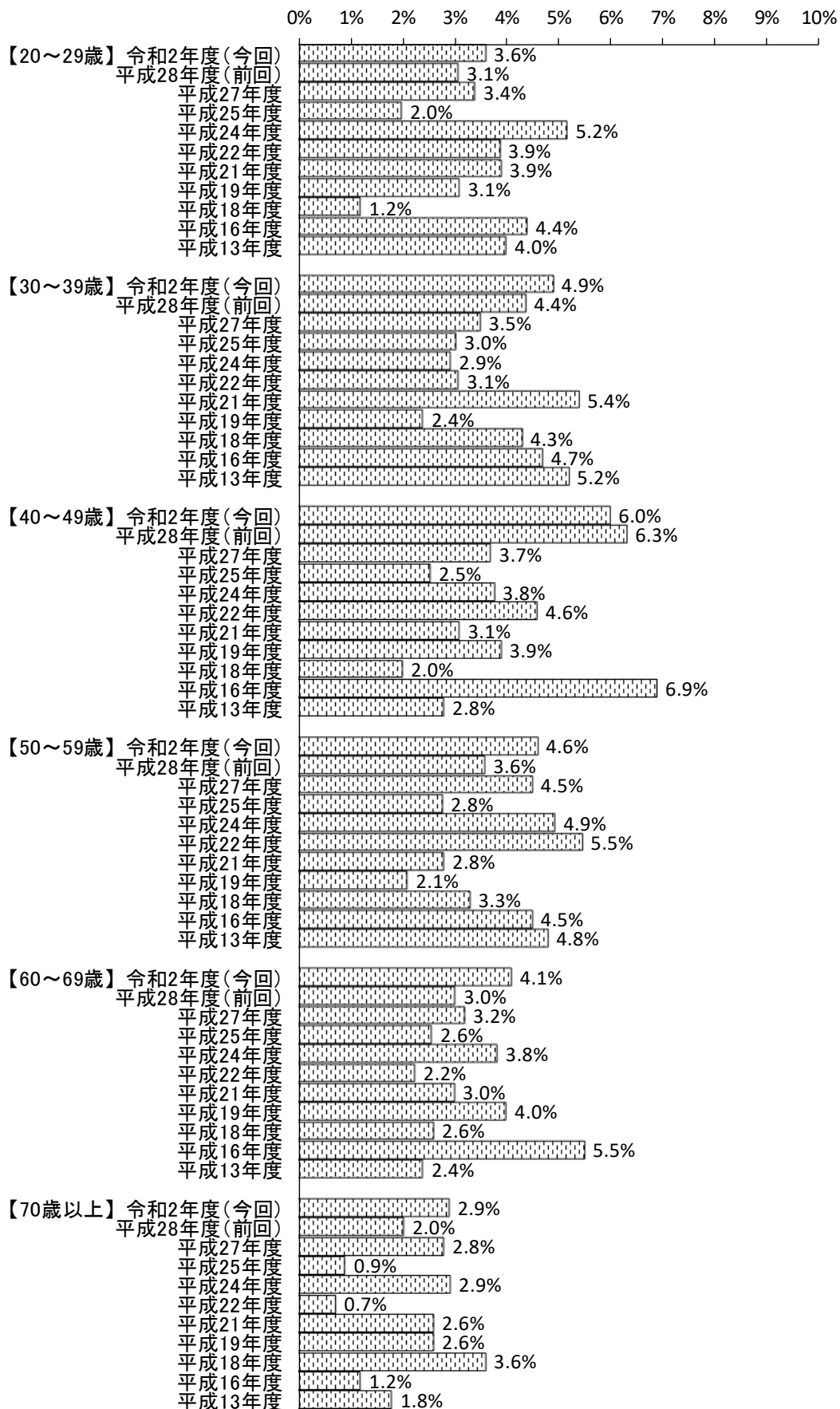
### <外国籍市民との交流×性別>

性別でみると、『頻繁に交流している』は“男性”（4.4%）が“女性”（4.1%）より高くなっています。



<外国籍市民との交流×年齢別>

年齢別で見ると、『頻繁に交流している』は“40～49歳”（6.0%）で最も高く、次いで“30～39歳”（4.9%）となっています。また、“40～49歳”を除く全ての年代で『頻繁に交流している』は平成28年度調査と比べて増加しています。



## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第1項 災害に対する不安を減らすようにします

めざしたい将来像：

市民一人ひとりの防災意識を高め、自助・共助・公助の災害発生時の対応体制を確立し、災害に強く命を大切にする社会を実現します。

《指標》

災害に対して自ら対策を講じている人の割合

#### (1) 指標の説明

ひとたび大地震が起これば建物の倒壊、火災、ライフライン等への多大な被害が発生し、人的被害が拡大する危険が潜んでいます。これらの被害を最小限に抑えるためには、行政による防災体制の確立を図るとともに、地域住民の防火防災意識の高揚や自主的な訓練など、日ごろからの備えが極めて重要です。そこで、災害に対して自ら対策を講じている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q15 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 消火器の設置      | 6 身内との連絡方法の確立  |
| 2 住宅用火災警報器の設置 | 7 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 家具などの転倒防止   | 8 防災訓練などへの参加   |
| 4 水や食糧の備蓄     | 9 その他（ ）       |
| 5 非常持ち出し用品の確保 | 10 特に準備はしていない  |

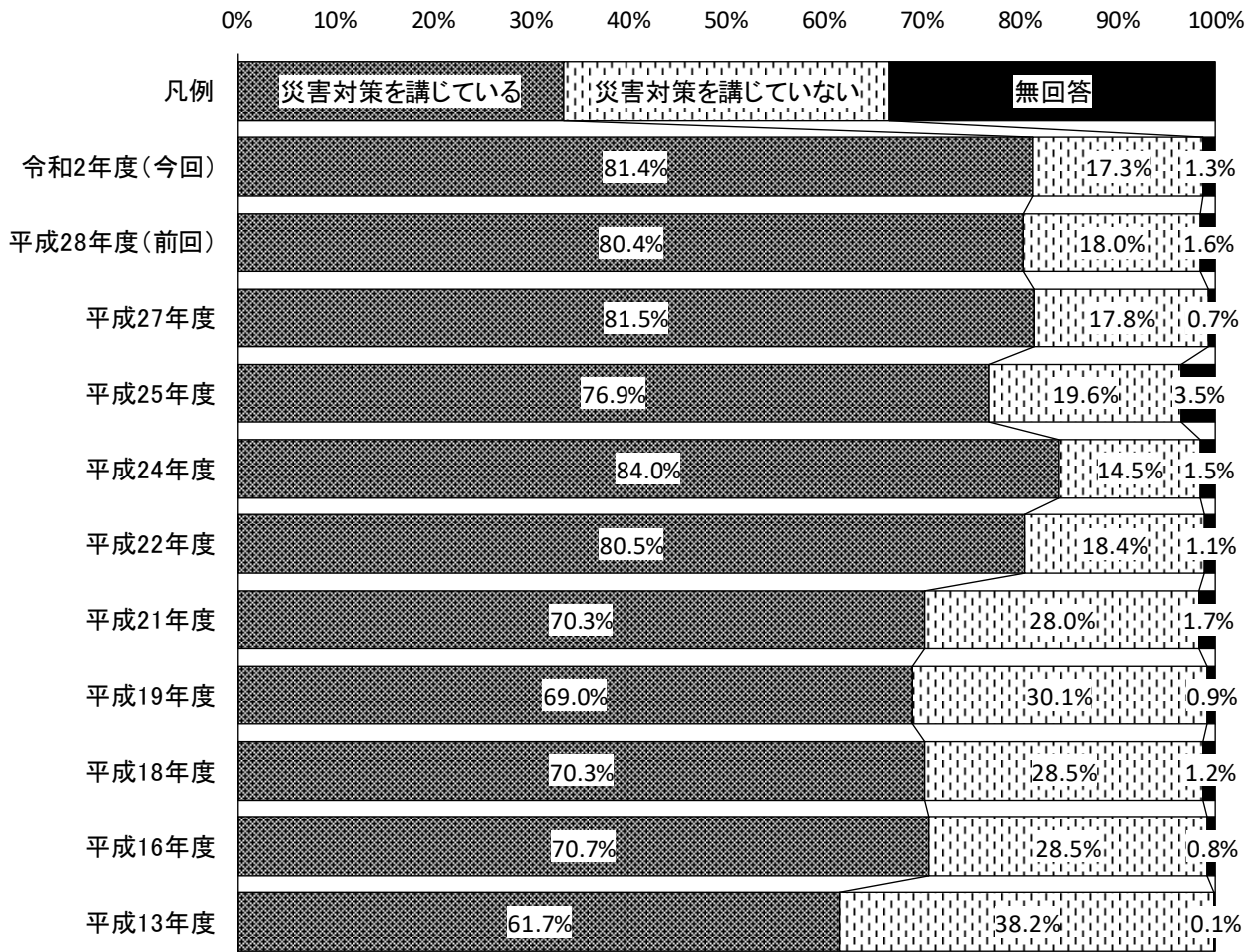
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
災害対策を講じて いる	61.7%	70.7%	70.3%	69.0%	70.3%	80.5%	84.0%	76.9%	81.5%	80.4%	81.4%

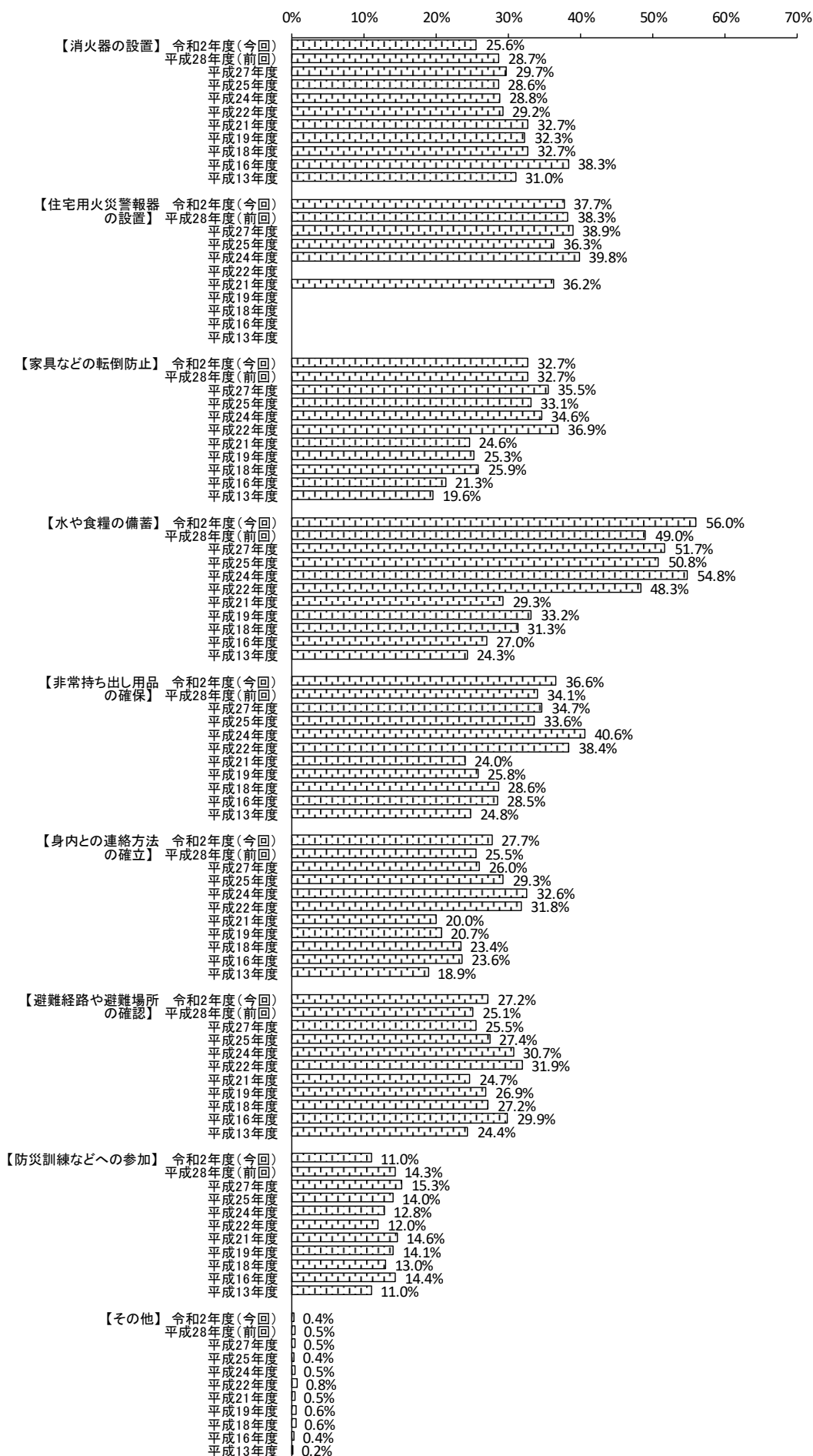
#### (4) 指標の分析

##### ☆災害対策を講じている人は約8割となっています

災害に対して何らかの対策を「講じている」(81.4%)と答えた方は約8割となっており、平成28年度調査と同様の傾向を示しています。

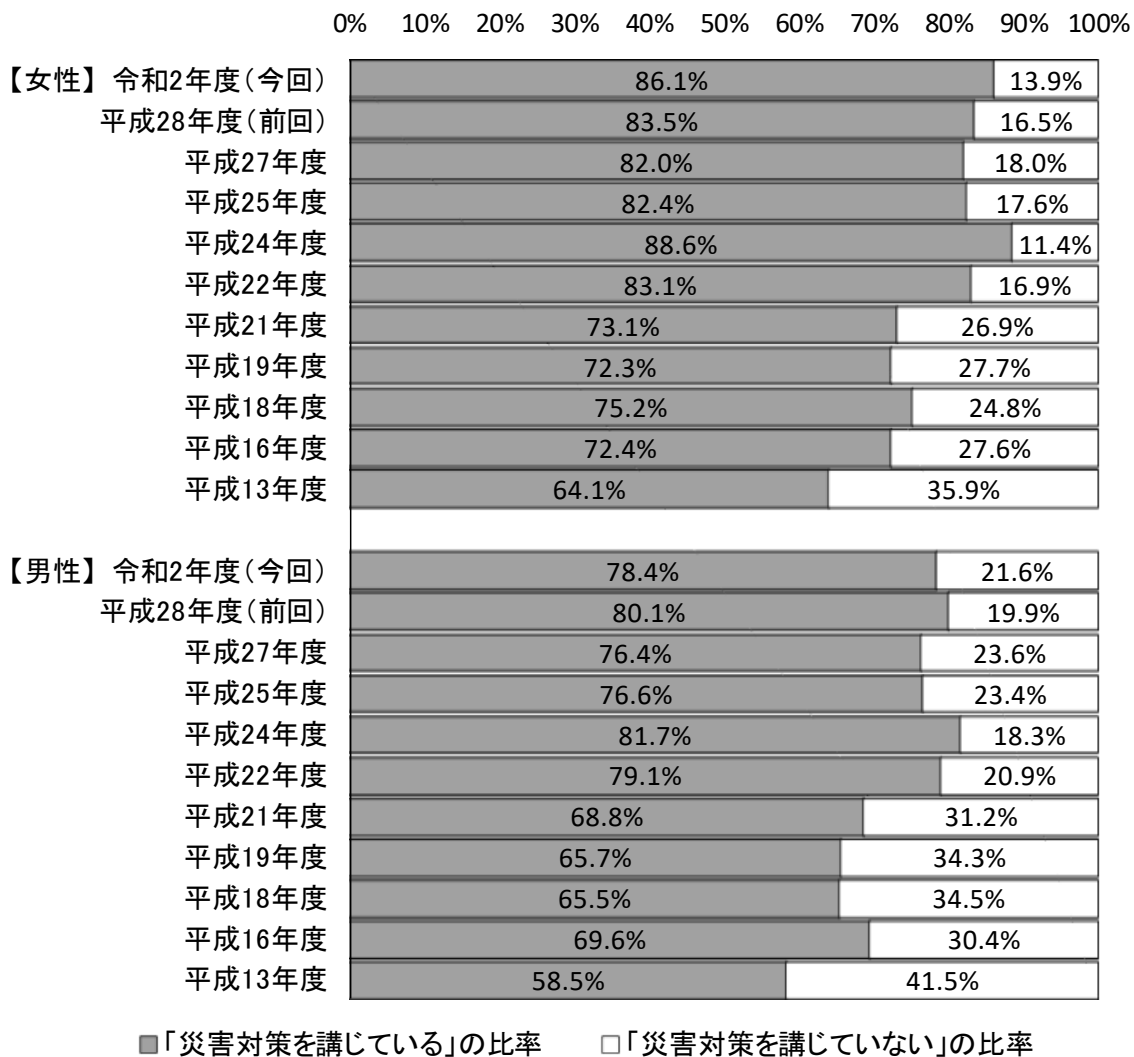


災害対策の具体的な内容は、「水や食糧の備蓄」(56.0%)が最も高く、次いで「住宅用火災警報器の設置」(37.7%)、「非常持ち出し用品の確保」(36.6%)となっています。また、「水や食糧の備蓄」は平成28年度調査と比べて7.0ポイント増加しています。



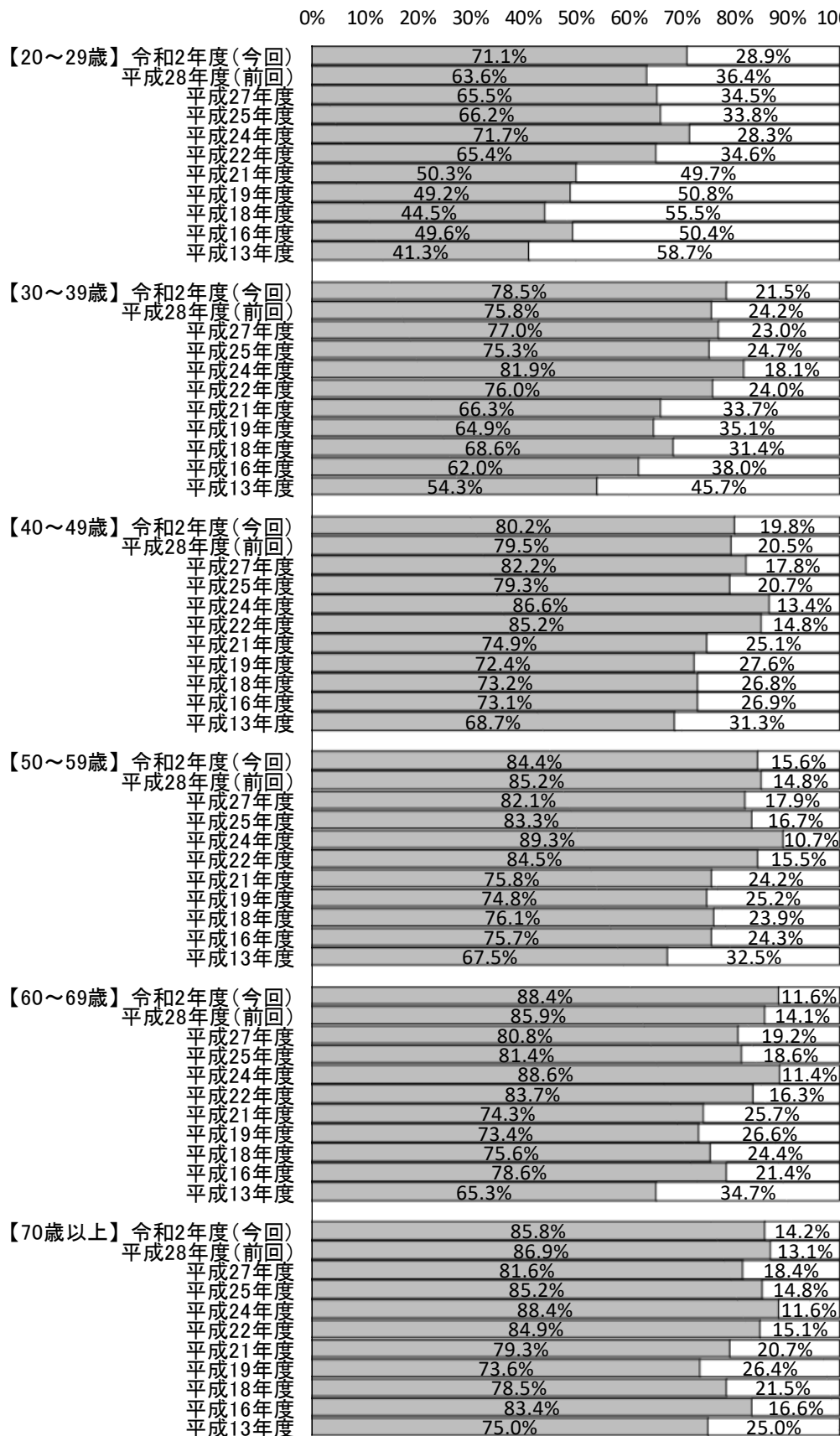
<災害対策×性別>

性別で見ると、「災害対策を講じている」は“女性”（86.1%）が“男性”（78.4%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



<災害対策×年齢別>

年齢別で見ると、「災害対策を講じている」はおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっており、“60～69歳”（88.4%）、“70歳以上”（85.8%）で高くなっています。また、「災害対策を講じている」は平成28年度調査と比べて“20～29歳”で7.5ポイント増加しています。



■「災害対策を講じている」の比率    □「災害対策を講じていない」の比率

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第5項 犯罪や事故のない安全で快適な市民社会をつくります

めざしたい将来像：

犯罪や事故、消費者トラブルのない安全・安心のまちづくりに向けて、市民一人ひとりの心がけと地域の見守り等を実施し、お互いに助け合える社会を実現します。

《指標》

消費者トラブルに巻き込まれた人の割合

#### (1) 指標の説明

自立した消費行動をとれるように支援するため、消費者トラブルに巻き込まれた人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q16 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中から、トラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

- 1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 3 通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害
- 5 その他（ ）
- 6 トラブルや被害にあっていない

#### (3) 指標の現状

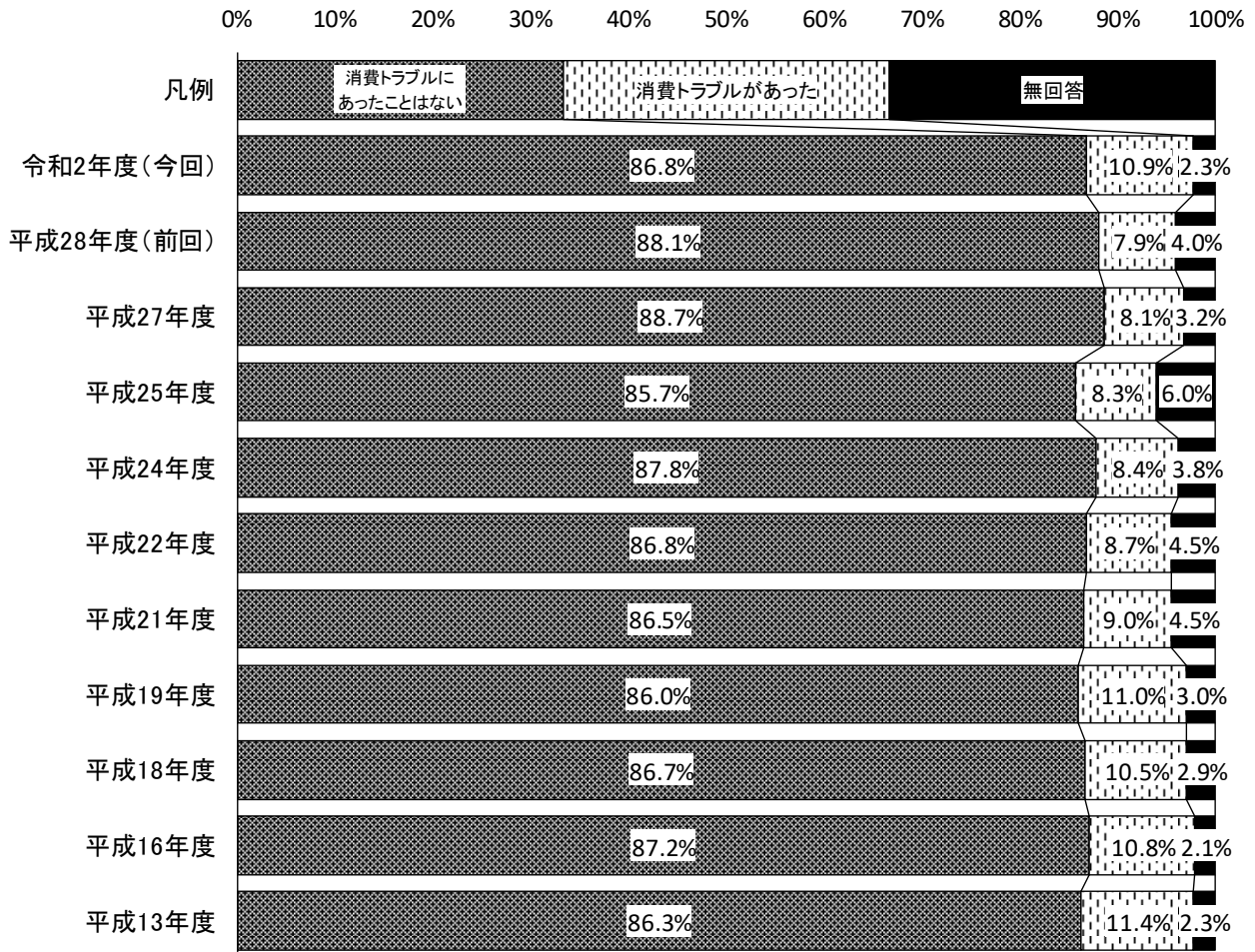
	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
消費トラブルが あった	11.4%	10.8%	10.5%	11.0%	9.0%	8.7%	8.4%	8.3%	8.1%	7.9%	10.9%



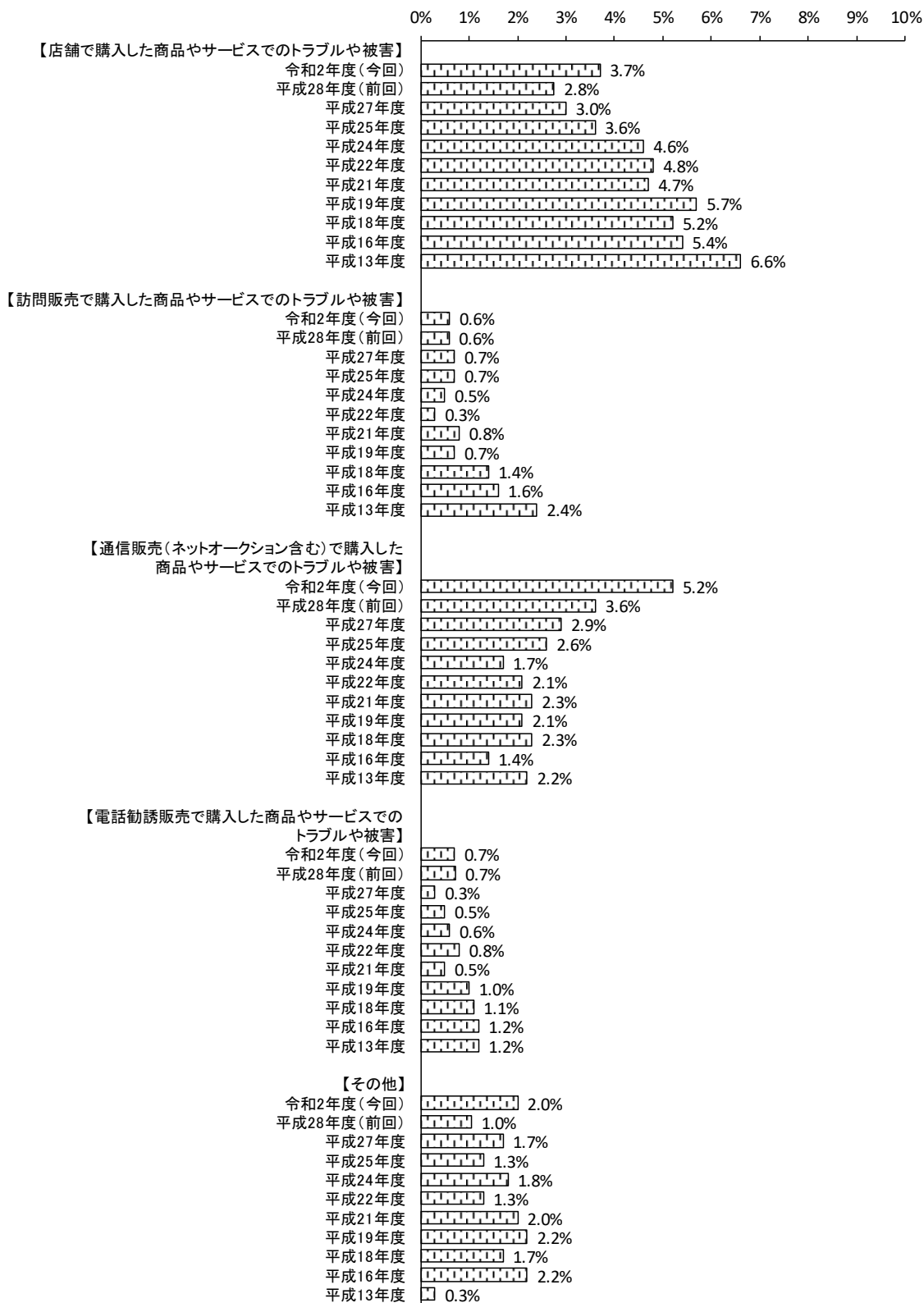
#### (4) 指標の分析

##### ☆消費者トラブルに巻き込まれた人は約1割となっています

この1年間に何らかの「消費トラブルがあった」(10.9%)と答えた方は約1割となっており、平成28年度調査と比べて3.0ポイント増加しています。

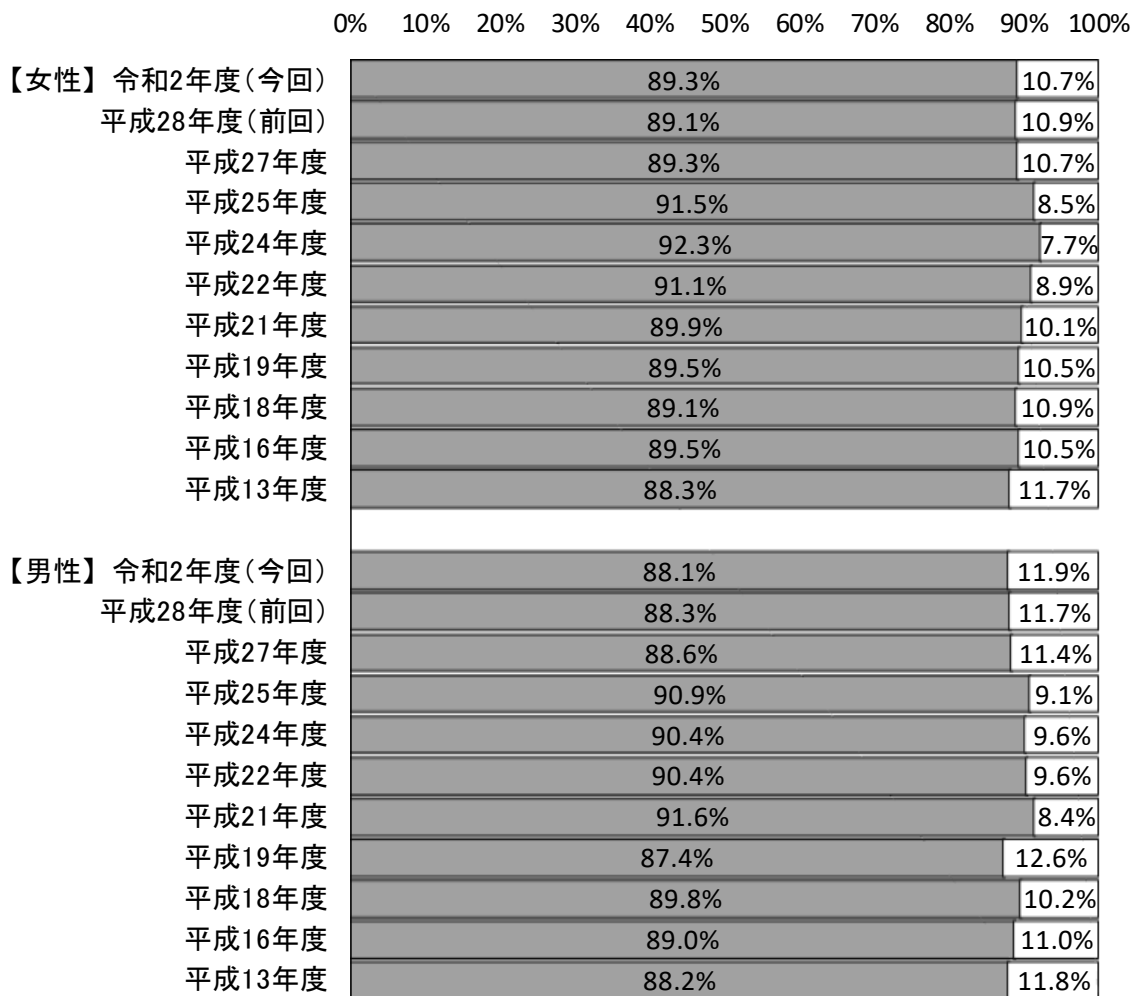


消費者トラブルの具体的な内容は、「通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」（5.2%）が最も高く、次いで「店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」（3.7%）となっており、「通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害」は平成24年度調査以降増加傾向を示しています。



## <消費トラブル×性別>

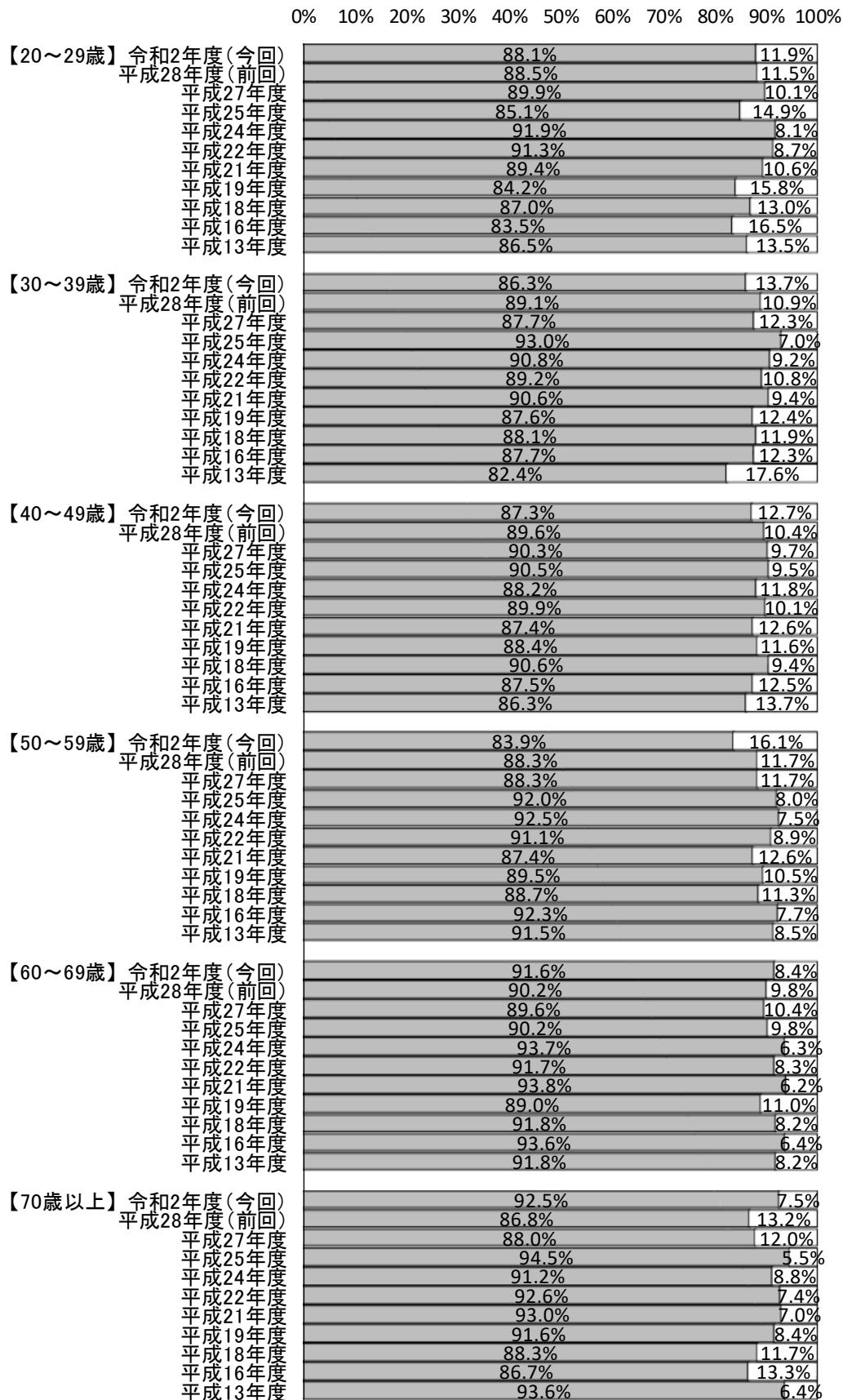
性別で見ると、「消費トラブルがあった」は“男性”（11.9%）が“女性”（10.7%）より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



■「消費トラブルにあったことはない」の比率 □「消費トラブルがあった」の比率

<消費トラブル×年齢別>

年齢別で見ると、「消費トラブルがあった」は“50～59歳”（16.1%）で最も高く、次いで“30～39歳”（13.7%）となっています。また、「消費トラブルがあった」は平成28年度調査と比べて、“50～59歳”で4.4ポイント増加し、“70歳以上”で5.7ポイント減少しています。



■「消費トラブルにあったことはない」の比率 □「消費トラブルがあった」の比率

## 第4節 安全で快適な生活環境の実現

### 第6項 緑と花に親しむことができるようにします

めざしたい将来像：

生きものやみどりとともに暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切に思いやりの心もち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

《指標》

緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合

#### (1) 指標の説明

緑や水にふれあう機会が増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（ケ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6

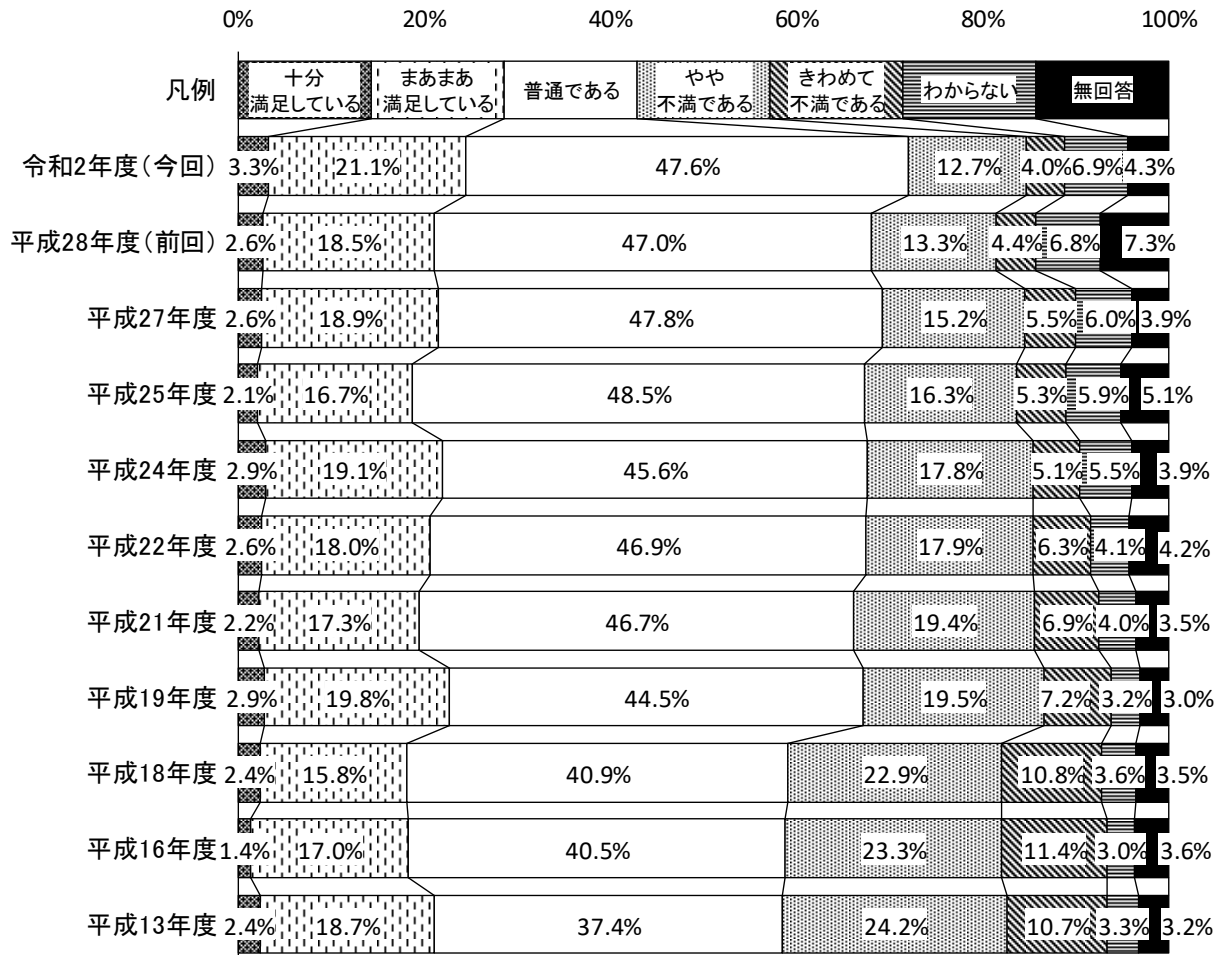
#### (3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%	2.6%	3.3%
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%	18.5%	21.1%
計	21.1%	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	24.4%

#### (4) 指標の分析

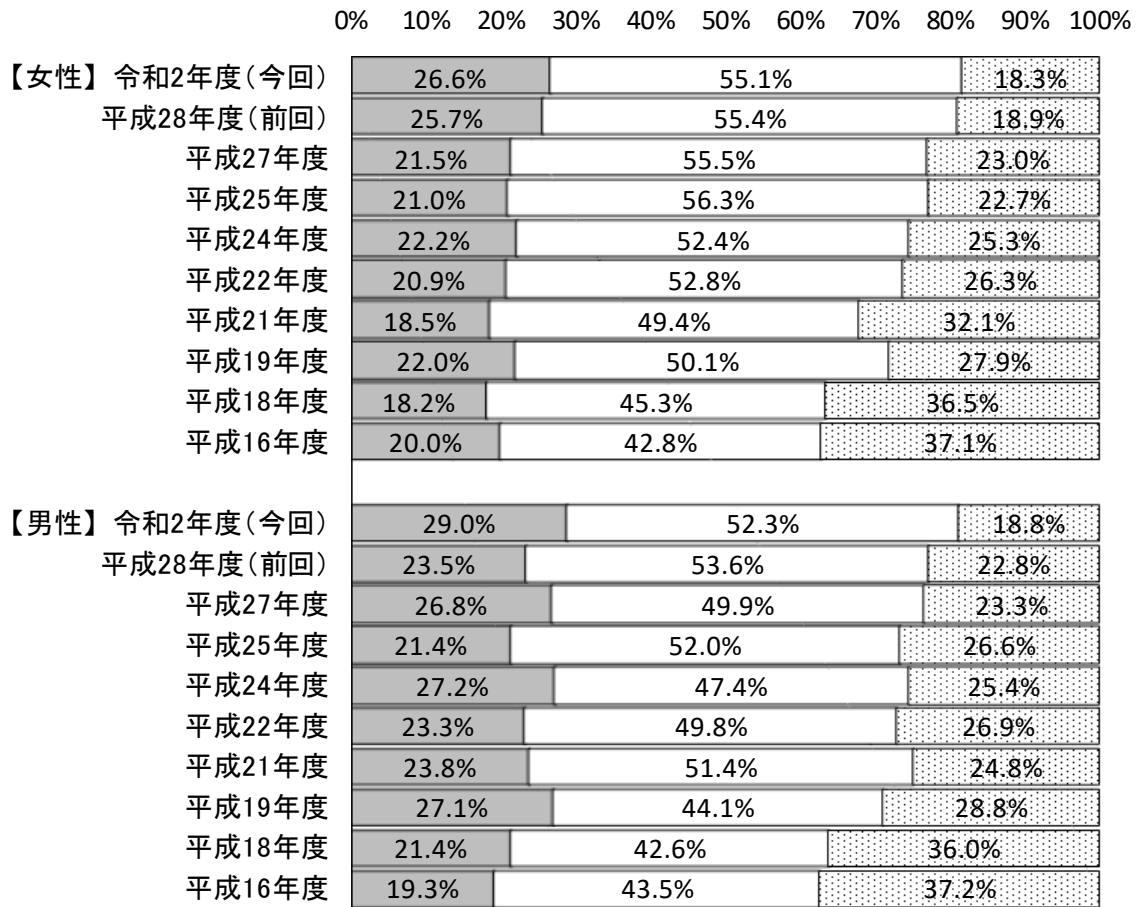
##### ☆自然環境に満足している人は2割半ばとなっています

緑地・河川などの自然環境に、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(24.4%)と答えた方は2割程度ですが、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<自然環境×性別>

性別で見ると、『満足している』は“男性”（29.0%）が“女性”（26.6%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて男性では5.5ポイント増加しています。

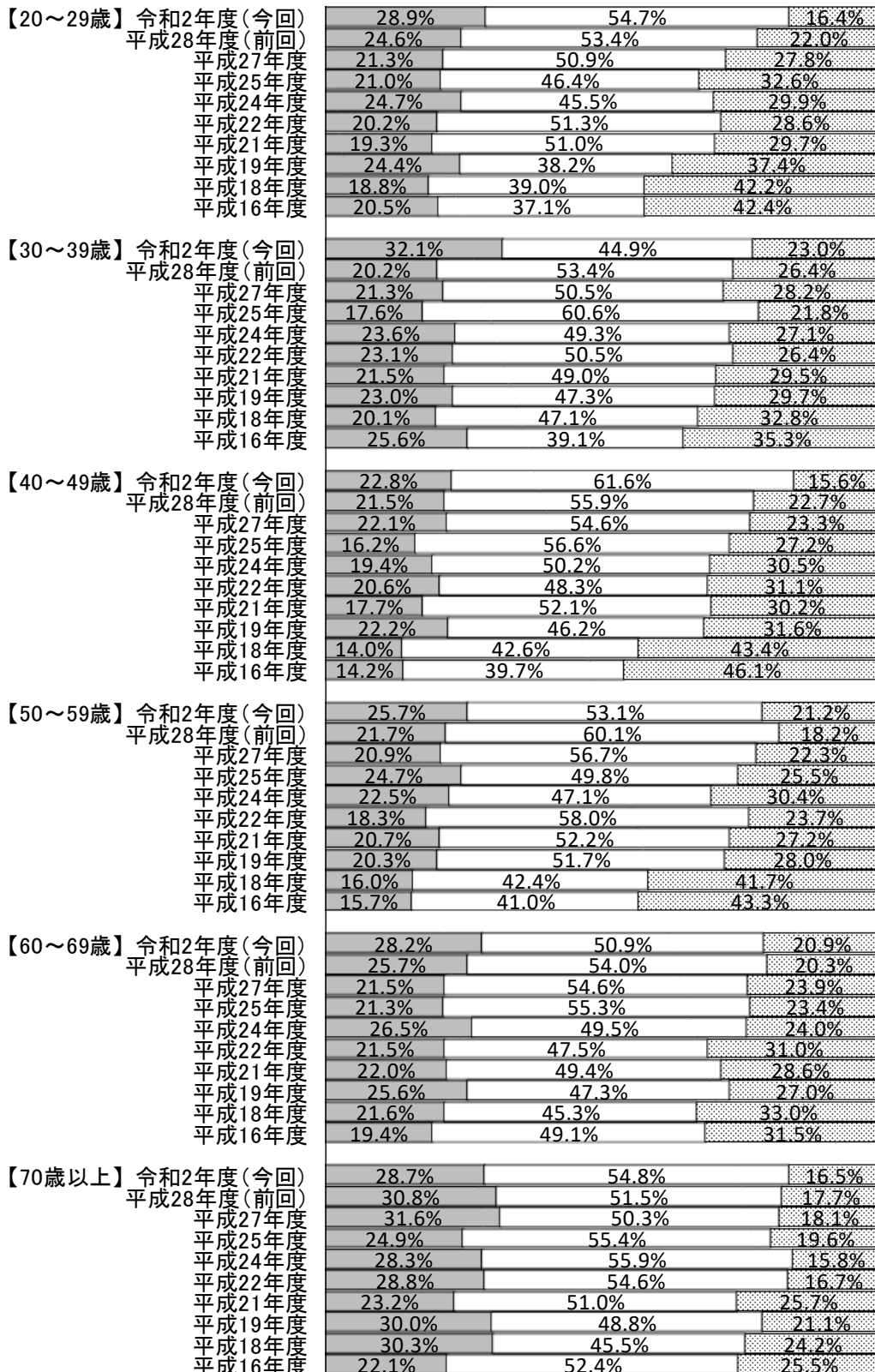


- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<自然環境×年齢別>

年齢別でみると、『満足している』は“30～39歳”（32.1%）で最も高く、次いで“20～29歳”（28.9%）となっています。また、“70歳以上”を除く全ての年代で『満足している』は平成28年度調査と比べて増加しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率



《指標》

身近で緑が守られ、増えていると感じる人の割合

(1) 指標の説明

暮らしの中に緑があり、心豊かな生活を実現するため、身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q10 あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 守られ、増えていると感じている
- 2 守られていると感じているが、増えているとは感じていない
- 3 守られていないと感じている

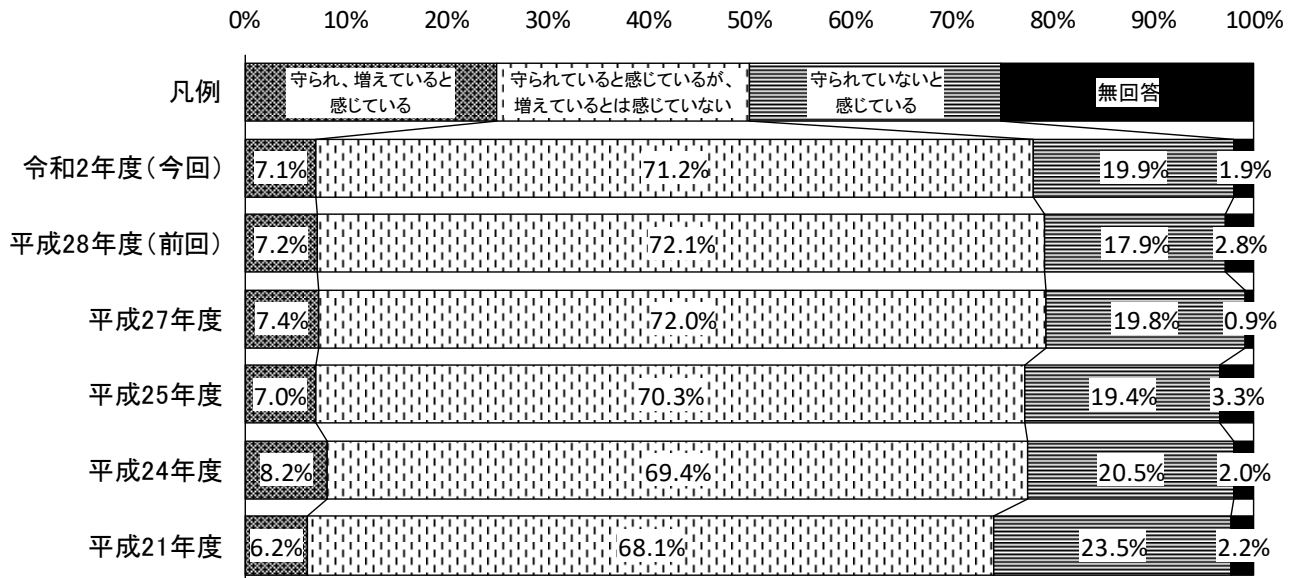
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
守られ、増えていると感じている	6.2%	8.2%	7.0%	7.4%	7.2%	7.1%

#### (4) 指標の分析

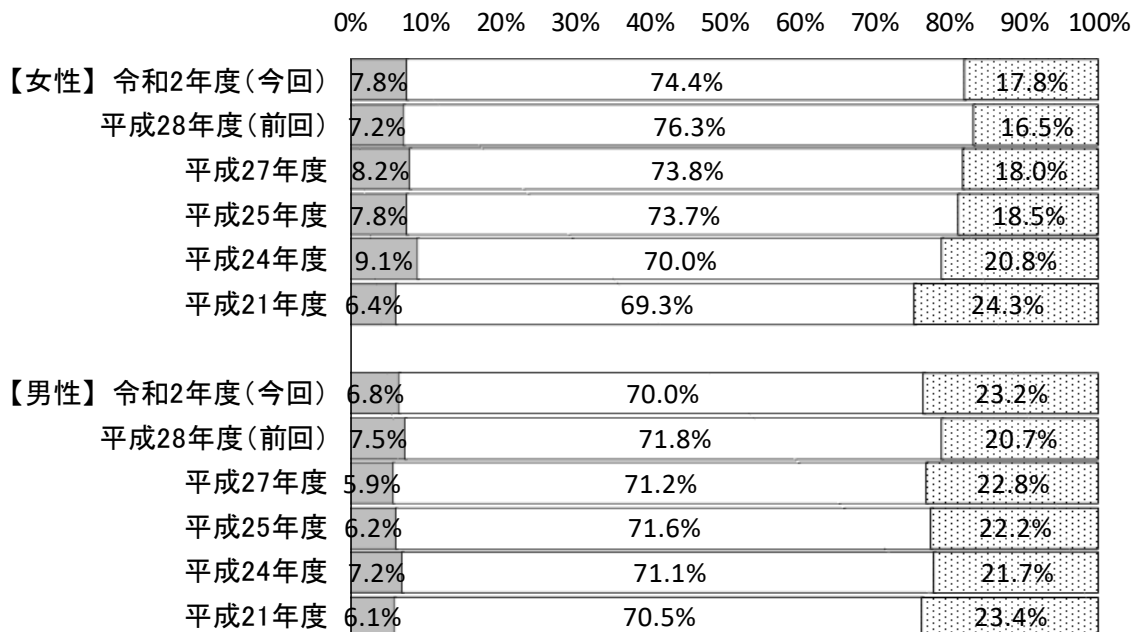
##### ☆身近で緑が守られ、増えていると感じている人は1割未満となっています

身近で緑が「守られ、増えていると感じている」(7.1%)と答えた方は1割未満となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。一方、「守られていないと感じている」(19.9%)と答えた方は約2割となっています。



##### <街路樹や緑地が守られ増えている×性別>

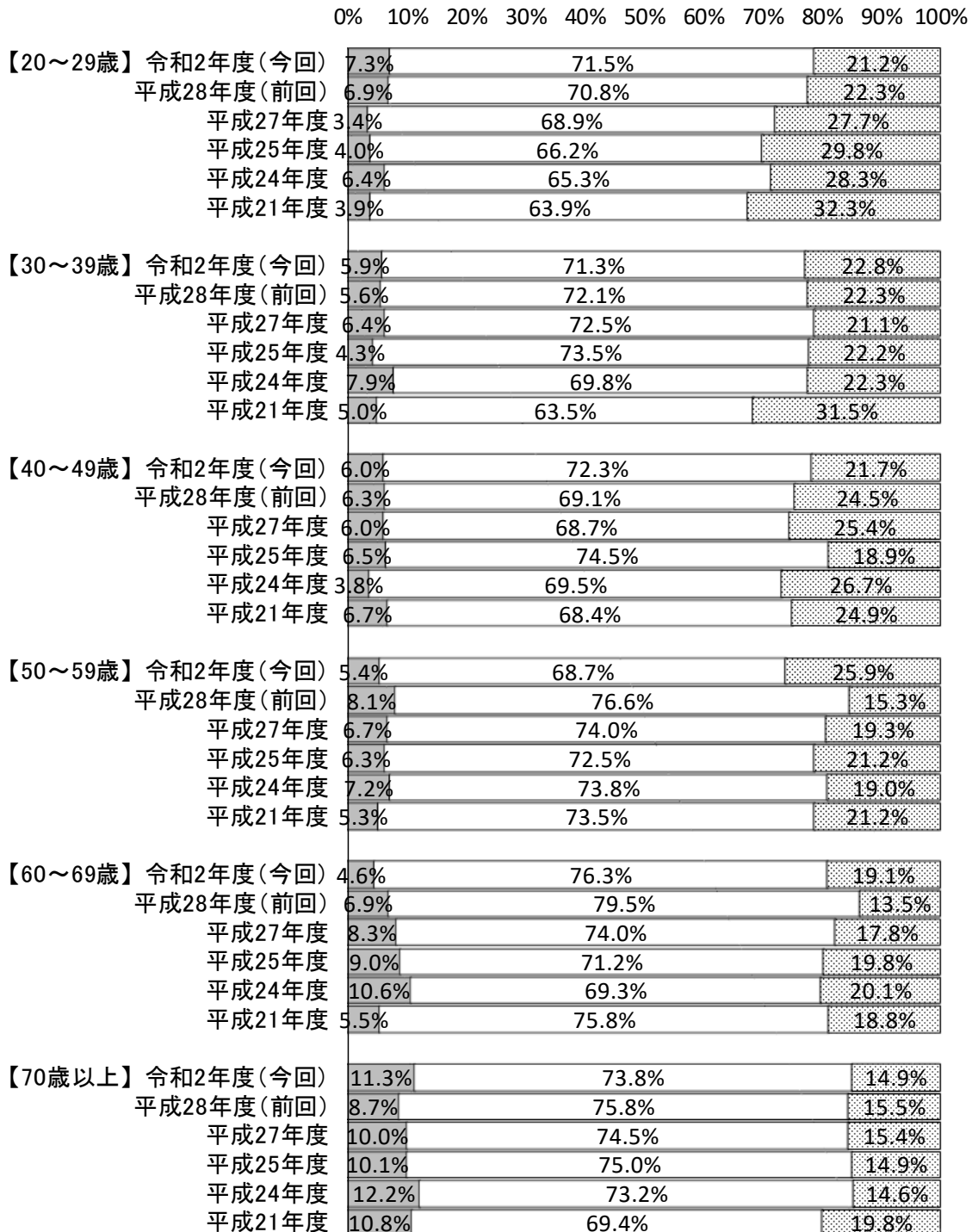
性別でみると、「守られ、増えていると感じている」は「女性」(7.8%)が「男性」(6.8%)より高くなっています。



- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▨「守られていないと感じている」の比率

<街路樹や緑地が守られ増えている×年齢別>

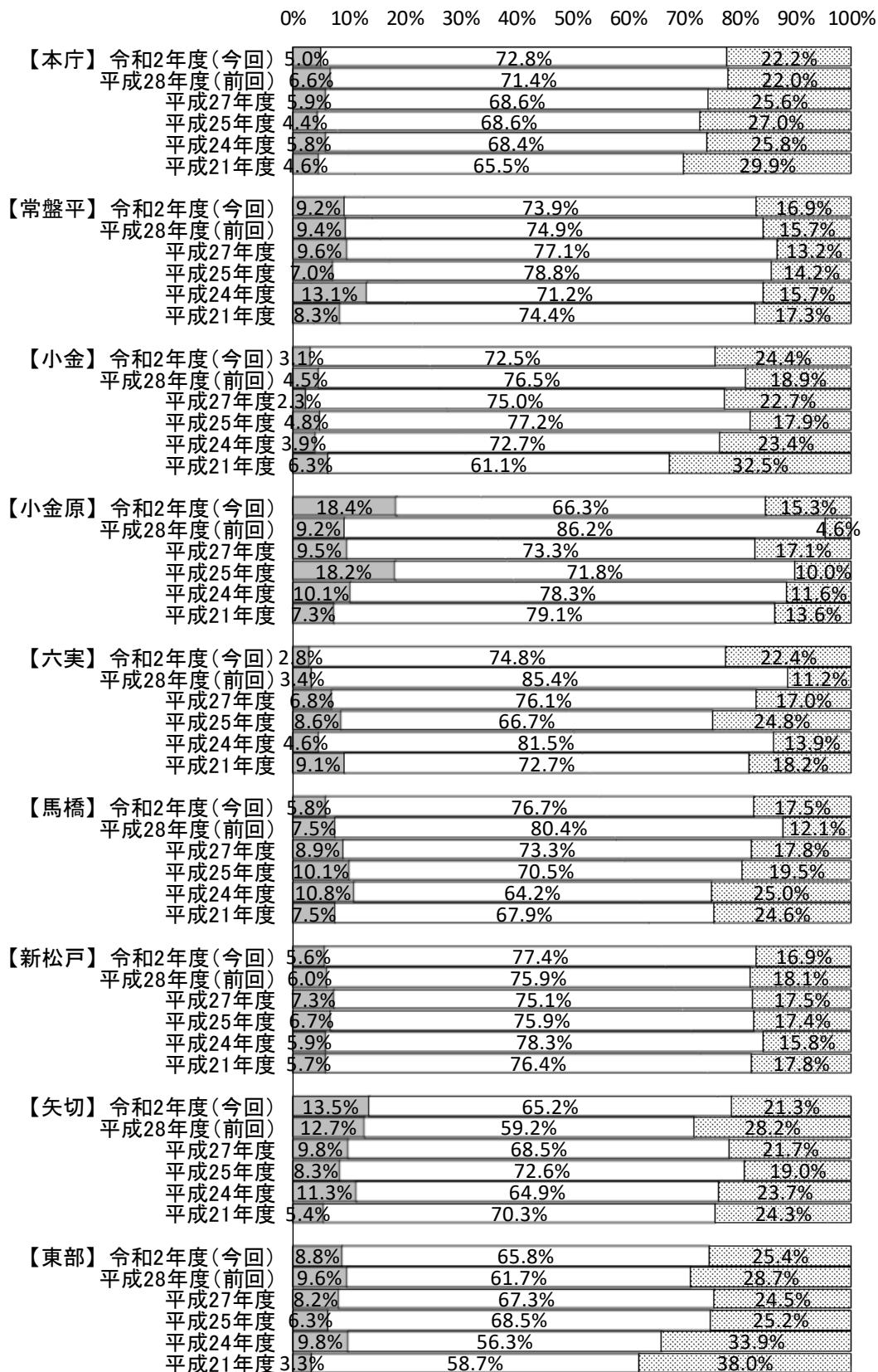
年齢別でみると、「守られ、増えていると感じている」は“70歳以上”（11.3%）で最も高く、次いで“20～29歳”（7.3%）となっています。また、「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」を合わせた『守られていると感じている』は“70歳以上”（85.1%）で最も高くなっています。



- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▣「守られていないと感じている」の比率

<街路樹や緑地が守られ増えている×居住地区別>

居住地区別でみると、「守られ、増えていると感じている」は“小金原”（18.4%）で最も高く、次いで“矢切”（13.5%）となっており、平成28年度調査と比べて“小金原”で9.2ポイント増加しています。



- 「守られ、増えていると感じている」の比率
- 「守られていると感じているが、増えているとは感じていない」の比率
- ▨「守られていないと感じている」の比率

## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

めざしたい将来像：

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

《指標》

快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

#### (1) 指標の説明

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせて聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（イウキセ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
イ	まちの賑わいや買い物の便	1	2	3	4	5	6
ウ	通勤・通学などの交通の便	1	2	3	4	5	6
キ	道路、公園、下水道などの都市施設	1	2	3	4	5	6
セ	特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。

- ・ Q18 イ、ウ、キ、セの4つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
- ・ 該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- |           |     |
|-----------|-----|
| ①「十分満足」   | +2点 |
| ②「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③「普通」     | ±0点 |
| ④「やや不満」   | -1点 |
| ⑤「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- |         |              |
|---------|--------------|
| ①+5点以上  | (十分満足している)   |
| ②+1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③±0点    | (普通である)      |
| ④-1～-4点 | (やや不満である)    |
| ⑤-5点以下  | (きわめて不満である)  |

該当する質問の評価点を合計する

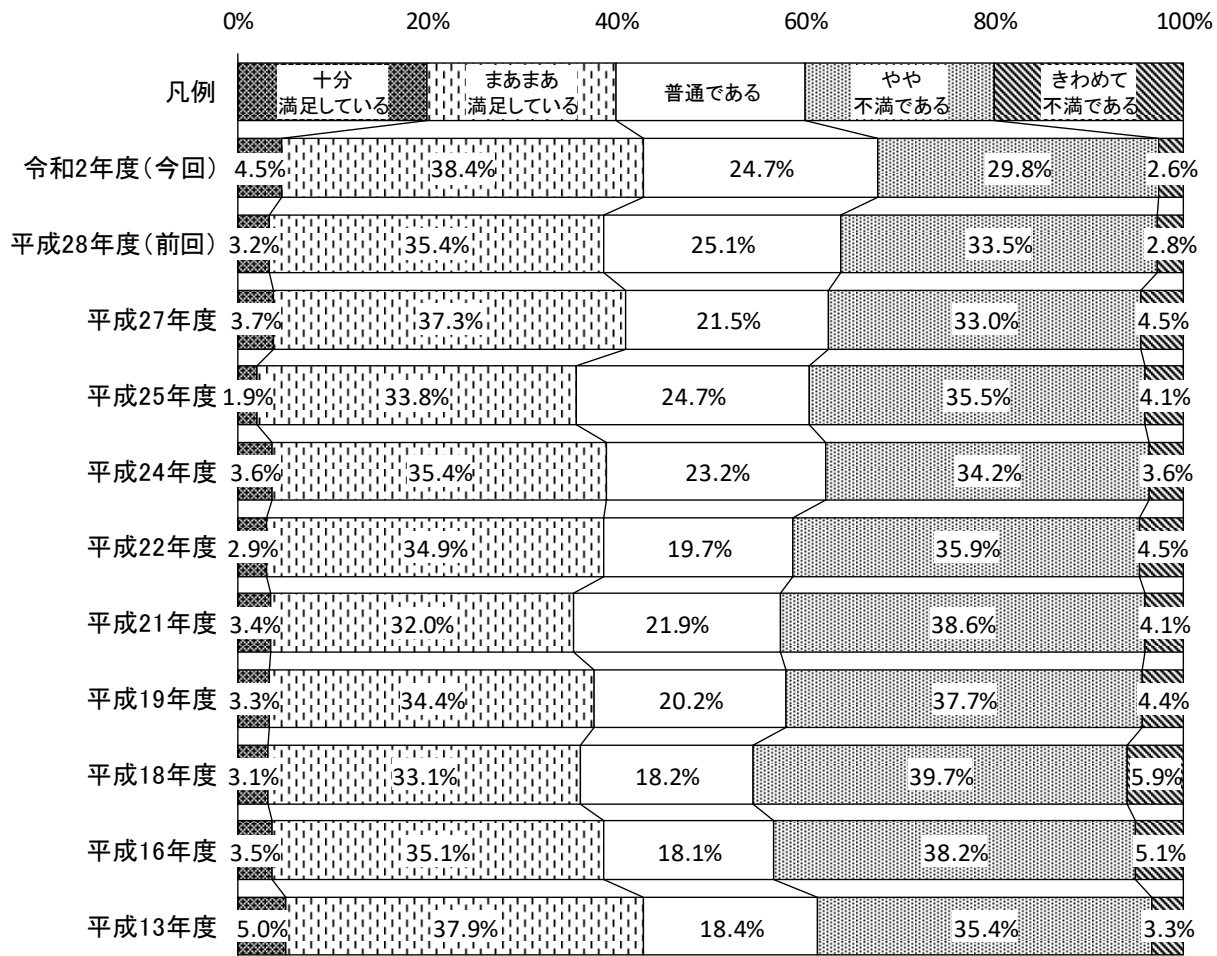
### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
十分満足している	5.0%	3.5%	3.1%	3.3%	3.4%	2.9%	3.6%	1.9%	3.7%	3.2%	4.5%
まあまあ満足している	37.9%	35.1%	33.1%	34.4%	32.0%	34.9%	35.4%	33.8%	37.3%	35.4%	38.4%
計	42.9%	38.6%	36.2%	37.7%	35.4%	37.8%	39.0%	35.7%	41.0%	38.6%	42.9%

### (4) 指標の分析

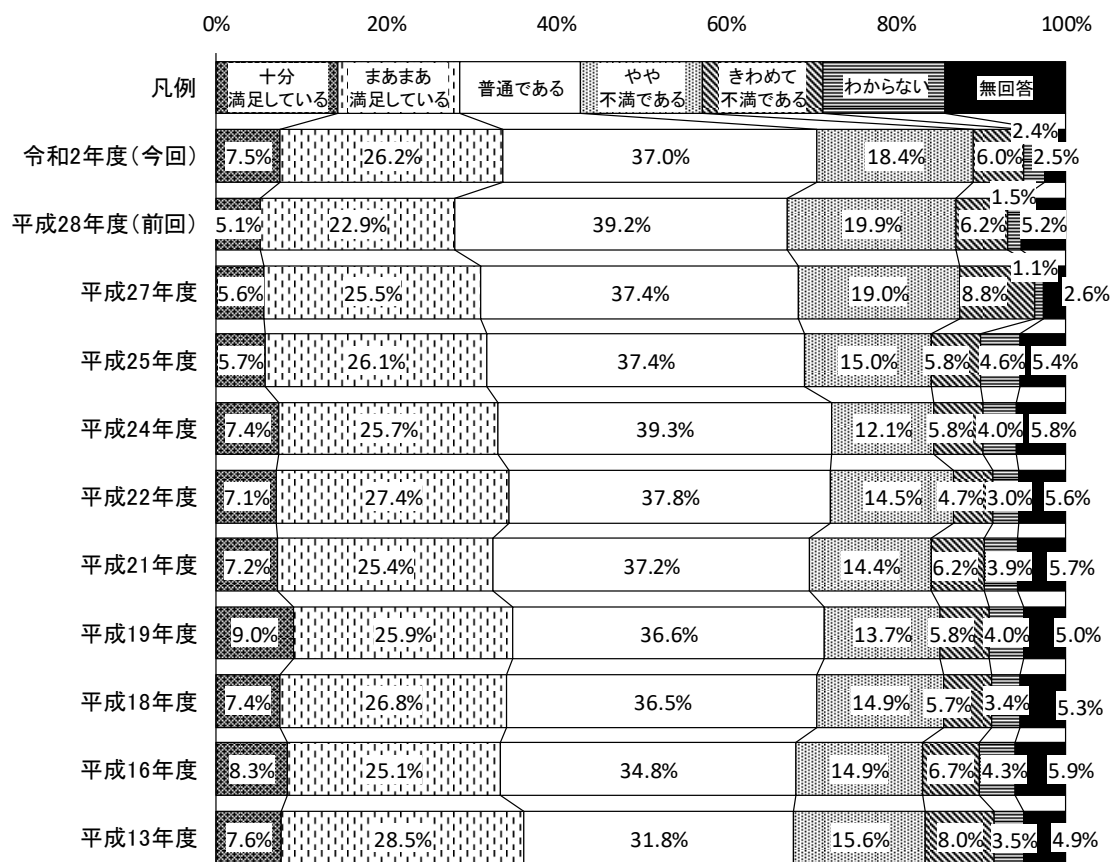
#### ☆快適・便利・賑わいの満足度は4割を超えています

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度について、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(42.9%)と答えた方は4割を超えており、平成28年度調査と比べて4.3ポイント増加しています。一方、「やや不満である」、「きわめて不満である」を合わせた『不満である』(32.4%)と答えた方は3割を超えており、平成28年度調査と比べて3.9ポイント減少しています。

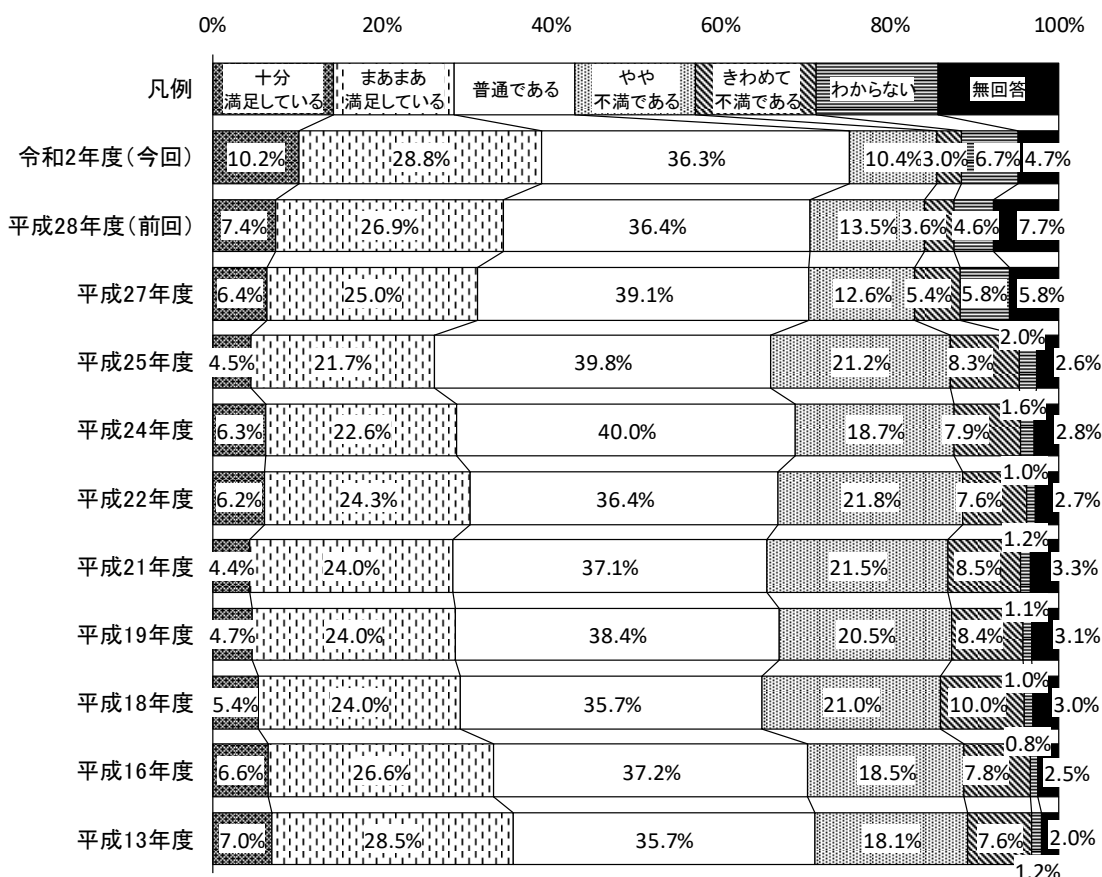


4項目それぞれについてみると、『満足している』は平成28年度調査と比べて、【まちの賑わいや買い物の便】で5.7ポイント、【通勤・通学などの交通の便】で4.7ポイント、それぞれ増加しています。一方、【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】で4.8ポイント減少しています。

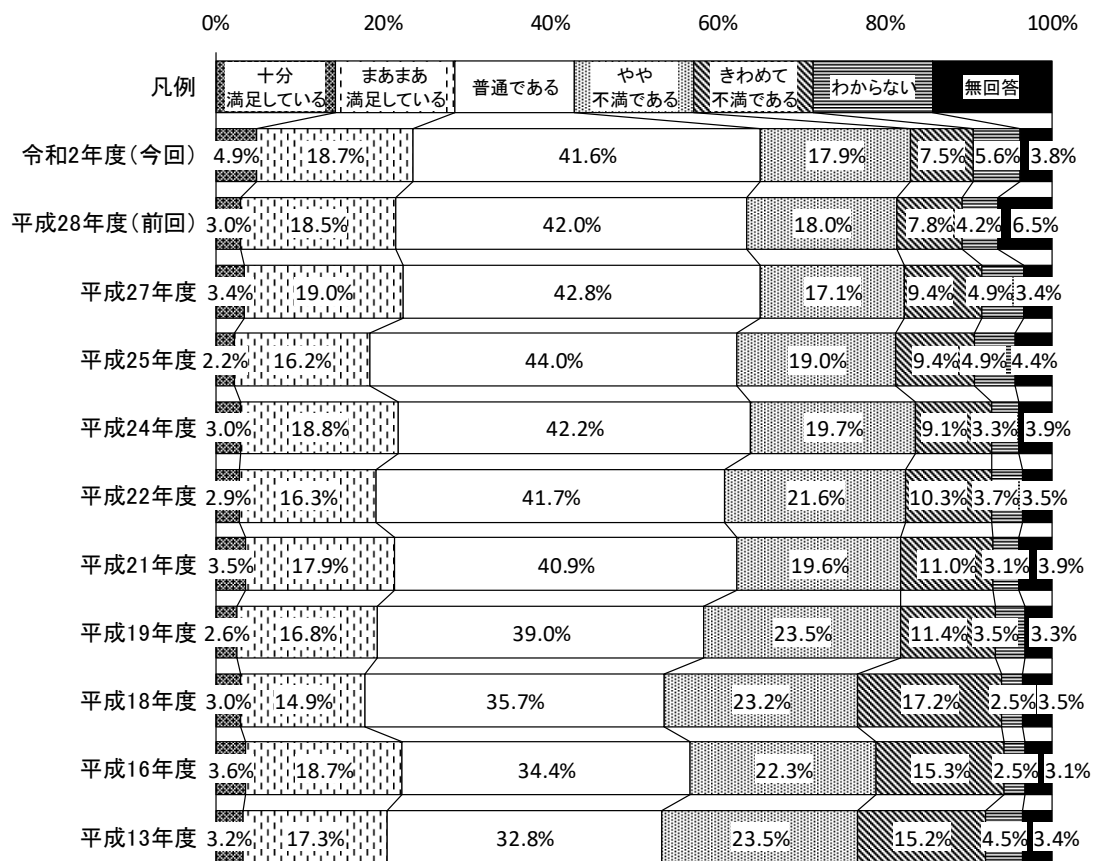
【(イ) まちの賑わいや買い物の便】



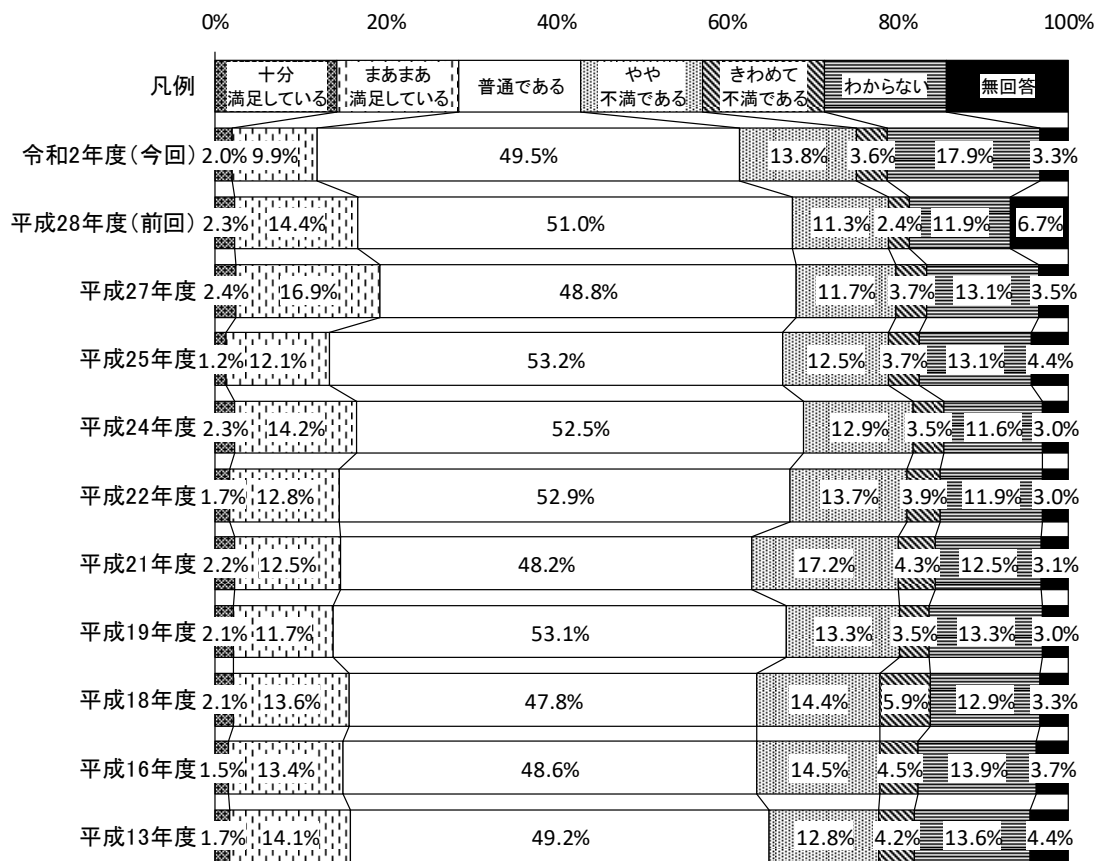
【(ウ) 通勤・通学などの交通の便】



【(キ) 道路、公園、下水道などの都市施設】



【(セ) 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】





《指標》

松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合

(1) 指標の説明

魅力あるまちづくりに向けて、松戸の良さに気づき、その良さを他の人に伝えている市民が増えることが必要と考えられます。そこで、松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q9 あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 日常的にしている | 3 あまりしていない |
| 2 ときどきしている | 4 全くしていない  |

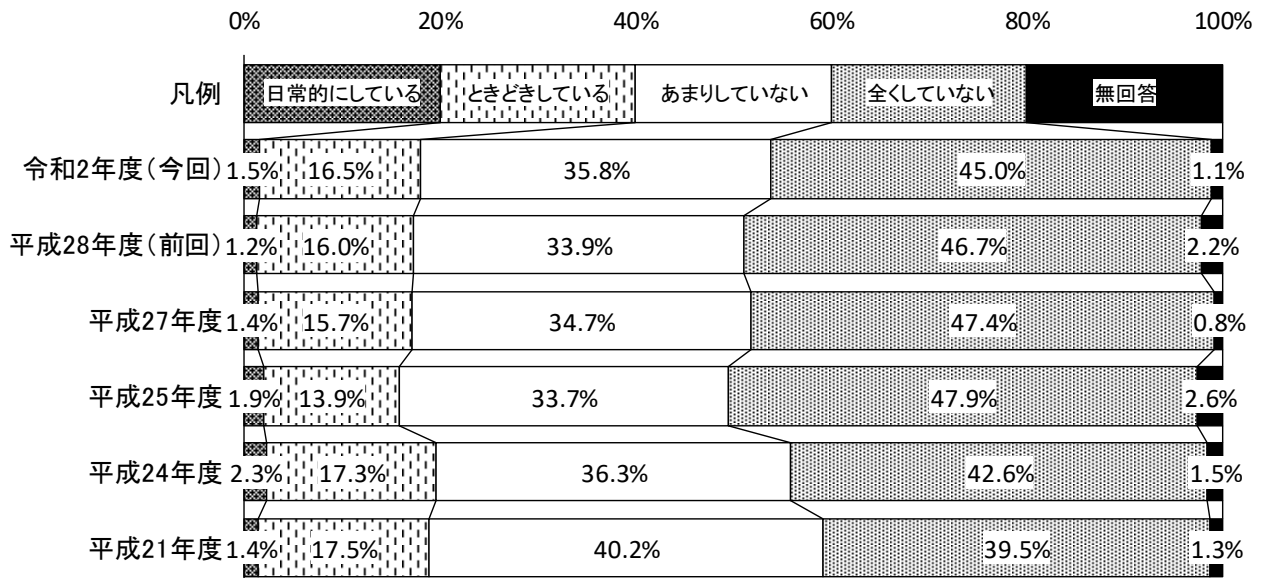
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
日常的にしている	1.4%	2.3%	1.9%	1.4%	1.2%	1.5%
ときどきしている	17.5%	17.3%	13.9%	15.7%	16.0%	16.5%
計	19.0%	19.6%	15.8%	17.1%	17.2%	18.0%

#### (4) 指標の分析

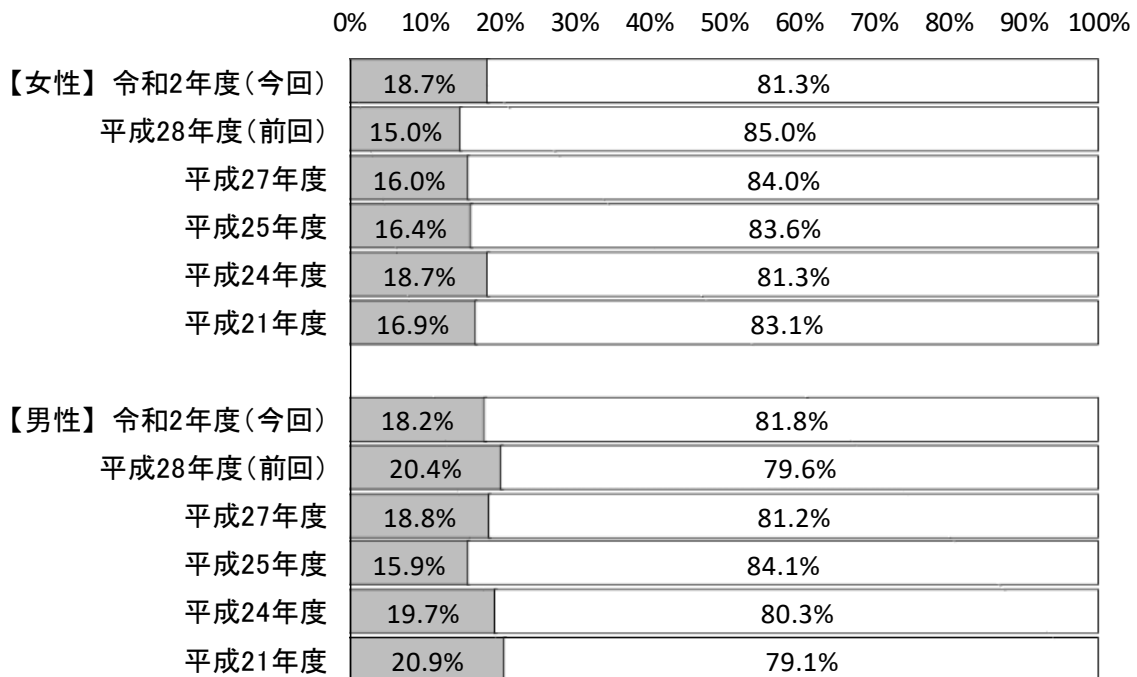
##### ☆松戸の良さを他の人に伝えている人は約2割となっています

日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動を、「日常的にしている」、「ときどきしている」を合わせた『伝えている』(18.0%)と答えた方は約2割となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



#### <松戸の良さの伝達×性別>

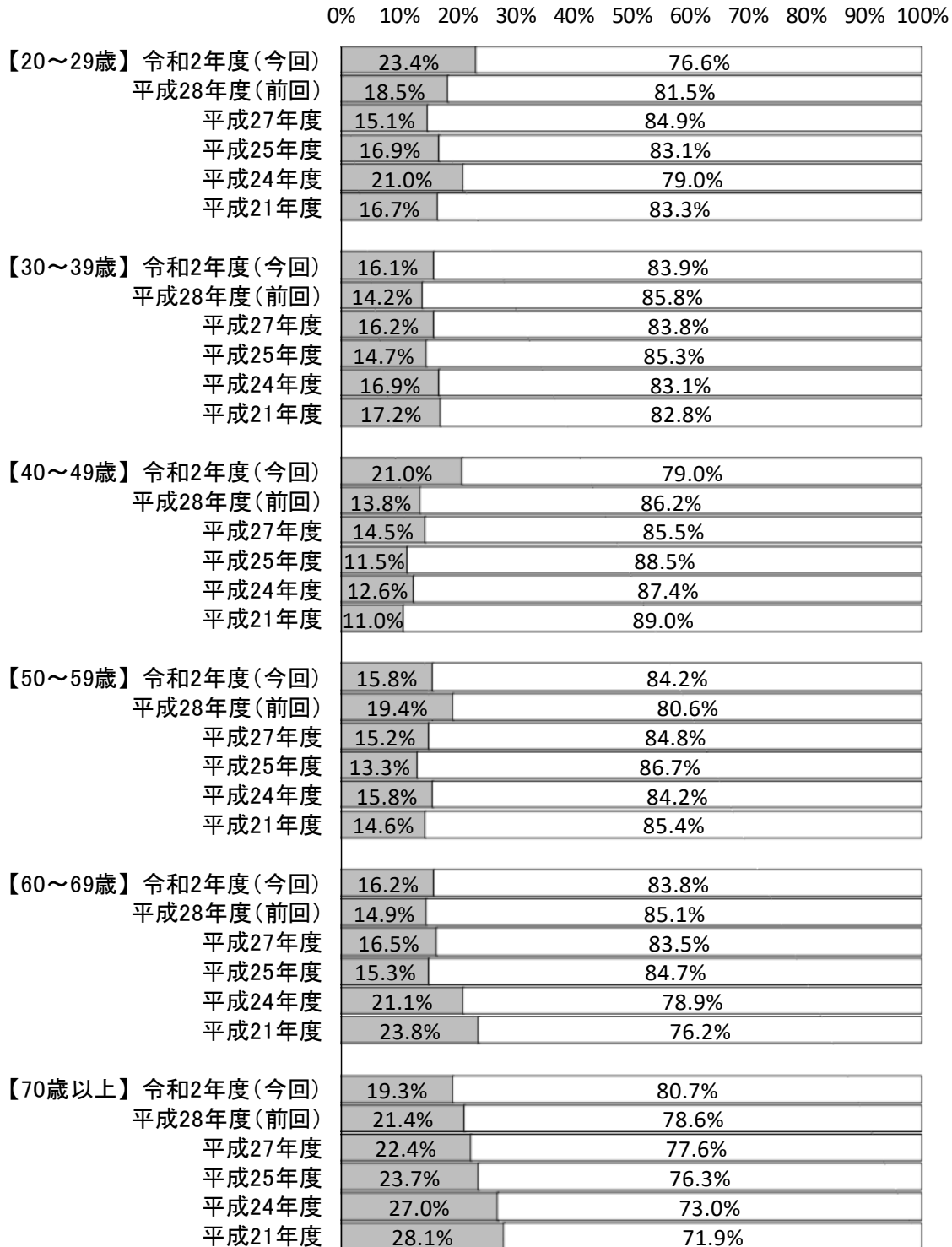
性別でみると、『伝えている』は“女性”(18.7%)が“男性”(18.2%)より高くなっています。



■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率  
□「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

<松戸の良さの伝達×年齢別>

年齢別でみると、『伝えている』は“20～29歳”（23.4%）で最も高く、次いで“40～49歳”（21.0%）となっています。また、『伝えている』は平成28年度調査と比べて、“40～49歳”で7.2ポイント、“20～29歳”で4.9ポイント、それぞれ増加しています。

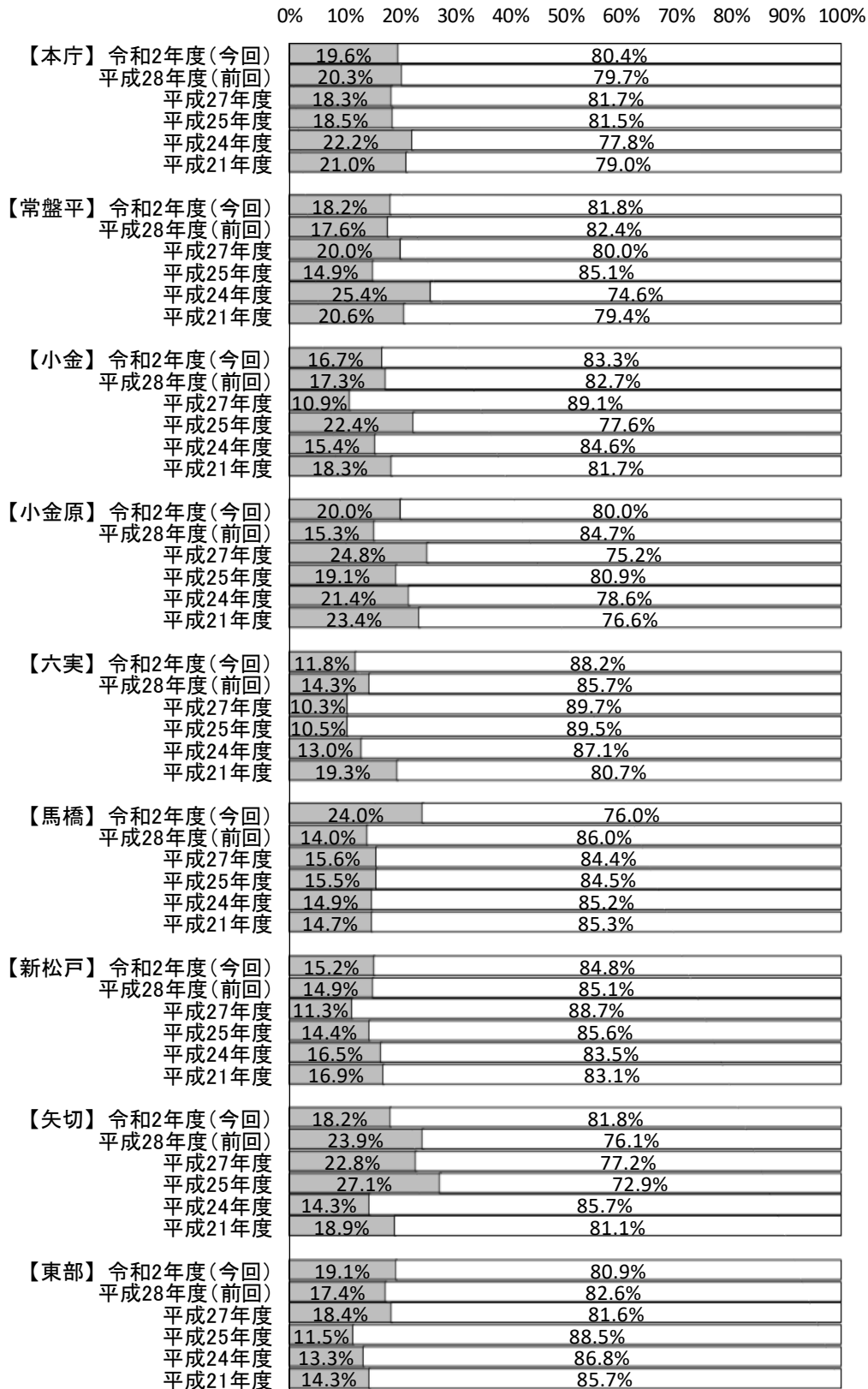


■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率

□「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

<松戸の良さの伝達×居住地区別>

居住地区別でみると、『伝えている』は“馬橋”（24.0%）で最も高く、次いで“小金原”（20.0%）となっています。また、『伝えている』は平成28年度調査と比べて、“馬橋”で10.0ポイント、“小金原”で4.7ポイント、それぞれ増加しています。



■「日常的にしている」と「ときどきしている」の合計比率  
 □「あまりしていない」と「全くしていない」の合計比率

## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします

めざしたい将来像：

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

《指標》

安心やゆとりを感じている人の割合

#### (1) 指標の説明

住環境の拡大や自然環境の保全是、多くの人々にゆとり感を与えます。そこで、安心やゆとりを感じている人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、「安心やゆとりの6項目の満足度」を組みあわせ聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（アケコサシチ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ア 保健・医療・福祉サービス	1	2	3	4	5	6
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1	2	3	4	5	6
サ まち並み、建物などまち全体の景観	1	2	3	4	5	6
シ 事故や災害に強い安全なまち	1	2	3	4	5	6
チ 住環境のゆとりなどの住宅事情	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

- 快適 ・安心やゆとりの6項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。
- ・ Q18 ア、ケ、コ、サ、シ、チの6つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
  - ・ 該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 「十分満足」   | +2点 |
| ② 「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③ 「普通」     | ±0点 |
| ④ 「やや不満」   | -1点 |
| ⑤ 「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- |          |              |
|----------|--------------|
| ① +5点以上  | (十分満足している)   |
| ② +1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③ ±0点    | (普通である)      |
| ④ -1～-4点 | (やや不満である)    |
| ⑤ -5点以下  | (きわめて不満である)  |

該当する質問の評価点を合計する

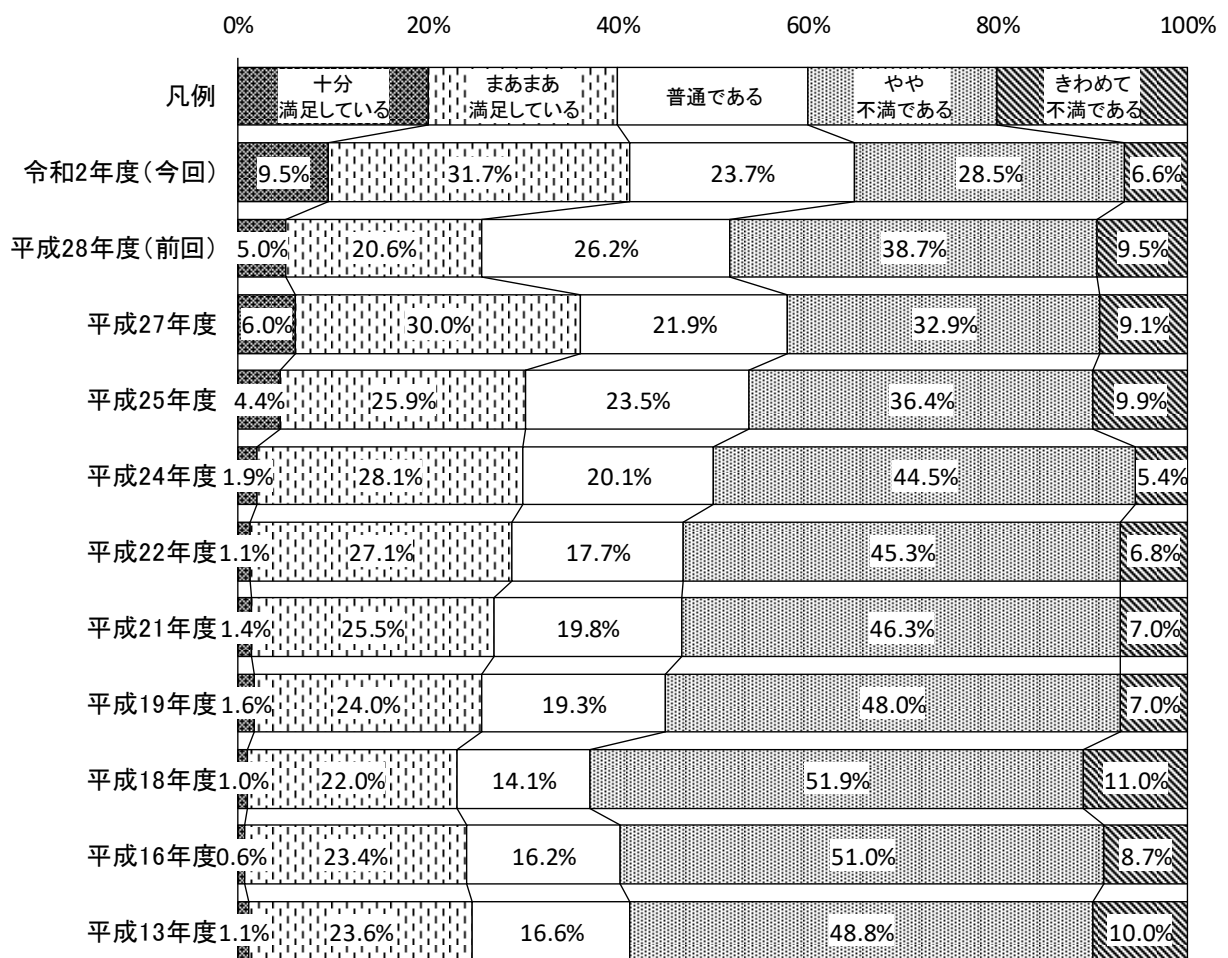
### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
十分満足している	1.1%	0.6%	1.0%	1.6%	1.4%	1.1%	1.9%	4.4%	6.0%	5.0%	9.5%
まあまあ満足している	23.6%	23.4%	22.0%	24.0%	25.5%	27.1%	28.1%	25.9%	30.0%	20.6%	31.7%
計	24.7%	24.0%	23.0%	25.6%	26.9%	28.2%	30.0%	30.2%	36.0%	25.6%	41.2%

### (4) 指標の分析

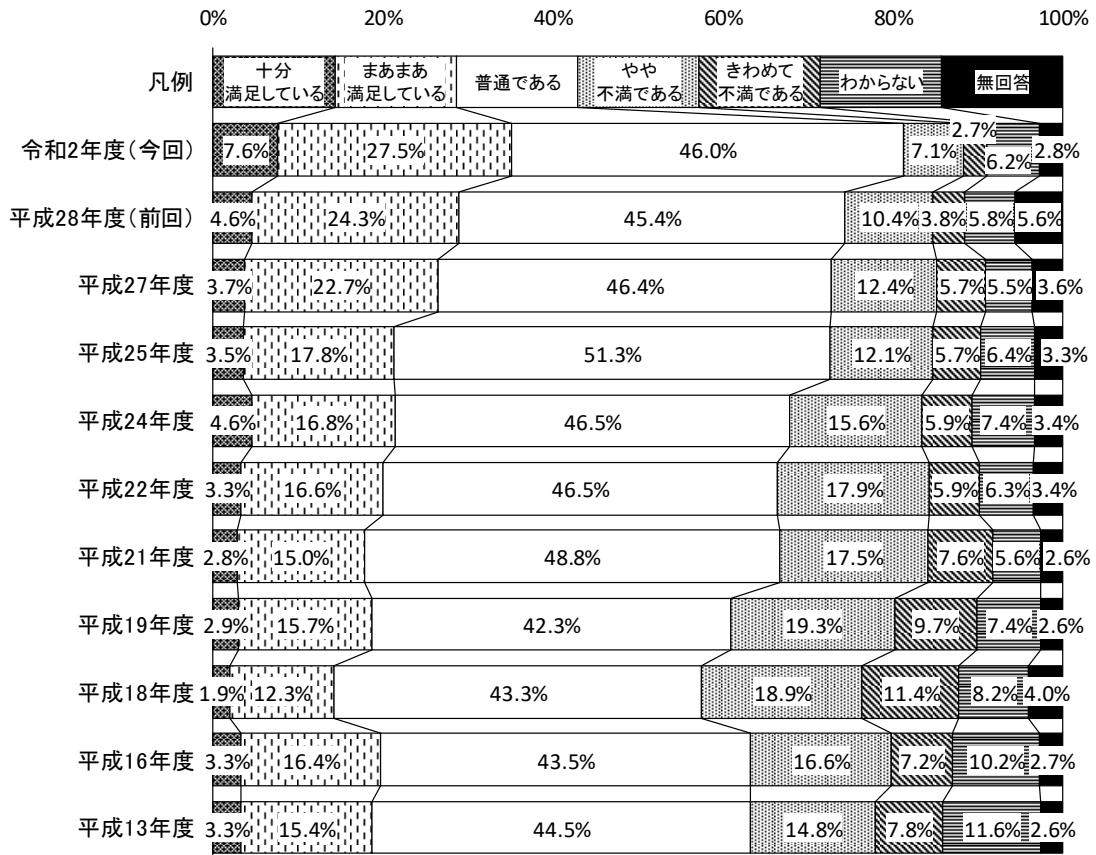
#### ☆安心やゆとりの満足度は約4割

安心やゆとりの6項目の総合満足度について、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(41.2%)と答えた方は約4割となっており、平成28年度調査と比べて15.6ポイント増加しています。

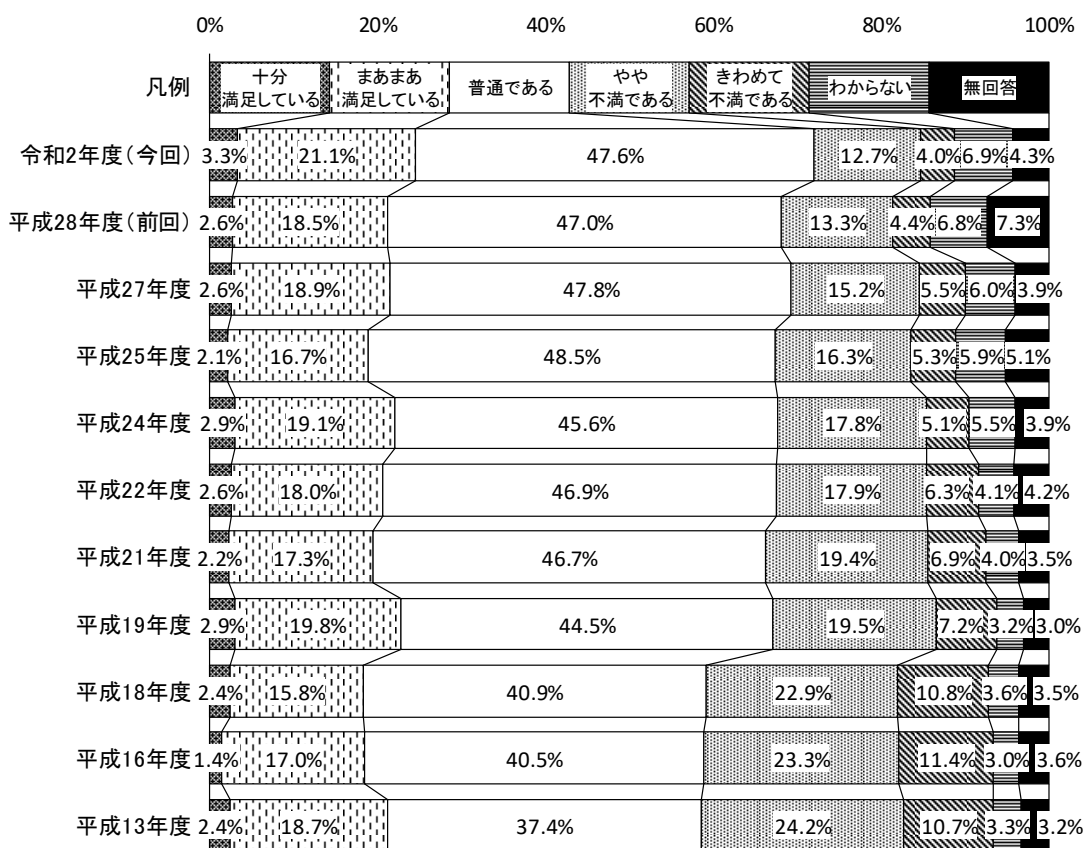


6項目それぞれについてみると、『満足している』は平成28年度調査と比べて、【保健・医療・福祉サービス】で6.2ポイント、【事故や災害に強い安全なまち】で4.6ポイント、それぞれ増加しています。

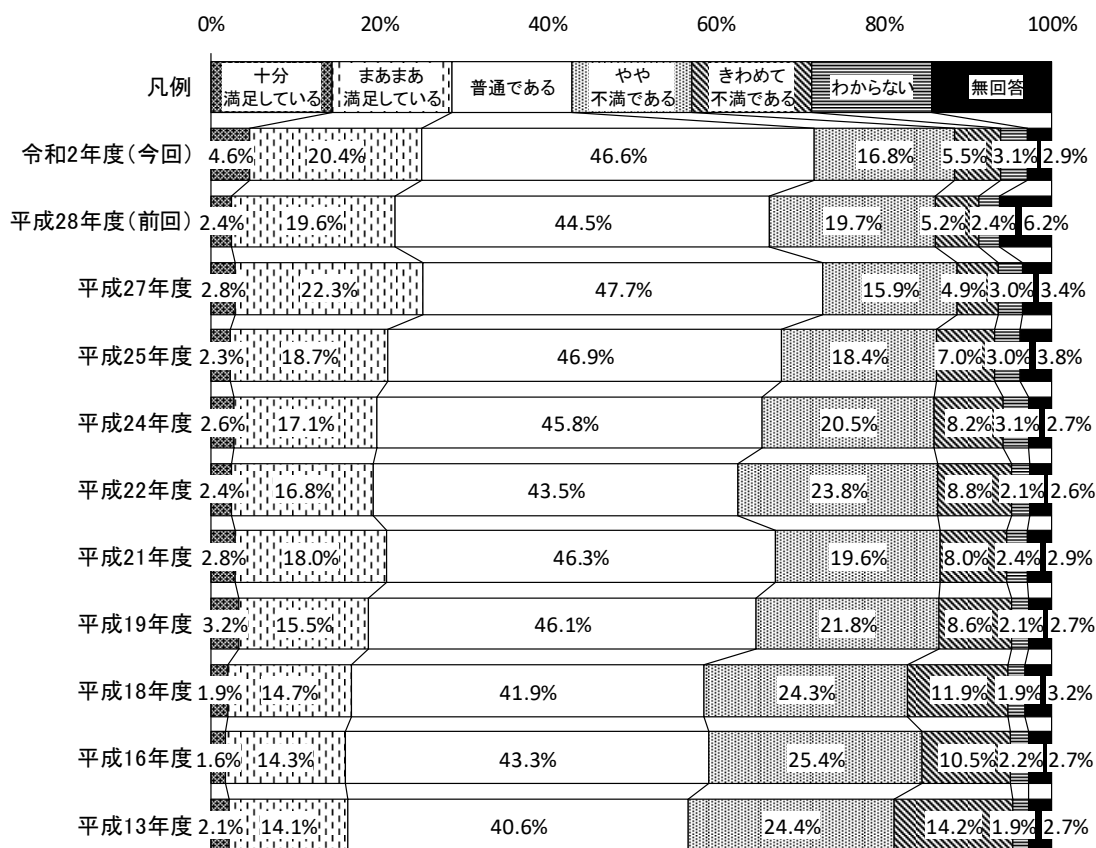
【(ア) 保健・医療・福祉サービス】



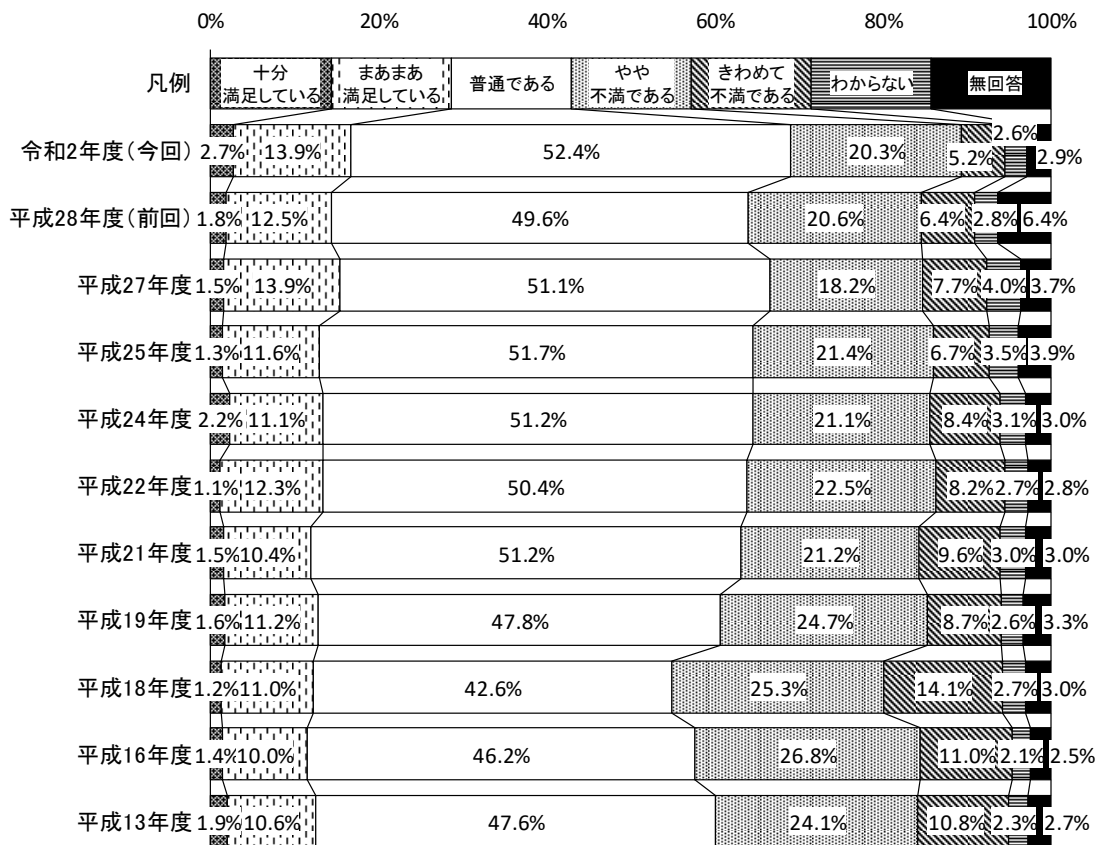
【(ケ) 緑地・河川などの自然環境】



【(コ) 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ】

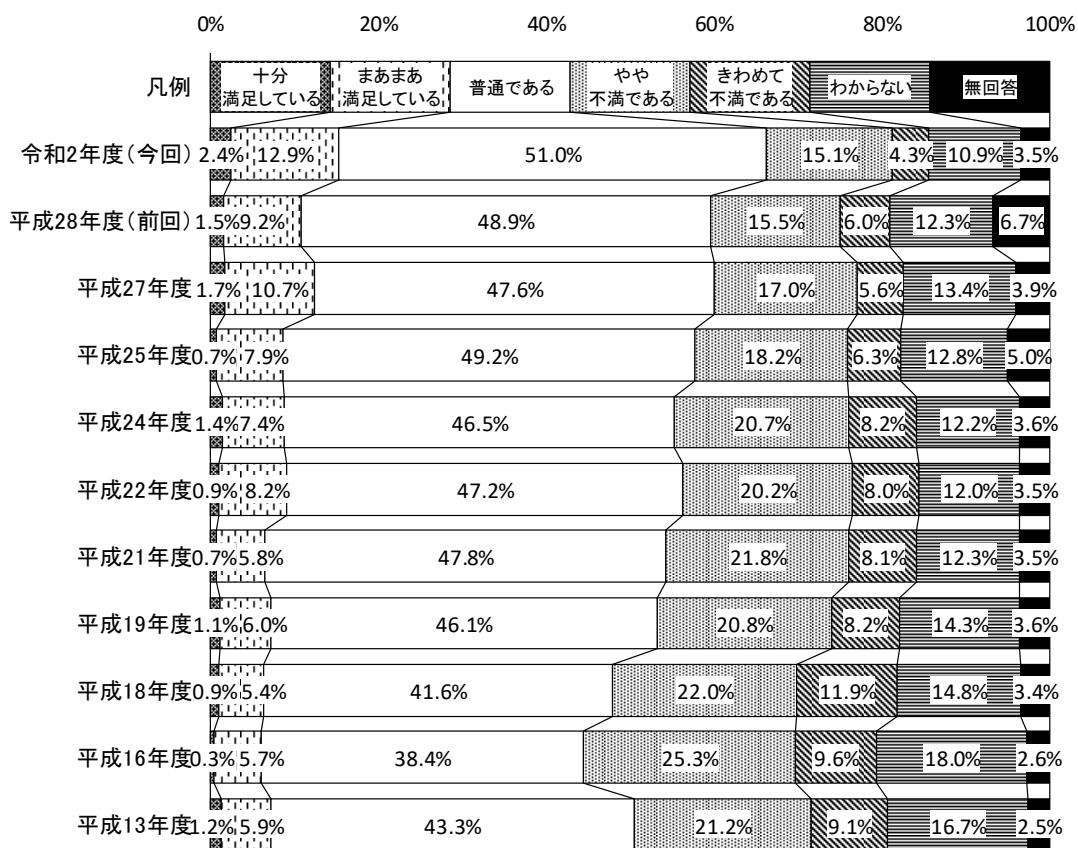


【(サ) まち並み、建物などまち全体の景観】

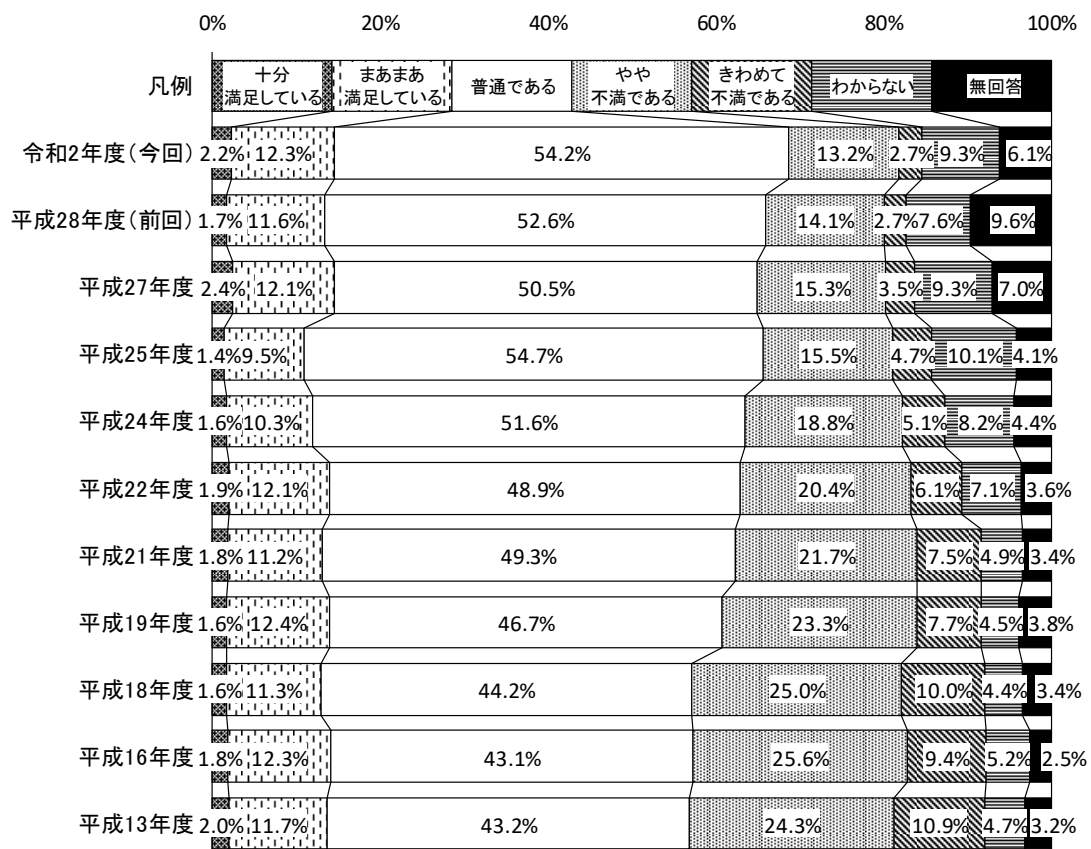




【(シ) 事故や災害に強い安全なまち】



【(チ) 住環境のゆとりなどの住宅事情】



## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第5項 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

めざしたい将来像：

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

《指標》

緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）

#### (1) 指標の説明

緑や水にふれあう機会が増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度（評価）」

Q18（ケ） あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6

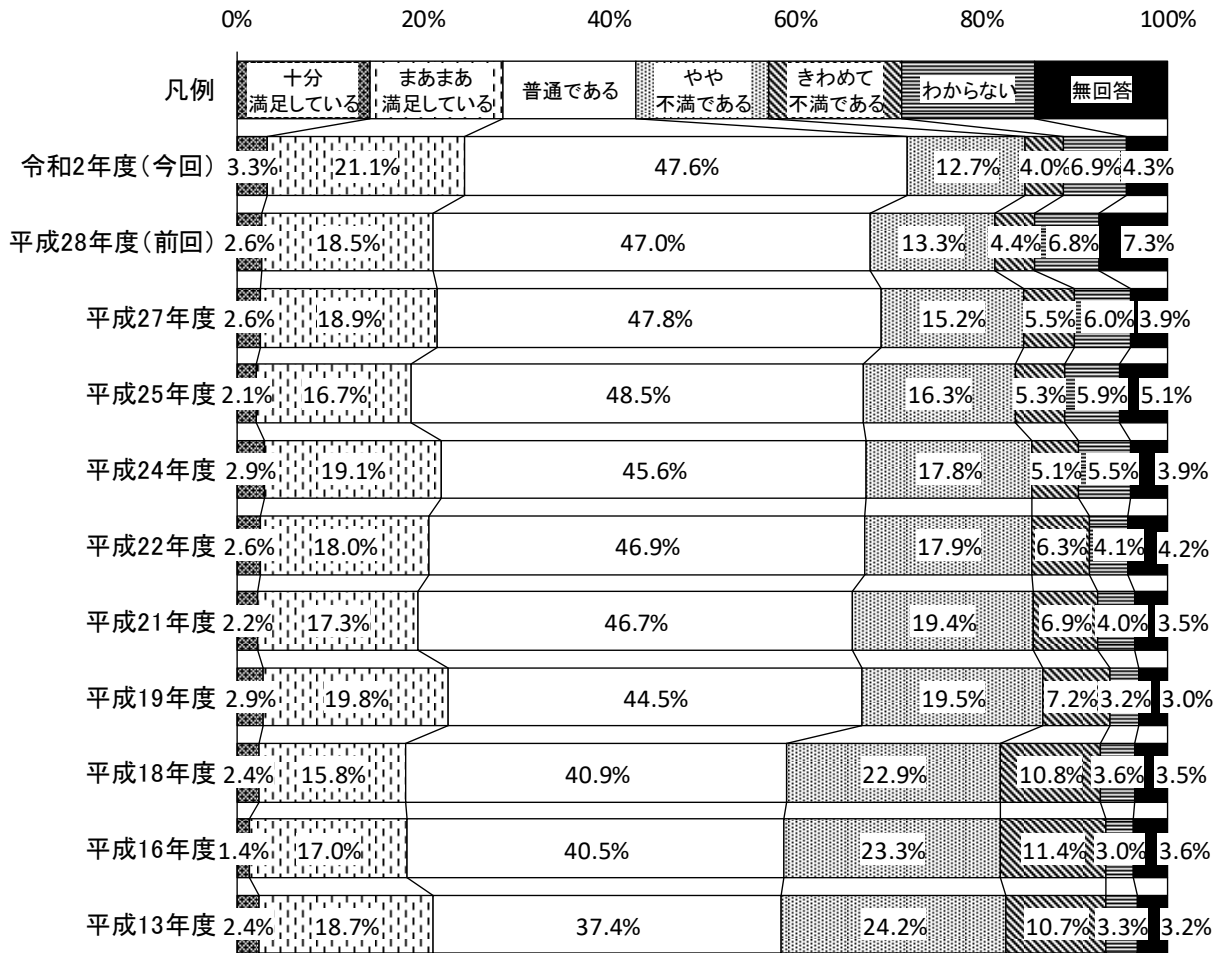
#### (3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度	令和2年度
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%	2.6%	3.3%
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%	18.5%	21.1%
計	21.1%	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	24.4%

#### (4) 指標の分析

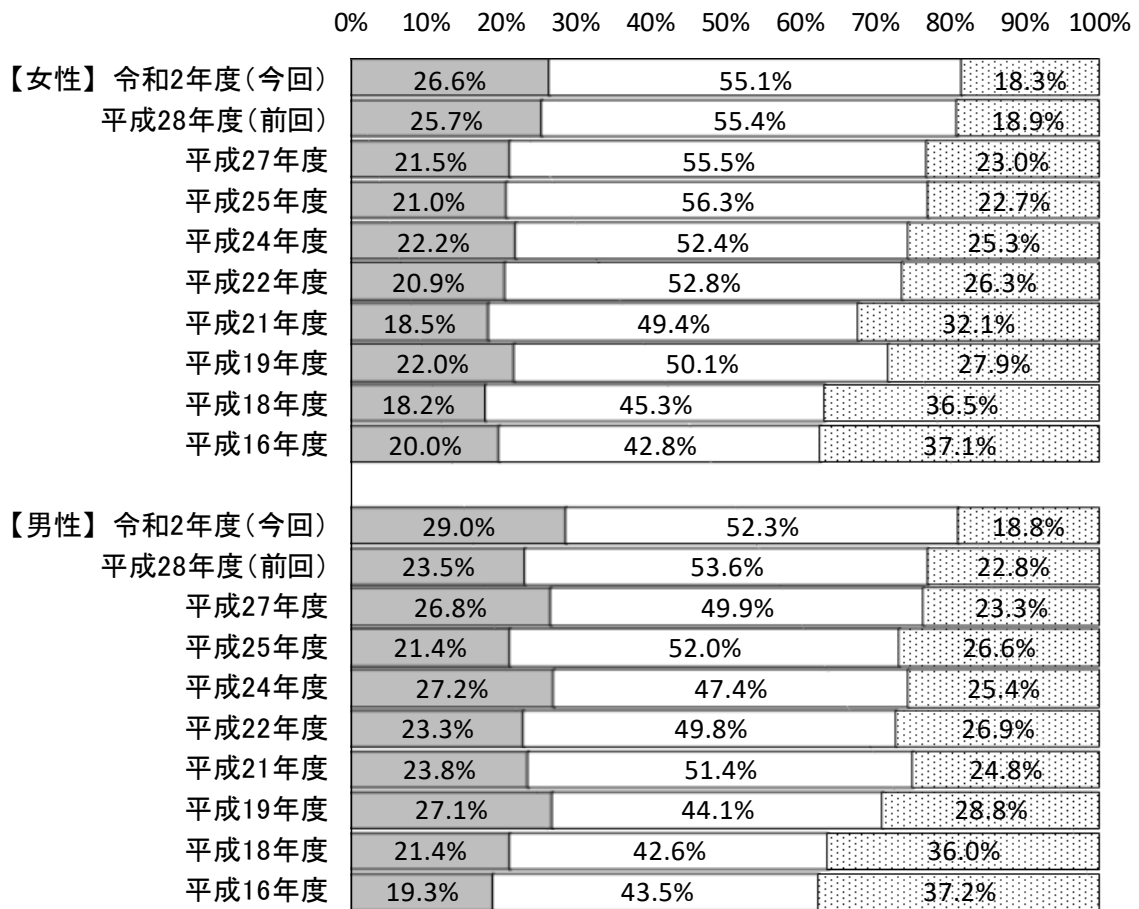
##### ☆自然環境に満足している人は2割半ばとなっています

緑地・河川などの自然環境に、「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』(24.4%)と答えた方は2割程度ですが、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<自然環境×性別>

性別で見ると、『満足している』は“男性”（29.0%）が“女性”（26.6%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて男性では5.5ポイント増加しています。

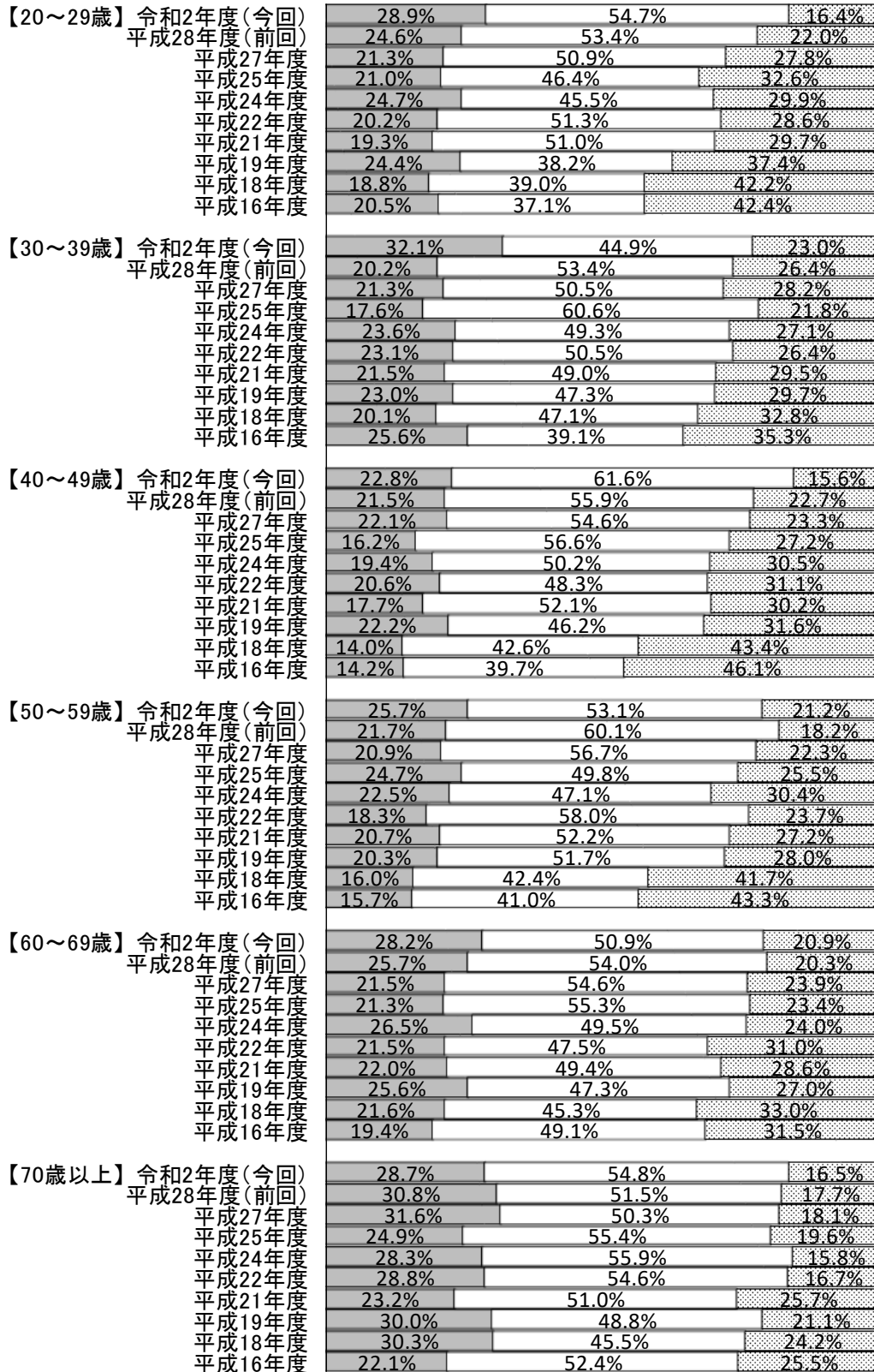


- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

<自然環境×年齢別>

年齢別で見ると、『満足している』は“30～39歳”（32.1%）で最も高く、次いで“20～29歳”（28.9%）となっています。また、“70歳以上”を除く全ての年代で『満足している』は平成28年度調査と比べて増加しています。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 「十分満足している」と「まあまあ満足している」の合計比率
- 「普通である」の比率
- ▨「やや不満である」と「きわめて不満である」の合計比率

## 第6節 都市経営の視点に立った行政運営

### 第1項 市民ニーズに基づく行政経営を行います

めざしたい将来像：

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

《指標》

住み続けたいと思う人の割合

#### (1) 指標の説明

誰もが住みやすい環境形成が実現できれば、今後も住み続けたいと思う意向が強くなると考えます。そこで、住み続けたいと思う人の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・意向」

Q20 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                 |               |            |
|-----------------|---------------|------------|
| 1 住み続けたい        | 3 どちらとも言えない   | 5 住み続けたくない |
| 2 できることなら住み続けたい | 4 あまり住み続けたくない |            |

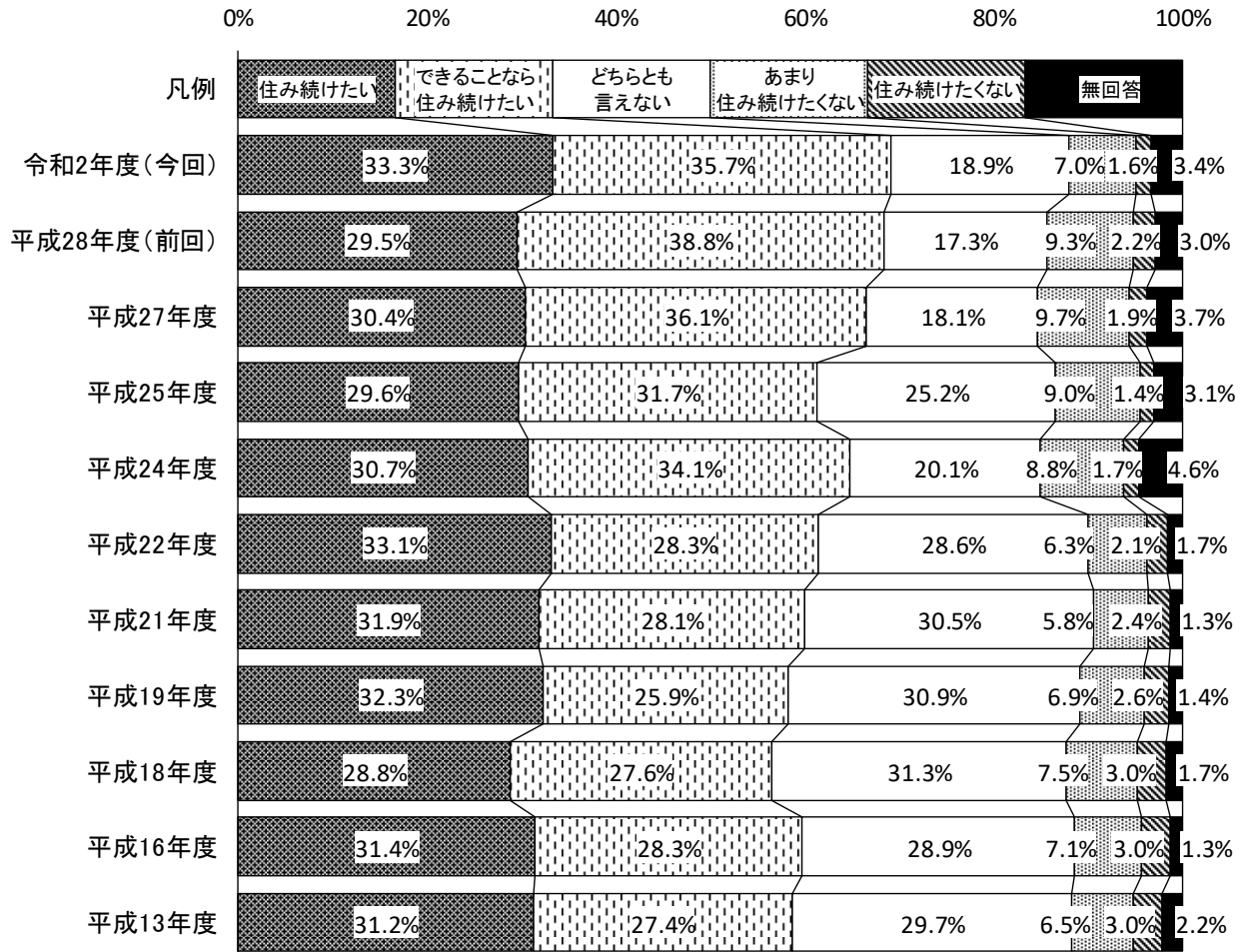
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
住み続けたい	31.2%	31.4%	28.8%	32.3%	31.9%	33.1%	30.7%	29.6%	30.4%	29.5%	33.3%
できることなら 住み続けたい	27.4%	28.3%	27.6%	25.9%	28.1%	28.3%	34.1%	31.7%	36.1%	38.8%	35.7%
計	58.6%	59.7%	56.4%	58.2%	60.0%	61.4%	64.8%	61.3%	66.5%	68.3%	69.0%

(4) 指標の分析

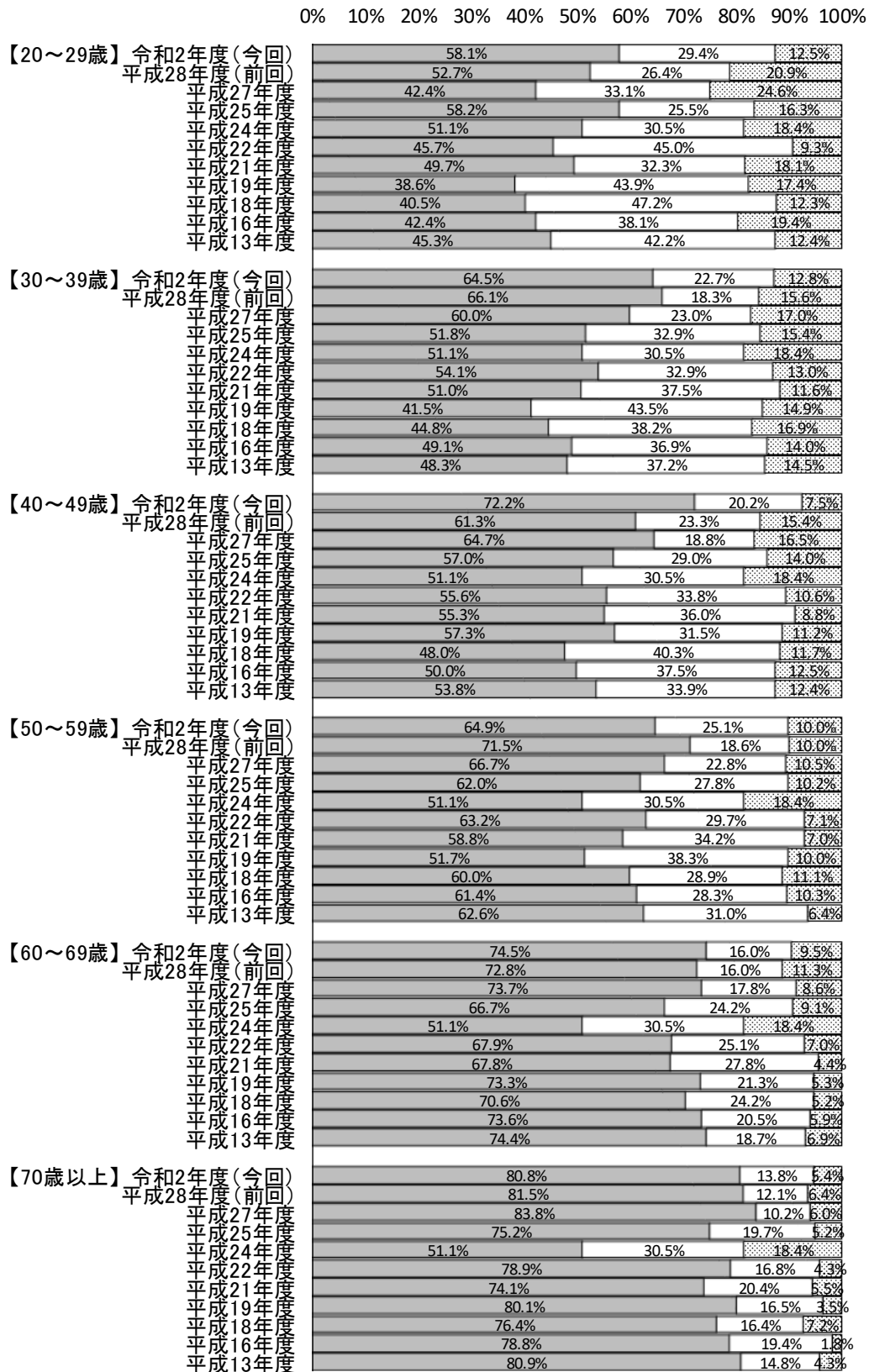
☆松戸市に住み続けたいと思う人は約7割となっています

定住意向について、「住み続けたい」、「できることなら住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』(69.0%)と答えた方は約7割となっており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています。



<定住意向×年齢別>

年齢別で見ると、『住み続けたい』は“70歳以上”（80.8%）で最も高く、次いで“60～69歳”（74.5%）となっています。また、『住み続けたい』は平成28年度調査と比べて、“40～49歳”で10.9ポイント、“20～29歳”で5.4ポイント、それぞれ増加しています。

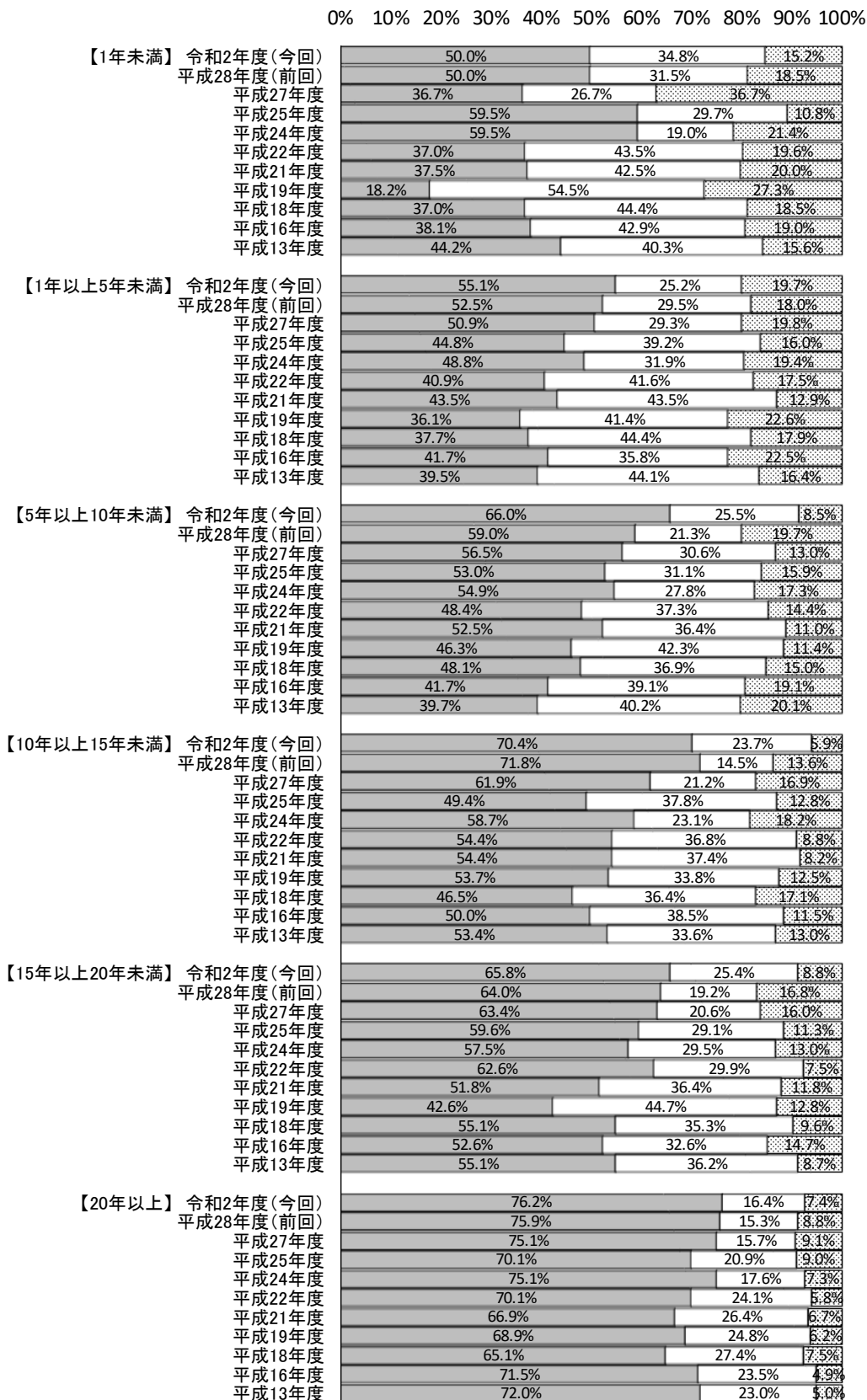


- 「住み続けたい」と「できることなら住み続けたい」の合計比率
- 「どちらとも言えない」の比率
- 「あまり住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計比率



<定住意向×松戸市在住年数別>

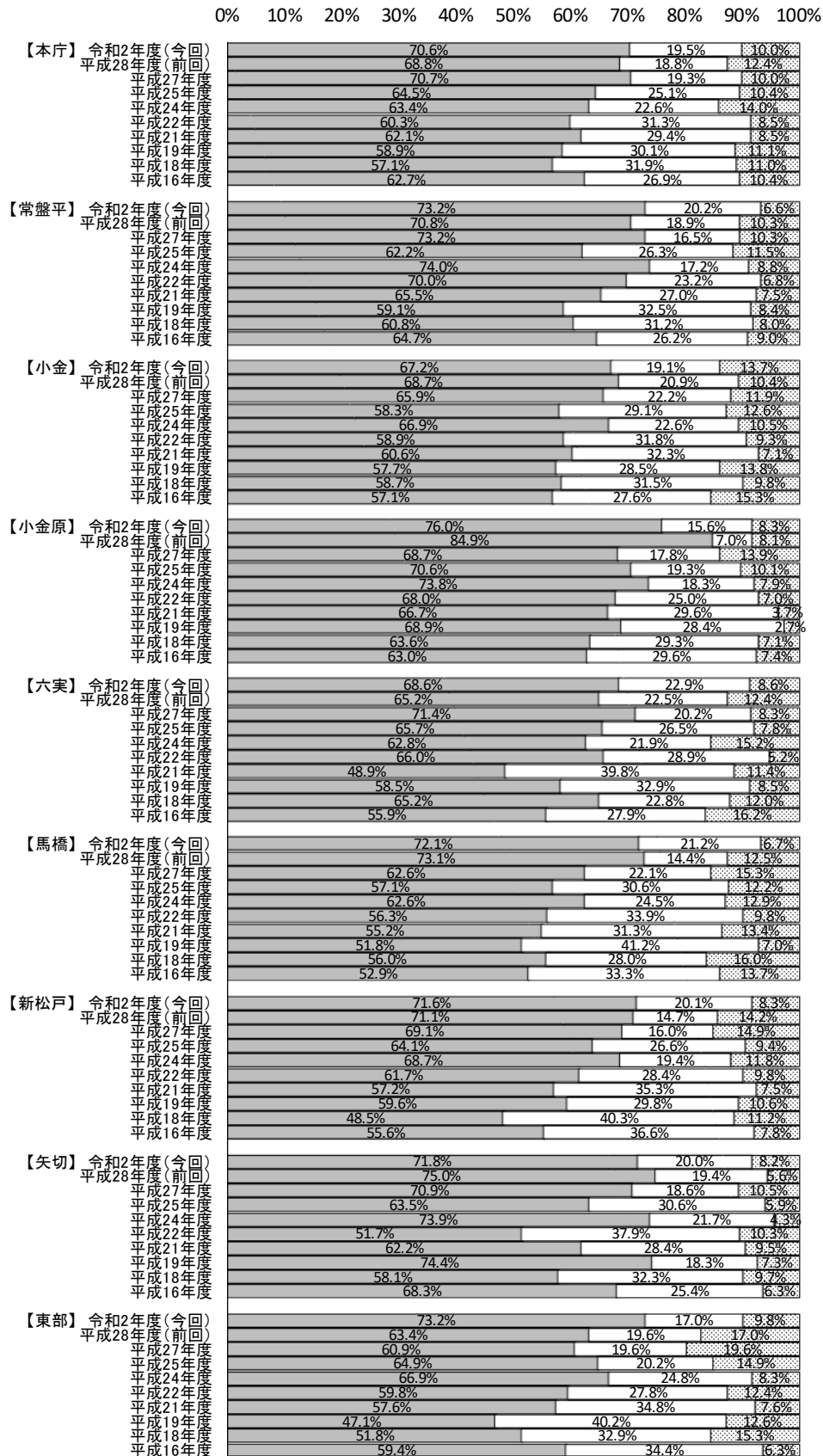
松戸市在住年数別でみると、『住み続けたい』はおおむね在住年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、“20年以上”（76.2%）で最も高くなっています。また、『住み続けたい』は平成28年度調査と比べて“5年以上10年未満”で7.0ポイント増加しています。



- 「住み続けたい」と「できることなら住み続けたい」の合計比率
- 「どちらとも言えない」の比率
- ▣「あまり住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計比率

<定住意向×居住地区別>

居住地区別でみると、『住み続けたい』は“小金原”（76.0%）で最も高く、次いで“常盤平”と“東部”（ともに73.2%）となっています。また、『住み続けたい』は平成28年度調査と比べて“東部”で9.8ポイント増加しています。



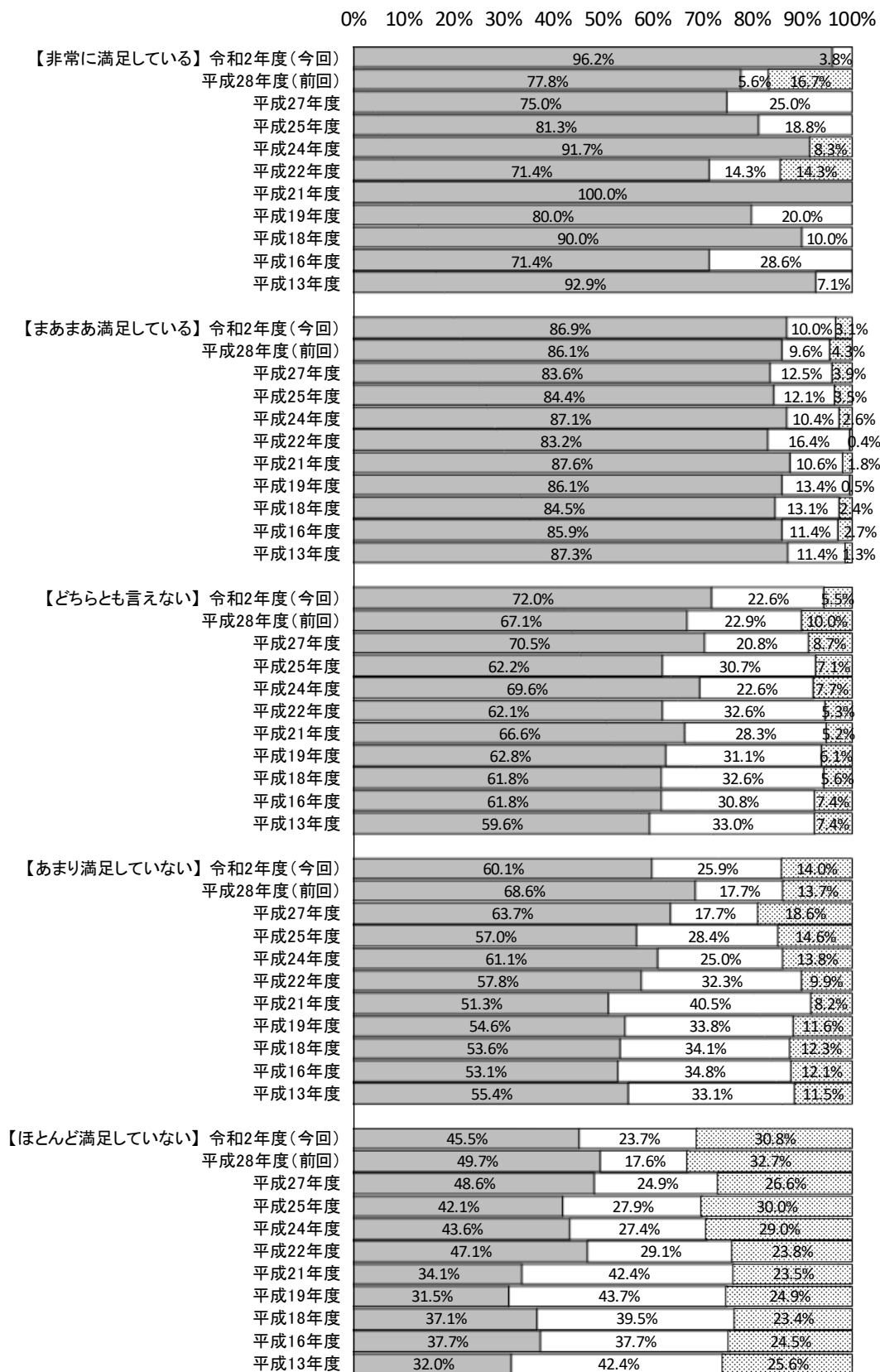
■「住み続けたい」と「できることなら住み続けたい」の合計比率

□「どちらとも言えない」の比率

▨「あまり住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計比率

<定住意向×行政サービスに対する満足度別>

行政サービスに対する満足度別でみると、『住み続けたい』は行政サービスに対する満足度が高くなるにつれて割合が高くなっており、“非常に満足している”（96.2%）と答えた方で最も高くなっています。一方、“ほとんど満足していない”（45.5%）と答えた方では4割程度にとどまっています。



- 「住み続けたい」と「できることなら住み続けたい」の合計比率
- 「どちらとも言えない」の比率
- ▨「あまり住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計比率

《指標》

行政サービスの改善度

(1) 指標の説明

市民の満足度向上のため、行政サービスが改善されたと感じる人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・意向」

Q17 あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 以前より非常に良くなっている | 4 以前より多少悪くなっている  |
| 2 以前より多少良くなっている  | 5 以前より非常に悪くなっている |
| 3 以前と変わらない       |                  |

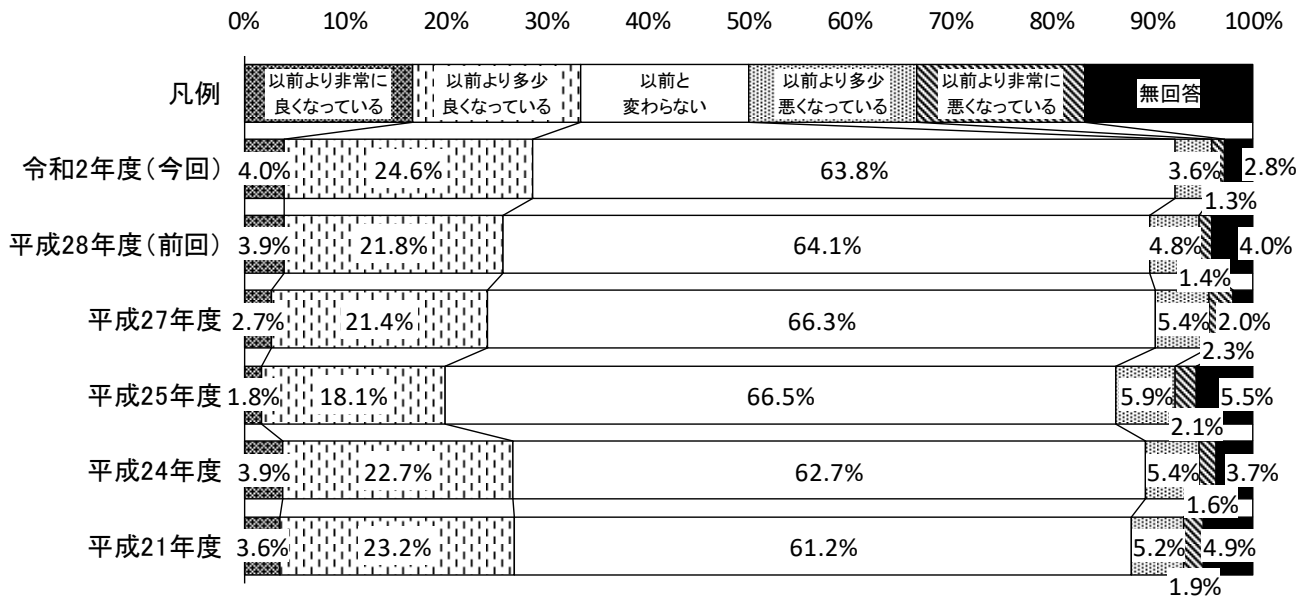
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
以前より非常に良くなっている	3.6%	3.9%	1.8%	2.7%	3.9%	4.0%
以前より多少良くなっている	23.2%	22.7%	18.1%	21.4%	21.8%	24.6%
計	26.8%	26.6%	20.0%	24.1%	25.7%	28.6%

#### (4) 指標の分析

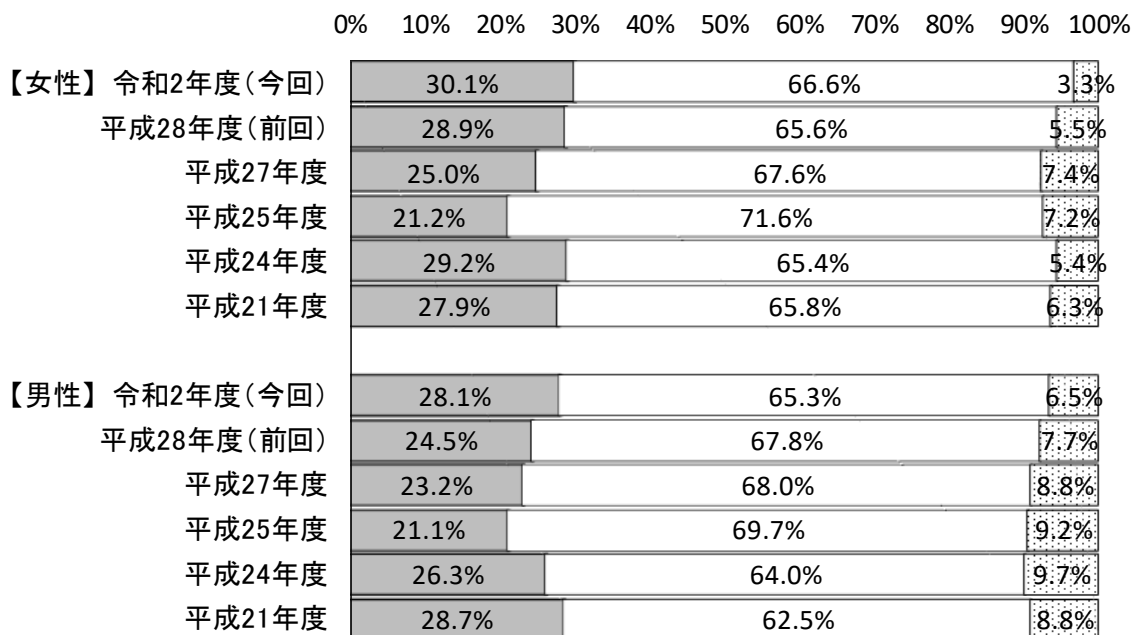
##### ☆行政サービスが以前より良くなっていると感じている人は約3割となっています

松戸市の行政サービスについて、「以前より非常に良くなっている」、「以前より多少良くなっている」を合わせた『以前より良くなっている』(28.6%)と答えた方は約3割となっており、平成21年度調査以降最も高い割合となっています。



#### <行政サービスの改善度×性別>

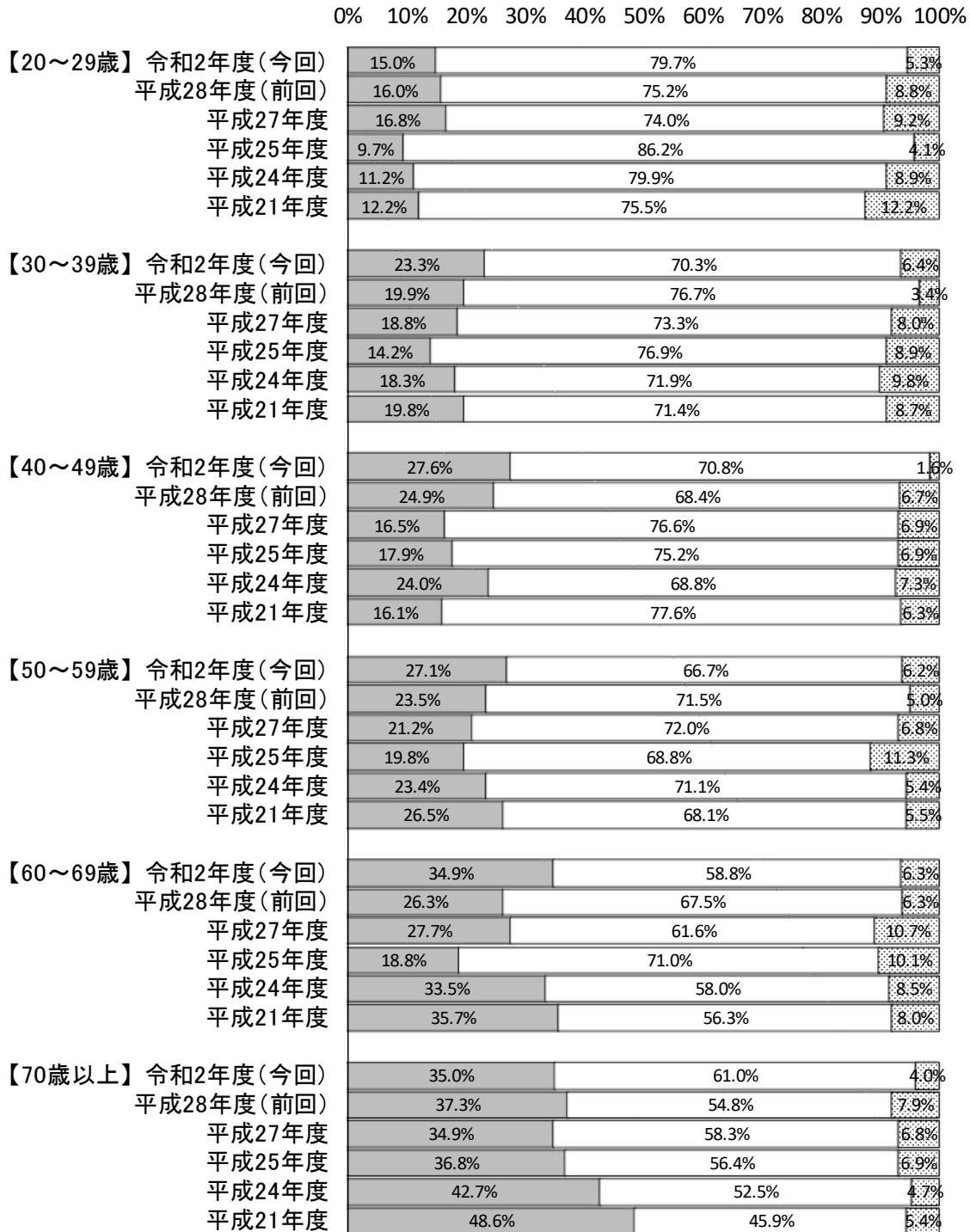
性別で見ると、『以前より良くなっている』は“女性”(30.1%)が“男性”(28.1%)より高くなっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。



- 「以前より非常に良くなっている」と「以前より多少良くなっている」の合計比率
- 「以前と変わらない」の比率
- ▣ 「以前より多少悪くなっている」と「以前より非常に悪くなっている」の合計比率

<行政サービスの改善度×年齢別>

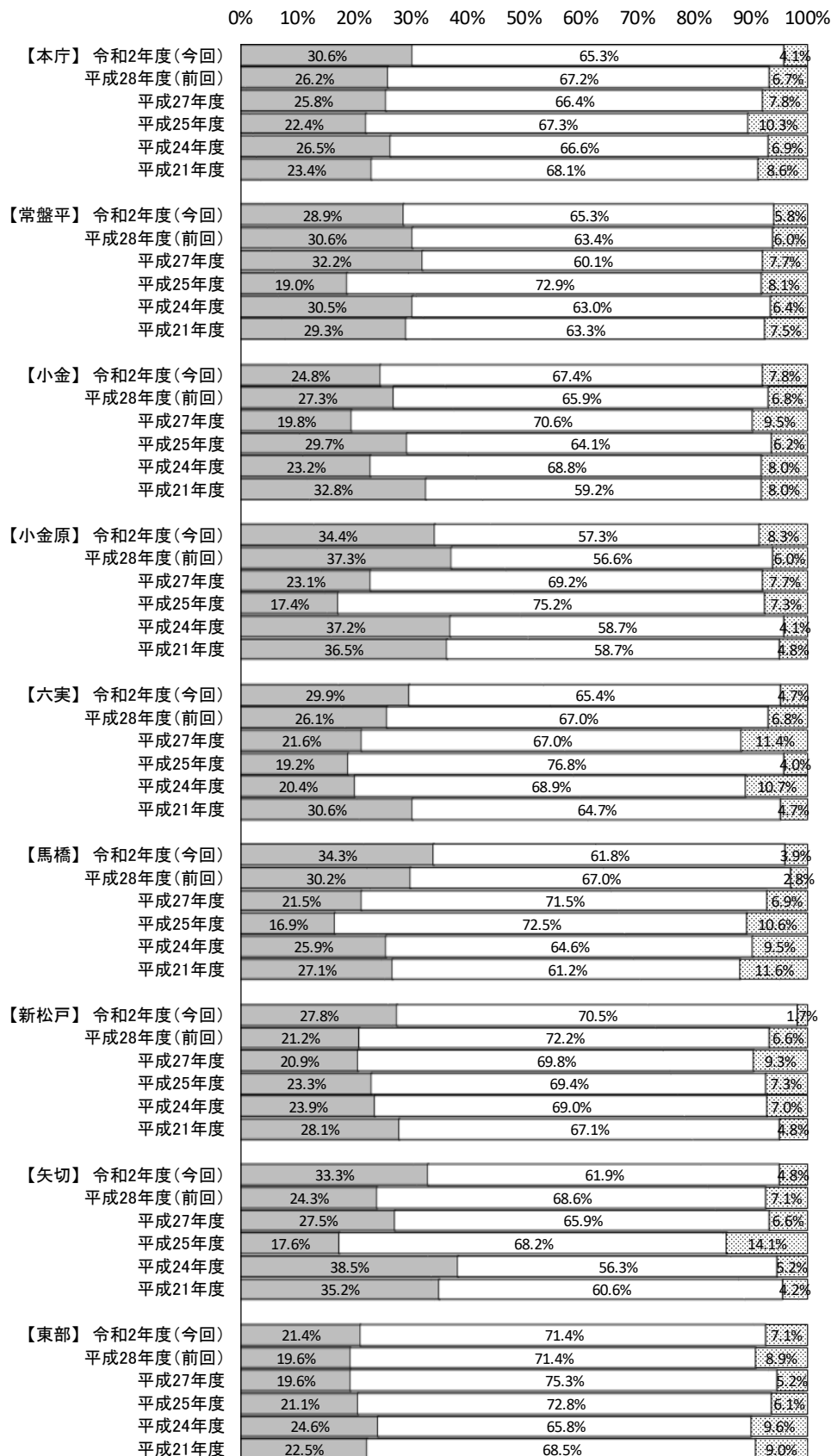
年齢別で見ると、『以前より良くなっている』はおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっており、“70歳以上”（35.0%）で最も高くなっています。また、『以前より良くなっている』は平成28年度調査と比べて“60～69歳”で8.6ポイント増加しています。



- 「以前より非常に良くなっている」と「以前より多少良くなっている」の合計比率
- 「以前と変わらない」の比率
- ▨「以前より多少悪くなっている」と「以前より非常に悪くなっている」の合計比率

<行政サービスの改善度×居住地区別>

居住地区別でみると、『以前より良くなっている』は“小金原”（34.4%）で最も高く、次いで“馬橋”（34.3%）となっています。また、『以前より良くなっている』は平成28年度調査と比べて、“矢切”で9.0ポイント、“新松戸”で6.6ポイント、それぞれ増加しています。



- 「以前より非常に良くなっている」と「以前より多少良くなっている」の合計比率
- 「以前と変わらない」の比率
- ▣「以前より多少悪くなっている」と「以前より非常に悪くなっている」の合計比率

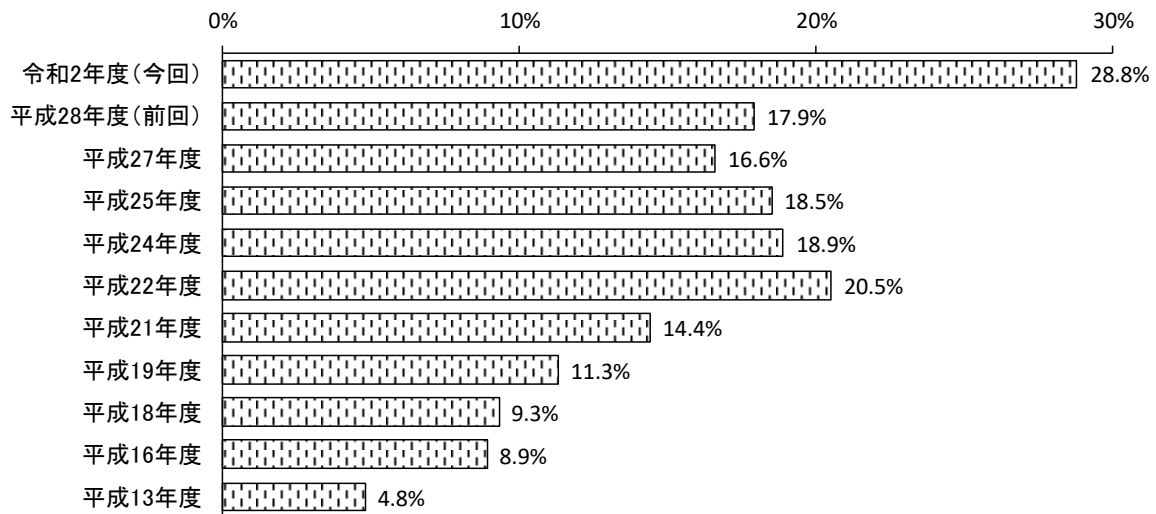




#### (4) 指標の分析

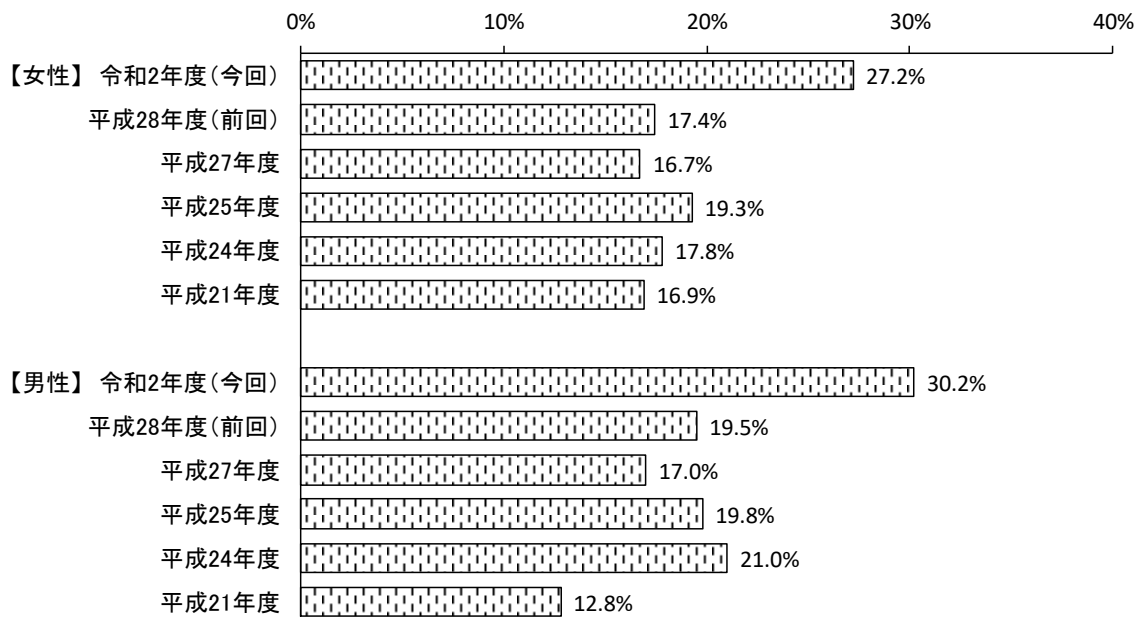
##### ☆松戸市のホームページから行政情報を入手している人は約3割となっています

松戸市の「ホームページから行政情報を入手している」(28.8%)と答えた方は約3割となっており、平成28年度調査と比べて10.9ポイント増加しています。



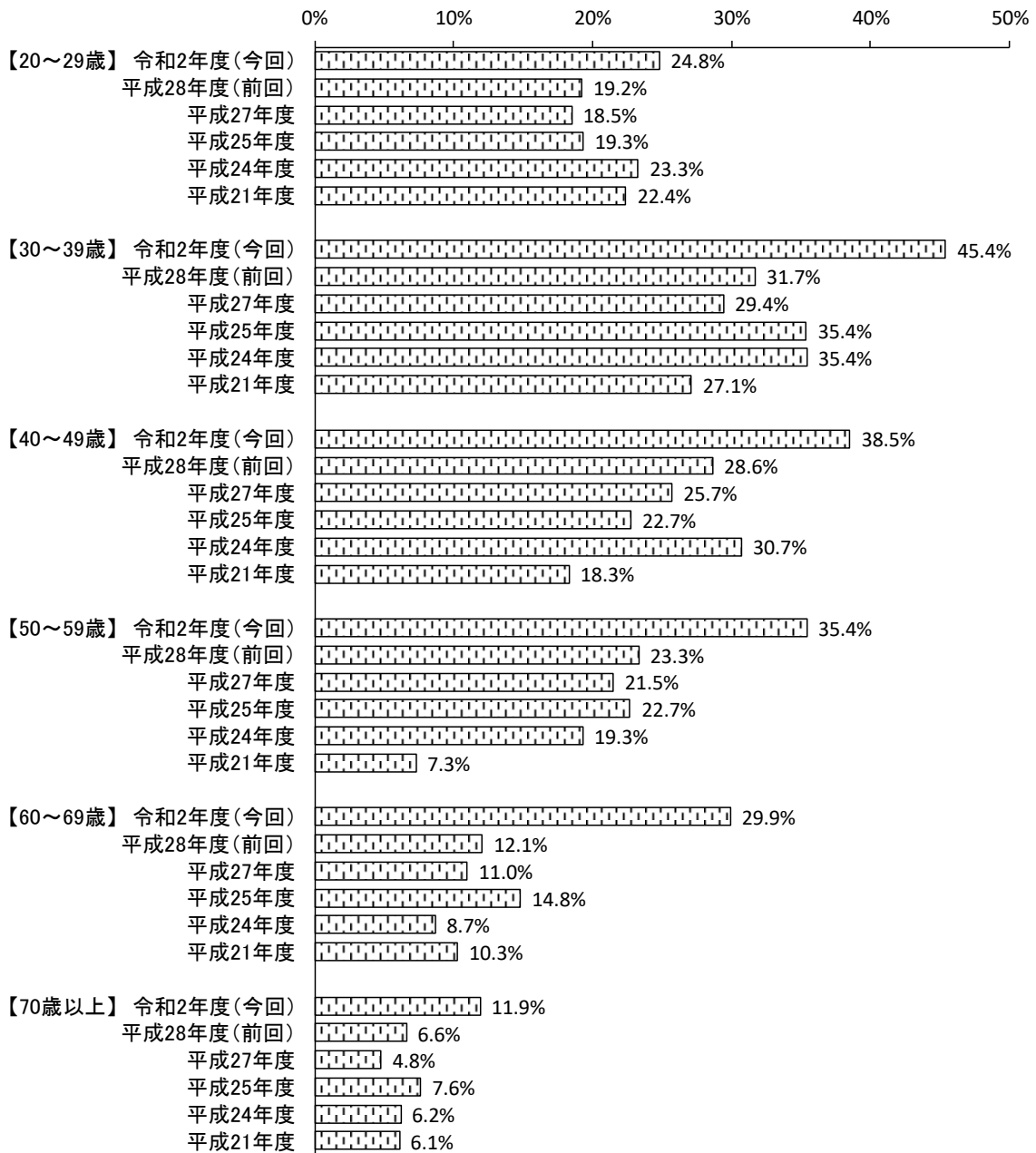
#### <行政情報の入手手段×性別>

性別でみると、「ホームページから行政情報を入手している」は“男性”(30.2%)が“女性”(27.2%)より高くなっており、平成28年度調査と比べて、男性では10.7ポイント、女性では9.8ポイント、それぞれ増加しています。



<行政情報の入手手段×年齢別>

年齢別でみると、「ホームページから行政情報を入手している」は“30～39歳”（45.4%）で最も高く、次いで“40～49歳”（38.5%）となっており、全ての年代で平成28年度調査と比べて増加しています。



《指標》

インターネットを利用している人の割合

(1) 指標の説明

インターネットを利用できる環境にある人は、その双方向性を活かして、活発に外部とのコミュニケーションを図ることにより、社会における活動範囲が拡大するとともに、生活の質の改善にもつながっていくと考えられます。そこでインターネットを利用している人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q11 あなたは、ご自身でインターネット（携帯電話やスマートフォンによるネット利用を含む）を利用しますか。次の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 毎日のように利用している | 4 ほとんど利用していない |
| 2 時々利用している     | 5 全く利用していない   |
| 3 たまに利用している    |               |

(Q11で1～3を選択した人のみお答えください)

SQ1 あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 電子メールの送信によく利用している                                |
| 2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している                    |
| 3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している                         |
| 4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引きをしている         |
| 5 自分自身でホームページやブログ（フェイスブックやツイッター含む）などを利用し、情報を発信している |
| 6 その他（ )   |

(Q11で1～3を選択した人のみお答えください)

SQ2 あなたのインターネット利用は、次の中のどれにあてはまりますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 パソコンからのみ利用している                  |
| 2 パソコンが主で、補助的に携帯電話・スマートフォンを利用している |
| 3 パソコン、携帯電話・スマートフォンの利用がほぼ半々である    |
| 4 携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパソコンを利用している |
| 5 携帯電話・スマートフォンからのみ利用している          |
| 6 その他（ )                          |

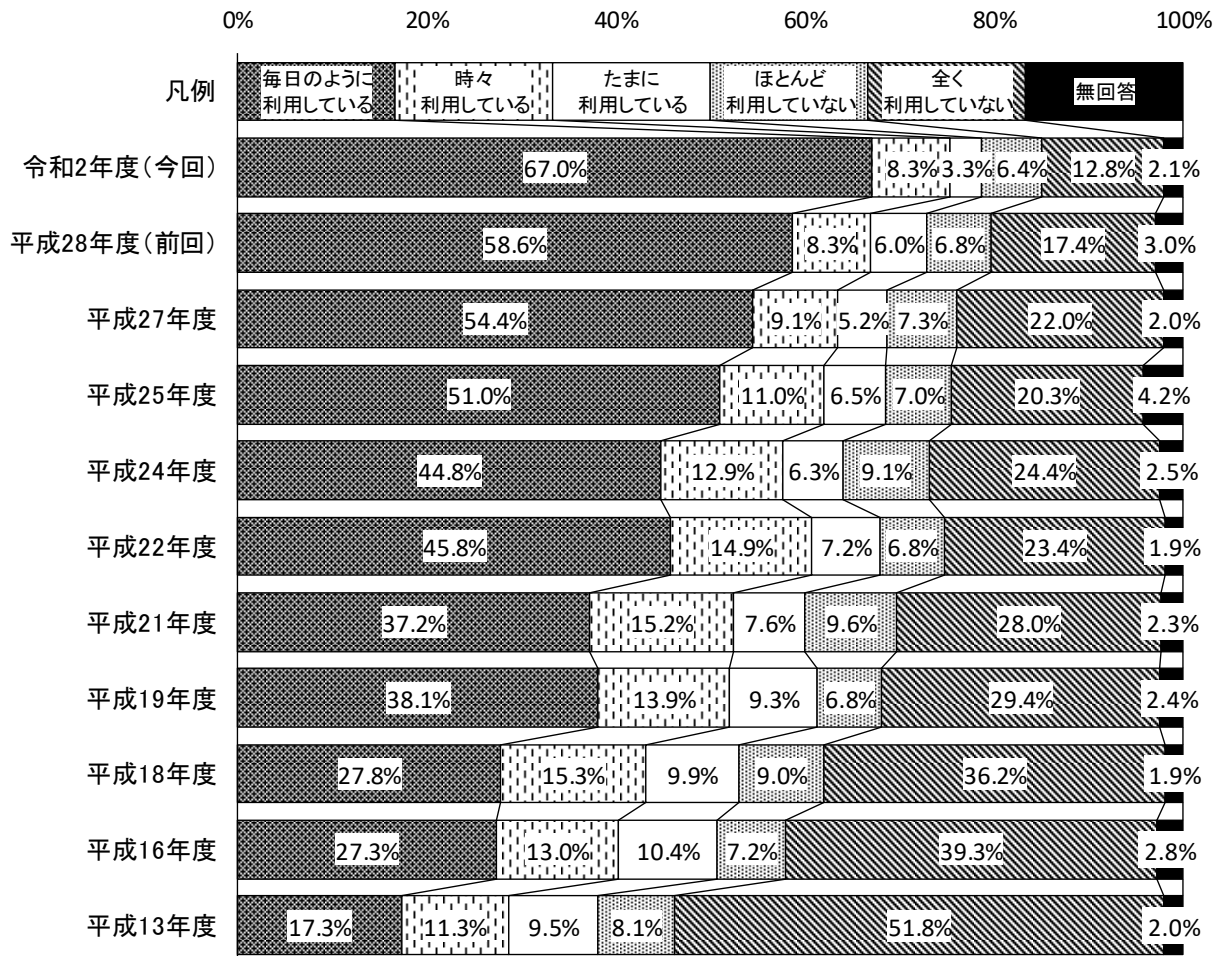
### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度	令和 2年度
毎日のように 利用している	17.3%	27.3%	27.8%	38.1%	37.2%	45.8%	44.8%	51.0%	54.4%	58.6%	67.0%
時々利用している	11.3%	13.0%	15.3%	13.9%	15.2%	14.9%	12.9%	11.0%	9.1%	8.3%	8.3%
たまに利用している	9.5%	10.4%	9.9%	9.3%	7.6%	7.2%	6.3%	6.5%	5.2%	6.0%	3.3%
計	38.1%	50.7%	53.0%	61.3%	60.0%	68.0%	64.0%	68.5%	68.7%	72.9%	78.6%

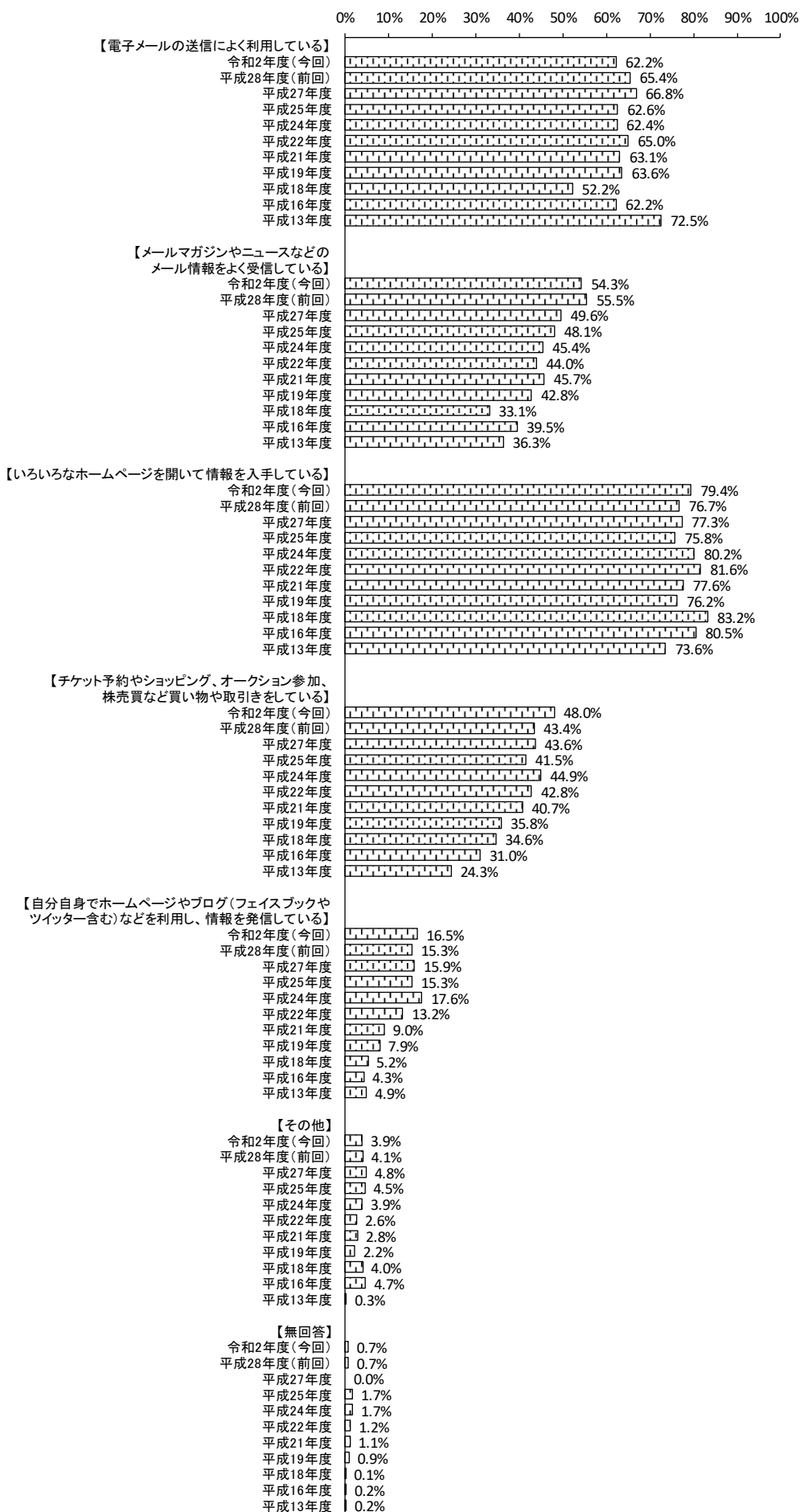
### (4) 指標の分析

☆インターネット利用者は約8割となっており、平成13年度調査以降最も高い割合となっています

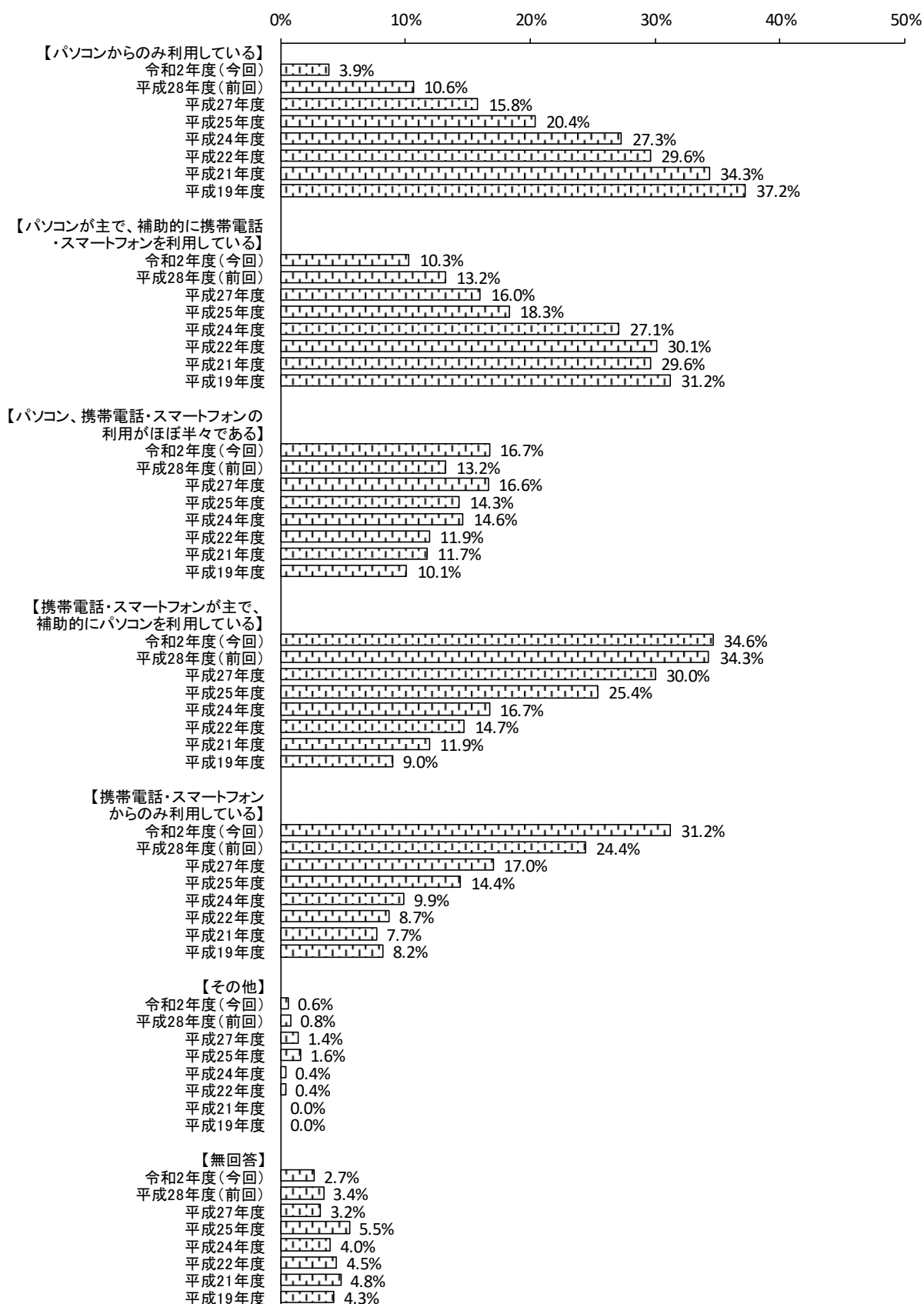
インターネットの利用状況について、「毎日のように利用している」、「時々利用している」、「たまに利用している」を合わせた『利用している』(78.6%)と答えた方は約8割となっており、平成28年度調査と比べて5.7ポイント増加しています。



インターネット利用者の利用目的は、「いろいろなホームページを開いて情報を入手している」(79.4%)が最も高く、次いで「電子メールの送信によく利用している」(62.2%)となっており、過去の調査と大きな傾向の違いはみられません。

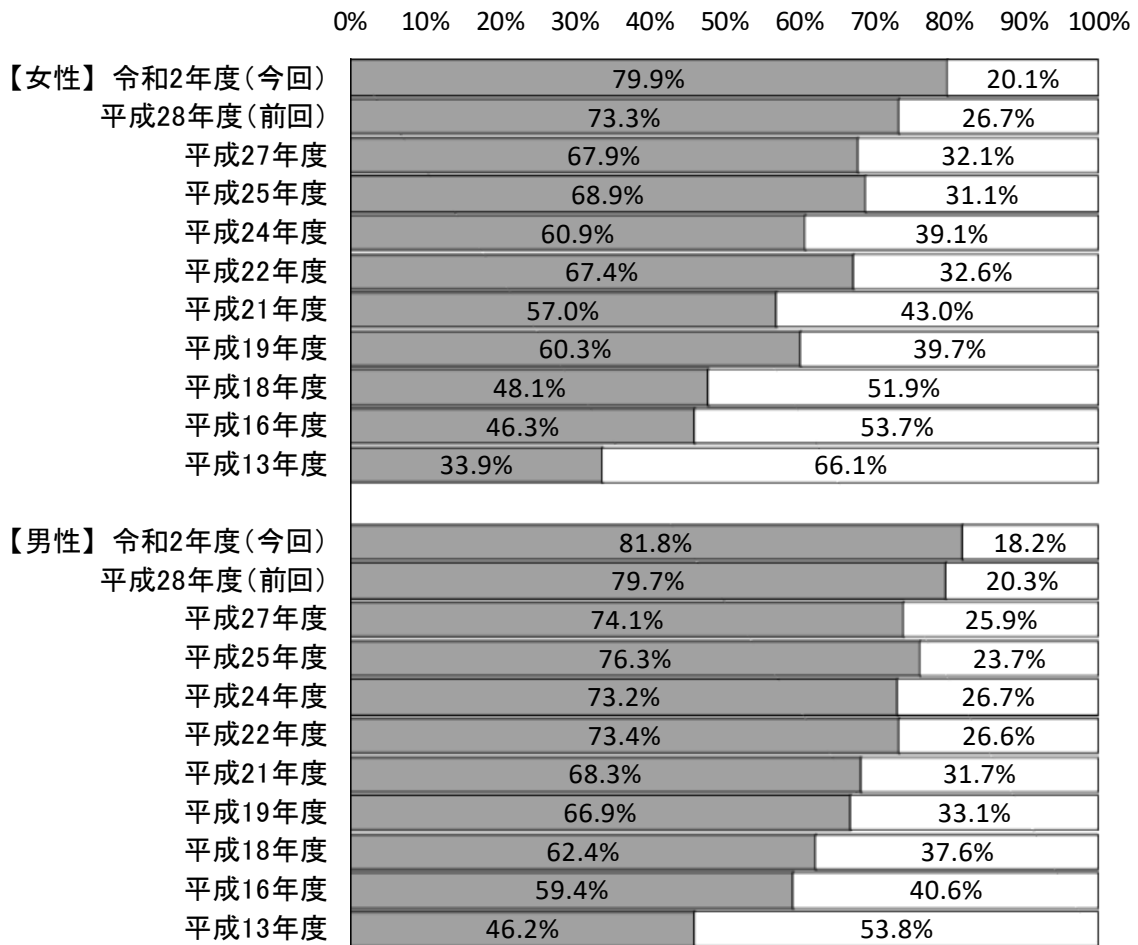


インターネット利用者の利用媒体は、「携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパソコンを利用している」(34.6%)が最も高く、次いで「携帯電話・スマートフォンからのみ利用している」(31.2%)となっています。また、「携帯電話・スマートフォンからのみ利用している」は平成28年度調査と比べて6.8ポイント増加しています。



<インターネット利用状況×性別>

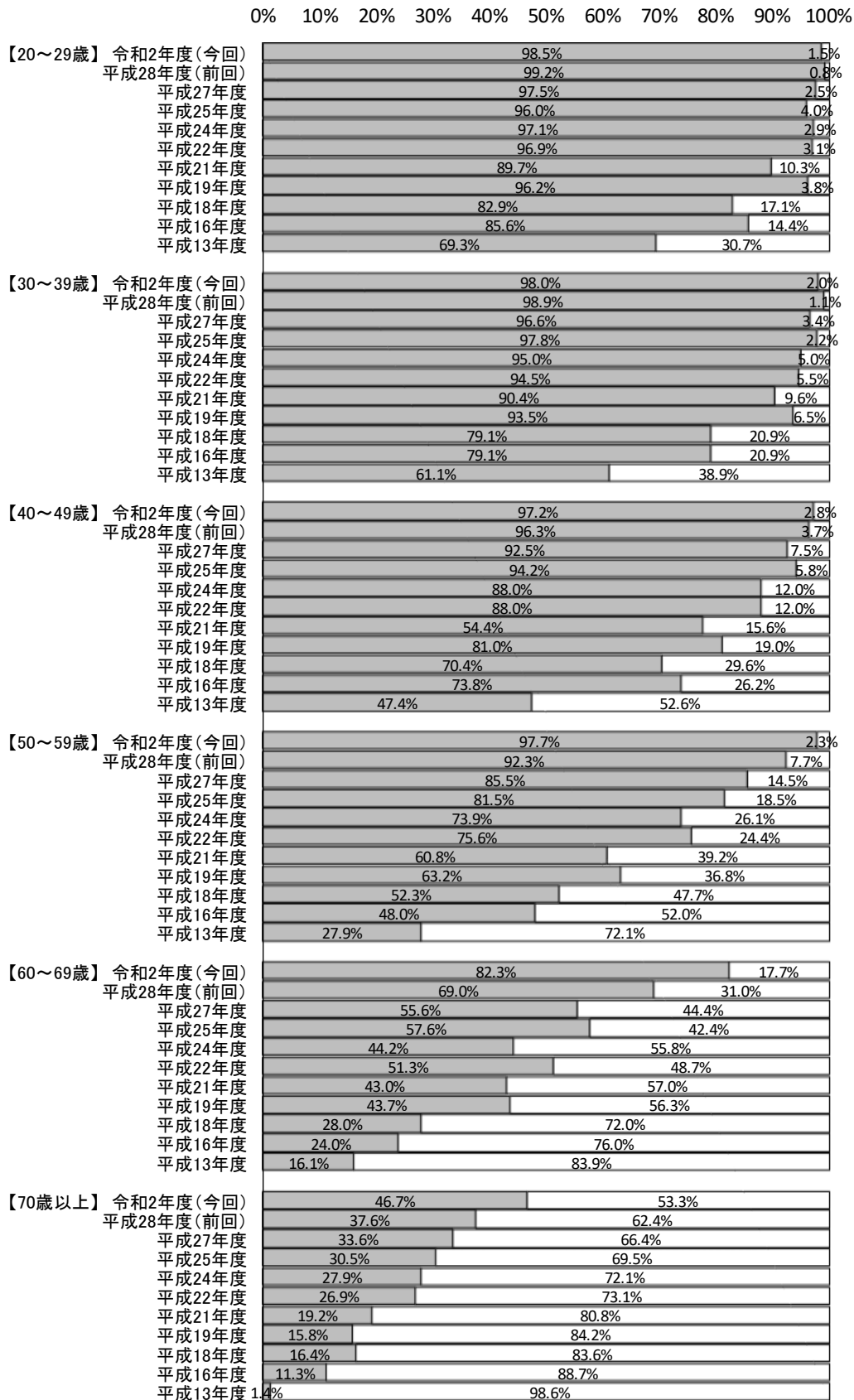
性別で見ると、『利用している』は“男性”（81.8%）が“女性”（79.9%）より高くなっており、男女ともにおむね平成13年度調査以降増加傾向を示しています。



- 「毎日のように利用している」と「時々利用している」と「たまに利用している」の合計比率
- 「ほとんど利用していない」と「全く利用していない」の合計比率

## <インターネット利用状況×年齢別>

年齢別で見ると、『利用している』はおおむね年代が下がるにつれて割合が高くなっており、“20～29歳”（98.5%）で最も高くなっています。また、『利用している』は平成28年度調査と比べて、“60～69歳”で13.3ポイント、“70歳以上”で9.1ポイント、それぞれ増加しています。



■「毎日のように利用している」と「時々利用している」と「たまに利用している」の合計比率

□「ほとんど利用していない」と「全く利用していない」の合計比率



## 2. 令和2年度指標値一覧

節	項	主な指標	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	平成	目指す方向	
			13年度	19年度	21年度	22年度	24年度	25年度	27年度	28年度	2年度	32年度		
			実績値	実績値	実績値	実績値	中間値	実績値	中間値	実績値	実績値	めざそう値		
1	1	市民活動(地域活動、NPO活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	27.1%	33.9%	26.0%	30.6%	30.8%	28.9%	30.5%	28.7%	<b>25.2%</b>	<b>40%</b>	↑	
	2	身の周りで人権が守られていると 思っている人の割合	42.4%	41.3%	45.7%	48.1%	50.5%	48.1%	50.4%	51.7%	<b>53.4%</b>	<b>60%</b>	↑	
	3	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	43.4%	43.8%	43.2%	47.2%	45.6%	48.0%	48.6%	50.5%	<b>57.3%</b>	<b>50%</b>	↑	
		女性の就業割合	54.7%	53.5%	50.3%	50.3%	61.6%	61.9%	64.4%	69.4%	<b>73.0%</b>	<b>70%</b>	↑	
2	1	生きがい感を持っている人の割合	80.3%	80.7%	79.0%	79.1%	76.5%	75.4%	76.9%	75.5%	<b>74.5%</b>	<b>80%</b>	↑	
		本人が健康であると思う人の割合	66.4%	64.3%	65.9%	65.2%	66.6%	63.6%	65.9%	63.9%	<b>61.6%</b>	<b>70%</b>	↑	
		多様な世代と交流する機会のある人の割合	-	-	5.6%	-	4.5%	4.1%	5.2%	5.3%	<b>4.4%</b>	<b>10%</b>	↑	
	2	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	3.6%	4.0%	3.0%	3.6%	3.5%	5.1%	4.3%	3.9%	<b>5.6%</b>	<b>6%</b>	↑	
3	子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	90.6%	91.6%	91.4%	91.3%	91.9%	<b>92.5%</b>	<b>91.4%</b>	↑		
3	2	学習活動を行っている市民の割合	44.4%	42.2%	39.8%	39.3%	36.2%	39.0%	39.3%	36.5%	<b>39.7%</b>	<b>50%</b>	↑	
		学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	69.4%	66.9%	66.1%	69.3%	66.2%	58.9%	60.9%	59.4%	<b>61.5%</b>	<b>75%</b>	↑	
		スポーツを行なっている市民の割合	33.4%	36.0%	35.9%	36.1%	35.4%	34.4%	37.5%	34.7%	<b>35.6%</b>	<b>50%</b>	↑	
	3	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	20.5%	18.0%	18.2%	18.0%	21.0%	17.0%	19.7%	19.1%	<b>21.8%</b>	<b>22%</b>	↑	
		文化・芸術に親しむ市民の割合	46.8%	44.2%	48.4%	47.0%	45.1%	43.7%	45.4%	41.5%	<b>47.7%</b>	<b>50%</b>	↑	
		外国籍市民と交流している人の割合	3.6%	3.0%	3.3%	3.2%	3.7%	2.1%	3.3%	3.6%	<b>4.3%</b>	<b>5%</b>	↑	
4	1	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	80.5%	84.0%	76.9%	81.5%	80.4%	<b>81.4%</b>	<b>90%</b>	↑	
	5	消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	8.7%	8.4%	8.3%	8.1%	7.9%	<b>10.9%</b>	<b>8%</b>	↓	
	6	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	<b>24.4%</b>	<b>25%</b>	↑	
		身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	-	-	6.2%	-	8.2%	7.0%	7.4%	7.2%	<b>7.1%</b>	<b>18%</b>	↑	
5	1	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	37.8%	39.0%	35.7%	41.0%	38.6%	<b>42.9%</b>	<b>50%</b>	↑	
		松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	-	-	19.0%	-	19.6%	15.8%	17.1%	17.2%	<b>18.0%</b>	<b>30%</b>	↑	
	3	安心やゆとりを感じている人の割合	24.7%	25.6%	26.9%	28.2%	30.0%	30.2%	36.0%	25.6%	<b>41.2%</b>	<b>40%</b>	↑	
	5	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	21.1%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	<b>24.4%</b>	<b>25%</b>	↑	
6	1	住み続けたいと思う人の割合	58.6%	58.2%	60.0%	61.4%	64.8%	61.3%	66.5%	68.3%	<b>69.0%</b>	<b>70%</b>	↑	
		行政サービスの改善度	-	-	26.8%	-	26.6%	20.0%	24.1%	25.7%	<b>28.6%</b>	<b>35%</b>	↑	
		行政情報入手手段に係るホームページの割合	4.8%	11.3%	14.4%	20.5%	18.9%	18.5%	16.6%	17.9%	<b>28.8%</b>	<b>25%</b>	↑	
		インターネットを利用している人の割合	38.1%	61.3%	60.0%	68.0%	64.0%	68.5%	68.7%	72.9%	<b>78.6%</b>	<b>75%</b>	↑	



## V 指標以外の調査結果





## V 指標以外の調査結果

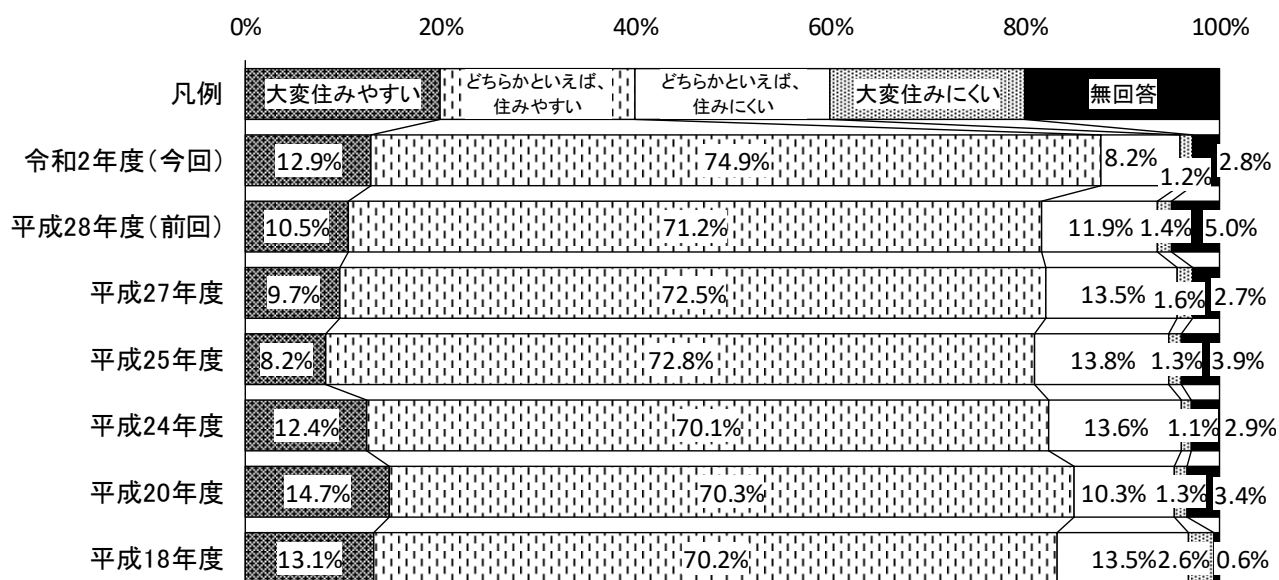
### 1. 住みやすさ

住みやすさについて、次の設問により直接的に聞いています。

Q19 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 大変住みやすい        | 3 どちらかといえば、住みにくい |
| 2 どちらかといえば、住みやすい | 4 大変住みにくい        |

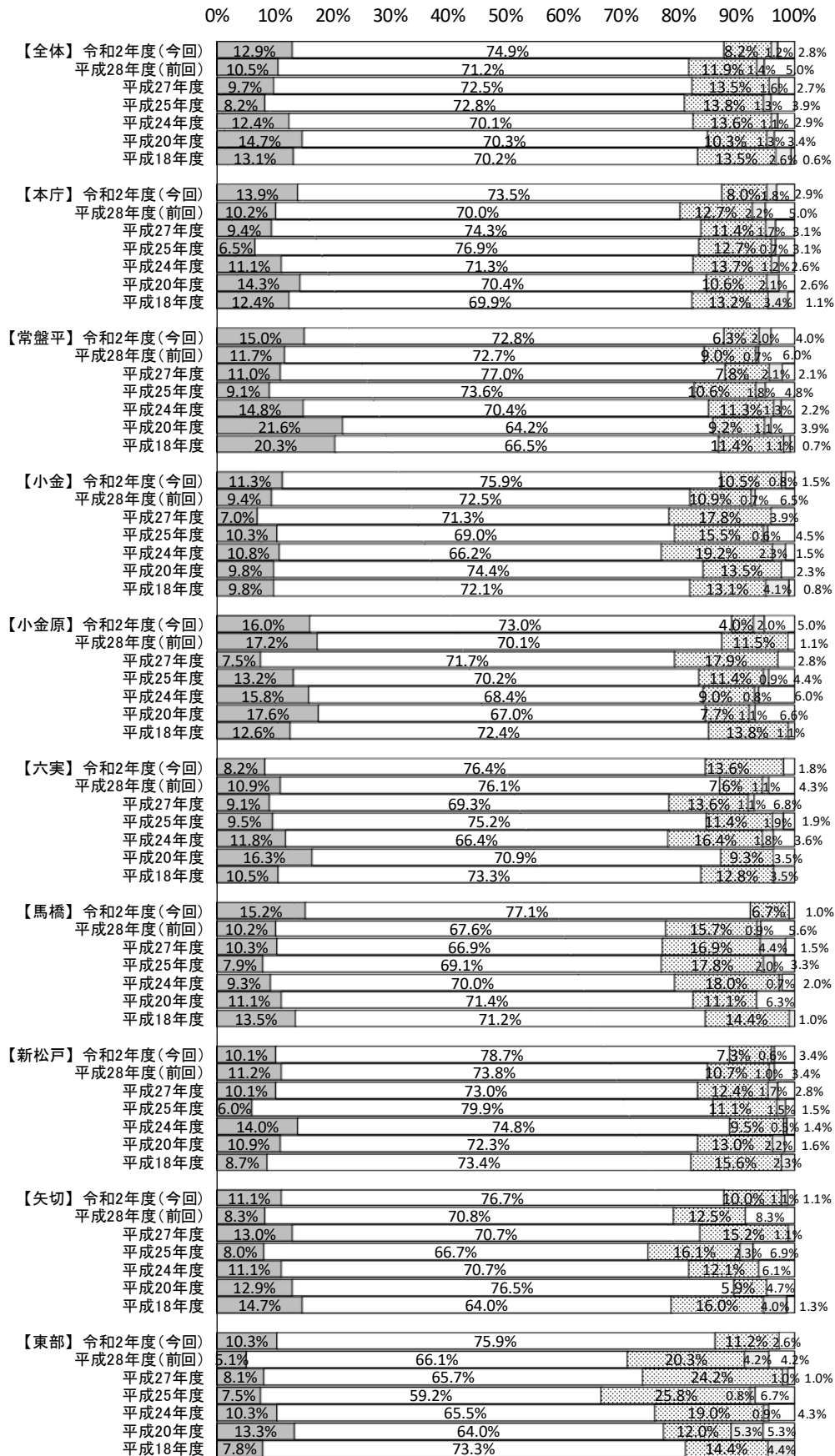
住みやすさについて、「大変住みやすい」、「どちらかといえば、住みやすい」を合わせた『住みやすい』(87.8%)と答えた方は約9割となっており、平成28年度調査と比べて6.1ポイント増加しています。





<住みやすさ×居住地区別>

居住地区別でみると、「大変住みやすい」は「小金原」（16.0%）で最も高くなっています。また、「大変住みやすい」、「どちらかといえば、住みやすい」を合わせた『住みやすい』は「馬橋」（92.3%）で最も高くなっています。



- 大変住みやすい
- どちらかといえば、住みにくい
- 無回答
- どちらかといえば、住みやすい
- 大変住みやすい

## 2. 松戸市の放射能対策について

松戸市の放射能対策について、次の設問により直接的に聞いています。

本市では、東日本大震災により発生した放射能問題への対応として、『松戸市放射能対策総合計画』を策定し、市民の皆さんの放射能への不安を払拭するため、さまざまな対策を実施してきました。(平成26年度で終了) これまでの市の取り組みに対する、皆さんのご意見をお尋ねします。

### 市が行ってきた主な対策の例

#### 除染対策

- 保育所(園)・幼稚園・学校・公園等の全720施設を除染完了
- 住宅除染完了
- 市民向け放射線測定器の貸し出し
- 公共施設の定期的な空間放射線量測定

#### 食品安全対策

- 保育所・学校給食の放射性物質検査(これまですべて不検出)
- 市内産農産物の検査(すべて出荷自粛解除)
- 市民持ち込みによる農作物・流通食品の検査

#### 健康管理対策

- 放射線専門医による相談
- 幼児検診における放射能問診
- 内部被ばく検査(ホールボディカウンター)の費用助成
- 甲状腺エコー検査実施・費用助成
- 保健師等による健康相談

#### 焼却灰対策

- 剪定枝の別収集
- 指定廃棄物等の適正保管
- 国に対し、指定廃棄物長期保管施設の早期確保等を要望

Q1 あなたは、現在の松戸市内の生活において、放射能に対する不安を感じることはありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 おおいにある | 3 ほとんどない |
| 2 ときどきある | 4 まったくない |



➡ SQ (Q1で1または2を選択した人のみお答えください)

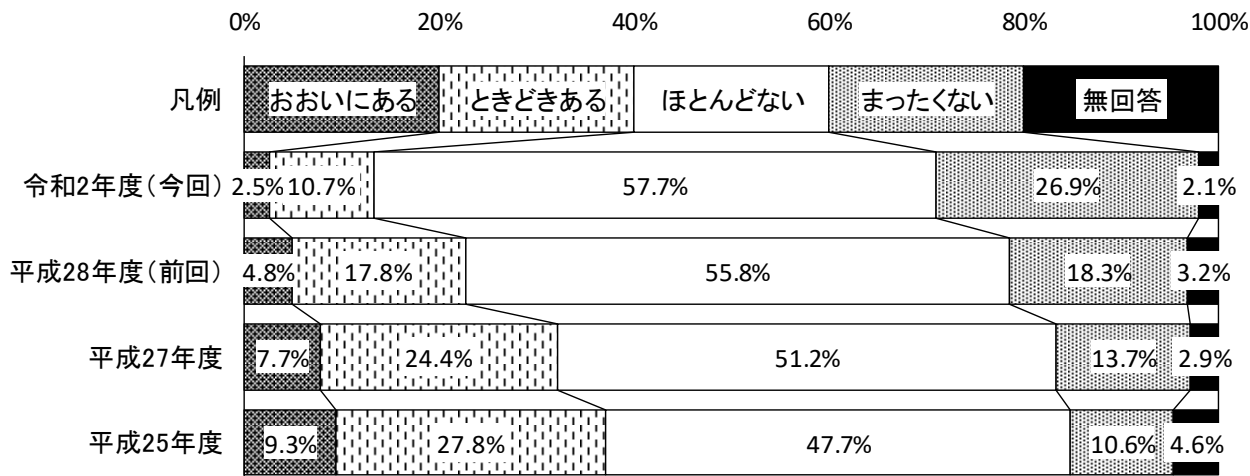
あなたは、どのような内容で放射能に対する不安を感じていますか。次の中から、特にあてはまる番号1つに○をつけてください。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1 除染対策について   |   |
| 2 食品安全対策について |   |
| 3 健康管理対策について |   |
| 4 焼却灰対策について  |   |
| 5 その他(       | ) |

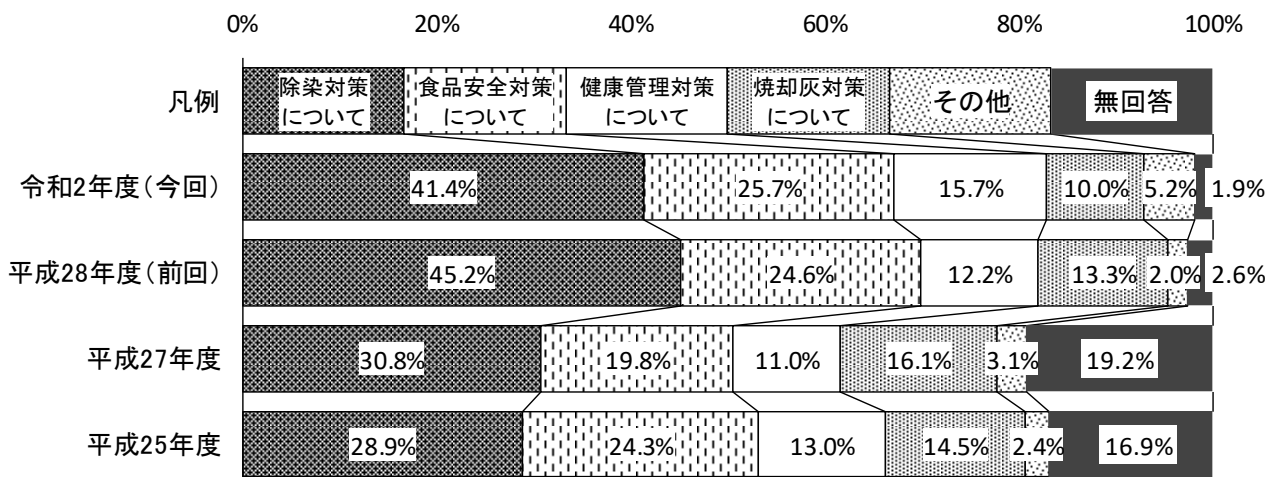
SQの回答において、具体的な不安がございましたらご自由にお書き下さい。




現在の松戸市内の生活において、放射能に対する不安を感じることはあるかは、「ほとんどない」(57.7%)が約6割で、これに「まったくない」(26.9%)を合わせた『不安はない』(84.6%)は8割を超えており、平成28年度調査と比べて10.5ポイント増加しています。



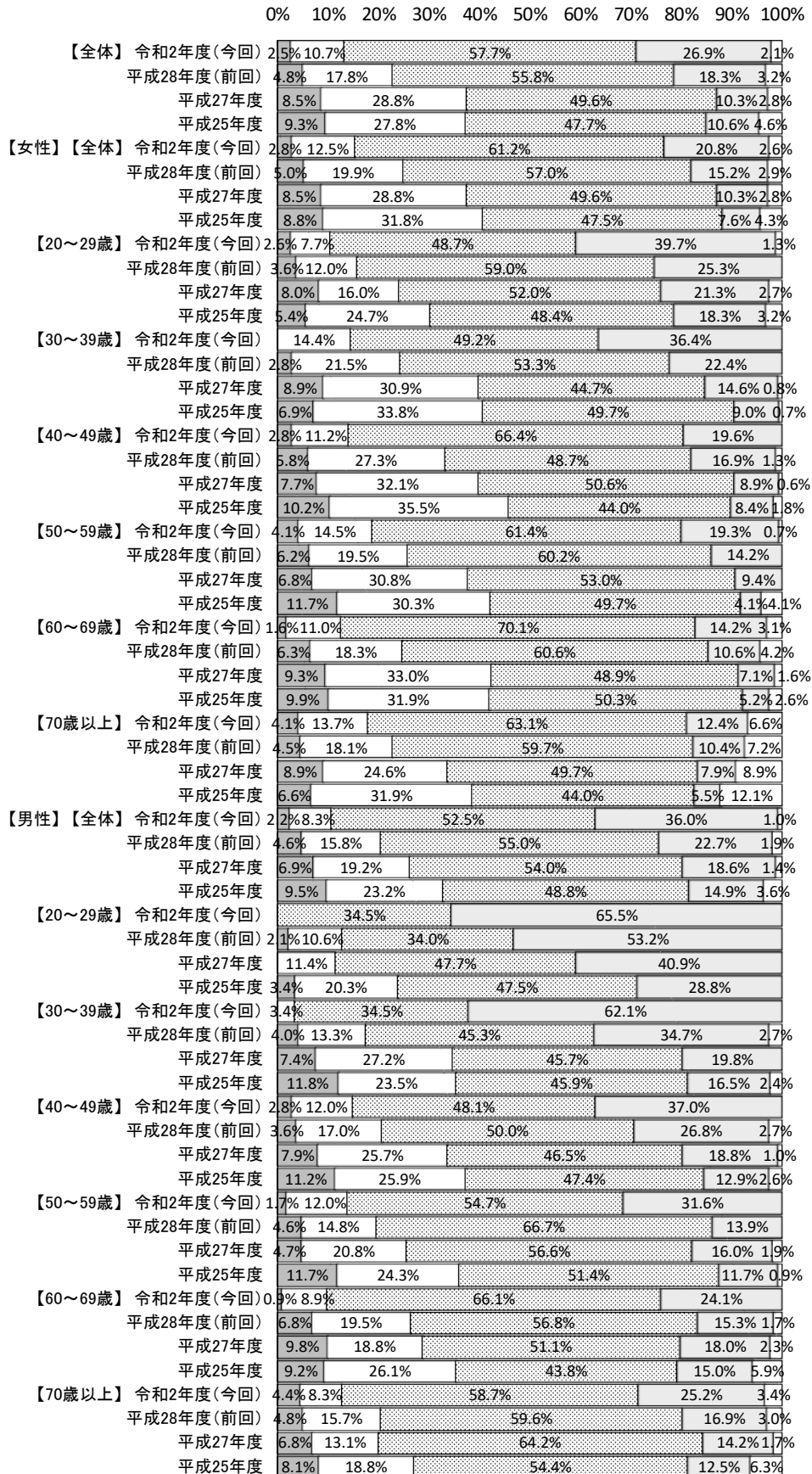
『不安がある』と答えた方が、どのような内容に対して不安を感じるかは、「除染対策について」(41.4%)が最も高く、次いで「食品安全対策について」(25.7%)、「健康管理対策について」(15.7%)となっており、平成28年度調査と大きな傾向の違いはみられません



<放射能に対する不安×性別、性・年齢別>

性別で見ると、「まったくない」は“男性”（36.0%）が“女性”（20.8%）より高くなっており、平成28年度調査と比べて、男性では13.3ポイント、女性では5.6ポイント、それぞれ増加しています。

性・年齢別で見ると、「まったくない」は“男性20～29歳”（65.5%）で最も高く、次いで“男性30～39歳”（62.1%）となっています。



■おおいにある □ときどきある ■ほとんどない □まったくない □無回答

### 3. 松戸市の魅力について

松戸市の魅力について、次の設問により直接的に聞いています。

松戸市では、市民の皆さんや市に愛着のある人と行政が一緒になって、松戸市の魅力を発見・創造・発信していく「情報共創型（情報を共に創る）」のプロモーション活動を進めています。

市民参加型のプロジェクトチーム「まつどやさしい暮らしラボ」の市民メンバーの皆さんや、魅力を記事にして専用のホームページで伝える市民記者の皆さんなど、多くの市民の皆さんと一緒に、松戸市の魅力や松戸市らしい暮らしやすさ（やさしい暮らし）を見つけて、市内外に向けて発信しています。

そこで、松戸市の魅力についておたずねします。



Q1 あなたが思う松戸市の魅力や愛着を感じる箇所は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1 交通の便が良い        | 6 暮らしやすい   |
| 2 自然が多い          | 7 子育てがしやすい |
| 3 行事やイベントなど活気がある | 8 特になし     |
| 4 地域や市民の活動がさかん   | 9 その他      |
| 5 人と人とのつながりがある   | ( )        |

Q2 市内の施設や名所・イベントなどについて、知っているもの全てに○をつけてください。

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1 戸定邸・戸定歴史館     | 11 緑と花のフェスティバル             |
| 2 21世紀の森と広場     | 12 オープンフォレスト in 松戸         |
| 3 市立博物館         | 13 こども祭り                   |
| 4 森のホール21       | 14 松戸花火大会                  |
| 5 東松戸ゆいの花公園     | 15 松戸まつり                   |
| 6 和名ヶ谷スポーツセンター  | 16 どこでもシアター                |
| 7 矢切の渡し         | 17 大農業まつり                  |
| 8 七草マラソン大会      | 18 観光梨園                    |
| 9 桜まつり（市内各所）    | 19 ジャパンポップカルチャーカーニバル（JPCC） |
| 10 松戸子育てフェスティバル |                            |

Q3 あなたは、この松戸市をイメージしたロゴマークとスローガンを知っていますか。

ロゴマーク

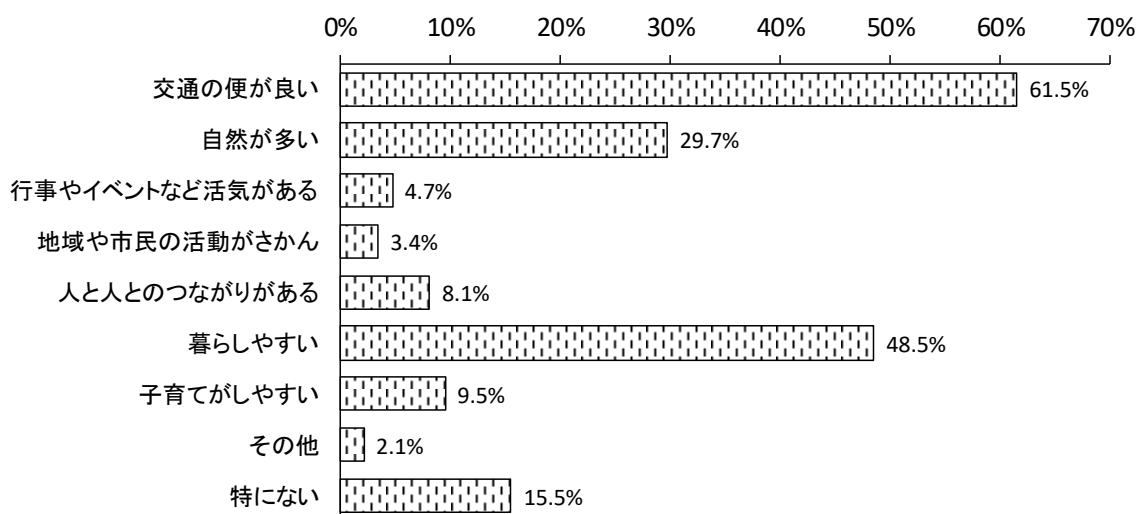


スローガン

やさシティ、まつど。

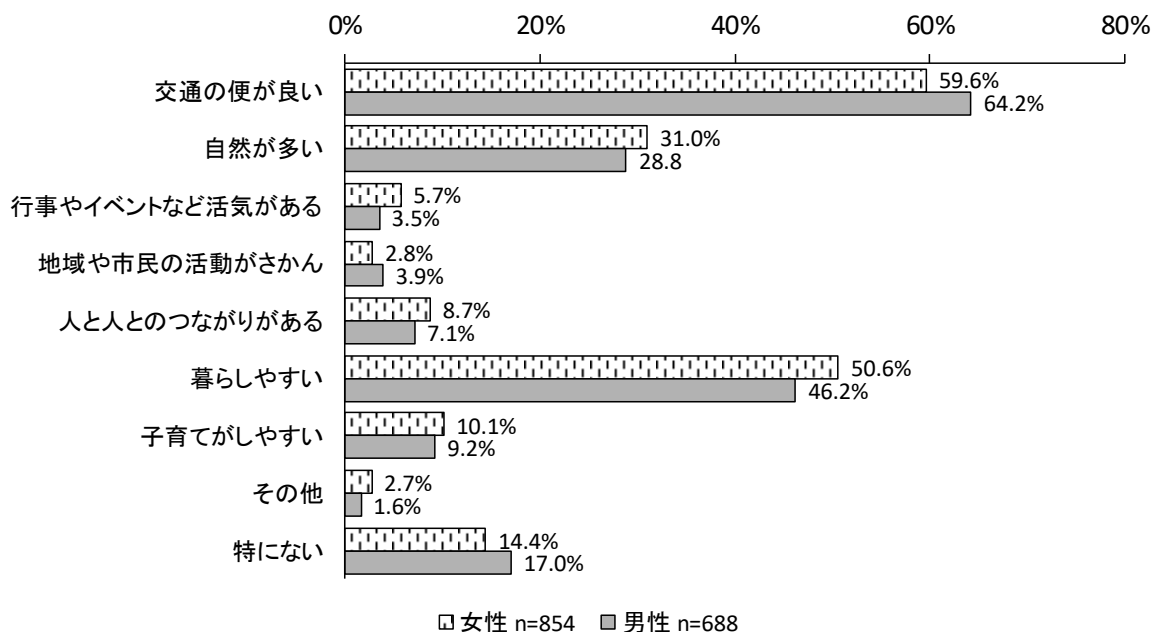
- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 両方とも知っている    | 3 スローガンのみ知っている |
| 2 ロゴマークのみ知っている | 4 両方とも知らない     |

松戸市の魅力や愛着を感じる場所は、「交通の便が良い」(61.5%)が最も高く、次いで「暮らしやすい」(48.5%)、「自然が多い」(29.7%)となっています。



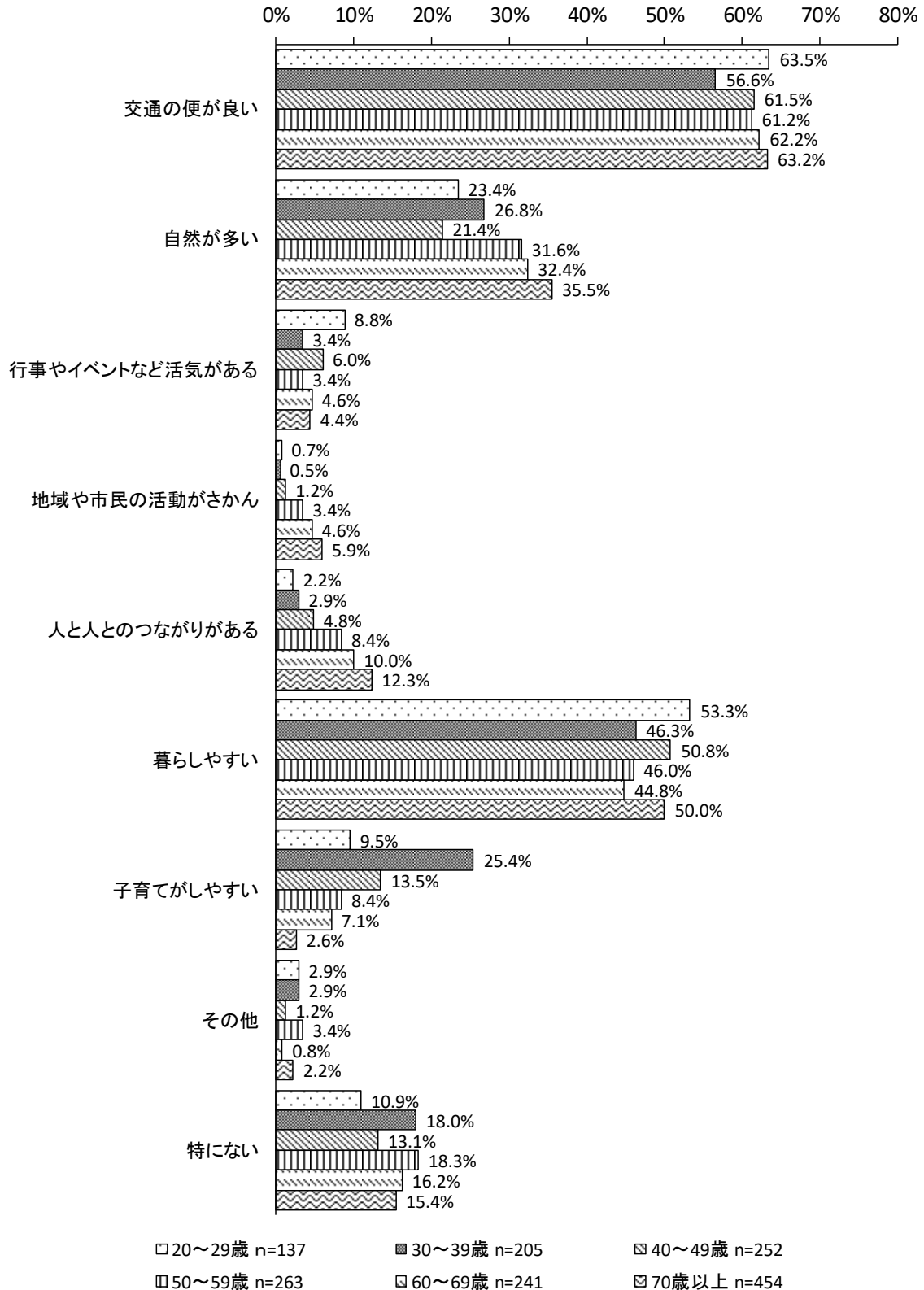
#### <魅力・愛着×性別>

性別でみると、「交通の便が良い」は“男性” (64.2%) が“女性” (59.6%) より4.6ポイント高くなっています。一方、「暮らしやすい」は“女性” (50.6%) が“男性” (46.2%) より4.4ポイント高くなっています。



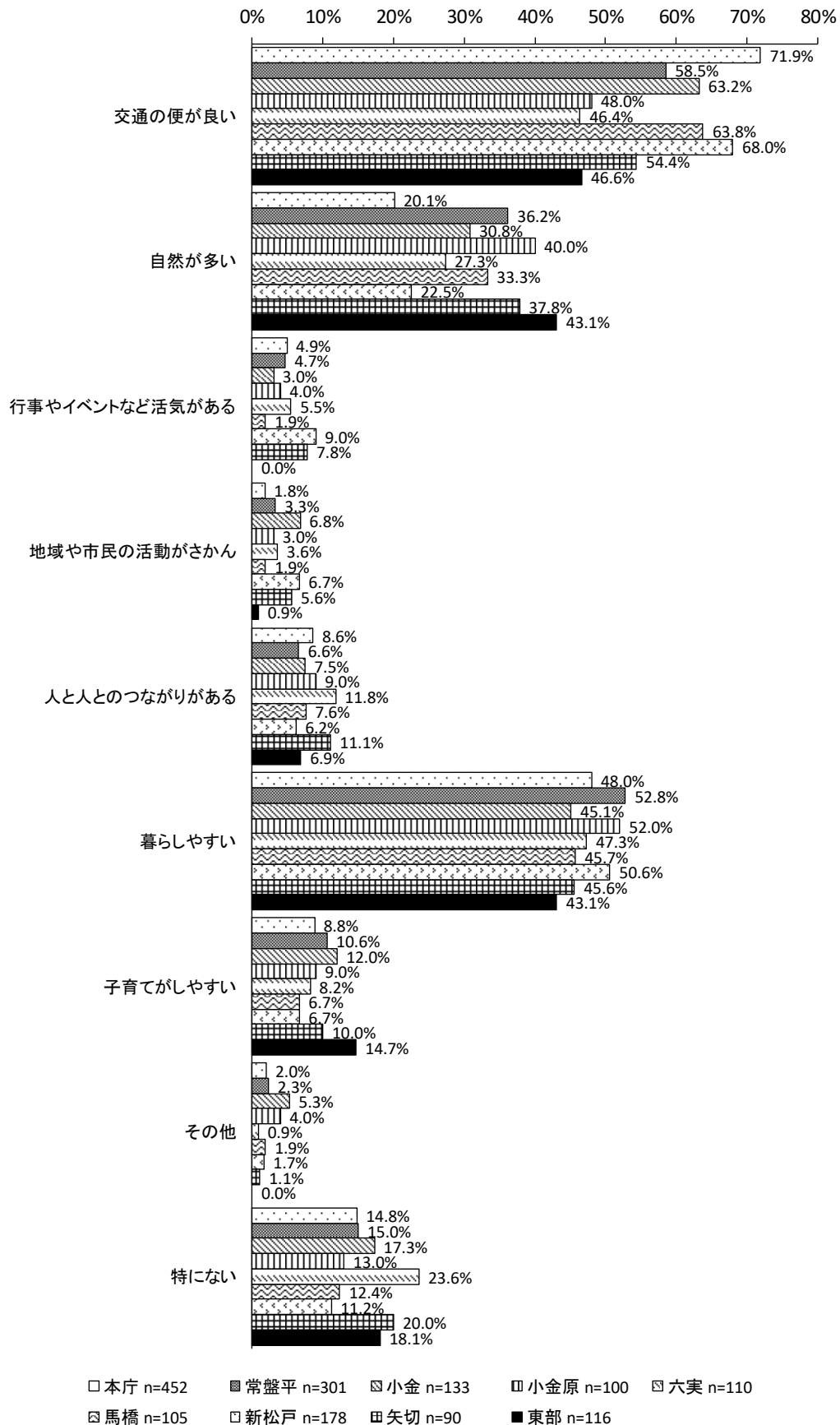
<魅力・愛着×年齢別>

年齢別でみると、全ての年代で「交通の便が良い」が最も高く、次いで「暮らしやすい」となっています。また、「自然が多い」、「地域や市民の活動がさかん」、「人と人とのつながりがある」はおおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなっています。一方、「子育てがしやすい」はおおむね年齢が下がるにつれて割合が高くなっています。

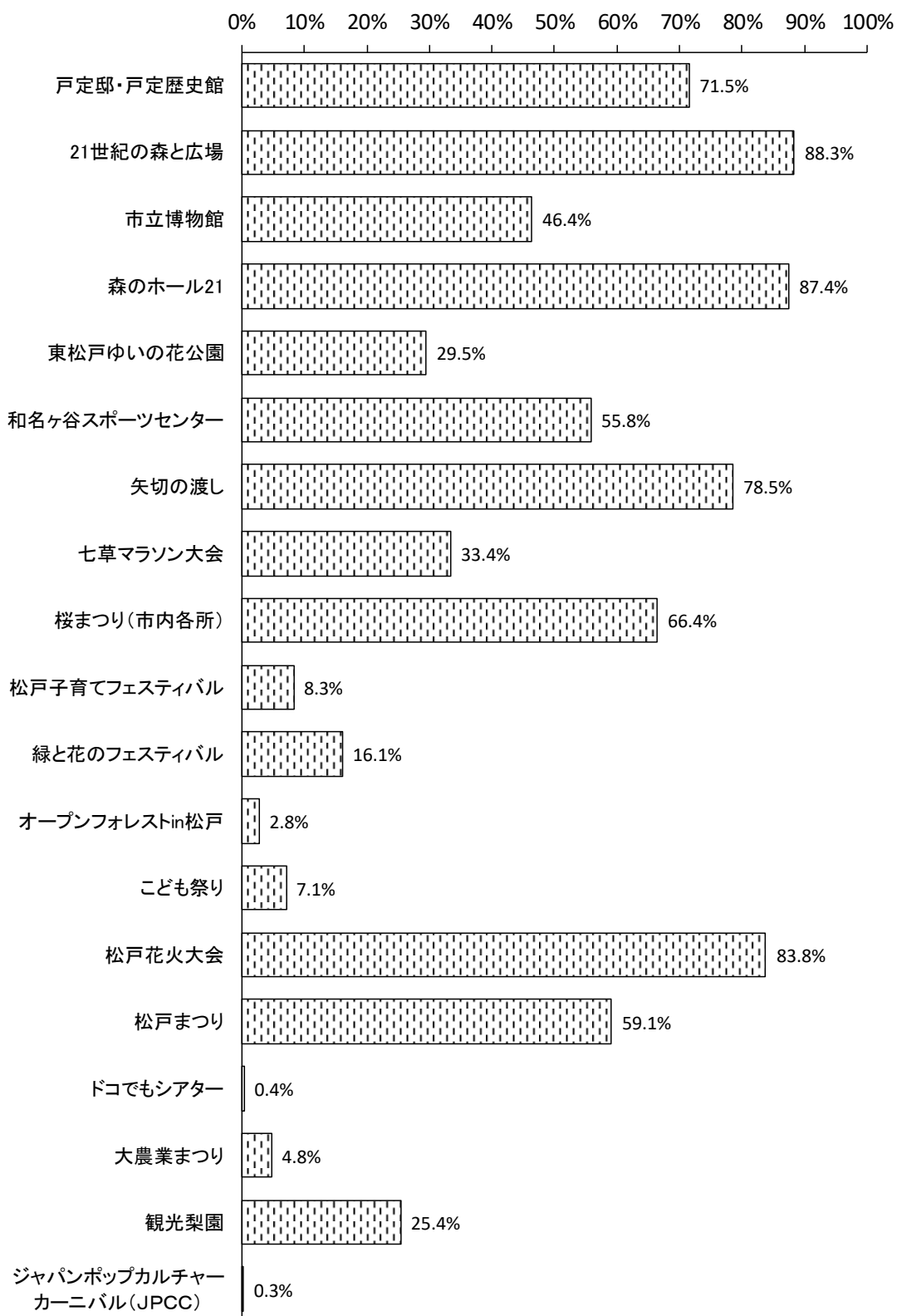


<魅力・愛着×居住地区別>

居住地区別でみると、全ての地区で「交通の便が良い」、「暮らしやすい」が高くなっています。また、「自然が多い」は“東部”（43.1%）と“小金原”（40.0%）で4割台と高くなっています。

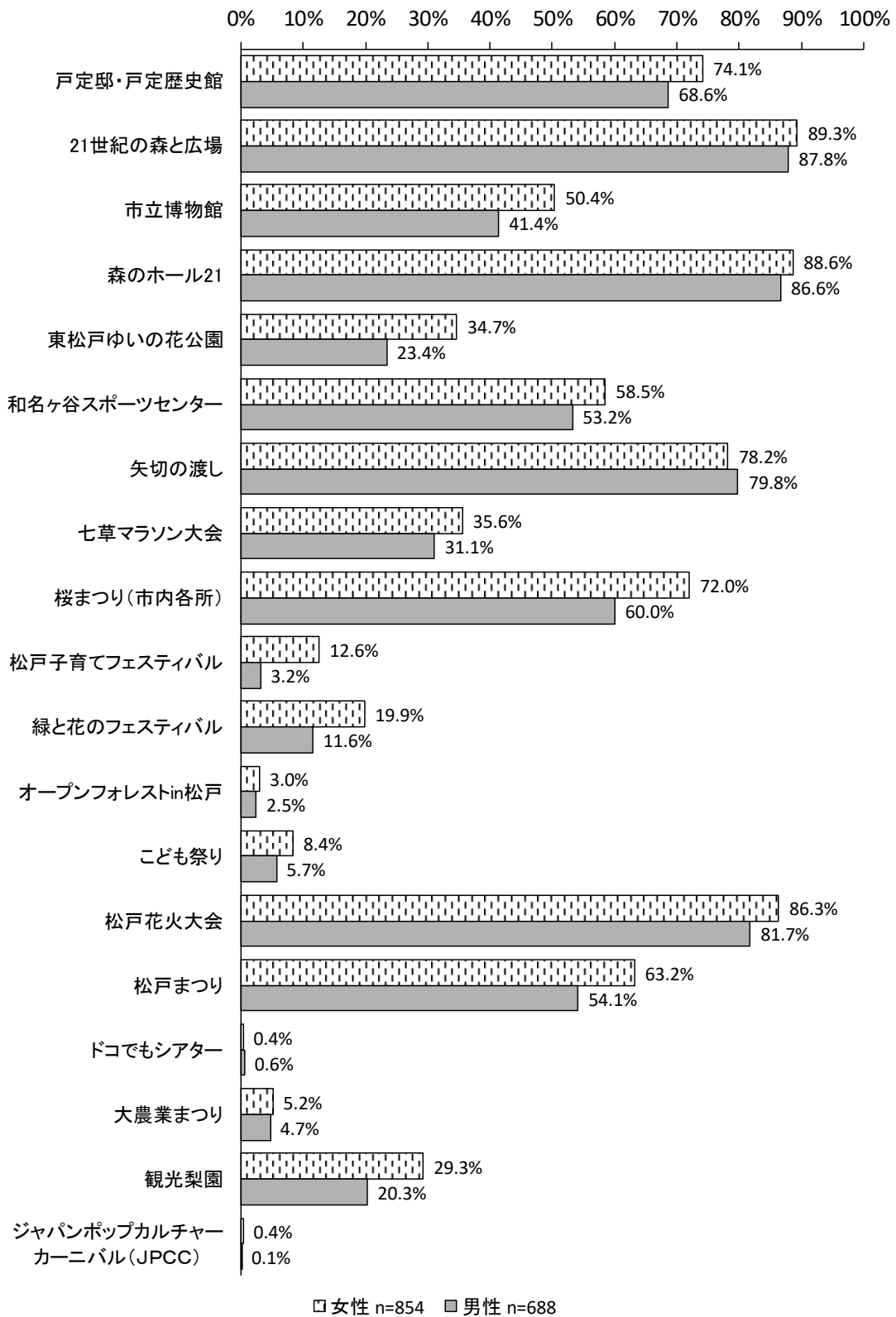


松戸市内の施設や名所・イベントなどについて知っているものは、「21世紀の森と広場」(88.3%)が最も高く、次いで「森のホール21」(87.4%)、「松戸花火大会」(83.8%)となっています。



<施設・名所・イベント×性別>

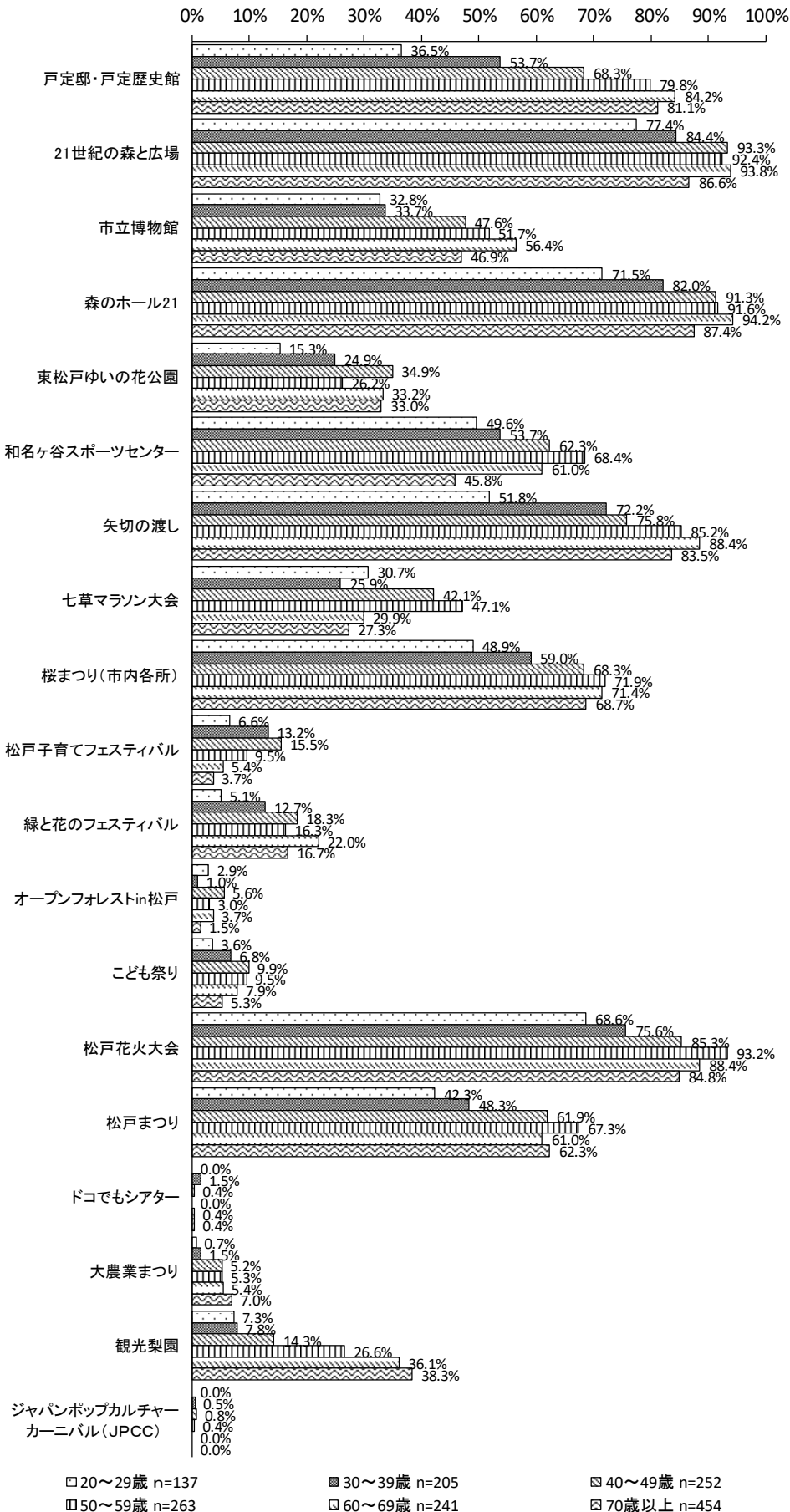
性別で見ると、多くの項目で“女性”が“男性”を上回っており、特に「桜まつり（市内各所）」で12.0ポイント、「東松戸ゆいの花公園」で11.3ポイント、それぞれ“女性”が“男性”より高くなっています。



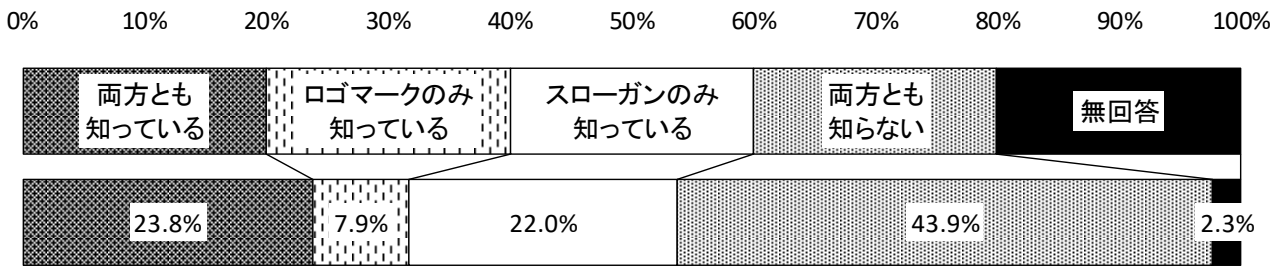


<施設・名所・イベント×年齢別>

年齢別でみると、“20～29歳”、“30～39歳”、“40～49歳”では「21世紀の森と広場」が最も高く、“50～59歳”では「松戸花火大会」が最も高く、“60～69歳”、“70歳以上”では「森のホール21」が最も高くなっています。

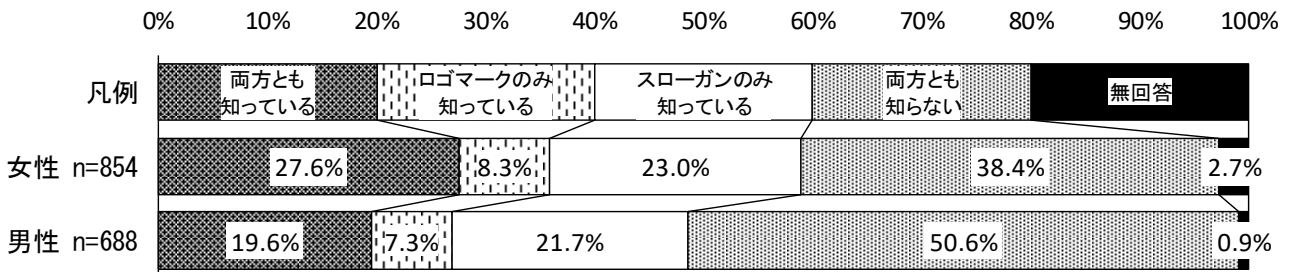


松戸市をイメージしたロゴマークとスローガンについて、「両方とも知っている」(23.8%)は2割を超えており、これに「ロゴマークのみ知っている」(7.9%)、「スローガンのみ知っている」(22.0%)を合わせた『何かしら知っている』(53.7%)は5割を超えています。



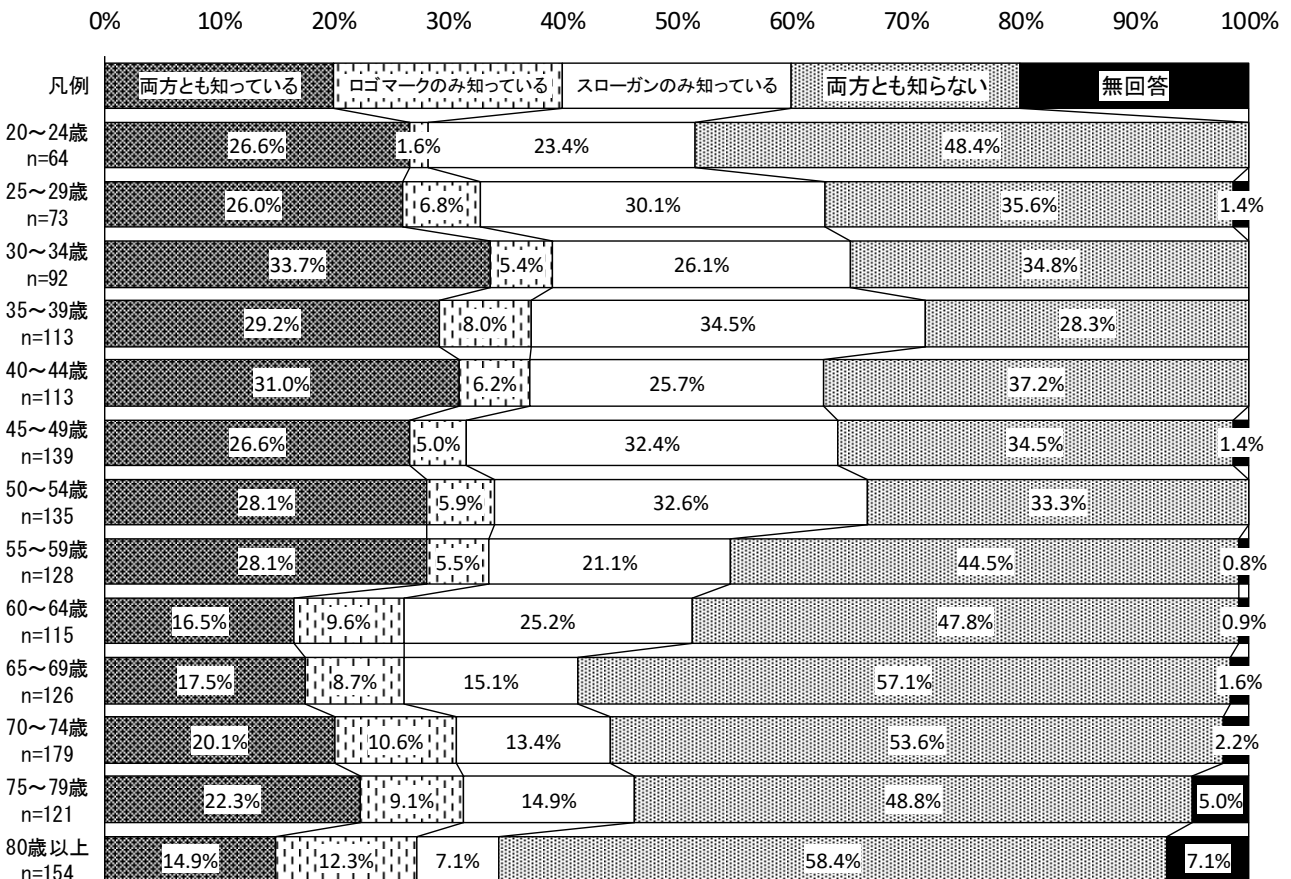
### <ロゴマークとスローガンの認知度×性別>

性別で見ると、『何かしら知っている』は“女性”(58.9%)が“男性”(48.6%)より10.3ポイント高くなっています。



### <ロゴマークとスローガンの認知度×年齢別>

年齢別で見ると、『何かしら知っている』は“35～39歳”(71.7%)で最も高くなっています。



#### 4. 定住意向や生活の中での満足度に関する年齢別の傾向について

##### ■Q20-SQ1 住み続けたい理由（年齢別クロス）

全体では、「自然災害の心配が少ない」（41.6%）が最も高く、次いで「通勤や通学に便利だから」（35.6%）、「東京に近いから」（33.2%）となっています。

年齢別でみると、「親の代から住んでいるまちだから」は年代が下がるにつれて割合が高くなっています。一方、「隣近所との付き合いを失いたくないから」、「医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから」は年代が上がるにつれて割合が高くなっています。

選択肢	令和2年度 (今回)		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上	
	1,094人	2,775件	253.7%	251.9%	254.2%	249.5%	243.5%	254.1%	261.9%
全体	1,094人	2,775件	253.7%	251.9%	254.2%	249.5%	243.5%	254.1%	261.9%
1 親の代から住んでいるまちだから	1,088人	292件	26.7%	40.5%	37.4%	35.7%	34.5%	19.8%	14.5%
2 隣近所との付き合いを失いたくないから		185件	16.9%	6.3%	6.9%	9.9%	14.9%	21.5%	25.0%
3 通勤や通学に便利だから		389件	35.6%	64.6%	46.6%	51.6%	43.5%	24.4%	18.6%
4 自然災害の心配が少ないから		455件	41.6%	21.5%	19.8%	28.0%	38.7%	47.1%	59.9%
5 下水道や道路などの基盤が整備されているから		149件	13.6%	2.5%	4.6%	3.8%	11.3%	18.0%	23.5%
6 緑が多く、静かな住環境に満足しているから		217件	19.8%	6.3%	13.0%	14.8%	14.3%	23.8%	29.1%
7 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから		118件	10.8%	5.1%	6.9%	7.7%	8.3%	11.6%	15.7%
8 子育てや教育などの環境が充実しているから		30件	2.7%	2.5%	12.2%	5.5%	1.2%	0.0%	0.0%
9 子どもの学校が変わることが困るから		80件	7.3%	5.1%	19.8%	23.6%	3.0%	0.6%	0.3%
10 治安や防犯の心配が少ないから		81件	7.4%	1.3%	1.5%	4.9%	4.2%	11.6%	11.6%
11 買い物や娯楽に便利なまちだから		208件	19.0%	29.1%	27.5%	13.2%	15.5%	22.7%	17.2%
12 東京に近いから		363件	33.2%	49.4%	35.9%	29.7%	34.5%	34.9%	29.4%
13 商売や事業を続けているから		38件	3.5%	1.3%	5.3%	3.3%	1.2%	1.7%	5.5%
14 家賃などが安いから		41件	3.7%	7.6%	6.9%	6.0%	3.0%	0.6%	2.3%
15 経済的な理由など、仕方ないから		66件	6.0%	7.6%	3.8%	5.5%	6.5%	8.1%	5.2%
16 その他		57件	5.2%	1.3%	5.3%	6.0%	7.7%	7.6%	3.2%
無回答	6人	6件	0.5%	0.0%	0.8%	0.0%	1.2%	0.0%	0.9%

■Q20-SQ2 住み続けたくない理由（年齢別クロス）

全体では、「買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから」（30.7%）が最も高く、次いで「通勤や通学に不便だから」（27.7%）、「治安や防犯などが心配だから」（27.0%）、「医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから」（18.2%）となっています。

年齢別でみると、「治安や防犯などが心配だから」は年代が下がるにつれて割合が高くなっています。また、「20～29歳」では「通勤や通学に不便だから」（47.1%）、「治安や防犯などが心配だから」（47.1%）、「買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから」（41.2%）が4割台と高くなっています。

選択肢	令和2年度 (今回)			20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
	137人	320件	233.6%	235.3%	257.7%	252.6%	234.6%	213.6%	208.7%
1 住宅や土地の価格・広さに満足できないから	135人	19件	13.9%	11.8%	15.4%	15.8%	7.7%	22.7%	8.7%
2 通勤や通学に不便だから		38件	27.7%	47.1%	38.5%	21.1%	42.3%	13.6%	8.7%
3 自然災害への備え（防災）が心配だから		16件	11.7%	0.0%	3.8%	21.1%	3.8%	13.6%	30.4%
4 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから		28件	20.4%	5.9%	23.1%	26.3%	23.1%	13.6%	21.7%
5 騒音などの生活環境に満足できないから		27件	19.7%	11.8%	34.6%	31.6%	15.4%	9.1%	13.0%
6 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから		25件	18.2%	0.0%	7.7%	10.5%	30.8%	13.6%	39.1%
7 子育てや教育などの環境に満足できないから		11件	8.0%	17.6%	3.8%	21.1%	11.5%	0.0%	0.0%
8 近所付き合いなどがわずらわしいから		17件	12.4%	5.9%	7.7%	15.8%	11.5%	18.2%	13.0%
9 治安や防犯などが心配だから		37件	27.0%	47.1%	38.5%	31.6%	15.4%	13.6%	13.0%
10 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから		42件	30.7%	41.2%	38.5%	15.8%	30.8%	27.3%	34.8%
11 もっと自然の多い土地で暮らしたいから		22件	16.1%	17.6%	19.2%	10.5%	11.5%	31.8%	8.7%
12 商売や事業を行いやすい環境ではないから		2件	1.5%	0.0%	3.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
13 もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから		8件	5.8%	5.9%	0.0%	5.3%	3.8%	13.6%	8.7%
14 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから		12件	8.8%	17.6%	11.5%	10.5%	11.5%	4.5%	0.0%
15 その他		14件	10.2%	5.9%	11.5%	10.5%	15.4%	13.6%	4.3%
無回答	2人	2件	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.3%

■Q18 生活の中での満足度

<単純集計結果>

「十分満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している』は、“通勤・通学などの交通の便” (39.0%) で最も高く、次いで“保健・医療・福祉サービス” (35.1%)、“まちの賑わいや買い物の便” (33.7%) となっています。

一方、「やや不満である」、「きわめて不満である」を合わせた『不満である』は、“まち並み、建物などまち全体の景観” (25.5%) で最も高く、次いで“道路、公園、下水道などの都市施設” (25.4%)、“まちの賑わいや買い物の便” (24.4%)、“空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ” (22.3%) となっています。

選択肢	全 体	し 十 分 い 満 足	し ま あ い ま あ 満 足	普 通 で あ る	や や 不 満 で あ る	き わ め て 不 満	わ か ら な い	無 回 答
ア 保健・医療・福祉サービス	1,585人 100.0%	121人 7.6%	436人 27.5%	729人 46.0%	113人 7.1%	43人 2.7%	99人 6.2%	44人 2.8%
イ まちの賑わいや買い物の便	1,585人 100.0%	119人 7.5%	416人 26.2%	586人 37.0%	292人 18.4%	95人 6.0%	38人 2.4%	39人 2.5%
ウ 通勤・通学などの交通の便	1,585人 100.0%	161人 10.2%	456人 28.8%	576人 36.3%	165人 10.4%	47人 3.0%	106人 6.7%	74人 4.7%
エ 子どもの教育環境	1,585人 100.0%	44人 2.8%	218人 13.8%	664人 41.9%	119人 7.5%	45人 2.8%	412人 26.0%	83人 5.2%
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	1,585人 100.0%	23人 1.5%	149人 9.4%	703人 44.4%	205人 12.9%	66人 4.2%	356人 22.5%	83人 5.2%
カ スポーツや健康づくりのための環境	1,585人 100.0%	35人 2.2%	201人 12.7%	724人 45.7%	220人 13.9%	55人 3.5%	271人 17.1%	79人 5.0%
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	1,585人 100.0%	78人 4.9%	296人 18.7%	659人 41.6%	284人 17.9%	119人 7.5%	89人 5.6%	60人 3.8%
ク 出産や子育てのしやすさ	1,585人 100.0%	52人 3.3%	209人 13.2%	618人 39.0%	102人 6.4%	32人 2.0%	480人 30.3%	92人 5.8%
ケ 緑地・河川などの自然環境	1,585人 100.0%	53人 3.3%	335人 21.1%	755人 47.6%	201人 12.7%	64人 4.0%	109人 6.9%	68人 4.3%
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1,585人 100.0%	73人 4.6%	324人 20.4%	739人 46.6%	267人 16.8%	87人 5.5%	49人 3.1%	46人 2.9%
サ まち並み、建物などまち全体の景観	1,585人 100.0%	43人 2.7%	221人 13.9%	831人 52.4%	321人 20.3%	82人 5.2%	41人 2.6%	46人 2.9%
シ 事故や災害に強い安全なまち	1,585人 100.0%	38人 2.4%	204人 12.9%	808人 51.0%	239人 15.1%	68人 4.3%	173人 10.9%	55人 3.5%
ス 史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	1,585人 100.0%	46人 2.9%	300人 18.9%	825人 52.1%	92人 5.8%	28人 1.8%	236人 14.9%	58人 3.7%
セ 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1,585人 100.0%	31人 2.0%	157人 9.9%	785人 49.5%	219人 13.8%	57人 3.6%	283人 17.9%	53人 3.3%
ソ 多様な世代との交流	1,585人 100.0%	10人 0.6%	61人 3.8%	769人 48.5%	211人 13.3%	51人 3.2%	427人 26.9%	56人 3.5%
タ 地域とのつながり	1,585人 100.0%	16人 1.0%	90人 5.7%	904人 57.0%	160人 10.1%	43人 2.7%	318人 20.1%	54人 3.4%
チ 住環境のゆとりなどの住宅事情	1,585人 100.0%	35人 2.2%	195人 12.3%	859人 54.2%	209人 13.2%	43人 2.7%	147人 9.3%	97人 6.1%

<年齢別の満足度（「きわめて不満」）>

① 全体の傾向

「きわめて不満」を全体で見ると、「道路、公園、下水道などの都市施設」（7.5%）が最も高く、次いで「まちの賑わいや買い物の便」（6.0%）、「空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ」（5.5%）、「まち並み、建物などまち全体の景観」（5.2%）となっています。

② 年齢別の傾向

20代をみると、「きわめて不満」は全体に比べて、「空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ」（13.9%）で8.4ポイント、「多様な世代との交流」（6.6%）で3.4ポイント、それぞれ高くなっています。

30代をみると、「きわめて不満」は全体に比べて、「道路、公園、下水道などの都市施設」（11.2%）で3.7ポイント高くなっています。

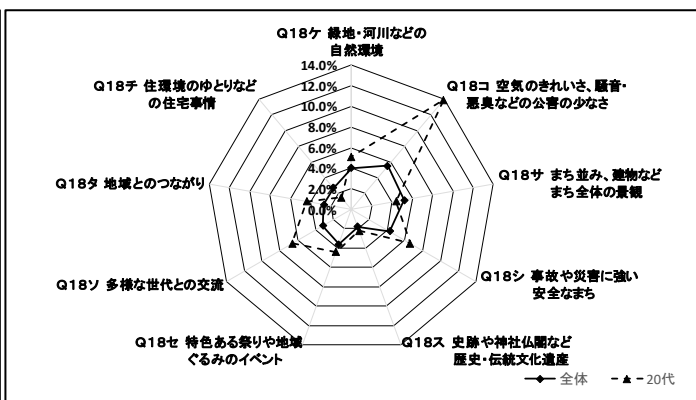
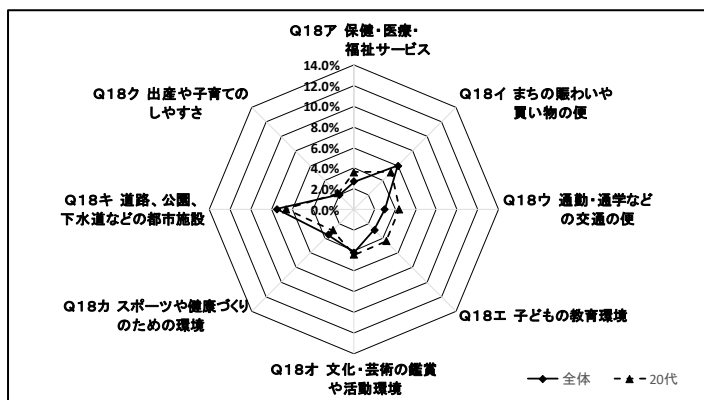
40代から70歳以上では、「きわめて不満」は全体に比べて大きな違いはみられません。

<実数グラフ（「きわめて不満」）>

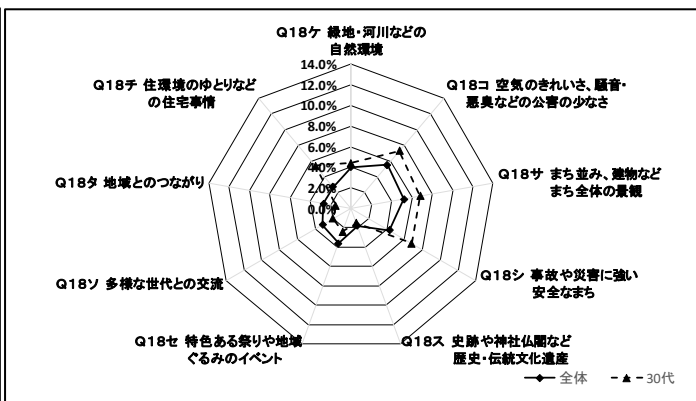
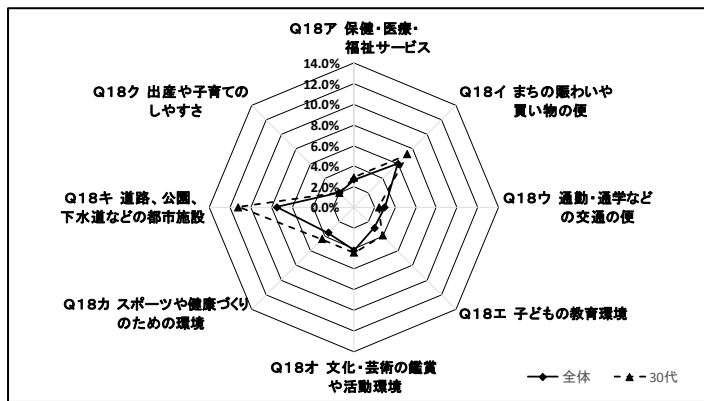
問18（ア）～（ク）

問18（ケ）～（チ）

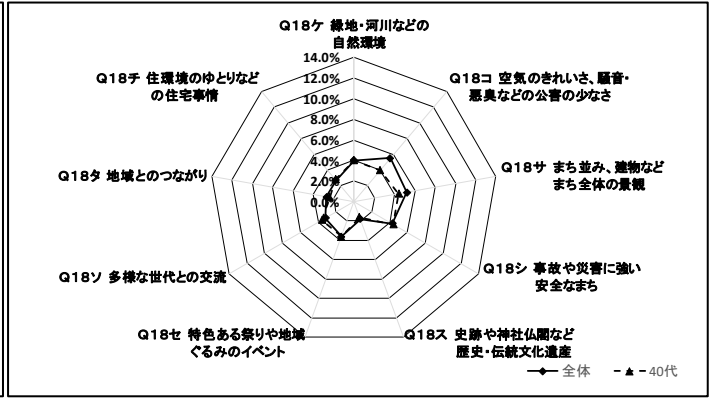
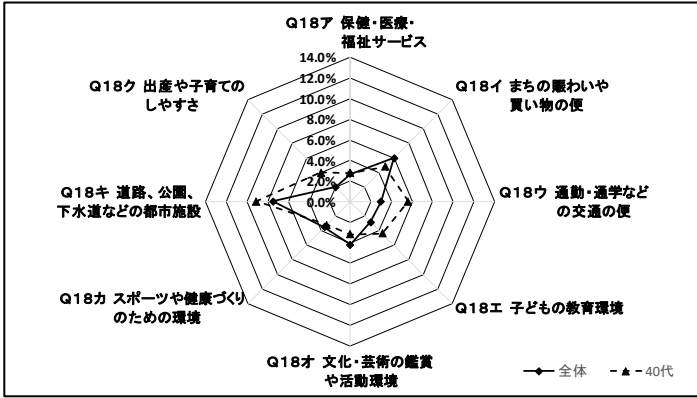
【20代】



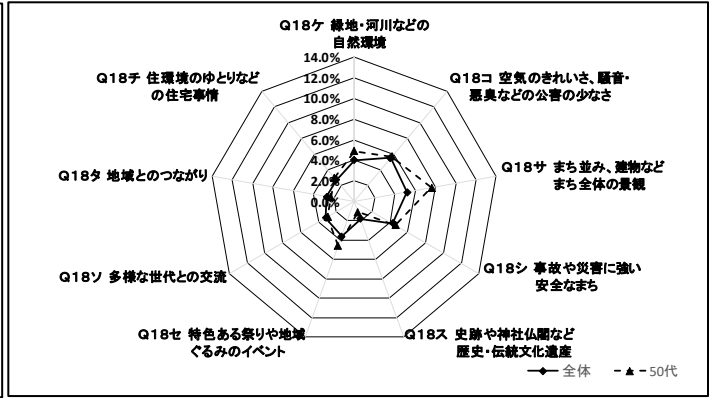
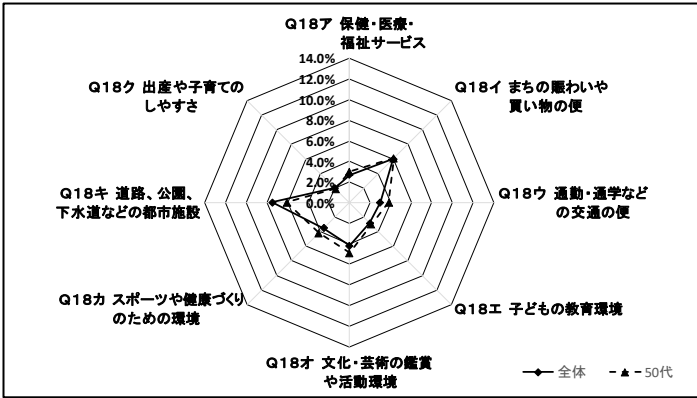
【30代】



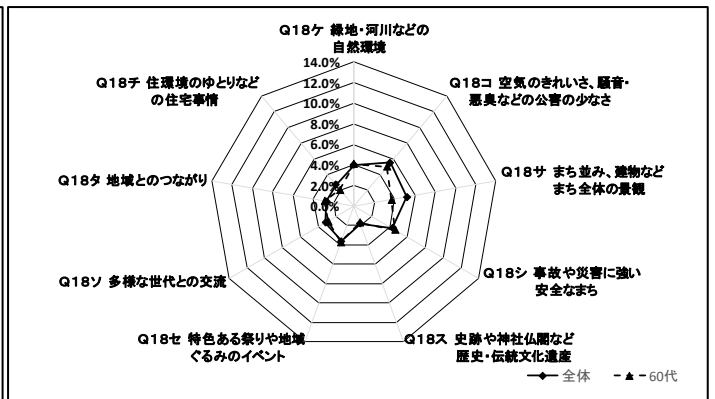
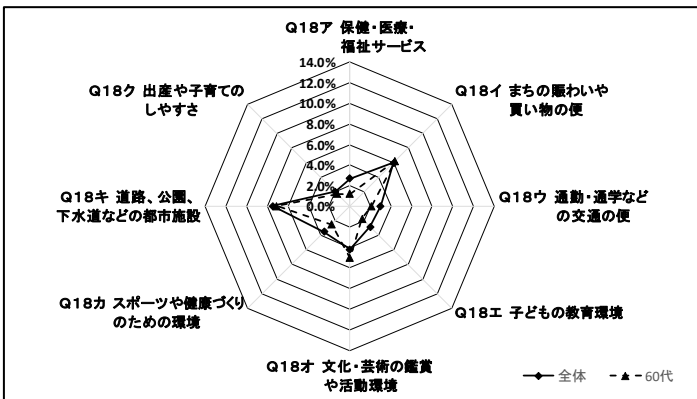
【40代】



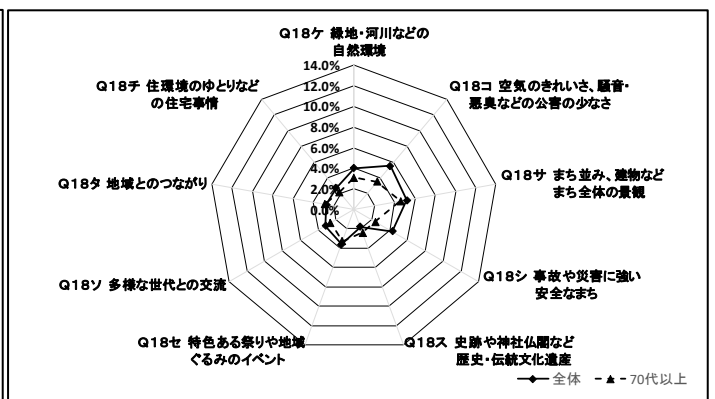
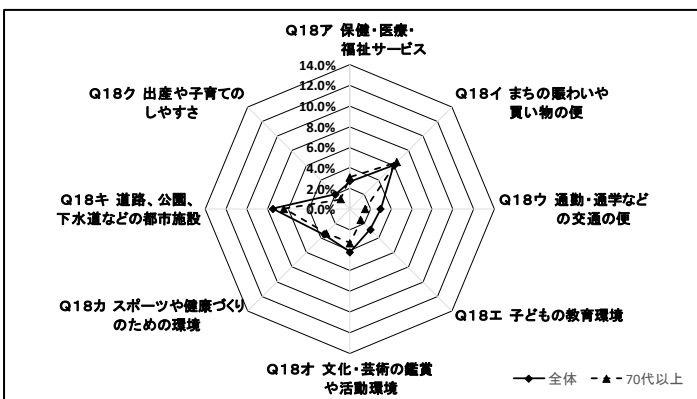
【50代】



【60代】



【70歳以上】







## VI 松戸市に対する意見・要望（自由記載）

---

---

---



## VI 松戸市に対する意見・要望（自由記載）

今回の調査における有効回収数=1,585人のうち、自由記載欄に回答があったのは415人であり、本調査の回答者全体の26.2%からご意見・要望を頂戴いたしました。

なお、回答の記載方法については、特定の個人や企業等を誹謗中傷するもの等を除き、以下の項目に分類して再掲しています。そのため、意見数については、延べ663件となりました。

項目名		件数
1. 都市基盤		273
(1) 交通	①バス	15
	②電車	8
(2) 道路	①駐車	2
	②駐輪	2
	③幹線道路	20
	④生活道路	18
	⑤歩道	37
(3) 景観		7
(4) 上下水道		5
(5) 公園		26
(6) みどり		13
(7) 住宅		8
(8) 防災		18
(9) 防犯		35
(10) 市街地整備	①環境整備	16
	②駅前整備	43
2. 環境		55
	①公共空間の美化	9
	②自然	6
	③河川浄化	9
	④公害対策	4
	⑤ごみ	25
	⑥リサイクル	2
3. 産業・商業		34
4. 保健医療福祉		113
(1) 保健医療	①保健・医療	52
	②医療・救急	1
(2) 福祉	①福祉全般	6
	②障害者	4
	③高齢者	18
	④子育て	32
5. 文化・教育		40
	①教育	5
	②学校	6
	③文化全般	5
	④文化施設	4
	⑤図書館	14
	⑥スポーツ施設	6
6. 公共施設		13
7. 地域活動		8
8. 市政		105
	①将来像	6
	②行政全般	27
	③税金・年金・各種保険	25
	④広報・情報提供	21
	⑤職員の態度・待遇	17
	⑥市議会・市議会議員	2
	⑦その他	7
9. その他		22
	①放射能問題	1
	②その他	21
合計		663

# 1. 都市基盤

## (1) 交通

### ① バス

- ・馬橋駅から駅のバス停がとても遠いです。あまりバスの利便性を感じられません。(女性、20～24歳、馬橋)
- ・交通アクセスについて、バス(市営バス)が少なすぎ。(女性、25～29歳、東部)
- ・バスや電車をよく利用しますが、少し不便です。本数が少ない、遠い等。バス停にイスや屋根が設置されたところは助かっています。買い物したくても都内に出たほうが楽に手に入ったりするので、不便を感じます。終発が遅いのは救いでした。(女性、35～39歳、本庁)
- ・市内移動が不便に思います。循環バスがもっと充実していると助かります。私は今、横須賀2丁目に住んでいるので、南流山を利用していますが、テラスモールや北小金の方へ循環バスなどがあると便利に思います。埼玉県川口市出身ですが、松戸市と川口市は面積、人口共に同じくらいの規模だと思いますが、バスを乗り継いで松戸市内の施設へ行くのが難しいです(最寄り「南流山駅」だからであるなら、筋違いな意見かも知れませんが…)。車を持っていないので、JRを使うことなく三ヶ月やテラスモール、松戸北郵便局へ行けると生活しやすいです。(女性、40～44歳、新松戸)
- ・八柱行きのバスを増やしてほしい。八柱から北小金までのバスがほしい。テラスモール松戸の無料バスの時刻表がほしい。(女性、50～54歳、小金原)
- ・1日に本数の少ないバスには乗れません。(女性、55～59歳、本庁)
- ・松戸市内(特に病院や公共施設への)交通の便を良くして欲しい(バス等)。(女性、55～59歳、本庁)
- ・松戸市でも自宅は交通の便がいいですが、駅から離れた所はバスの本数が少なく、公共交通機関に頼れない生活をしていると思います。(女性、55～59歳、小金)
- ・市内のコミュニティバスなども少なく、高齢者の足が少ないです。(女性、60～64歳、本庁)
- ・コミュニティバスをなぜつくらない?(女性、60～64歳、本庁)
- ・ミニバス(ゆめいろバス)の普及をお願いします。(女性、75～79歳、小金)
- ・松戸市と市川市の隣接地域に住んでいるため、行政の分断があり、交通が不便。高塚地域は高齢者人口が増えているため、小型バスの運行を希望したい。(男性、20～24歳、東部)
- ・バスの運行がとても少なくなっている。路線によっては40%減になっていて、とても不便(新京成独占)。(男性、65～69歳、小金原)
- ・新松戸に在住しており、坂道がある事もあり、上りに苦労してます。都内で経験した市内循環バスの設置があればいいなど常々思ってます。(男性、75～79歳、小金)
- ・馬橋駅(東口)入口までバスが入るようにするようお願いしたい(年寄りには非常に感じる)。(男性、80歳以上、馬橋)

### ② 電車

- ・北総線の料金を安くしてほしいです。(女性、20～24歳、東部)
- ・松戸市立病院が千駄堀地区へ移転したが、近くの駅がなく交通手段がバスのみとなっている。駅はできないのか?千駄堀地区は「森のホール」や「21世紀の森と広場」と施設もあるため、新駅が出来れば人口も増えると思われる。交通インフラの整備をしてほしい。本腰入れて新駅について検討してほしい。(女性、45～49歳、馬橋)
- ・結婚した時、常盤平団地に住んだため、そのまま子供の転校等を避けるため、常盤平駅周辺に住むことにしました。県営住宅もでき、千葉西病院もきれいになり、テラスモールもできた!(県営住宅前の道ができたおかげで、駅まで行く道がよくなりました)とても東京に近いはずなのに、なぜか都内が遠いです。コロナ前、外国からの留学生をホームステイで受け入れていました。ですが、どこの大学もドアtoドアで60分以内というので、上野の専門学校の人しか受け入れられませんでした。なぜか交通の便があまりよくないです。移動は車になってしまいます。(女性、50～54歳、小金原)
- ・上野東京ラインの本数を増やして。朝、夕以外の常磐線の電車(快速、普通共)1時間に1本、増やして欲しい。(女性、55～59歳、本庁)
- ・大型病院への交通手段でバス以外の交通の便(電車など)を増やしてほしいです。(男性、25～29歳、本庁)
- ・千駄堀にJRの駅ができると聞いて、近くに家を建てたが、その気配がない。是非とも実現させて欲しい。(男性、35～39歳、馬橋)
- ・市立病院の近くに武蔵野線の駅を作ってほしい。(男性、55～59歳、六実)
- ・新八柱駅から馬橋駅の間に「駅」があると便利です。利用客もかなりあると思われる。(男性、80歳以上、馬橋)

## (2) 道路

### ① 駐車

- ・休みの日などの公園まわりの路上駐車がひどい。以前緑地課に相談をしたところ、看板を出してくれましたが、何も効果ありません。貼った後など見に来ましたか？どこのチームのマナーが悪いなど、わかっているはずですが、もう少しマナーの守れるチームになるようしっかりと注意していただきたい。(女性、40~44歳、新松戸)
- ・周辺の店舗の駐車場周辺の雑草、ごみ等の取締り、どうかかなりませんか？(女性、80歳以上、常盤平)

### ② 駐輪

- ・駐輪場の拡大。近隣の市(柏・市川)より、すべてにおいて遅れている。(女性、70~74歳、矢切)
- ・無料の駐輪スペースも増やしてほしい。もし自転車通学・通勤が無料で済めば駅から自転車で10~20分の遠いアパートなども、かなりの優良物件になる。有料駐輪場に毎日100~200円×20日×12ヶ月では、ほとんど意味はない。しかも現在の駐輪スペースは、8時間100円といったものも多く、9:00~17:00の定時でも、通勤時間を含めると毎日200円になってしまう。公園や広場にするのもけっこうだが、それよりもっと実質的に役に立つ事に土地を使ってほしい。(男性、35~39歳、矢切)

### ③ 幹線道路

- ・みのり台駅付近の信号機の時間の長さ(青ライト)が極端ですので、もう少しバランス良くして欲しいです。(女性、25~29歳、本庁)
- ・道路を整備していないため、渋滞する場所が多く、もっと改善できると良いと思います。車を運転していても、自転車の飛び出し(自転車専用道がない、信号機がまばらなど)が多い。特に高齢者の方。(女性、30~34歳、新松戸)
- ・道路について、危ないところがある(高塚団地の前)。(女性、30~34歳、東部)
- ・道路の舗装をもう少し丁寧に仕上げしてほしい。その場所だけ舗装しても、周りと同じように平らになっておらず、段差があるとかえって危ないのだからきちんとしてほしい。(女性、45~49歳、新松戸)
- ・自動車の交通の便が未だに悪いかと(2021年現在)。(男性、25~29歳、本庁)
- ・学校付近の交差点は歩車分離式にして欲しい。学生さんがずっと横断しているため車が曲がれず、周辺の道路が渋滞している。(男性、35~39歳、六実)
- ・六高台2丁目の所で、もんじゃ屋を営業しているが、横に大きなトラックが通ったりすると、振動でガスが止まる事があるので、道路の補強とかで対策してほしい。(男性、35~39歳、六実)
- ・道路のいたみ、標識の劣化による見えづらさの改善。(男性、35~39歳、新松戸)
- ・どこへ行っても交通渋滞がひどい。これだけで松戸が好きになれない。(男性、40~44歳、六実)
- ・馬橋立体入口、小金消防署入り口、古ヶ崎五差路、南花島岩瀬など、渋滞が多い。(信号機の見直しや交通量の把握をして改善して欲しい。政策(めざそう値)として出されているが、10年以上経っても大きな改善が見られないのがとても残念。今後の松戸市の発展に期待しているので、よろしくお願ひします！(男性、45~49歳、本庁)
- ・自転車専用道路、180号線は車道の幅がないのに、専用道路になっていて危なく感じる。(男性、50~54歳、矢切)
- ・道路が動かず、迷惑してる。(男性、55~59歳、本庁)
- ・道路環境整備が不十分で、慢性的に混雑している。(男性、55~59歳、本庁)
- ・市役所前の渋滞解消を願ひます。(男性、65~69歳、常盤平)
- ・小金原地区で交差点の信号が車優先になりすぎている。通学路で、しかもバス路線や人通りが多い所でも歩行者は釘を押さなければならない。(男性、65~69歳、小金原)
- ・市内の道路が行き止まりや幹線道路が非常に不便。道路整備が他の都市に比べて劣っていると感じている。(男性、70~74歳、本庁)
- ・北千葉道路の早期完成。自分が生きて車を運転できる間に完成して欲しい。ゴルフ場への道。(男性、70~74歳、矢切)
- ・道路対策をもっと進めてほしい。(男性、75~79歳、本庁)
- ・私の住む近くの道路付近の十字路で、車と自転車とか人の事故が多いので、何とかしてほしいです。元山駅付近です。警察の人たちが、事故の後の対策をなされていないからです。(男性、75~79歳、常盤平)
- ・道路網の整備。(性別不明、65~69歳、常盤平)

### ④ 生活道路

- ・他の県に移動するための橋をつくってほしい。そうすることでもっと快適に移動ができてよい。(女性、30~34歳、新松戸)
- ・夜、トラックの重みとスピードの出し過ぎで、家がひどく揺れたり、ドカンという衝撃音と振動がすごすぎます。(女性、65~69歳、常盤平)

- ・自転車をよく使うんですが、古ヶ崎五叉路から流山方面に向う途中、道が狭かったり、デコボコ道が多く危ないので、自転車が通りやすいようになつたら良いと思います。(女性、70~74歳、本庁)
- ・市道の特に小河川部分に専用橋を掛けてあるが、道路との段差が生じて、市道の車及び自転車、歩行者が危険である。柴町の中堀に沿った市道。(女性、75~79歳、本庁)
- ・建売住宅が出来て、私道も大きなトラックが行き来して、私道もボコボコ、市でちょっと直していただけたら助かります。マンホールの横が大きくへこんで心配です。(女性、75~79歳、常盤平)
- ・自転車で走るには危険な道路が多いです。改善を望みます。(女性、75~79歳、常盤平)
- ・交通事故につながる車道、自転車道の道幅が狭い。(女性、75~79歳、常盤平)
- ・道路もガタガタする道ばかり、道も細い。(男性、20~24歳、本庁)
- ・松戸駅周辺の道路幅について、狭いので拡張していただきたい。(男性、30~34歳、矢切)
- ・家の隣に道路があり、少し大きな車輦が通ると家が揺れることがあります。新築を建てたため、住み心地は良いのですが、道路の整備状況が気になることがあります。(男性、40~44歳、常盤平)
- ・電柱が、路側帯よりも車道側にはみ出している所が多く(細い道)大きめの車だと、とても運転しにくい。(男性、45~49歳、本庁)
- ・住宅街を抜け道とする車がスピードを出せない様、ハンブを作るなどの対応を講じてほしい。(男性、55~59歳、本庁)
- ・行き止まり道路が多い。(男性、65~69歳、常盤平)
- ・橋の欄干が見通し悪い。一方通行区域が多い。(男性、70~74歳、本庁)
- ・道路工事、ガス・水道工事が異常に多い。住宅まわりの道路で同じ所を同時期に何回も工事している。見ている方はムダが多いと思います。(男性、70~74歳、矢切)
- ・金ケ作に住んでますが、道路だけが不満です。特に、好きな自転車に乗るのに、スペースが狭くてこわいことがある。(男性、75~79歳、常盤平)
- ・道路が狭い。自転車道を設けて欲しい。(男性、80歳以上、常盤平)
- ・朝晩の住宅地が場所によって通勤の近道となっていて、スピードを出して通過していく。交通事故が発生してからでは遅い。早急の実態把握や検証して対策を練って欲しい。(男性、80歳以上、六実)

#### ⑤ 歩道

- ・小学校の通学路について、場所によっては歩道が狭すぎて危なく感じる所が多々あるので、歩道の充分な幅の確保をして頂けると更に住みやすく、安心安全な市になるのではと思います。(女性、25~29歳、東部)
- ・松戸市に住んで、とてもよかったです。公園も多く、生活に不自由は全くありません。道路が狭いところだけが改良希望です。稔谷駅周辺の歩道が広くなりますよう(交差点から人が溢れ危険)、すぐには難しいでしょうか願っています。(女性、30~34歳、本庁)
- ・ガードレールの設置(通学路)、危険なコンクリートブロック、擁壁の撤去・補修、リフォーム費用の助成、松戸市は坂が多く、地震でひびわれているブロックや擁壁を沢山見かけます。補修費用は高額のため、修理を後まわしにする家が多いです。助成金の拡充をよろしくお願いします。(女性、30~34歳、小金)
- ・老朽化している道路や歩道が目立つので、きれいにしたい。(女性、30~34歳、新松戸)
- ・道路がガタガタでベビーカーの走行がしにくい。(女性、35~39歳、本庁)
- ・歩道が、かたがたになっているところが多く、景観というか、手入れがされていないんだなあ…と感じられます。(女性、35~39歳、本庁)
- ・小学校の通学路にガードレールを付けてほしいです。または、朝の時間(30分だけでも7:30~8:00)規制していただけたらうれしいです。事故が起こる前の対策をお願いします。(女性、40~44歳、常盤平)
- ・松戸市六実に住む様になって28年、周りの駅、鎌ヶ谷、高柳は変わっていくけれど、六実は自動改札になつたくらい…駅周辺は何も変わりません。未だに自転車も通れない様なせまい歩道です。静かなのは良いですが、決して住みやすく安全とは言えません。抜け道で車は増えても何も変わらず、信号を渡るのにも危険です。何とかありませんかね…。(女性、40~44歳、六実)
- ・八ヶ崎の歩道が狭く、子供が2人車とぶつかりました。道路の環境は他市に劣る点だと思います。自然の多さは十分すぎるので発展してほしい。(女性、40~44歳、馬橋)
- ・市道の歩道の幅が狭く、人と自転車がすれ違えない。自転車専用道路区分がないため、自転車が歩道を使うことになる。また、段差も多いため、ベビーカーを使用する際に不便、危険。(女性、45~49歳、本庁)
- ・歩道にぼこぼこしている箇所が多く、自転車等危ないです。直してほしい。(女性、45~49歳、常盤平)
- ・小金北小前の道路、通学路の安全対策が行われているが、大々的な対策をしない限り解決しない(一部分のみ工事済)。いつ子供達の通学路に車がつっこむ事故がおきてもおかしくない。鉄塔を地中に埋める等、歩道の安全確保が必要。子供の在学中は毎年訴えていたが、卒業した現在も心配です。ご苦労様です。(女性、45~49歳、小金)
- ・高齢者のために、歩道の脇にちょっと座るベンチなど設置してほしい。(女性、45~49歳、新松戸)

- ・八ヶ崎の道路の道幅がせまく、子供が毎日登校で使用しているが、心配でならない。道路整備を充実して欲しい。(女性、45~49歳、新松戸)
- ・馬橋駅から東武ストアを通り、新松戸方面へ行く道(川沿いではない道)の歩道が狭く、とてもデコボコしていて、夜は暗いので、何回も転びそうになった。せめて平らにして街灯をつけてほしい。その道を突きあたり右へ曲がると馬橋小へ行くが、その馬橋小の前の道(正門の前の道)の歩道が狭く、車が猛スピードで通るので、とても危ない。早く何とかしないと大変なことになると思う。その道の駐車場の前の道路に、雨の時大きな水溜まりが出来るので、それを避けるために車道へはみ出して歩かないといけないうため、益々危ない。(女性、45~49歳、新松戸)
- ・北松戸駅から元市立病院までの道を明るくし、横断歩道以外は渡れないように安全な道にして欲しい。(女性、50~54歳、本庁)
- ・歩道の整備をしてほしい。すれ違えない程狭い所がある。(女性、50~54歳、本庁)
- ・バス通り(南部小T字路~角町(松戸神社))までの道路、歩道の整備を早急に着手して欲しい。危険で不便です。(女性、55~59歳、本庁)
- ・街路樹は多いと思いますが、歩道がボコボコなので、自転車通りにくいです。(女性、55~59歳、馬橋)
- ・歩道が狭いので緑を植えないで安全を優先して欲しい!歩道の確保がないと、車が怖い(歩道がない所が多過ぎます)。自転車が歩道を走り、歩行がこわい。(女性、65~69歳、常盤平)
- ・「南郵便局」←→「マブチモーター」の通りの歩道が凸凹がひどく、いつも散歩で歩くのですが、年寄り(私)にはあぶないと思います。牛丼屋ののぼり旗が風の日にとか雨の日にあぶないと思います。外の場所でも店舗の“のぼり旗”は、あぶない所があります。左から曲がる時、先が見えない。(女性、65~69歳、常盤平)
- ・北小金駅から6号線に向かう道、いつも工事しています。仕方ないとは思いますが、歩道もガタガタで通りにくいです。最終的にはきれいになるのでしょうか。心配です。(女性、65~69歳、小金)
- ・道路工事をちゃんとしてほしい。歩道、自転車用の道路など。(女性、65~69歳、新松戸)
- ・歩道の幅が狭い。(女性、70~74歳、本庁)
- ・下水蓋の歩道上を歩いて50年。農道は安全な歩道には変わらずでした。交通事故にて受傷後の人生は苦しいものです。通学路も安全でありますように。(女性、75~79歳、東部)
- ・県道市川-松戸線の道路に、歩道がなく危険。(男性、20~24歳、東部)
- ・交通量の多い道(464号)など、歩道が狭くガードレールもない所があるため、保育園の送迎で心配になることがあります(高塚新田周辺)。(男性、35~39歳、東部)
- ・車椅子生活になって思うのが、道のでこぼこ段差が多い事。(男性、40~44歳、本庁)
- ・駅周辺、その他道路でも歩道が狭く感じます。小さな子供を連れていて、いつも危ないと思います。(男性、40~44歳、本庁)
- ・道の狭さによる歩行者の安全の確保が気になります。(男性、40~44歳、小金原)
- ・歩行者の安全対策が不十分だと日々感じます。よく利用する旭通り商店会通り(馬橋)では、子供達の通学路にもかかわらず、制限速度以上で運転する車(特に商用車、迂回のため?)が多く、いつ事故か起きてもおかしくない様子を目にします。歩行者の分離やゾーン30等の設置で、安心できる住宅地の実現を望みます。(男性、40~44歳、新松戸)
- ・子供の通学路にガードレールをつけるなど、安全対策をしてほしい。(男性、40~44歳、矢切)
- ・馬橋駅西口ロータリーからいちょう通りの歩道の舗装がひび割れ、凸凹としていて、足の悪いご老人などが転ぶと危険ではないかと思えます。予算があれば、修繕の計画に入れて頂きたいと存じます。(男性、55~59歳、新松戸)
- ・近年、松戸市の住宅環境の整備により、東京近郊からの子育て移住者が増加している。一方で通学路、一般道も含め、交通事情の問題点が挙げられる。特に危険と思われる通学路の改善(ガードレール等の設置)早急をお願い致したい(先般、千葉県八街市の悲しい事故が二度と起こらないようお願いしたい。合掌)。(男性、60~64歳、小金)
- ・勤務の都合などで偶然の様に松戸市に住み始めて30数年です。税金は払っていますが、行政サービスの恩恵を受けている意識はありません。特に自分の行動範囲内では、道が狭すぎて恐いです。子供達の通学等で、よく事故に遭わなかったものだと思っています。自分は接触事故に遭い、治療に長くかかりました。道路係に何とかして欲しいと言いましたが、町会単位で申請との事。その町会も古くからの町会で地元民以外は近より難しく、進展は望めません。ならば他の地域はどうかという問題ではなく、ここに住んでいる以上、住みやすい環境になって欲しいと思います。自分はあまり先が有りませんが、子孫のためにと思っています。(男性、65~69歳、常盤平)
- ・車道(舗)道の区別→(線引)。(男性、70~74歳、本庁)
- ・歩車道の安全対策、特に希望する。(性別不明、年齢不明、六実)

### (3) 景観

- ・古い空家などをなんとかして欲しい。(女性、30~34歳、新松戸)
- ・老朽化したビル、マンション等の建て替えに協力等、着手して欲しい。(女性、55~59歳、本庁)
- ・あまり町並みがきれいでない。(女性、60~64歳、小金)

- ・最近空家も多くなりました。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・アパート、マンションに囲まれ、毎日壁見て生活していたので、松戸のマンションに来て、空、月、星、電車見て、松戸に来て良かった。毎日が楽しく生活出来、買物が少し不便ですが、長く住みつづけたいと思います。(女性、75～79歳、新松戸)
- ・私の地域も空家が増えております。空家対策もよろしくをお願いします。(女性、80歳以上、常盤平)
- ・近くに市営、教員住宅が何年も前より放置状態になっているのが気にかかっています(不気味です…)。きちっとした今後の計画方針の説明が欲しいです。(女性、80歳以上、新松戸)

#### (4) 上下水道

- ・下水道を早く整備してほしいです。(女性、35～39歳、東部)
- ・水がおいしくない。(女性、70～74歳、新松戸)
- ・下水道の整備を早くしてほしい。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・水道代も高い。納めた金はどこにいってるんですかね？(男性、20～24歳、本庁)
- ・水がおいしくない。(男性、45～49歳、本庁)

#### (5) 公園

- ・松戸中央公園でウォーキングをしているのですが、通勤・通学の時間になると、道(公園内の歩けるスペース)が狭くなります。公園全体は広いですが、芝と歩道に段差があったり、とても使用しづらいスペースが多いです。公園の敷地をフラットにしてほしいです。(女性、25～29歳、本庁)
- ・近所に公園があるのですが、いつもご老人の方がグラウンドゴルフやゲートボールをやっていて、遊ぶ事が出来ません。公園の中に入ると、危ないと言われてしまいます。皆の公園なので、使う時間を決めたり、子供が遊ばない朝の早い時間にするなど、市の方から言って頂きたいです。老人ホームアウル大金平の通路を挟んで向いの公園です。よろしくをお願いします。(女性、25～29歳、小金)
- ・中央公園によく飲食後のゴミが散乱している。捨てた人がもちろん悪いが、なんとかならないか。(女性、30～34歳、本庁)
- ・公園に生えた雑草の処理を定期的に行って欲しい。(女性、40～44歳、常盤平)
- ・子どもがサッカーが好きなのですが、市内の公園はサッカー禁止のところが多く、子どもの遊び場はドッチボール、ゲートボール、ソフトボールなどが行われていることが多く、利用できません。道路でやるわけにもいかず、肩身のせまい思いをしています。ボール遊びができる場所が欲しいです。(女性、40～44歳、新松戸)
- ・公園の木の成長をどこまで放っておくのか。電線を超えて危ないです。そのせいでカラスが巣をつくり、迷惑しています。(女性、40～44歳、新松戸)
- ・21世紀の森も、アンデルセン公園に負けないぐらい魅力のある施設になるよう期待しています(駐車場が少なすぎますが…)。(女性、45～49歳、常盤平)
- ・フラワーパークや大きな公園をつくってほしい。(女性、50～54歳、本庁)
- ・21世紀の森は不要だと思う！返すべきだ！ムダづかい。(女性、55～59歳、東部)
- ・21世紀の森、子供たちが遊ぶ遊具の持ち込み、もう少し許可して欲しいと思います。中に遊具建築されていましたが、小さすぎるのにびっくりしました。(女性、60～64歳、本庁)
- ・公園で子供達も楽しく安心して遊べる工夫をしてほしい。21世紀の森と広場、すこしずつ改良されていて、孫たちも楽しく遊ばせてもらっています。(女性、60～64歳、本庁)
- ・葛飾区の水元公園のような公園があればいいと思う(近くに子供が遊べる公園がない)。(女性、65～69歳、本庁)
- ・身近に公園無し。あったらうれしい。ペットが入れる公園無し。あったらうれしい。(女性、65～69歳、常盤平)
- ・魅力的な公園が少ない。21世紀の森は、とてもいいと思うが、トイレ少ない(野田清水公園の様なきれいなトイレがほしい)。(女性、70～74歳、本庁)
- ・六高台八丁目上瀬上公園の内側道路ですが10軒の家の車が入りしています。公園に植えられたつつじの花の中に5・6年前位から細い竹が出てきて、今では毎年増えて竹やぶのようになっています。造園業の方が年1回入っていますが竹だけがすぐに伸びてしまい周りの方たちが切ったりしています。車で走る人の見通しが悪くばかりか公園に遊びにくる子供達もたくさんいます。住宅側から公園の中が見えないから不審な人がいてもわからず危ないです。毎年、竹は2倍・3倍と増えています。住人は、60代、70代、80代と高齢化です。税金を使ってでも、きれいな公園にお願い致します。(女性、70～74歳、六実)
- ・近くの公園が駐車場化してしまい、憩いの場では無くなりつつある。又、造園業者も入っているも、表側と裏側の手入れが違い、ホッとできる公園が裏から入るとストレスを感じます(これも税金が使われていると思います)。緑地課があるなら、時には作業後点検必要かも？(女性、75～79歳、本庁)



- ・近所の公園管理のことで思うのですが、大きな木は切ってもらえますが、つつじなどの周りの草をそのままに残し、子供の姿が見えないくらいです。業者の方に注意するか、業者が入った後、確認に来ていただけませんか？近所の者が時々草を抜いたり切ったりしているのですが…。管理費の中に草抜き（背の高い草のこと）や清掃代も入っているとと思うのですが、お願いします。私達も高齢です…。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・一時期、埼玉県戸田市で生活していましたが、戸田市と比べて子育て環境の整備が圧倒的に遅れていると感じます。戸田市ボール公園を参考に子どもが遊びやすい場所を提供いただけたらと感じます。隣接している、柏・流山に子育て環境負けないように頑張ってください。(男性、30～34歳、小金原)
- ・21世紀の森と広場について。サイクリングコース、BMX、スケートボードパーク、芝生広場でのキャンプ設備)の設置のご検討をお願い致します。(男性、35～39歳、本庁)
- ・「子育てしやすい街No. 1」になったと以前アピールしていたが、近場の公園には鉄棒、すべり台しかない公園が多く、子どもつまらないと言われ、子育てしにくい。流山市の公園には、ロープウェー、アスレチック、ジャングルジム、大型すべり台があり、そちらに遊びに行ってしまう。21世紀の森に「あそびのすみか」ができたが、駐車場代がかかり、駐車場から遠く、地味に大変である。だから近場の公園にも、子どもが魅力を感じられるような遊具を置いて欲しい。バスケットゴールのある公園が市内につばめ公園のみ。そのつばめ公園のゴールの下も地面が平らではなく、ケガのリスクがある。つばめ公園のバスケットゴール下の地面を整備するとともに、バスケットゴールの公園設置数を増やして欲しい。コロナで遠方に行くことができないため、市内で子どもたちが外で遊べる場所を増やしてくれるとありがたい。(男性、35～39歳、馬橋)
- ・公園や緑地をもっとすばらしい環境にしてもらいたい。(男性、35～39歳、東部)
- ・松戸駅前に公園がない。遊具がつまらな過ぎる。子育てしやすいと言いながら外で遊ぶ場所がない。今時は複合遊具等が主流だと思います。(男性、45～49歳、本庁)
- ・子供達の防犯安全面を考えると、公園や広場の利用時間を決めた方が良い(開施設可能な公園広場は市職員、委託業者で対応)。公園、広場周辺居住者も安心して過ごせるものと考えます。(男性、45～49歳、小金)
- ・ペットで犬を飼っていますが、ほとんどの公園がペットの出入り禁止となっています。今やペットはゆとりある生活をする上で欠かせない存在です。リードの着用、排泄物の処理などルールを設けて、公園の出入りを許可して欲しいです。(男性、50～54歳、本庁)
- ・公園整備や清掃がよくない。(男性、65～69歳、本庁)
- ・F7で答えたように、暗い感じのする公園が多い。(男性、70～74歳、常盤平)

## (6) みどり

- ・子ども達(小学校)が通う道で、木の枝が生い茂り、信号が見えにくくなっており、危ないため、6月～8月の雨の多く植物がよく育つ時期は、定期的に見まわり、木を切るなど対策してほしい。(女性、35～39歳、小金原)
- ・街路樹の管理をもっと定期的にしてほしいです。夏には敷地内まで枝がのびますし、秋には落ち葉で歩道がうまります。手入れしないのなら植えないでほしいです。(女性、35～39歳、馬橋)
- ・公道の雑草が多すぎて、蚊のすみ家になっているので、除草又は防草シートを張るなど対策して欲しい。(女性、45～49歳、東部)
- ・雑草が道路に茂っていて、歩く時にも大変邪魔である。子供の通学路では歩道の部分がほとんど覆われている時期もある。又、通学路でなくても雑草があるだけで、街並み雑然として見えて、きれいな街とは言いがたいです。雑草をなんとかしてほしいです。(女性、50～54歳、本庁)
- ・美しい街並み作りを望みます。花を植えたり、もっとしてほしい。(女性、50～54歳、常盤平)
- ・歩道と道路の間の草が長くなっている。(女性、60～64歳、小金)
- ・私は、毎日散歩を欠かさずしております。緑が沢山あり、住み易い「松戸」は好きですが、ひとつ気にかかることがあります。街路樹が大きくなりすぎ、歩道が狭かったり、国分川沿いの河原の木々が生え、先方が見えなかったりすることが多いです。税金の使いみちも色々あり、自然の樹木の整備に費やすことは難しいことかもしれませんが、定期的整備して頂けると安心です。定期的にして頂ければ、市民が松戸市に連絡しなくて済むかと思えます。また1つ疑問ですが、公園や道路の樹木の担当部門(国土交通省、松戸市)が違うので、景観が統一されていない。(公園の中と外の部分の担当が違う)連携してやって頂きたいです。(女性、65～69歳、東部)
- ・街中の緑が増えれば嬉しいです。(男性、25～29歳、六実)
- ・私が住んでいる地域では、街路樹が資相で、夏場に涼を取る木陰が少なくなったと考えています。今後、街路樹が増えることを期待します。(男性、25～29歳、新松戸)
- ・緑を増やすなら、街路樹が並ぶ道幅も広すぎないバス便も便利なモデル地区のような街並みを作ってほしい。住みたい街ランキングに入るような街作り。住宅価格が高過ぎると意味はないと思うが…。(男性、50～54歳、小金)
- ・住宅地には、庭に草木が少々ある程度で、緑が少なく思える。住宅地でも、木、草、水(川、池など)を残した方が良いのではと考える。(男性、55～59歳、本庁)

- ・緑化対策をもっと進めてほしい。(男性、75～79歳、本庁)
- ・街路樹の見回り、下草刈、枝のせん定など、もう少しこまめにしてほしい。(性別不明、年齢不明、小金原)

## (7) 住宅

- ・団地に住んでいますが、上下の方がうるさくて、住みたくないです。(女性、50～54歳、小金原)
- ・ハケ崎の市営住宅はどうなるのでしょうか？(女性、55～59歳、馬橋)
- ・年金生活者に対して市営住宅が少な過ぎます。(女性、80歳以上、常盤平)
- ・常盤平団地の再開発を要望します。新しい若い人達が今の団地では魅力を感じないので、ハウスメーカー等の民間企業へ売却して住宅街を造る等しないと、高齢者、低所得者、外国人、半グレ等とみられる人ばかりが目立ちます。治安改善にもなるため、早急をお願いします。再開発の署名は数年前に市へ提出済みです。地域活性化のためにも是非とも。(男性、40～44歳、常盤平)
- ・常盤平団地をリノベーションしたりして、若い人達(学生)等を住みやすくして、明るい雰囲気をつくって欲しいです。(男性、45～49歳、常盤平)
- ・松戸だけの問題ではありませんが、常盤平団地を始めとした高齢化の進んだ団地の対策が必要と思います。老朽化もしていますので心配です。15年東京に住みましたが、戻って住んでいるのは何か魅力があったからです。テラスモールも出来ましたし、パンの聖地もありますからコンテンツは充実していると思います。(男性、45～49歳、小金原)
- ・常盤団地など集合住宅の老朽化対策をお願いしたい。(男性、55～59歳、常盤平)
- ・市営住宅をもっと作ってほしいです。(男性、75～79歳、常盤平)

## (8) 防災

- ・災害への取り組みは迅速で素晴らしいと思います。市役所の皆さま、台風時などありがとうございます。(女性、40～44歳、馬橋)
- ・防災アナウンスが聞きとりにくい地域。何を言っているかわからない(幸田3丁目)。(女性、45～49歳、小金)
- ・防災無線を家に放送が入ってくるようにしてほしい。(女性、50～54歳、本庁)
- ・ハザードマップによれば、松戸駅周辺は水没の範囲が広いと思います(特に西口)。マンションや店が多いので、水が入っても大丈夫なように対策はあるのでしょうか？(女性、55～59歳、本庁)
- ・自宅の横が雑木林だから根元の土が流れだしていつ木が倒れてきてもおかしくないし、実際に数年前には屋根に1本倒れてきた。町会経由で市役所に地主への抗議を頼んだが対応できないと言われた。何かあったら天災ではなく人災である。その責任がとれますか？(女性、60～64歳、常盤平)
- ・何事にもあまり意識せずに生活を送れる事を考えると、松戸市は私にとって住みやすい町だと思っています。ただ、年々、災害が(自然災害)大きくなり、どのようにそなえておけば良いのか、わからなくなってきました。また、避難場所やする時期等が、すこし自分で判断するのにとまどいがあり、迷います。我家は低位置に家があるので、水害がとて心配です。水害の心配のないよう調査して、少しでも住み良い町にしてほしいです。(女性、65～69歳、矢切)
- ・松戸市は平地が殆ど無いのが大きな特徴です。最近多発している集中豪雨に弱いと思っております。どれだけ被害が出てしまうのだろうか台風の度、無事を祈っていますが、脆い地形ですので、どれだけ危険かと不安です。少しずつでも対策をして頂けますようお願い致します。(女性、70～74歳、本庁)
- ・防災無線が聞きとれない、あちこち危険なガケが多い。今気になるのは、上二小入口むかいの壁、旧市民病院に続く坂道にキレツが入っていて危ない。少し強い雨が降ると、水路からあふれた水が国道6号線にむかって流れてきて怖い(上本郷です)。何とかしてほしいです(上本郷第一会館付近・周辺)。(女性、70～74歳、本庁)
- ・防災無線が聞きとりにくい。点検はされているのでしょうか？災害の時に役に立たない！(女性、70～74歳、小金原)
- ・熊谷知事が防災に強い都市づくりの一環で電柱を地中に等、松戸市もいち早く安心出来る町づくりに協力してほしい！人にやさしい町づくりを望んでいます。宜しくお願い致します。(女性、70～74歳、六実)
- ・自然災害も多くなっています。市の職員の方は信念を持って、目先の利益、私利私欲に走らない様、悪い意味での政治家、為政者にならないで、まず松戸市から大きく日本を正しい方向に導いて下さい。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・災害が起きた時の避難場所が不安です。学校の講堂や体育館の場合、トイレ、ダンボールベット等々、用意されているのか心配です。(女性、80歳以上、新松戸)
- ・水害に対する備えに心配があります。江戸川流域の低い土地に住む方の避難所が不足していると感じます。(男性、45～49歳、本庁)
- ・コロナ禍の次はほぼ確実に首都直下型地震への対策がより切迫した課題になるのではないかと思います。市としての備蓄や避難所の点検や見直しなどをより一層進めてほしいと願います。(男性、60～64歳、六実)
- ・特にありませんが、防災に強い都市造りを構築して下さい！(男性、70～74歳、本庁)

- ・災害時の要支援を松戸市に申請されている方への諸々の対応が、自治会・町会に丸投げである。申請をただ受付けているだけに見える。(男性、70~74歳、小金)
- ・新ハザードマップを広報と一緒に配布御願ひします。(男性、80歳以上、新松戸)
- ・迷子の放送が聞こえない。年間を通して行事を流して(放送で)ほしい(たとえば花火大会など)(松戸祭り)。(性別不明、年齢不明、本庁)

## (9) 防犯

- ・アンケートを見るまで、行政が行っていること自体興味をもつことがあまりなく、初めて知るような内容も多くありました。もうすでにご対応頂いている内容であれば申し訳ないのですが、私が日々感じていることです。治安が夜間とても悪いわけではないのですが、街灯や防犯カメラの少なさから不安を感じることがあります。(女性、20~24歳、馬橋)
- ・街灯増やしたりして頂きたい！(女性、25~29歳、東部)
- ・中央公園のトイレに朝から不審な男がいた。一人でも警察官や警備員が見まわっていれば、もっと安心できるはず。公園から交番は遠いので。(女性、30~34歳、本庁)
- ・最近では、交差点にポールが設置されるようになり、安全対策もすすんでいるようですが、団地付近の路駐が多く、死角もある為、子ども一人で歩かせたくないなと思っています。(女性、30~34歳、常盤平)
- ・いつも市民のことを考えてくださり、ありがとうございます。子育て世帯の意見として、一番不安なことは治安についてです。子どもたちの命を守るために、日ごろ不安に思っていることを書きます。街灯、監視カメラの設置してほしい。(女性、30~34歳、小金)
- ・治安が悪いというイメージを払拭してほしい。実際犯罪なども多く、今後安全に暮らしていけるのか不安。(女性、30~34歳、小金)
- ・新興住宅地が増え、子育て世帯が増え、道路族が気になる(騒音、駐車の上づらさ、など不安)。公園が足りない可能性。迷惑になっていることの注意喚起をしていただけるとありがたい。(女性、30~34歳、東部)
- ・街灯が少ないので、ランニングをやめてしまった。もう少し街灯をふやしてほしい(高塚新田らへん)。(女性、30~34歳、東部)
- ・放火や大きな音など治安が良いとは思えません。雨が降ると道路にたまった水が目立つのですが、あまり手入れされていない気がしますね。どぶ臭い道路もありますし。(女性、35~39歳、本庁)
- ・車があれば色々便利な街。常磐線各駅沿線の便はいいが、他で不便な所もある。東京に近いベットタウンだが、治安がいいとは言えない。人口が多いので、色々な人がいるからだと思う。(女性、35~39歳、馬橋)
- ・通学路の安全を確保してほしい(高塚新田地区)。通路族をなくしてほしい(高塚新田地区)。(女性、35~39歳、東部)
- ・金ヶ作公園など、夜、集まっている人達を見かけます。暗い所で人の声がしたり、少し恐く感じます。もう少し街灯などを増やしていただいて、明るくしてほしいです。(女性、40~44歳、常盤平)
- ・松戸市は子供の虐待が多いと聞きました。市原市の小学4年生の女の子や中目黒みたいに、見て見ぬふりをされていないか心配です。どうか守って助け出してほしいです。松戸市の事件も含め、子供の安全が何より気がかりです。先日の飲酒事故の件でも、子供が殺されるのは100%登下校中です。スクールバスを切に希望します。どこが安全じゃないかチマチマ点検して結局見落とす、動かない、どうせお金がかかるなら今すぐスクールバスです。どこぞの市原市長みたいにムダ金使うなら、ここに回してほしい。任意で市民にお金徴収したらいい。ふれあい22で1歳半検診に伺った時、この治安問題をアンケートで書きましたが、「私に言われても…」な表情で完全スルーでした。「実施した・アンケートをとった」証拠だけほしい検診・問診ならするな！めんどくさがるな！(女性、40~44歳、常盤平)
- ・正門などに防犯カメラの設置も相談しておりますが、お金がないからと変わりません。(近くの幼稚園で、うわばきの盗難がニュースになりました。)もう少し子供にお金をかけてください。通学路では車が通れない登校下校の時間帯も、たくさん車両が通ります。何度か警察にも相談しています。スピードが出るバイクは、相談してもまだ毎朝ぬけ道として走っていきます。市民安全のパトロールの車や選挙の車も通っています。何かあってからではおそいです。(女性、40~44歳、矢切)
- ・いつも市民の為にありがとうございます。お願い3つです。新東京病院(和名ヶ谷スポーツセンター近く)の前の畑の通りですが、暗いので街灯を増やしてほしいです。(女性、45~49歳、本庁)
- ・公用車が一方通行を逆走するのをよく見かけます。大変危険ですので大至急おやめください。(女性、45~49歳、本庁)
- ・監視カメラを多数設置して、治安を良くしてほしい。(女性、50~54歳、本庁)

- ・自転車のマナーが悪い。一中校門前の信号には信号機がなく、生徒が渡る時、車は止まってくれるが、自転車が止まってくれている車の脇をすごいスピードで走りぬけていくので、本当に危ないし、ひどいと思う。一中校門前を例に挙げましたが、他にもバスから（バスからおりるときに）歩道に出ようとした娘の前に、バスと道路のあいだを急に自転車がとおりぬけてきて、娘が転んでしまったことがありました。自転車は止まらず行ってしまったそうです。信号を守らない自転車、スピードを出して歩道を走る自転車など、対策をしてもらいたい。（女性、50～54歳、本庁）
- ・防犯カメラの接置不足。（女性、50～54歳、本庁）
- ・市も防犯に力を入れて欲しい（子供独りで留守番していたら、空巣未遂が発生した!）（平日15時過ぎ頃）。（女性、50～54歳、六実）
- ・街灯が以前より明るくなり、夜も安心です。ありがとうございます。（女性、55～59歳、小金）
- ・松戸市に限ったことではないと思いますが、防犯カメラの設置が少ないと思います。外国の方が日本に犯罪を犯しにくると聞いた事があります（防犯カメラが少ないから）。本当かどうかわかりませんが、できれば数を増やしてほしいです。（女性、55～59歳、馬橋）
- ・友人が、自宅にある車の盗難にあっている。防犯面でも心配。松戸に住んで36年、松戸市は好きですが、行政には不満があります。（女性、60～64歳、小金）
- ・自転車に乗る人のマナーが悪い。（男性、20～24歳、本庁）
- ・本町の交差点での自動車の信号無視があまりにも多いと思います。日中でも頻繁に見かけます。取り締まりの強化が必要と考えます。（男性、25～29歳、本庁）
- ・先日、県外の知人から「松戸って、治安が悪いらしいね」と言われました。SNS等でも、「松戸は治安が悪い」と度々話題にあがります。実際、日々の暮らしの中でも感じる場合があります。治安回復に努めていただければいいと思います。（男性、25～29歳、小金）
- ・速度違反車が多く、子供連れには危険と感じる細道が、住居周りに多くある。何とか対策できないか。（男性、30～34歳、小金）
- ・松戸駅周辺の、夜間のパトロールを強化してほしい。夜18:00以降の酔客や水商売の黒服の客引きの路上喫煙が目につく。特に2ヶ所「ほてい」（コロナでも一切自粛をせず、店前の路上に客がたむろ、路上喫煙やバカさわぎ、通行人への威嚇など。店は貼り紙一枚のみで容認。加えて、第2日弁ビル第37東京ビルのテナントの水商売の客引き。ノーマスクで客に近づき、路上喫煙、客引き、路上をガラの悪い黒服が占拠して、せっかく新しいエスカレーターが出たのにとてもガラが悪い。塾帰りの小学生や、下校の学生も通る場所への配慮が一切無く我がもの顔。毎日、定期的にパトロールと注意だけでも必要だ。特に西口交番は、駅前で奇声を上げ大騒ぎしている連中がいても一切出てこない。（男性、35～39歳、矢切）
- ・子供達の通学路の安全確保。（男性、40～44歳、常盤平）
- ・駅前（松戸）の客引きが多い。治安が悪い。県境は事件が多い。（男性、45～49歳、本庁）
- ・子育てについては定評ありますが、防犯に不安があります。防犯日本一の市町村を目指して欲しいです。全市道に防犯カメラを設置し、警察と連携して早期に犯罪者を突きとめることができる体制が望ましいです。検挙率UPは防犯効果が高まります。防犯対応は市民が安全に暮らせる条件であり、本郷谷市長の目玉施策の一つになると思います。（男性、50～54歳、本庁）
- ・客引きも排除しないと田舎くさい。治安が悪く、盗難多く（リュック）、落とし物（スマホ）も10分でなくなり、出てこない。（男性、55～59歳、本庁）
- ・監視カメラの増設を！（男性、70～74歳、本庁）
- ・防犯体制の強化。全国版ニュースには市の良いニュースもありますが、犯罪ニュースも多いです。（男性、70～74歳、矢切）
- ・割と今のままで問題ないかと思いますが。一概に言うのはよくないかと思いますが、外国の方が増え、治安の面で不安を感じる場合があります。夜でも安心して人々が歩くことができる、そういった街になってくれたらうれしいです。（性別不明、年齢不明、新松戸）

## (10) 市街地整備

### ① 環境整備

- ・歩きたばこをする人が非常に多いと感じます。毎朝の通勤時、自宅から最寄駅まで歩く（10分弱）間に、2～3人は見かけます。ちょうど小学生の通学時間帯でもあり、近くに子どもたちもいるため、煙が非常に気になるし、不快です。歩きたばこを禁止・ポイ捨て禁止とする対策を検討いただきたいです。たばこをポイ捨てする大人が、小学生たちの近くを歩いているのにも関わらず平然としている姿に怒りを感じています。ご検討のほど何卒よろしく願いいたします。（女性、35～39歳、本庁）
- ・周りの市の方が開発され、住みやすそう（流山市、柏市など）。松戸は、あまり変化がない。（女性、45～49歳、六実）
- ・電線が低いところがあるので、整備してほしい。（女性、45～49歳、東部）

- ・無電柱化。側溝に蓋をして欲しい。野良猫をなくして欲しい。(女性、50~54歳、本庁)
- ・電線の地中埋設を進めていただきたいと思います。(女性、60~64歳、本庁)
- ・松飛台駅からと思いますけど、松飛台工業団地に勤務の人がタバコの吸いながらを捨てていくので困っています。タバコを捨てないような市にしてください。(女性、65~69歳、常盤平)
- ・家の前のU字溝に蓋をして下さい。U字溝の中に落ち葉が入りたまわって、水が流れない。いつも掃除している。困っている。お願いします。六高台地区です。(女性、80歳以上、六美)
- ・とにかくカラスが多いです。ゴミをあらして、人をおそいます。どうかしてほしいです。本当に怖いです。一刻も早く対応して下さい。常盤平2丁目です。カラスさえいなければ、本当に良い街だと思います。(男性、20~24歳、常盤平)
- ・路上喫煙者が多い印象です。松戸西口付近、歩道でよく見かけます。罰金のしくみが機能していないように見えます。地域住民、町のイメージにも悪影響と思うので、対策をして頂けたら幸いです。(男性、25~29歳、本庁)
- ・国政のようなルールを無視した、やり方で都市開発を進めないで下さい。(男性、35~39歳、新松戸)
- ・野良猫にエサをあげる自治会に入っていない人の対応を厳しくしていただきたい。注意しても、自分じゃないとウソをつく。人の敷地にエサを置いてフンなどの世話は知らんぷり。回覧板で注意を促しても、自治会に入っていないので回覧板がまわらないので、まわりに迷惑をかけていることがわかってもらえない。ねこよけの道具や薬(庭にまく)はこちら持ちなので本当にどうかしてほしい。野良猫にエサをやっている人への注意、罰金等厳しい取り締まりをお願いしたい。(男性、40~44歳、常盤平)
- ・歩きタバコ、禁煙地域での喫煙が多い。(男性、45~49歳、本庁)
- ・U字溝の整備について。家の周りのU字溝のフタがありません。どれくらいの時間があればフタがつくのでしょうか？葉っぱなど多くの雑草が入って、掃除するのが大変です。よろしくお願いします。(男性、50~54歳、小金原)
- ・受動喫煙がひどい。松戸駅のロータリー等当り前のように吸っている。歩き煙草も一向に減っていない。(男性、50~54歳、新松戸)
- ・電線の地中化。(男性、60~64歳、小金)
- ・住宅街にマンション(階建)が急に建設されることになり、日照が悪く、外観も悪く、それでも市としては認可する、法律に従うことの様ですが、調査をして、住民の声を聞いて認可してもらいたい。(性別不明、年齢不明、小金)

## ② 駅前整備

- ・松戸駅前が暗く、廃れている雰囲気があるので、もっと明るく整備してほしい。(女性、30~34歳、小金)
- ・何より松戸市はやはり、交通の便利さが本当に住み続けたいと思う所です。結婚前は柏市に住んでいて、今は大橋地区に住んでいます。外環が通った事により、都内にも千葉の下にも、行きやすくなり、464号ともつながるとの事で、大変満足しています。しかし、松戸市は商業施設が本当に少なすぎる…。住宅が主なので土地がないとはいえ、やっと出来たのがテラスモール。駅も狭く、汚さが目立ち、松戸市は、ほっと一息つける場所が本当に少なく残念です。駅前をもっと、もりあげて？おしゃれで買い物しやすいようにしてほしいし、21世紀の森も、もっと有効活用して、のんびり一人時間を充実できるような、本屋、カフェを置くなど素敵な空間が増える事を願っております。(女性、30~34歳、矢切)
- ・新松戸駅前再開発をはやく進めて下さい。反対されているのは分かりますが、早く便利にしてほしいという人の方が多数です。一刻も早く折り合いがつくことを望んでいます。(女性、35~39歳、馬橋)
- ・亀戸の駅前の商店街は、音楽が流れていてとても活気があるように感じますので、是非素敵な音楽を流して欲しいです。(女性、45~49歳、本庁)
- ・松戸駅や東松戸駅周辺をもっと発展させてほしい。大きい病院、銀行、商業施設など…。よろしくお願いします。(女性、45~49歳、東部)
- ・駅前のごみごみした感じ、夜は柄が悪いように思います。雰囲気の良い飲食店より「飲み屋」ばかりという印象。常にキャッチがうるつき、毎日駅前まで子供を迎えに行っていました。(女性、50~54歳、本庁)
- ・北松戸駅の駅ビル化。(女性、50~54歳、本庁)
- ・松戸駅周辺のショッピング環境をもっと充実したものにしてほしい。キテミテマツドの充実と駅のアトレの充実(早く駅ビルを新しいものにしてほしい)。(女性、50~54歳、常盤平)
- ・松戸市は、私が子供の頃は駅まわりが汚かったです。とてもきれいになったと思います。(女性、50~54歳、小金原)
- ・K I T E M I T E…に、魅力的なテナントが少ないと思います。ロピアはいいと思いますが、上階は虫喰い状態で、動線も良くない。出店してほしいテナントを市民からアンケートを取る等して調べた方がいいと思います。個人的には「成城石井」。アトレがもっと大きくなるといいと思います。(女性、55~59歳、本庁)
- ・松戸駅周辺が魅力ない。(きれいに整備はされてきたのではあるけれど)。テラスモールができたのは良かった。以上。(女性、55~59歳、常盤平)

- ・せっかく素敵な街なのに、駅前がごちゃごちゃしています。新しい駅ビルができて、その先が繋がらないと思います。(女性、60~64歳、本庁)
- ・ベビーカーで駅ビル(アトレ)の2階に行けるように改善してほしい。(女性、60~64歳、本庁)
- ・市庁舎より駅をもっときれいで便利にして下さい。西口は立派ですが、東口はきたなくて不便!せめてエスカレーターくらいつけてほしい!年よりや体の不自由な方には、あの階段はきつい!エレベーターも荷物用みたいできたない!他の地区から来た友達に笑われた!はずかしい!立派な市庁舎を造るより、住んでいる人が便利で利用しやすい施設を造るのに税金を使ってほしい!(女性、60~64歳、本庁)
- ・松戸駅に松戸の土産を買える売店があったらいいと思います。松戸のPRになると思います。(女性、70~74歳、小金原)
- ・住みよいまちだと思えます。よく松戸駅周辺に出かけますが、柏や北千住といった近くの大きな駅と比べ、集客が期待できる施設が少なく感じます。(男性、30~34歳、本庁)
- ・キテミテマツドも死んでいるし、何一つ楽しくない。駅周辺は汚く民度の低い人しかいないのも不満。特に五香駅の階段の表示は直してほしい。(男性、30~34歳、常盤平)
- ・毎日新松戸駅を利用していますが、赤い鳥居“あかりのボックス”がとても不快です。ネット上の評判も悪く、20年近く住民の苦言を無視し、さらには2021.4/28千葉日報にて市の担当者のコメントを読んだ際には愕然としました。駅前には韓国の方なのかいつも同じ女性が立っているのも不快です。朝必ず議員の方が拡声器を使って演説しているのも、一日の始まりの出鼻を挫かれているようで、本当にやめて欲しいです。松戸市は広いので、一概には言えませんが、どの駅も駅前の治安が悪いが、駅から離れば雰囲気の良い閑静な住宅街が広がっているような印象です。松戸駅や新松戸駅の治安改善にもう少し注力して頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い致します。(男性、35~39歳、小金原)
- ・六実駅の踏切の渋滞を改善してほしい。(男性、35~39歳、六実)
- ・駅周辺をもっと魅力のある場所にしてほしい。(男性、35~39歳、東部)
- ・松戸駅前にコスパの良い回転寿司屋さんが少ないのは不思議。キテミテマツドやイオン西口店がリニューアルしたようだが、魅力的ではない。センスがないと思う。全体的に。お店も何でもあるようで実際に行きたいお店や好きなお店はない。(男性、45~49歳、本庁)
- ・松戸の駅前が以前より寂しくなった気がします。小金宿と我孫子宿の間の村だった柏に駅前に限っては負けてしまいました。歴史を活かしたアピールが出来ればと思います。(男性、45~49歳、小金原)
- ・街づくりのあり方(駅周辺、パチンコ店の増加)。(男性、50~54歳、本庁)
- ・東口のラスサマが盛り上がる様に駅前からの動線、商店街など工夫をして欲しい(西口は松戸まつりで盛り上がるが東口はイマイチ)。東口にもエスカレーターが欲しい。東口にも弁当屋を誘致して欲しい。(男性、50~54歳、本庁)
- ・駅前の道路や商業施設を整理整頓してほしい。特に私鉄沿線。(男性、50~54歳、小金)
- ・松戸駅周辺にゴミが多く、汚い、特に西口。(男性、55~59歳、本庁)
- ・西口駅前メインの表玄関が、キャバクラビルなのはイメージが悪い。駅近にビルが出来ても、1年以上テナント入らない町(コロナのせいもあるが)。マッドシティと呼ばれないようにしないと駅からキテミテ側に改札あり、直結だと人の流れが良くなる(東口はあんなもんで十分)。キテミテ過ぎると何も無いのは、他地域から来た人「は?」。駅前5号越えても何も無いので、花火で初松戸の人「は?」。行ってみたいアピール、もっと必要。キテミタラマツドナニモノに思われる。人口の割に栄えてないですなあ。すぐやる課やマツキヨも松戸と思われてないですよ。矢切や野菊を東北あたりだと思われているので、もっとアピール。(男性、55~59歳、本庁)
- ・駅周辺を中心にバリアフリーを進めてほしい。松戸駅付近の歩道は狭く、凸凹も多く、歩き難い。(男性、55~59歳、本庁)
- ・中心地松戸駅周辺に魅力のある施設が少ないため、人通りが少なくなっている気がする。駅から歩いて行けるところに映画館がない。(男性、55~59歳、本庁)
- ・松戸駅周辺を是非再開発して、魅力ある街にして欲しいです。(男性、55~59歳、常盤平)
- ・各駅前等に大手のファーストフード、レストラン等の誘致をして欲しい。昔はもっとあったと思う。そういう街作りを今後進めていただきたい。(男性、60~64歳、常盤平)
- ・駅周辺の活性化(特に松戸駅)。(男性、60~64歳、小金)
- ・松戸駅周辺に、東京、埼玉、茨城からも人の流れが集まるような活気のある地区となるように開発を希望します。日本経済の問題やコロナ禍はありますが、何か文化的、商業的、教育的…な特徴が生まれるようなものを期待しています。(男性、70~74歳、本庁)
- ・柏市(の環境)、柏Station周辺のにぎわいからすると、松戸駅周辺は立ち遅れている感あり。都市開発の再構築を望む。(男性、70~74歳、六実)
- ・松戸駅周辺の開発の無さは致命的であろう。新松戸にしても何の魅力も無い殺風景な街に成り下がっている(これも快速停め、武蔵野線との相乗効果は狙えた筈)。今更金をかけてやる必要も無いが、“老人がそれなりに暮らせる街”で宜しいのでは?(男性、70~74歳、新松戸)

- ・街全体が垢抜けていない。松戸駅・新松戸駅及び駅の周辺の区画整理。(男性、70～74歳、新松戸)
- ・松戸駅周辺の整備。駅前のロータリーは西・東ともに狭過ぎる。長期的な観点でより広いロータリーにして欲しい。(男性、70～74歳、矢切)
- ・駅周辺の開発をもっと早期に進めてほしい。(男性、75～79歳、本庁)
- ・松戸駅西口広場(人工地盤)に5脚程度椅子を設置できないか。(男性、80歳以上、常盤平)
- ・北千住(江戸川)から松戸方面を見ると、伊勢丹界隈が見える。松戸の顔である。その顔が30年以上もすたれたままなのは何故だろう？(男性、80歳以上、小金原)
- ・税収入の少ない市としてそれなりに良くやっている。感謝するべきである。松戸市の駅前が他の市と比べて不便(買物等)いよる大きな店舗がない)。大きな駅ビルを希望する。発展を願っている(馬橋駅)。(男性、80歳以上、馬橋)
- ・楽しさのない駅周辺と商店街。(性別不明、70～74歳、本庁)
- ・新松戸東口方面の開発(区画整理)は絶対しないで下さい。(性別不明、年齢不明、小金)

## 2. 環境

### ① 公共空間の美化

- ・ムクドリ等の糞の悪臭、大群でとびまわっており、子どもも私も喘息があるので、どうかしてほしい。もう少し対策をしてほしい。(女性、35～39歳、新松戸)
- ・コロナになってから両親が健康の為に毎日ウォーキングをしています。富士川親水広場から流山運動免許センターあたりまでの富士川沿いのゴミ拾いをしている人がいるそうです(だいたい木曜日午前中)。最近では、有志が2人加わって3人の方がゴミ拾いをしているようです。誰にも知ってもらえないのはもったいないと思います。広報まつどで紹介してもらえたらいいのになと思います。(女性、45～49歳、小金)
- ・住民の美化の意識を高めることに努めてほしい。(女性、45～49歳、新松戸)
- ・現在、小金原5丁目に40年程住んでいますが、桜、緑が多く道路はよく整備され良い所と思っているのですが、1年前前、側溝にゴミを捨てる人が居て、とても困り、警察に相談して一ヶ月程で捨てられなくなりましたが、この間、市にお願いしましたが、予算がない、順番があるとのことで聞いて頂けませんでした。市会議員の住んでいらっしゃる場所にはきれいな道になっているのです。この一点だけが不満に思っています。(女性、75～79歳、小金原)
- ・町にごみが多すぎる。(女性、75～79歳、矢切)
- ・工業地帯の臭い。(男性、35～39歳、新松戸)
- ・道路にはタバコの吸い殻、ペットのフンが道路のあちこち。(男性、70～74歳、本庁)
- ・路上のポイ捨てが多い。(男性、70～74歳、本庁)
- ・町が古いから仕方ないけど、汚らしい町に思える。(性別不明、年齢不明、馬橋)

### ② 自然

- ・6号線から桜通りがあると思いますが、桜の木をむやみに切っているように見受けられます。切る必要がある部分を見定めて、根から絶つのではなく、枝を切って頂きたいです。あとは21世紀の森公園はルールが多いように感じます。以上です。いつも多くご対応頂きありがとうございます。今後もよろしくお願いします。(女性、20～24歳、馬橋)
- ・自然環境を死守してほしい。(女性、45～49歳、小金原)
- ・緑が多くて良いところですが、突然林が消えて建物が建つていたりビックリします。緑を残すようにしていただきたい。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・何年前には、梅の切り方にも(黄金城趾) 不満を感じた。切る時期、切り方、愛情は感じられなかった。切った年は咲かなかった。何十年も働き、松戸市に税金を払ったのに！(女性、80歳以上、新松戸)
- ・流山の鱈ヶ崎方面での開発で、自然、緑が無くなっているのを見ると、ますます開発はイヤです。(性別不明、年齢不明、小金)
- ・緑を増やすこと。(性別不明、年齢不明、新松戸)

### ③ 河川浄化

- ・坂川の支流に不法投棄が多い。(女性、30～34歳、小金)
- ・河川敷ですが、せっかくキレイに整備されているのに有効活用できていないと思います。市民や子供達が自然の中で楽しく過ごせるよう、公園やキャンプ場を作る等有効活用を検討して下さい。現在の河川敷はウォーキングなどしか活用方法はありません。(女性、35～39歳、本庁)



- ・馬橋、新松戸に近い坂川をきれいにして下さい。桜がきれいなのに、もったいないと思います。(女性、60～64歳、新松戸)
- ・川の水がいつも汚い。(女性、70～74歳、新松戸)
- ・河川の水質が気になります。(男性、35～39歳、新松戸)
- ・川が汚い(魚の死骸が浮いていたり、ゴミ、悪臭がひどい)。(男性、45～49歳、本庁)
- ・川の水質が悪いように思える。護岸されているのは分かるが、自然がこわされている様に思える。(男性、55～59歳、本庁)
- ・川が非常に汚い。もう少しきれいにしたい。(男性、70～74歳、本庁)
- ・川や緑地に塵芥を捨てる人が多く非常に困っている。(男性、70～74歳、本庁)

#### ④ 公害対策

- ・自粛生活後、飛行機の音がうるさくなるのが心配です。(女性、70～74歳、矢切)
- ・騒音に悩まされているため、何か対策を行ってほしい。外国人がバルコで数時間にわたり大声でしゃべり、音楽を流している。一日中、玄関や窓を開けて、夜には人を呼び宴会をしているため、物音や話し声の漏れがひどい。一日中、大音量で音楽を流しっぱなしにしている家がある。他にも奇声や大声で話し、歌っている人が多いため、自宅にいることが苦痛に感じる事が非常に多い。(男性、35～39歳、本庁)
- ・夜間、バイクの騒音がひどい。(男性、45～49歳、本庁)
- ・オートバイの音がうるさい。(男性、70～74歳、本庁)

#### ⑤ ごみ

- ・目の前にごみ場があるのに、遠回りした所のごみ場に行かなければならないのが不満です。地区のため仕方ないかもしれませんが、出来れば柔軟に対応して頂けると幸いです。松戸市はゴミの分別が細かいため、おすすめのごみ箱を紹介して欲しいです(省スペースタイプの)。(女性、25～29歳、本庁)
- ・ごみの仕分けが大変だったりします。細かすぎるのでは。(女性、35～39歳、本庁)
- ・木曜日の紙ゴミの日、多少縛ってなくても持って行ってください。残っていて大変です。少し厳しすぎませんか。(女性、40～44歳、常盤平)
- ・ゴミの回収の日数が多くありがたく思っています。(女性、45～49歳、本庁)
- ・ごみの分別をお年寄りや外国人が理解しているとはとても思えない。近くの東京都23区内は分別しなくてもいいのに…。松戸市も東京都の様な焼却炉を作る計画をして欲しい。募金箱や、寄付金に税金を少しずつ入れて市民に聞いて欲しい。分別ができないと松戸市に住めませんよ。(女性、45～49歳、新松戸)
- ・外国の方にもわかりやすいゴミの分別の工夫の取組み不足。(女性、50～54歳、本庁)
- ・クリーンセンターの粗大ゴミ担当の人(持ちこんだ時)態度が大きく感じ悪かった。(女性、50～54歳、常盤平)
- ・ゴミ袋(プラスチックゴミ等)などを入れる袋も販売してほしい。市販よりも安く売ってもらえると助かります。(女性、50～54歳、新松戸)
- ・ゴミ処理が複雑。高齢になったら対応出来ない。20年以上住んでも松戸が好きになれません。残念です。(女性、55～59歳、本庁)
- ・ゴミの回収の件です。外国の方のゴミの出し方のマナーが悪く、回収して頂けない時がありました。どこに相談しているのかわからず困っています。樹木のゴミはいつまで週一ですか？生ゴミと一緒に出せると良いのですが…検討をお願いします。(女性、55～59歳、東部)
- ・ゴミの収集・とてもよくできていて、収集をされる方、毎日走って収集されて、とてもありがたいです。(女性、70～74歳、本庁)
- ・ゴミの分別がむずかしく、きびしい(パソコンが捨てられない)。(女性、70～74歳、矢切)
- ・ゴミにうるさすぎる。ペットボトルを出す場所がバラバラ。ゴミの出す場所によって、ネットがあつたりなかったり。(男性、20～24歳、本庁)
- ・ペットボトルを袋に入れて回収できるようにしてほしいです。(男性、25～29歳、小金)
- ・ゴミ処理施設を充実させて欲しい(他の区域に比べて分別が多すぎる)。(男性、45～49歳、本庁)
- ・ゴミの回収の業者が乱暴な感じがしています。特にダンボールなどは、少しでもヒモで結んでいないと回収してもらえません。多少配慮してほしいです！(男性、55～59歳、小金)
- ・資源ゴミの雑誌、ダンボールのまとめ方が分かり難い。回収されない理由が分かる様にしてほしい。(男性、55～59歳、六実)



- ・ゴミ回収に対する不満。今までダンボールの回収時、2～3枚まとめるのに紙テープでとめるだけでも回収していたのに、突然回収しなくなった。たった1枚でもひもで十字に結んで出さないといけないという、理解出来ない。明らかに、その曜日の回収であり、紙テープでとめているというだけで回収しない。あちこちにゴミステーションで取り残しがみられる。町をきれいにするのが大切ではないのか？回収業者が回収しにくいからか？市民の方を向いていないのはおかしいし、紐もビニール製だから紙テープがダメの意味がわからない。このまま続けるのであれば、新聞に投書し全国民の意見を聞きたいと思う。BSTBSの噂の現場の方が良いか…？(男性、60～64歳、常盤平)
- ・現在、週4回(1回2時間)マンションの清掃、ゴミの分別等行なっていますが、私が仕事しているマンションは元より、仕事に行く途中のマンションのゴミ置場や一般のゴミ置場において、分別をしっかりとっていない所が多数見受けられます。分別をちゃんとやっている人が馬鹿らしいと感じないように、市が厳しく指導、処分して下さい。(男性、70～74歳、本庁)
- ・粗大ゴミを回収に来るまで、時間がかかり過ぎる(≒1ヶ月)。(男性、70～74歳、小金)
- ・松戸市はゴミの捨て方が難しいです。気が遠くなる程細かく仕分けしなくてはなりません。環境のためにある程度は協力しますが、市がやるべきことをやらされているのでは？と思うことがあります。(男性、75～79歳、本庁)
- ・他市に比べゴミの収集区分けが厳しすぎると思う。(男性、75～79歳、常盤平)
- ・ゴミの処理については充実していると思うが、いつ、何を、どう処理したらよいか、周知徹底してほしい。(男性、80歳以上、小金原)
- ・ゴミ置場に不満です。(性別不明、年齢不明、小金原)
- ・指定の可燃用のごみ袋をなくしてほしい。以前のように中身が見えれば、何の袋でもOKにしてほしい。指定の袋が、もったいなく感じるので。(性別不明、年齢不明、馬橋)

#### ⑥ リサイクル

- ・「リサイクルするプラスチック」ごみが週に1回しか出せない事に不満を感じています。燃やせるごみが週に3回出せるのに対して少ないです。すぐに溢れて、庭に「リサイクルするプラスチック」ごみを置いている状態です。「リサイクルするプラスチック」ごみを、せめて週に2回出せるようにして頂きたい事が私の要望です。(周りの家もプラスチックごみを庭に一度置いているようです。(多いので)45Lのゴミ箱ですが週1回だとやはりキツイです)。(女性、25～29歳、本庁)
- ・ゴミ回収ですが、「リサイクルできるプラスチックゴミの日」の回収日を週2回にして欲しい。(女性、40～44歳、常盤平)

### 3. 産業・商業

- ・デパートなどの商業施設を増やしてほしいです。(女性、20～24歳、本庁)
- ・お店などの充実。コンビニと薬局を(しかも近くに)何個も作るなら、もっと違う所にお金をかけてほしい。(女性、25～29歳、東部)
- ・テナントを誘致しにくい(規制が柏市・流山市に比べて厳しい)。(女性、30～34歳、小金)
- ・文章が得意ではないので、不満な点・要望を箇条書きで記載させていただきます。駅周辺にスーパーやアトレ、プラレはあるが、買い物できる大きな商業施設が無い為、都内へ車で買い出しに行くので、不便に感じている。(女性、35～39歳、本庁)
- ・ISETANがなくなって、これといったショッピングモールが馮丘にないので、これを充実させてほしい。(女性、35～39歳、本庁)
- ・ドンキホーテの様なお店があったら嬉しいです。キテミテマツドにもっとお店が出来てほしい。(女性、35～39歳、矢切)
- ・朝市を実行してもらいたいです。(女性、45～49歳、本庁)
- ・子育てしながら(特に小学校低学年)、東京への通勤、きつすぎます。松戸にもっと企業が増えれば…。企業誘致もありがたいです。(女性、45～49歳、常盤平)
- ・松戸市にも是非アウトレットを作りたいです。(女性、45～49歳、小金)
- ・伊勢丹百貨店が無くなってしまったのは残念でした。(女性、50～54歳、常盤平)
- ・産地直送の道の駅等が近くにあるとうれしい。ショッピングセンターが近くにあるとうれしい。(女性、50～54歳、常盤平)
- ・松戸駅周辺に若い人むけのショッピングモールなどがあれば、都内に行くことなく、松戸で楽しむことができるのではないかと。(女性、50～54歳、小金)
- ・家のまわりに店がない。(女性、50～54歳、小金)

- ・常盤平から市役所以外で松戸に行きたい場所がないです。印西へ行ってしまいます。(女性、50～54歳、小金原)
- ・百貨店(贈答品)を購入できる所があれば良い。(女性、55～59歳、小金)
- ・ショッピングセンターではなく、百貨店の再誘致を検討して下さい!(女性、55～59歳、馬橋)
- ・伊勢丹閉店以来、松戸の街の魅力がなくなってきて、コロナによる閉店もあって先行きが気がかりです。松戸が、街歩きが楽しい街となってゆきますよう期待を込めて応援しています。(女性、60～64歳、本庁)
- ・千葉県内の中にこんなにパチンコ屋さんが多いなんてガッカリしました。減少傾向にあるといっても、21兆円程度の業種らしいのですが、駅前にパチンコ屋って目立ちすぎです。松戸市は市の健全化についてはどういう立場でしょうか。コロナ禍の中で営業続行していた会社に対して、行政としてはどのような指導がなされたのでしょうか。心配です。(女性、65～69歳、東部)
- ・年配者が利用できる食事できる店や、衣料品店がないのが残念です。(女性、70～74歳、本庁)
- ・松戸駅近くには、魅力的な商業施設がなく、市内とはいえ、車がないと不便。(女性、70～74歳、矢切)
- ・松戸市に60年住んでいます。松戸大好きです。少し不満な所は、伊勢丹が無くなった事です。松戸迄電車で10分位だったので、何かにつけては買物、食事に行っていました。無くなってからは、松戸のヨーカ堂に行ってますが、階数が減りました。後、残り少ない人生ですが、主人共々松戸市に御世話になります。どうぞよろしく。(女性、75～79歳、常盤平)
- ・市設ではなく私設であり、古くからの伊勢丹が撤退したのは全く心から残念に思っています。市の力でどうにもならなかったのですか?歴史だったと思います。ここに住んだのもデパートのある市だからだったのに、腹立たしく思っている人もたくさんいます。(女性、75～79歳、小金)
- ・馬橋駅にマクドナルドを作して下さい。馬橋はそんなに治安は悪くないです。新松戸にあり、北松戸にもあるのに、馬橋だけないのはいかがでしょうかと思います。以上。(男性、20～24歳、新松戸)
- ・大型の商業施設を増やしてほしいです。映画館をつくってほしいです。(男性、25～29歳、本庁)
- ・イトーヨーカドー5Fと聖徳大学の間にある廃墟の再開発を強く希望します。(男性、30～34歳、矢切)
- ・居住区の雰囲気はとても良く、テラスモール松戸が出来た事で、生活の質もとても高くなりました。懸念されていたであろう渋滞トラブルも、6号線の交差点の車線を増やし対応して頂けた事には、本当に助かりました。(男性、35～39歳、小金原)
- ・松戸駅に映画館がない。デパートがない。(男性、45～49歳、本庁)
- ・八柱、常盤平地区にイタリアンレストランが多くあるので、イタリアンの街みたいな街おこしを考えて欲しいです。(男性、45～49歳、常盤平)
- ・デパートがなくなったのは痛い。普通かそれ以下のものはどこでも購入できるが、普通より良いモノや食材を購入できるところがとても少ない。(男性、55～59歳、本庁)
- ・新松戸の駅近くの農地は、なるべく広く残してほしい。(男性、55～59歳、六実)
- ・高齢化が進み、福祉に対するコストがかかりすぎる事は理解できるが、松戸にはまともな買物(奢侈品等ではない)の出来る所も無く、柏市内もしくは都内迄行かねば用が足せない。最近の流山市を見てもわかるように、若い世代が住みつく様な魅力的な街を造る努力が足りない。(男性、70～74歳、新松戸)
- ・娯楽施設が無い(映画館・ポーリング場等)。商店の業種が偏り過ぎている。(居酒屋、パチンコ店、美容院、ラーメン店等)。百貨店がほしい。(男性、70～74歳、新松戸)
- ・デパートが全くなり淋しい限り。(男性、75～79歳、本庁)
- ・商業施設の拡充(柏などに比して貧しすぎる)。(性別不明、65～69歳、常盤平)

## 4. 保健医療福祉

### (1) 保健医療

#### ① 保健・医療

- ・東松戸・秋山駅周辺に眼科をつくってほしいです。(女性、20～24歳、東部)
- ・不妊治療の助成金に人工授精も含めていただけたら嬉しいです。(女性、30～34歳、本庁)
- ・松戸市はコロナの給付金対応も、すごく迅速だったし、コロナワクチン関連も対応が早く、最近特に松戸市に住んでよかったなと思う機会が増えました。(女性、30～34歳、矢切)
- ・医療は力を入れているそうで、他の市より病院の数や対応も比較的良好な印象です。(女性、35～39歳、本庁)
- ・妊婦健診の費用を公費で全額無料にさせていただくことは不可能なのでしょうか?ある程度費用を負担していただいているので、おこがましいのは重々承知しております。ただ、第二子を妊娠して、久しぶりに産婦人科に行って、費用負担に改めて悲しくなりました。(女性、35～39歳、小金)

- ・基本的には好きな街だし、背のびしなくてよい街（収入的な面でも）だし、コロナ禍でのワクチン対応も早いように感じた。（女性、35～39歳、馬橋）
- ・コロナワクチンの対応がとても親切で、ありがたかった。（女性、40～44歳、常盤平）
- ・子供の医療費の助成が中学生までですが、高校生までの自治体もあるので、松戸もそうなってくれるとありがたいです。（女性、40～44歳、馬橋）
- ・今回コロナの助成金やワクチン接種券の対応の早さには大変助けられました。（女性、45～49歳、本庁）
- ・コロナワクチンを受診できる医療機関がもう少しほしい。見てみたら、遠方とかかかりつけ医が載ってませんでした。（女性、45～49歳、常盤平）
- ・コロナ対策のワクチン接種が他県と比べてとてもスムーズで良いと思います。（女性、45～49歳、小金）
- ・コロナのワクチン接種に関して、松戸に住んでいて良かったと思いました。近隣の自治体よりもとても早く接種ができています。私自身はまだ接種していませんが、多くの方が接種すれば、感染者が減っていくので、1人でも多くの方が接種できたらと思います。松戸市のために働いて下さってる職員の皆さん、ありがとうございます。（女性、50～54歳、本庁）
- ・早くワクチンを打てるようにしてほしい。近隣の市に比べて対応は早いと思うが、希望する多くの人にワクチン接種を望む。（女性、50～54歳、常盤平）
- ・コロナウイルスの接種券が届きましたが、会場が明記しておらず、スマホなど使用しないといけないのはどうかと思います。体調もあるので、交通機関間で行けるようにして頂きたいです。（女性、50～54歳、小金原）
- ・松戸総合医療センターが遠い。駅からは歩けず、バスの本数が少ない。松戸市立病院があった時は半日ですんだ事が、新しくなってから交通も不便で、1日会社を休まなければならない。会社を休んで医療センターに検査結果を聞きに行っても、長く待ったり、30分ですぐ終わったりと、1日休んで損をした気分になる。交通が不便でバスも不便で、行くのにも負担が大きくなった。（女性、50～54歳、矢切）
- ・コロナ予防接種は、松戸市の対応はかなりはやかたように思います。感謝しています。9月以降の接種可能日も早く教えてほしいです。（女性、55～59歳、本庁）
- ・市立病院について。場所が遠くなったので、行くことが出来ません。（女性、55～59歳、本庁）
- ・昨年から今月に至るまで、コロナ禍において、不安を抱えながらの毎日ですが、私たちの知らない見えていない部分で、いろいろと行政が働いて下さって住民をお守り下さり感謝申し上げます。今後共、住民の安全、安心の為、よろしくお願い致します。（女性、55～59歳、本庁）
- ・コロナの接種券が他の市より送付が早くてびっくりしました。コロナが終息してさくらまつりが開催できるといいですね。（女性、55～59歳、常盤平）
- ・コロナ対策、ワクチン接種等迅速な対応で感謝しております。（女性、60～64歳、本庁）
- ・松戸市立病院ですが、夜間などかかりつけでないと診てくれません。他の病院は診てくれるのですが…できたら、診て欲しいです（松戸市民であれば）。（女性、60～64歳、小金）
- ・新型コロナウイルスの接種券が他の市町村より早くとどいているように思うので、それはとってもありがたくよかったです。（女性、60～64歳、六実）
- ・コロナワクチン接種が他市よりも迅速に出来た事に感謝致します。（女性、60～64歳、東部）
- ・コロナワクチン接種は他縣市より非常に早く速やかな行政を拝見して誇りに思いました。とてもしっかりやってらっしゃると思いました。どうか助けてください！（女性、65～69歳、本庁）
- ・今回のコロナについても、松戸市だけではないと思いますが、他市ではしっかり準備はしてから接種券配布していましたが、松戸市では皆さん高齢者はインターネットや申し込みができず大変な思いをしていました。かと思うと、議員さんに頼んで早く接種したりと、不公平さかいまみれました。遅くともいいので、高齢者はかかりつけ医でできる体制が必要だと思います。交通の便も大変です。今後色々大変と思いますが、よろしくお願い致します。広報まつど大変役立っています。（女性、65～69歳、常盤平）
- ・この度のワクチン接種の対応（はじめに1回目と2回目が予約でき、かかりつけ医であったこと）について、他市や子ども達の住まいでの対応より、とてもスムーズで、非常に楽に終えることができました。松戸に来て3年ですが、不自由なく暮らしています。（女性、70～74歳、本庁）
- ・今回のコロナの申し込みも大変でした。近くに子供のいない人はどうしたら良いのか、ますます高齢者は生きづらい日々です。（女性、70～74歳、常盤平）
- ・コロナワクチン接種、私は幸いインターネットで、近所で早々にできました。しかし、近所の方はバス、電車を乗り継ぎ、遠く迄行っていました。今後は、高齢者のことを考えていただきたい。（女性、70～74歳、小金原）
- ・東松戸病院の近くです。便利に利用し、大変感謝してます。先日、「この先当病院の閉鎖」とのニュース！とても残念です。従ってバスも廃止との事でした。何とかならないでしょうか。近辺の方達も同じです。（女性、70～74歳、東部）
- ・ワクチン、とても良かったと思います。感謝しております。（女性、75～79歳、本庁）

- ・このたびのコロナ接種について広報が足りませんでした。(女性、75～79歳、小金)
- ・コロナの件、運動公園にて二回することが出来、皆様テキパキとスムーズで、とても安心出来ました。ありがとうございます。(女性、75～79歳、小金原)
- ・私の家は市立病院に近いので、市立病院の整形外科で診てもらいたいのですが紹介状がないと診てもらえないと言うので5000円は払いますからと言ってもだめと言います。市民のための病院がこれではまったく困ります。(女性、80歳以上、本庁)
- ・コロナワクチンは危険なワクチンのはずが、何故うたせる！イベルメクチン、アビガンを承認すればコロナは収まるはずだ！(女性、80歳以上、常盤平)
- ・今回のコロナウイルス感染症のワクチン接種に関しては、松戸市では迅速に対応していただき感謝しております。(女性、80歳以上、小金原)
- ・コロナワクチンに関して、電話番号に50回以上TELしても通じず、関連事業所にTELしたが、あまりよい応答ではなかった。野田市の娘がパソコンで取ってくれたが、高齢者には不親切。不手際限りなく、腹が立ち、松戸市には不信感を感じた。(女性、80歳以上、新松戸)
- ・今回のワクチン接種はスムーズに行われ、感謝してます。(女性、80歳以上、新松戸)
- ・ワクチン接種が早くて良かった。(女性、80歳以上、矢切)
- ・コロナのワクチン対応、松戸市はとてもスムーズでした。住民として、行政の方々に感謝します。お忙しい事と存じますが、今後もよろしく、又ご自愛下さい。(男性、35～39歳、矢切)
- ・高校生までの医療費控除。(男性、40～44歳、六実)
- ・行きたいと思える病院が少ない。(男性、45～49歳、本庁)
- ・コロナワクチン対応は県内他市より、よくやって頂いていると思う。(男性、55～59歳、本庁)
- ・松戸市立病院の市民とそれ以外の方々の価格差が少ないと思う。市民からの税金が使われているのだから、「明らかな差」があっても然りではないでしょうか。また、その差は「市民になって何年か」でもあっても良いと思います。このように「差」を付けるのは外国ではあたり前のように行われています。「皆平等」という考え方は良いと思いますが、その平等のために不平等と感じる者もいるのも事実です。(男性、55～59歳、常盤平)
- ・松戸市の病院はどうしてへんびな所にあるのでしょうか。将来心配です。駅前のにぎわいもなく、寂しいかぎりです。どうにかならぬものでしょうか。(男性、55～59歳、東部)
- ・コロナのワクチンが早くみんなに行きわたるようにガンバッテいますネ！(男性、60～64歳、常盤平)
- ・今回のワクチン接種での一連の流れについて、当初はあまりにお粗末でした。問い合わせの電話は全く繋がらず、メールでの問い合わせは返信が届くのに3週間、しかも内容は「広報誌やHPで発表しますので、ご確認下さい」との事(何も決まっていないという事です)。この内容に何故3週間も掛かるのか疑問！「忙しい」をいい訳にせず、仕事を効率化し、先読みして働いて下さい。市役所関係の方々の生活は、税金で成り立っている事を自覚して欲しい！(男性、60～64歳、馬橋)
- ・近年のコロナ禍に対するワクチン接種については、順調な対応をされていると感じています。これからも宜しくお願いいたします。(男性、65～69歳、常盤平)
- ・ワクチン接種券3回以上TELで申請すれど、7/3(土)までに届かず！2週間で届けるとオペレーターが言っているが、届かず。(男性、65～69歳、常盤平)
- ・新型コロナワクチンについて、迅速な対応に満足しました。(男性、65～69歳、新松戸)
- ・新型コロナのワクチン接種の段取りは、他の市町村の情報と比べて良く出来ていたと思います(早かった)。「すぐやる課」の伝統が生きていたのかと喜ばしく思いました。(男性、70～74歳、本庁)
- ・すぐやる課の設置をはじめ、住民の立場に立った行政をやっていただき、市民サービスを実感しています！今回もコロナワクチンの接種体制を早急に立ち上げ実施していることが良く分かり、感謝しております。今後共、住民の立場に立って考えた施策を実施していただきます様、よろしくお願い致します。(男性、75～79歳、六実)
- ・市内の新型コロナ詳細情報をもっと広報紙で報じてもらいたい。ワクチン接種施行は1週間感謝しています(65才以上者)。(男性、80歳以上、常盤平)

## ② 医療・救急

- ・いつもご苦勞様です。コロナ感染対策などに関して、日々大変なお仕事かと思えます。ありがとうございます。高齢の父と同居しているため、医療に関して時々思うことがあります。市立病院の先生の中に、“そんなに嫌なら先生やめれば？”と言いたくなるようなひどい態度の先生が何人もいます。救急の先生のやる気のなさ、適当度合いもなんと残念です。市の方でも現状を把握していただけないのでしょうか。何卒よろしくお願い致します。(女性、35～39歳、六実)

## (2) 福祉

### ① 福祉全般

- ・松戸市は子育てのしやすさで言えば、どこの市よりも充実していると思います。ただそこにスポットを当てすぎていて、そこに該当しない人への対策はいまいちだと思えます。市民税を払っている分、全ての人が喜ぶようなものを、もっと住みやすい町づくりをしてほしい！1人親の支援をしているのなら独り身の方（特に女性は男性より収入が低い）の住宅フォローや支援。（女性、25～29歳、東部）
- ・生活保護受給者に対して、その後の再調査などをきちんとしてほしい。許可したらしっばなしという状況ではないか？松戸に行けば生活保護が受けられると都内より移ってくるというのはどういうものか？ほんとうに必要な人が受給するのは全然かまわないが、はたして必要か？という人も多いのではないか？難しいとは思いますが、みんなの税金。ていねいな審査をお願いしたい。（女性、55～59歳、本庁）
- ・支援・助成金の迅速化。住居確保、給付金等の支給時期が、かなり遅いと聞きます。困窮している方の為にも、申請から10日以内での支給を目指していただきたい。（男性、45～49歳、東部）
- ・福祉系の大学がある割には、福祉についてあまり松戸らしさを感じる政策がないように思います。形だけでなく、実のある行政と研究とのコラボですみやすい松戸を実感してみたいと思います。（男性、55～59歳、常盤平）
- ・松戸市独自の持続化給付金が無い事が不満です。（男性、60～64歳、馬橋）
- ・働いていながら生活保護をもらっている人がたくさんいます。パチンコしたり、競輪したり、アルバイトしたりしてます。もうすこし調べてから支給してはいいかがですか。働ける人は公園の掃除など義務付けては？（男性、75～79歳、新松戸）

### ② 障害者

- ・流山市のように障害者への給与金を支給してほしい。健常者に比べて病院代がかさんだり、給与が低かったりすることが多いので、公的な支援をしてほしい。（女性、25～29歳、常盤平）
- ・私が知らないだけだと思いますが、障がい者向けの福祉サービスをもっと充実してくれればいいなと思います。補聴器の対応器具をもっと増やして欲しい。（耳穴タイプとか特に。）耳穴タイプは普通に買えば10～100万します。30～60万自己負担で買います。最新の補聴器はとても進化していて、猶更高くなっているので、申請すれば補装具の対応器具がないなら何割戻ってくるとか、そういうサービスがあればな…と。障がい者のわがままですみません。（女性、30～34歳、常盤平）
- ・今年小学4年生の次男が知的障害のある自閉症スペクトラムです。診断が出るまで、色々な医師に受診拒否をされ、大変でした。耳鼻科は発達センター内になく、診てもらえる場所をみつけるのが一苦労でした。発達センターへ通う子でも、必ず診てくれる各種病院があると良いな、と思います。発達センター、市役所の福祉課の方、たくさんの方々の協力があって、子育て出来ていること感謝しています。私1人だったら、どうなっていたか。本当にありがとうございます。（女性、45～49歳、本庁）
- ・以前は病気により福祉サービスを利用していたが、福祉サービス課に伺っても、パンフを渡されるだけで何の相談にも乗っていただけない。また利用している福祉サービスのことで相談（苦情）すると、私どもには関係ないので、の一点ばり。補助金だしているのだからきちんと審査、調査するのは市民の安心安全の為に大事なことと思いますが、まったくの事なかれ主義。ただ手帳等の申請受付だけならだれでも出来ますよ！（男性、50～54歳、新松戸）

### ③ 高齢者

- ・高齢者も学校のように集う場を提供して欲しい。（女性、50～54歳、本庁）
- ・市だけの事ではないのですが、高齢者の運転、変な横断、自転車等の交通マナーや病院での声を荒らげるなど、若者より劣っているなあと思います。わがままというか。あんな年寄りにはなりたくない、年を取りたくないという思いがあります。個人的なことなのでしょうが…。（女性、50～54歳、小金原）
- ・介護度の見直し（特養になかなか入れない事など）。（女性、55～59歳、常盤平）
- ・高齢化が進み「買い物にもいけない」という話を最近よく耳にします。コロナ禍で増々家に引きこもっている人も多いとの事！コミュバスを走らせるだけでは解決できないと思います。移動販売車を活用し、買い物難民を助けている自治体の映像を見ました（以前、TVで）。移動販売車を考えた人は「自分の両親を見て、何か出来ないかと思ひ始めた」と、その時話していました。松戸市のスローガンを市民のために！（女性、65～69歳、常盤平）
- ・市の中心部や人口集中地域では、健康に関するイベントが行なわれているようだが、この地域ではほとんど無いように思う。60才以上でも参加でき、長く続けられるような活動があると良いと思う。安い費用でできることも必要かと…。若い頃から続けられるととっても良いと思う。単発的なものでは、健康の保持・増進は望めない。（女性、65～69歳、小金）
- ・高齢者が運動したり、談話したり、楽しい活動ができる場所の案内をもっとわかりやすく教えてほしい。あまりに身近な場所がない状況かも。遠出が出来なくなっている年代、もっと配慮してほしい。（女性、70～74歳、本庁）

- ・高齢により、そろそろ運転免許証を返納しようと思うが、返納した後にその代替となるバス・タクシーの使用券等の配布をして頂くと、とても良いと思います（他の都道府県では実施しているところ有）。（女性、70～74歳、六美）
- ・高齢者の医者に行く時のタクシー代も年に10回分を無料券で配ってほしい。（女性、75～79歳、矢切）
- ・近年は年寄りが多く、松戸市の財政も大変な事と日頃思っております。（女性、80歳以上、常盤平）
- ・介護認定を受けていない比較的健康(?)な高齢者にも、高額な税金のなんらかの対価の提供を考えていただきたい。（女性、80歳以上、小金原）
- ・地域包括センターのお世話になり、親切にして頂き助かってます。（女性、80歳以上、新松戸）
- ・東京都並とは言いませんが、高齢者への公共交通機関への支援があると助かります。外出して気分がまぎれる事もあります。（男性、50～54歳、本庁）
- ・少子高齢化対策をお願いしたい。特に高齢者にやさしい街づくりをお願いします。（男性、55～59歳、常盤平）
- ・母の介護に当たっては、行政の支援が本当に有難かったです。今後とも良質な行政サービスの充実に努めて下さい。（男性、65～69歳、常盤平）
- ・沢山有り過ぎる介護だ。子供が近くにいる建売のため、年寄りを大事にして下さい。自分で己の戦いをしている己に勝つ…。（男性、80歳以上、常盤平）
- ・老人施設入所者の行動は、もっと自由であってほしい（老化の程度にもよるが…）。（男性、80歳以上、小金原）
- ・我々高齢者に対する情報少ない。もっと情報量を増やして下さい。（男性、80歳以上、矢切）
- ・介護を受ける時の条件が厳しい。例えば、認知症の方と話をする時、本人は何でも出来ると話しますが、実際はほとんど何も出来ないのに、認知症の方の話を信じる。（お風呂も1人で入れないのに）よく見極めて下さい。（性別不明、年齢不明、本庁）

#### ④ 子育て

- ・松戸市内で保育園の事ですが、小規模保育園は数が多いと感じるが、大きい保育園は少ないなあ…と感じます。（女性、20～24歳、小金）
- ・保育所、保育園、こども園、幼稚園、障害児保育施設（放課後等デイサービスや児童発達支援など）が多いが、保育士として働く上で休みの取得困難や給与の低さ、人員が少ないことによって長期で働くことが難しい。働く窓口は広いが、常に人員が不足することによって生じる問題が多く（産休が取りづらい雰囲気、休めない、残業や仕事量が多い）、保育士としての仕事が好きでも、そういった問題のせいで辞める人、辞めざるを得ない人が多いと感じる。保育士の給与を増やすなど対策してほしい。（女性、25～29歳、常盤平）
- ・松戸市は住みやすく、勤務地である都内へのアクセスも良いため、今後も住み続けたいと思っています。私は今、同性のパートナーと暮らしており、来年パートナーシップを結び再来年に出産や住宅購入を考えています。その中で、是非「ファミリーシヨップ制度」など、同性パートナーを持つ市民がより暮らしやすく、子育てをできる制度を作っていたらと幸いです。この度はアンケート調査に参加させていただき、ありがとうございました。是非、ご検討よろしくをお願いします。（女性、25～29歳、常盤平）
- ・障害児保育が可能な園を増やして欲しい。障害児だから保育園に入れないということはないが、知識のない先生が多く、子供も先生も困っている印象があります。知識のある先生を増やして（助成などして）欲しい。（女性、25～29歳、小金）
- ・もっと子供に対する保障や手当、出産費用や出産のための受診のお金をなんとかしてほしい。（女性、25～29歳、東部）
- ・子供が小さく、一緒にスーパーや銀行などに行く（生活に必要なことをする）のが大変です。保育園に預けているが、仕事以外の日は見てもらえない。民間で預ける施設はあるが、そこへの送り迎え、利用費が負担になるので利用しづらいです。義母は市内に住んでいるが、仕事しているし、預けに行く交通手段も乏しいので、仕事以外でも保育園で子供を預けられると、自分の体力的にも精神的にも金銭的にも助かります。（女性、30～34歳、本庁）
- ・市立保育所で、子どもが危害を与えた際、被害を受けた子の親に話はあるが、加害者の親に話されない方針だと聞いた。加害者の親にも伝えるべきだと考えます。（女性、30～34歳、本庁）
- ・松戸市子ども応援事業「図書カード」を配布して頂き、当時とても助かりました。5000円分あったので対象外の下の子（2歳）の分は、上の子が半分を買おうと言ってくれたので、姉妹と一緒に読める本を買えました。子育て広場も近くにありキレイかつスタッフの方々も親切で、子育てするなかでとても助かることが多かったです。（女性、30～34歳、常盤平）
- ・昨年、子供の為に図書カードが支給されましたが、対象が3才～18才でしたので、3才になったばかりの息子にはもらえませんでした。0才～3才に子供も外に出られず大変なのに、支給してもらえなかった事がとても残念です。又、電動付自転車の支援についても、子供が2人の家族のみなのも、なんだか不公平な気がしました。子供2人であろうと1人であろうと支援してもらえると良いと思いましたので、これからもっと考慮してもらえると子育てがもっとしやすい町になるので、よろしく願い致します。（女性、30～34歳、六美）

- ・最近、電動自転車の補助金を申請させてもらい、こうした制度の充実も子育て世代の私たちにはとても有り難いです。これからも子育てしやすい街づくりに期待しています。(女性、30~34歳、東部)
- ・フルタイム勤務でないと学童に入所しづらいと人づてに聞いて心配しています。松戸市HPを見ても、保育所の待機情報と比べて情報が少なく、状況がわかりませんでした。保育所の入所(小規模保育施設から退所後に行き先がなくなる可能性があり)をあきらめて私立幼稚園に通わせて仕事をしているので、切実な問題です。数年後、また子どもの預け先に右往左往するのかもしれないと思うと不安です。わかりやすい情報の提示と可能なかぎりの待機児童の解消をお願いしたいです。(女性、35~39歳、本庁)
- ・保育園(0才から就学前まで預けられる規模のもの)を増やすか、小規模から保育園への切替がもっと苦労しないで済むようにしてほしい。そもそも保育園の数が圧倒的に足りていない。待機児童0(ゼロ)をうたうなら、4月を待たなくても希望した時すぐに保育園に入れることができるように、もっと増やしてほしい。私は結局、認可外の保育園に入れることにしましたが、許可保育園が通れば、もちろんそちらに入れるつもりでした。泣く泣く許可外に入れる人たちを含めての待機児童0(ゼロ)ということを理解してほしいです。(女性、35~39歳、本庁)
- ・就学前の子どもがいます。先日、保育園、幼稚園の選択や予約をとって保育課、幼稚課に相談に行きましたが、最終的には各園に相談して下さいと言われました。仕方ないのかもしれませんが、もう少し園の情報がわかるようにして欲しいと思いました。また都内に通勤していると、時短勤務でも園や送迎ステーションの終了時間に迎えに行くのが間に合いません。私は3歳のタイミングで時短でなくなるといわれ、フルタイムに戻ると保育園に迎えに行くことができず、転職を余儀なくされています。松戸で子育てするに、もう少し働きやすい、預けやすい状況を作っていただけたらいいなど望んでいます。より松戸市がよい町になれるよう、私たちも協力していきたいです。これからもよろしく願います。(女性、35~39歳、本庁)
- ・子供が生まれベビーカーで行動するようになり、初めてとても段差が多い町だなと感じた。松戸駅も段が多く、階段しかないビルもあり(モスバーガーの建物)、飲食をあきらめたことがある。駅からイトーヨーカドーに行くにも段があり、遠まわりする必要がある。授乳室を探すのも大変だった。公園はたくさんあるが、商業施設へ行くのが不便。テラスモールへは有料の市バス(駅からは)、21世紀の森も徒歩か市バス、松戸駅は1カ所に集まっていないので、雨の日は行きたくない。待機児童がゼロでも「親子で遊ぶ」というところが少ない。(女性、35~39歳、常盤平)
- ・いつもおやこde広場やほっとる一むを利用して、大変助かっております。スタッフの方々が親切で、特に北小金の桜井さんにお世話になってます。予約制じゃなければ、もっと利用しやすいので、前向きに検討していただきたいです。(女性、35~39歳、小金)
- ・2020年に中3以下(?)の子に配られた図書カードはありがたかった。コロナの影響で大変な思いをしている人々に寄り添っているかを知りえないが、弱い者に優しい街であることに期待します。(女性、35~39歳、馬橋)
- ・保育園の待機児童ゼロとうたっていますが、半年待機しました。子育てのしやすさを売りにするのは、ちょっとどうかな、と思ってしまいます。(女性、35~39歳、馬橋)
- ・こども発達センターの予約がなかなかとれない。小児科、OT、ST…需要に年々多くなっているハズなのに、市内1ヶ所のみで対応しているのは限界があるのでは?もう1ヶ所位、便がよい所でセンターを設けてほしい。こどもによっては電車で発達センターまで行くことがとても大変な状況もあり、毎回タクシーだとお金の面でも負担が大きくなる。シャトルバスの運行も検討していただきたい。(女性、35~39歳、新松戸)
- ・学童にもう少し広めの場所を提供して欲しい。コロナの下、人数に対して狭すぎる。(女性、40~44歳、常盤平)
- ・我が家には幼稚園児がいますが、用事があれば預かり保育を頼めるし、仕事が朝早く、夜遅くても園と市の預かり保育のバス送迎の連携がきちんとされていて、素晴らしいと感じています。また仕事による預かり保育利用は補助金もあり、ありがたいです。(女性、40~44歳、馬橋)
- ・子育てについてとても力を入れているのには、本当に感謝しています。病児保育や夜間小児急病センターには、何度もお世話になりました。少し贅沢を言うとすると、就学前の子どもに対しては手厚いが、就学後はそれまでの格差に驚くこともありました。小学校・中学校の子どもたちにも、もう少し何かあればと思います。(女性、40~44歳、新松戸)
- ・保育料の算定をもっと細かく区切ってほしいと思います。(女性、45~49歳、本庁)
- ・子供が高校生になると、子供手当や医療費補助が急になくなり、お金がかかります。大学進学を目指したり、部活、塾代や病院代、用品代と何かとかかるので、手当て等は18才までにいただきたいです。子供が3人もいると、免税も考えていただきたいです。ご検討よろしく願います。(女性、45~49歳、常盤平)
- ・立地の割に近隣の自治体(柏市や船橋、市川など)よりマイナーなイメージがあります。もっと魅力的な施設を増やして、税収が期待できる若い世代を呼び込んでほしいと思います。少子化の影響とは思いますが、活気がなくなっていて寂しいです。東京に比べれば多子世帯は多いと思うので、どんどん子育てを支援するような対策を考えて頂き、若年層を増やして頂きたいです。(電動自転車の補助金、いいと思います。)(女性、45~49歳、常盤平)
- ・子育て中流(ハザマ)世帯に、もっと細やかな配慮とフォロー対策をしてほしい。自分の身を守るだけの人々の集まりで、次世代は乗り越えられないトコロまでできると、もう誰も分かっているハズ。(女性、45~49歳、小金原)



- ・私が子育てをした30年前より、現在の方が行政のサービスが良くなっていると感じる（親となって子育てをしている自分の子どもたちの様子を見て）。（女性、55～59歳、常盤平）
- ・子育てに適した環境ともいえない古い町。都内に近いが、田舎である。（女性、55～59歳、小金）
- ・税金は、市民生活が豊かになるように使っていただきたい。子ども食堂、食サボなどの活動が減る事を願っています。その為にも公的に補助していただきたい。そして公的に支援を望みます。（女性、65～69歳、常盤平）
- ・私自身は今年で80才になります。そこそこ元気で地域のつながりの中で穏やかに暮らしています。私の姉達や周囲の人たちがそれぞれ高齢になり国や自治体のお世話になるようになり、感じた事ですが、日本の国の福祉のありがたさが理解できるようになりました。私の近い将来に安心できましたし、現役世代の人たちに感謝申し上げます。それゆえ若い人たちにも、特に子育て世代の方々にも社会支援をして欲しいと切に思います。高齢者の医療費2割負担もやむをえないと思います。（女性、80歳以上、常盤平）
- ・保育園が多く助かっています。（男性、35～39歳、六美）
- ・子供への手厚い手当。（男性、45～49歳、六美）
- ・小規模保育園が多く出来たが、園児が安全に楽しめる公園遊具が少ない。魅力ある遊具の設置を。ただ歩きまわっている姿がかわいそう。箱を作るだけでなく、周辺の整備、保母さんの優遇など、子育てをしやすい町作りを。（性別不明、年齢不明、新松戸）

## 5. 文化・教育

### ① 教育

- ・他市からの転入により子供の成績が上がっていた事から学力の心配がある。（女性、40～44歳、馬橋）
- ・発展する柏市、未来のある流山市に比べ、何かと縮小傾向にあるように感じます。子供の予備校、進学先なども市内にあまり選択肢がなく、結局いつも柏、船橋などまで行く事になったり、デパートや大手予備校もなくなっています。交通の便は良い方だと思いますが、他は特に魅力的と感じた事はありません。子供の勉強やスポーツも船橋、市川辺りが優れているように思います。（女性、50～54歳、本庁）
- ・東松戸病院から市川大野駅に行くすぐ下の道に「防空壕跡」が3つあります。教育用に調べてもらえませんか？この先の日本の教材材料になると思います。よろしくお願いします。（女性、70～74歳、東部）
- ・文教化。（男性、50～54歳、本庁）
- ・給付型奨学金や大学生など経費がかかる部分に対する手当で、行政サービスを充実して欲しい。※私立高校に子供を通わせの際、埼玉、東京に比べて奨学金のサービスがありませんでした。これから、まだ大学等に通わせるのに、収入に応じて支援のサービスが充実されると、またその情報が耳に届きやすいことを望みます。（男性、50～54歳、本庁）

### ② 学校

- ・支援級（小学校など）を市内全校に設置して欲しい。支援級に通う子は、何かしらサポートが必要な子が多いのに、学区の支援級まで遠くて、自力通学が難しい。（我が家は小金小が学区ですが、徒歩25分で高学年でもしんどい距離だと思っています。）親が送迎するにも、仕事などをしているので支障が出たりする。支援級設置校が増えれば、自力通学も増え、仕事も影響がない。（女性、25～29歳、小金）
- ・中学校に知的の特別支援級がないため、友達と離れ泣く泣く違う中学（特支（知的））に通う子がいる。できれば、友達と一緒に進学できるよう、各中学校に知的の支援級をつくってもらいたい。（女性、35～39歳、小金原）
- ・小中学校の建物が古いのが心配。耐震工事は行っている様だが、建て替えの目安はどれくらいなのか。階数が5階まであるのも心配。学校の敷地に危ない場所がある。そういう点検を行政は行ってくれないのか。学校任せなのか。（女性、40～44歳、常盤平）
- ・子供たちが通っている小学校（矢切小）は、生徒が使用できるトイレはすべて和式です。保護者が使用できる館内のみすべて洋式に変わりましたが、生徒は基本使用できません。身心共によくないと思い、何年も前から先生方には相談しているようですが、変わらないです。（女性、40～44歳、矢切）
- ・小学校の統合で未使用になった小学校の使い道はどうなっているのか。（女性、45～49歳、馬橋）
- ・小、中、高校の支援級をもっとふやし、先生方の知識、教育をしっかりして欲しい。発達障がいに対する専門知識を持った人が少なすぎる。（男性、45～49歳、馬橋）

### ③ 文化全般

- ・こどもと一緒に参加できるイベントがわかる様な年間スケジュールはありますか？あったら嬉しいです。（女性、35～39歳、常盤平）



- ・若者が地元（松戸市）を盛り上げるイベントを開催して欲しいです。（男性、20～24歳、本庁）
- ・松戸でイベントがある時に、他の地域から人が集まってくる様に、常磐線の中で中吊り広告を出したり、イベント時に駅に広告を出したりして地域外からの収入がある様にして欲しい。（男性、50～54歳、本庁）
- ・楽しい祭事をいっぱいやってほしい。（男性、60～64歳、本庁）
- ・千葉交響楽団の定期演奏会を森のホールで開催出来ないものか。（男性、80歳以上、本庁）

#### ④ 文化施設

- ・東部図書館の移設や21世紀の森と広場の遊具設置など完成を心待ちにしている施設もあり、今後の発展も楽しみです。（女性、30～34歳、東部）
- ・土浦市に住んでいた時、近所に65才以上のコミュニティ広場がありました。カラオケ、ハーモニカ等、100円参加でした。松戸市内の近所（歩いていける）にあると良いですね。（女性、65～69歳、本庁）
- ・松戸市は、イベント会場が少ない。（女性、80歳以上、小金原）
- ・魅力あるコミュニティーセンターが必要。（性別不明、年齢不明、新松戸）

#### ⑤ 図書館

- ・葛飾区立中央図書館のような、図書館が駅の近くにあったら良いな。と思いました（仕事で疲れているので文字が乱れてしまい申し訳ないです）。（女性、25～29歳、本庁）
- ・夫が通勤の多い職場ということもあり、いろいろな場所に住んできましたが、交通の便も良く（都心に出やすい）、街の人も程良く（混み合っていない）、とても住みやすいと感じています。特に図書館が使いやすいことがありがたいです。（ネットで予約し、お借りしています）いつもありがとうございます。（女性、30～34歳、本庁）
- ・松戸市立図書館が古すぎて、非常に不満です。0歳児とベビーカーで行くのに、エレベーターやフロアの広さが狭すぎて進めず、本を探すのを諦め帰りました。実家（都内）近所の図書館では広く、ベビーカーでも行けたので、ここまでひどい図書館の施設に驚きました。子ども読書推進センターにも行きましたが、同じく施設の古さと入口で靴を脱ぐという建物の造りに、すごく不便を感じました。ベビーカーで2階まで上がりず、抱っこひもを持参していなかったので、諦め帰りました。ベビーカーでも入れる造りに変えてほしいです。今はコロナもありますので、靴を脱いでスリッパにはき変える事にも抵抗を感じました。（女性、35～39歳、本庁）
- ・図書館の蔵書や利便性（広さ、駐車場など）をもっと充実させて欲しいです。（女性、35～39歳、常盤平）
- ・1つ要望があるとすれば、図書館の充実です。小さな分館をあちこちに設置されていますが、駐車場も広く、館内も広い、思わず行きたくなるワクワクする品揃えのある図書館があったらいいなと前から思っています。本、専門書、絵本、雑誌、DVD、CD、紙芝居、幅広い世代が楽しめるエンターテインメントな要素を含む図書館があったら楽しいだろうと思います。他県には色々な図書館があるので、うらやましいなと思います。（女性、40～44歳、馬橋）
- ・図書館に新しい本を置いてほしい。（女性、50～54歳、常盤平）
- ・図書館が小さいと思います。どう見ても本館レベルではない。（女性、55～59歳、本庁）
- ・勉強ができる図書館があるといい。例えば、スーパーの一角など身近なところに。（女性、65～69歳、常盤平）
- ・居心地のよい図書館や美術館がほしい（流山・森の図書館みたいな）。（女性、70～74歳、本庁）
- ・行きたくなるような図書館を作してほしい。（男性、30～34歳、小金）
- ・図書館の充実（規模、機能面）。（男性、50～54歳、本庁）
- ・文化施設としての中央図書館の新設・整備を特にお願したい。周辺各市の図書館は設備も充実しており、老若男女が憩うスペースとして機能しており、誠に羨ましい限りである。松戸に文化の香りが欠けるのは、ひとえに中央図書館のシャビーさにあると思います。（男性、65～69歳、本庁）
- ・人口の割に図書館がおそまつです。（男性、70～74歳、本庁）
- ・一番貧弱なのは図書館で、六実、六高台地域は皆無に等しい。現在の市民センターの図書室は、図書館とは言えない。抜本的な改善を希望します。文化、教育と市のイメージ向上に必要な物です。（男性、75～79歳、六実）

#### ⑥ スポーツ施設

- ・大型のスポーツ施設があるといい。サッカーは芝生のグラウンドが少ない。（女性、50～54歳、小金）
- ・河川敷にバドミントンや球技など、自由に運動できるスペースがあるといいと思います。（女性、55～59歳、本庁）
- ・年金、介護費用が年々下がり、介護費用が高く、保険も上がり、生活が大変。何かするにも、お金がなければスポーツしたくても出来ません。安くできる健康に良いスポーツする所を作してほしい。病気になったら、又お金がかかります。お願いします。（女性、70～74歳、東部）
- ・道の駅等のツーリングスポットが欲しいです。（男性、20～24歳、本庁）
- ・温水プールや市営ジムが瀧尻にあるとうれしいです。（男性、35～39歳、新松戸）

- ・最近スケートボードをよく見ます。松戸市にもスケートパークを作ったら子供も大人もみんなが集まって遊べる環境になると思うのですが…。隣には、バスケットコートも作って下さい。よろしくお願いします。(男性、40～44歳、矢切)

## 6. 公共施設

---

- ・市役所のトイレの洋式化。(女性、50～54歳、本庁)
- ・市庁舎を建て直す案が出ているが、やめてほしい。これ以上借金を増やさないで下さい。今ある庁舎をリフォームするなり最小限の予算で考え直してほしい！立派でなくていい！安全で機能的であればコンパクトでいいんじゃない！（女性、60～64歳、本庁）
- ・矢切のネギ畑の一部を温泉施設等にしていただけると、とても良いと思います。矢切の渡しもあるし、もっと広めてほしい！（女性、60～64歳、矢切）
- ・居住している所が松戸市中心部からはずれている所なので、ほとんど公共施設を利用出来ない状況です。公共施設を活用できるようにアクセスを便利にしてほしい。(女性、70～74歳、六実)
- ・市庁舎建設の噂を聞きましたが、税金投入で可能になる事業なのですから、市民の心情を良く考えて控えめにお造り下さい。(女性、70～74歳、矢切)
- ・行政センターや市役所の照明がうす暗いのと、市内全体的に清潔感がない印象が強いです。(男性、25～29歳、六実)
- ・市役所は古く汚い。行こうと思えない建物。住民税が高いのだから、どうにかならないのか。ムダな金ばかり使っている印象しかない。(男性、30～34歳、常盤平)
- ・小学校、市役所、図書館等の公共施設の老朽化が気になります。防災の視点からも、計画的な建替え等を進めてほしいです。(男性、35～39歳、本庁)
- ・市役所周辺の状態を何とかしてほしい。(男性、55～59歳、本庁)
- ・松戸市役所の移転には賛成です。(男性、55～59歳、常盤平)
- ・行政サービス(例：市民センターや駐車場等)は、近隣都市(東京都を含む)より劣っているように思う。(男性、65～69歳、本庁)
- ・市役所駐車場の混雑(特に市議会開催時、市議は車利用を控えるべき！)。(性別不明、年齢不明、本庁)
- ・相模台への市役所等の移転、新設は絶対反対です。歩行者はイトーヨーカドーのエスカレーターを使えというのですか？(性別不明、年齢不明、小金)

## 7. 地域活動

---

- ・趣味の合う人のあつまる社会人サークルのようなものが欲しい。民間でやっている団体はあるが、行政としてとりまてて頂けると利用しやすい。(女性、25～29歳、小金)
- ・活気がなくなっているので、市のサークルなども含めて充実させていってほしい。(女性、35～39歳、本庁)
- ・自治会に加入しているが、地域の高齢者によって多方面に偏りすぎている。過干渉であり、しかし高齢者のグループに他年齢は寄せつけない傾向(噂好き、ゴミ、唾吐き、ガムはきすて家の前にする)。町会費を集金(訪問)ではなく、口座送金、コンビニ払い等、現代的にして欲しい！過干渉は人権を侵害していることに気付いて欲しい！松戸市も高齢化しているが、時間をもて余している高齢者が次世代の後から入居してきた人達に不快感を与えていることに気付いて欲しい(当方 持家)！(女性、50～54歳、六実)
- ・様々な世代・環境の方と交流できる場や学習の機会が増えるとうれしいです。(女性、50～54歳、新松戸)
- ・ボランティア活動に興味があります。仕事もフルタイムでしていますので、気軽に空き時間で始められそうなものがありましたら、情報がほしいです。(女性、60～64歳、本庁)
- ・今はコロナ禍の為、老人会などの集会は少ないが、老人会に入るお金が多すぎないかと思います。1つの老人会(地区によっては2つある)に30万円近いお金が入るが、他の事の方に10万円位は使ったのがいいのではないですか。(女性、75～79歳、本庁)
- ・町内会班長の負担が重すぎる。高齢化で引き受け手が減っている。行事をなくして防災にシフトしてもよいのでは？(男性、55～59歳、新松戸)
- ・地域コミュニティを活性化する新しい取組み(旧来の地域住民だけでなく、新たに転入してきた若い層などが積極的にコミュニティ活動に参画する仕組みなど)。(性別不明、60～64歳、本庁)

## 8. 市政

---

### ① 将来像

- ・老人ホームの建設を推進しているが、若年層の流入にもっと力を入れてほしい（流山市のように保育所の整備 etc）。（女性、30～34 歳、小金）
- ・少子化がさげばれていて、結婚して子供を産んだ世帯への補助は国として自治体としてもやっていると思うが、20代の子供を持つ親としては、結婚出来る経済力のある人達はいいが、息子のように働いていても結婚出来るだけの、もしくは先を見通せるだけの経済力がない若者達への支援や、若者達に出会いの場をつくるなどしてほしい。外国人や高齢者に対することは他の自治体よりはやっているような気がする。より魅力的な松戸市になるように新しい企画を考えて、若者達が残ってくれるような市になるようにしてほしい。このままだと外国人と高齢者だけの市になってしまう。子供の友達は少しずつ松戸市から出ていっている。都内とかに職場があって、通勤に問題がなくても。（女性、55～59 歳、馬橋）
- ・80 才をむかえ自分自身は今のままでいられれば何も望む事は有りません。若い人達がこの先もっと色々な事に出会おうと思います。どうか心配事の少ない楽しい人生を送る事が出来ますよう、よい町、よい市、よい県で有ります様お願い致します。（女性、80 歳以上、東部）
- ・松戸都民の感があります。東京都への勤務の為、あるいは教育・文化・芸術の環境が都と違いすぎる為、どうしても東京都に目が向きます。松戸は家庭の場という感覚です。伊勢丹もなくなり、経済的にも買物的にも都市のイメージがなくなりました。千葉県のコアとなる松戸市、魅力ある松戸市、人が集う松戸市になるように期待します。（男性、65～69 歳、六美）
- ・住民も町も老朽化している。若い人達を呼び込まないと松戸市はサビれる。（男性、70～74 歳、新松戸）
- ・市の将来の姿についての確たるものが無い。近視眼的、思い付き程度。市の発展繁栄に必要な要素が欠けている。例えば、金融機関の減少、デパートの撤退、飲食店の減少等々。又、クレジットカードが使える店が少ない。こんな状況で、海外や県外からの客が増える筈がないのでは？これはクレジットカードの普及に熱心な金融機関、商店の減少に起因すると思う。結果として、柏市などへ客が流れて松戸市の発展に逆行している。人・物・金の動きが活発な事が、街が活性化する基だと思し、経済の原則でもある。根本的な事をもう少し抜本的に見直さなければ、市の発展はあり得ないと思うが如何？（男性、80 歳以上、本庁）

### ② 行政全般

- ・問い合わせをフォームで送っても電話で回答が来たり、アンケートなども対応がアナログだと感じることがあります。デジタル化を進めてほしい。共働きなどで忙しく、自治体に関われない子育て世代、単身世帯、夫婦世帯の意見をとり入れる機会を増やした方がいいと思う（割合の多い高齢者の意見ばかり採用もしくは配慮されていると感じることがある。）。（女性、30～34 歳、東部）
- ・都内に出る事があるからこそ、松戸市内、自分の街に帰ってくるとほっとします。子供を持っていないので分かりませんが、少なくとも自分が通った小学校とか通学路とかは安全な街並みなのではないかなと思っています。自分の駅がなかなか栄えていないとは思ってるし、病院もそんなにないという印象ですが、栄えた駅が周りにあるし、そこまで不便でもないのかなとは思っています。自然の多い街並みやお寺も気に入っているので、高齢化が進んでも守っていききたい素敵な所だと思っています。人と話していて松戸市の自慢をしようと思うのですが、自分が知らないだけかもしれないが、名物とかあまりよく分からず「すぐやる課」があるという所を推してます。（女性、35～39 歳、小金）
- ・市の行政サービスがどのようなものがあるのか、よくわからない。（女性、35～39 歳、新松戸）
- ・家族がマイナンバーの申請を4月にネットでしたのですが、それ以降何の連絡もありません。こんなに時間がかかるものなのでしょうか…。（女性、45～49 歳、本庁）
- ・ひとり親世帯、高齢者に対して優遇しすぎ。フルタイムで働き、納税している単身者に対して、もっともっと目を向けて優遇して欲しいし、いろいろなサービスを提供してもらいたい。（女性、50～54 歳、本庁）
- ・知らない人ともあいさつをする街、松戸、というのはどうですか！？（女性、50～54 歳、本庁）
- ・行政に協力して地域が良くなっていくよう出来ることがあるなら、何かしたいと思っはいるが、どういうアプローチをして良いのかわからないまま時間が過ぎている。子育ても終わって時間はあるのになあ、と。（女性、50～54 歳、馬橋）

- ・市民病院移転の際、建設地の決定が覆されるなど不明瞭なことばかりで、大問題だったにもかかわらず、今般の市役所の移転についても、しっかりとした議論がされないまま市側が強行するのではないかと拝察されます。同じようなことが続きますと、市政に対して不信がさらに増幅いたします。新松戸駅東口の再開についても、また然りでございます。為政者の恣意で施策が決定されるような市政が続けば、今後民主主義さえ蔑ろにする事態となるのではないかと危惧いたしております。さらに財政運営につきましても、財政再生団体とならぬよう（もう遅いかもかもしれませんが）、改善を望みます。ゴミの処理を周辺自治体に委託しているようでございますが、税金を徴収しているのですから、処理工場を早急に稼働、または建設して下さるようお願い申し上げます。（女性、60～64歳、本庁）
- ・市民にとって平等であれ！（女性、60～64歳、東部）
- ・松戸市の端の六美、六高台の行政サービスが、他の地域より相当劣る。市の主催の公演会、催しは、みな松戸駅周辺、常盤平ばかりです。書類、証明書の発行、市民相談含め六美支所で出来る様にして下さい。（女性、80歳以上、六美）
- ・活気がない町。（男性、20～24歳、本庁）
- ・マイナンバーカードを3月末に申請したのに、まだハガキが届きません。もう7月ですよ…。（男性、20～24歳、常盤平）
- ・行政手続きがインターネット上で完結するよう、DXを進めて欲しい。（男性、35～39歳、本庁）
- ・返信を希望する書類があっても、返信用封筒が入ってない。（男性、40～44歳、本庁）
- ・未活用の土地、建物について、有効活用できる枠組みを希望します。（男性、45～49歳、本庁）
- ・すぐやる課に並ぶ目玉。（男性、45～49歳、東部）
- ・松戸市のイメージが良くないので、もっと魅力のある市にして下さい。（男性、50～54歳、本庁）
- ・要望しても期待できず！（男性、55～59歳、常盤平）
- ・人口50万人近くを擁する市としては、めずらしく何のポリシーも持たない市だと感心しています。私は仕事柄、色々な所を見て来ましたが、本当に珍しい町だと思っています。ただ都内に近く、電車の便も悪くなく、家賃等も都内に比べたら安い。ただそれだけの街。一人住まいとしては非常に住みやすい街とは思いますが、代々住んでいる方は別としても、新たに住まう方は、はたして長く住める街なのかと、つい思ってしまいます。街の整備にしても、ながら行政そのもので、何のまとまりもないと感じています。（男性、65～69歳、本庁）
- ・住民不在の行政。（男性、65～69歳、小金原）
- ・ICTを活用した便利でおもしろい、愉快的仕掛け、システムを考えてほしい。世界的に日本は遅れているので、松戸が日本のリーダーになればよいのですが。（男性、70～74歳、本庁）
- ・本郷谷市政は、中味がない行政だと思う。ある意味、強権的な手法だと思う。新松戸東口再開発にしても、どこを向いた政治姿勢だと思う。退職金の節税問題など、きわめてけちくさい行政だと思う。（男性、70～74歳、常盤平）
- ・若かった時代には気が付かなかったが、行政サービスの幅広さについては見直すところがある。お疲れさまです。（男性、70～74歳、常盤平）
- ・松戸市の西、東地域の市民サービス、行政政策等差異がある程度存在する事は仕方がないが、税制は同じなので、サービスも同様にして欲しい。（男性、75～79歳、六美）
- ・松戸市に外国人（中国、ベトナム、韓国…等）を増やさぬよう、又、市役所、保健所…等で外国人を使わぬよう望む。（男性、75～79歳、新松戸）
- ・税金による予算執行の際は、常に市の中心部優先でなく、市境の市民の生活、インフラの実態を意識して公平なのか偏っていないかを考えて欲しい。市境（例えば、柏・鎌谷・流山…）の住民は、松戸市本庁よりは他市の市役所で手続きをした方が便利な事が多い（各支所はあるか）。相互の行政手続きのやりとりは出来るのでしょうか。（男性、80歳以上、六美）
- ・市役所内部に副市長の適任、適材者を育てられない市長なんですか？何年市長をしているのですか！（性別不明、年齢不明、小金）

### ③ 税金・年金・各種保険

- ・市県民税が高すぎる。異常です。特に松戸市に魅力を感じていないので高すぎてとても不満です。（女性、35～39歳、六美）
- ・独身で健康だと行政との関わる機会がまばらない。その割に税金はしっかり取られる。働く世代の税金で行政は成り立っているはずなのに、平日の昼間しかどこもやっていない。もっと便利にしないと、他にいい所をさがして移りますよね。（女性、40～44歳、常盤平）
- ・頑張っても増えた収入以上に税金（住民税・年金 所得税・国保）が増える。資産がない個人が商売をして生きていくのはむずかしい。借金をして税金を払っている（いくら相談しても解決しない）。（女性、45～49歳、新松戸）
- ・現役世代よりも財産を保有している高齢者からは、現役世代と同じ税率で徴収して欲しい。（女性、50～54歳、本庁）
- ・介護保険に関する事。（女性、55～59歳、常盤平）

- ・子供と老人には良いが…税を納めるばかりで、一生懸命仕事をしている人にはどうでしょうか…。まあ、どこに行っても、そうなのでしょうが…。(女性、55～59歳、常盤平)
- ・年金の事で、あっちに行ったりここではムリと言われ違った所に行かされた。年金の話で分からず行っているのに、ひどい言い方をされた。病院で書いてほしい書類を持っていったら、先生に断られた。断り方も少し理由をつけて話してほしかった。(女性、55～59歳、六美)
- ・税金が高い。(女性、60～64歳、小金)
- ・税金や国保が高すぎる。(女性、70～74歳、本庁)
- ・大切な税金を地域や年齢層による格差などなく、平等かつ適正に使われる事を望みます。(女性、70～74歳、常盤平)
- ・福祉はしっかりやっているとありますが、生活保護者が多いのでは？住民税(市民)が高いのは、そのせいですか。自身の年金(月10万ほど)だけでは生活費がたりないです。孫たちも子供達の将来も心配です。現在71才です。75才を目標に働きたいと思ってます。わずかでも納税し、松戸に貢献したいです。(女性、70～74歳、六美)
- ・年金を下げないでほしい。介護保険料が高すぎる。国民年金では生活出来ない。生活保護の人と同じ金額にしてほしい。(国民年金)。(女性、80歳以上、本庁)
- ・息子の住民税が高いと思います。(女性、80歳以上、馬橋)
- ・税金も高い。(男性、20～24歳、本庁)
- ・私自身は、家にいるタイミングを除くと松戸の公共施設を使う機会がほとんどありません。なので、街の掲示などで、松戸市の税金の使い道をご教示いただける機会があると幸いです。(男性、25～29歳、新松戸)
- ・子供世帯への手当等が多すぎる！夫婦のみへの手当も欲しい！税金ばかり払っておかしいです！(男性、40～44歳、小金原)
- ・税金の低減。(男性、45～49歳、六美)
- ・魅力的なふるさと納税の返礼品で、収益をあげられるようにできないか。(男性、55～59歳、本庁)
- ・収入より税金が高い(年金etc)。国税の見直し。コロナへの不満(役人への不満)。払い込みがあるのに、年金払えと差し押さえと脅される(恐い)。収入だけで決めないで欲しい。何も分からないのに…不満。(男性、55～59歳、常盤平)
- ・他市町村と比較して住民税が高い。(男性、65～69歳、常盤平)
- ・介護保険料を払っているが、今後はどうなるのか？不満である。(男性、65～69歳、小金)
- ・50年以上住み心地よく過ごしている。3人の子供は皆、成人したが、全員松戸に住んでいる。環境に満足しています。年金生活になっても税金が高く、少々不満です。(男性、65～69歳、矢切)
- ・松戸市の高齢者等の税金をもう少し下げてほしい。(男性、75～79歳、常盤平)
- ・病気で身体が不自由なので、介護保険を申請したが、満足な評価が得られなかった。結果、介護保険は役にたたなかった。当方年齢89歳。(男性、80歳以上、常盤平)
- ・市民税が高い、介護保険料も高い。年金だけで暮らしているので生活が出来ません。(性別不明、年齢不明、本庁)

#### ④ 広報・情報提供

- ・広報誌を各家庭に配布して欲しいです。新聞をとっていないと配布されないのでは…。(女性、35～39歳、小金)
- ・広報誌の設置場所を増やしてほしい。わかる場所においてほしい。松戸市は申し込まないと自宅に配られてこないのか？(女性、50～54歳、本庁)
- ・松戸は圧倒的に宣伝がうまくないです。どこに何があるのか、いい物があっても知らない人が多いし、「まつどん」フェスティバルに至っては、副会長さえ知らなかった。あのフェスティバルは、本当にお金の無駄使いだと思った。優勝作品もそんなに食べてみたいと思えないし、知人からも誰も知らないと言われた。(女性、55～59歳、本庁)
- ・住んでいる者にとっては良い街だが、外にむけて良さをアピールするわかり易いもの、シンボル、イメージが無いのが残念。(女性、55～59歳、常盤平)
- ・広報やごみ回収情報など、新聞をとっていないと探しに行かないと手に入らない。(女性、55～59歳、矢切)
- ・色々と市民のためにご苦労をかけております。F11に対しての認識として、何に使い、結果どのようになっているか等、単純にわかる方法がわかりません。サービスについてすべて自己申告しなければならず、税金は必ず取られるという思いです。一覧表で(わかりやすい言葉、みてわかる)どんな事をすればサービスの利用ができるか、どの世帯も配られる情報を出してほしいです。(女性、65～69歳、常盤平)
- ・松戸市は他に比べ、臨時の広報の発行が多く感じる。通常発行日の1、15日に組み入れられないのか？と思う。広報の発行も税金を使用していると思うので。(女性、65～69歳、六美)
- ・この頃、何でもメール・ホームページ・ネットなど、高齢者はできません。(女性、70～74歳、常盤平)
- ・東葛の中心である松戸市をもっとPRしてほしい。(女性、70～74歳、矢切)
- ・広報まつどに市民交流の企画を載せてほしいです。(女性、75～79歳、矢切)
- ・地域新聞はいらない。税金の無駄遣いだと思う。(女性、80歳以上、本庁)

- ・家には広報誌が届かないので、松戸市の行政のことがよく分かりません。(男性、30～34歳、本庁)
- ・松戸のイメージUPを図ってほしい。良いイメージ、ラーメン激戦区⇒グルメシティや特産物に力を入れる。悪いイメージ、治安が悪い⇒防犯の呼びかけがオタクキャラのポスターでいいのか？ダサイ⇒ゆるキャラ「松戸さん」、「KITEMITE MATSUDO」などのキャラやネーミングはイメージに繋がるので、慎重に考えてほしい。(例) さいたま市⇒「ださいたま」と言われるひらがな表記。(男性、30～34歳、本庁)
- ・松戸市がやっている色々なことを意識的に取り入れないとわからない状態だと思うので、アピールすることが大事な気がします。21世紀の森でやってるコスプレのやつとかは、聞いたことがあるので、そういう少しとがったことやっていったほうが認知されるかと。(男性、35～39歳、本庁)
- ・“まつどさん”が、かわいくない。他のキャラを考えた方が良いのではないか。(男性、45～49歳、本庁)
- ・「松戸市と言えば…」のような特徴(特色)がないように思える。もしあるのであれば、それはPR不足。もっとアピールした方が良いと思います(それは市民に対しても、市外の方々に対しても)。(男性、55～59歳、常盤平)
- ・私は視覚障害者であり朗読会からの公報デジ版を聞いており、今後も月2回の発行を希望します。(男性、65～69歳、本庁)
- ・道路工事をはじめとする土木工事の住民に対する告知がなすすぎる。緊急なら別だが、通常予定の工事で看板を1つ工事箇所近くにおくだけで工事を始めたり、連絡もなく始めたり、業者よりの行政をしないで欲しい。(男性、65～69歳、小金原)
- ・広報まつどは毎回楽しみに拝読させていただいております。コロナ禍の中、皆様もお体に注意してお仕事がんばって下さい。(男性、75～79歳、六実)
- ・コロナの影響で明治より近年まで続けてきた全ての活動方法を残念ながら変更を余儀なくされる状況である。これを解決する方法余儀なくされている。まずはコロナを全滅する事であるが、中国のコウモリは簡単には行かない。松戸市としては、住民放送の充実、広報紙の見直し等、地道な方法しかないであろう。特に広報充実は急務であろう。内容の充実、表紙の簡素化、読みやすくする事も大切であります(88才の老人 元自治会長より)。(男性、80歳以上、東部)
- ・高い税金を払っているにもかかわらず、市の広報誌ひとつも手元に届かない。新聞を取らなくても全市民に届くようにして欲しい。ワクチンの情報が入らず、大変困惑した。(性別不明、年齢不明、新松戸)

#### ⑤ 職員の態度・待遇

- ・健康のことで相談の電話をしたとき、よい病院を紹介してくれて本当に助けられた。これからはいろいろな相談をしたいので、とても市役所を頼りにしています。(女性、40～44歳、常盤平)
- ・窓口で用があつて行くと、職員同士のおしゃべりを時々見かけます。周りを見て待たせないでほしい。空いているのに、待たせすぎ。職員も多すぎだと思います。部署によっては、ヒマな所は減らして、忙しい所に配属する等してほしい。メイクや香水やヘアコロンなどにおいのきつい、メイクが派手な方がいたので、抑え気味にした方がいいと思います。分からないことがあつてTELしても、職員が分からないことがある。(窓口に行って用は済みました。)松戸市の為、職員のみなさん頑張ってください。いろいろ書きましたが、少しは聞いて下さい。頭にこずによくお願いします。(女性、45～49歳、本庁)
- ・本庁で福祉に関することや医療に関する事で、1ヶ所では手続きや説明を受けることができず、何か所(フロアも違う)も行かなくてはいいけなく、又、担当課に行っても、今日はそのことに対してわかる人がいないなど、度々あり。市職員の方は、1つの課のことしか(1つの手続きしか)わからないように見え、全体的に行政としての勉強をされた方がいいのではないかと思います。たらい回しされる側の気持ちになってほしいです。柏市では、1つの窓口でいろいろな手続きが出来るため、たらい回しをされたことはありません。以前、乳児健診時に、2人目を妊娠していて、つわりがひどく、座りたいと乳児健診の係りの人に伝えたところ、皆さん並ばれているので並んで下さいと言われ、3人目は無理かなと思いました。(女性、50～54歳、馬橋)
- ・町田より引越して来て、「すぐやる課」にハチの件で大変お世話になりました。感激致しました。是非継続をお願い申し上げます。(女性、65～69歳、東部)
- ・昨年、私自身、相続について大変苦労いたしました。戸籍謄本、印鑑証明等、支所の方に出向く事が多くありました。その際、こちらとしましては、大変いけないに必要な書類について説明したつもりでしたが、男性の係の方に「あなたの言っている事は、わかりません！」と無表情に言われました。大変驚くと共に悲しい気持ちになりました。又、何通も必要となる書類の全額にも苦労いたしました。(女性、70～74歳、常盤平)
- ・窓口での対応がそつげなく、いいかげんな所がたくさんあります。友達みんなが言っています。(女性、75～79歳、馬橋)
- ・市役所の方に手続きをした際、ちゃらんぼらんとした時期があるんですね。と言われ非常に遺憾、憤りを感じた。(男性、20～24歳、本庁)

- ・市役所の対応が悪い。相談にのってくれない。たらい回し。一般企業ではありえない対応。松戸市民をないがしろにする対応。(男性、35~39歳、本庁)
- ・松戸市の行政サービスの拡充。土日の対応(支所レベルも)。平日の時間延長(週1でもいいので、20時までとか)。(男性、45~49歳、東部)
- ・行政サービス窓口対応時間の充実(土・日常時開設)。(男性、50~54歳、本庁)
- ・市役所の皆さんは全般的に対応がよく、ありがたく感じています。(男性、55~59歳、本庁)
- ・数ヶ月前に自転車の駐輪違反で保管所に移送されました。夕方に反則金を払って引き取りましたが、翌日見たら、自転車の一部が破損しており、これを自分で負担して直すのはおかしいと思い、市役所の相談室に予約を取って行きました。その時の弁護士の対応は、自分で証拠を探せとか、そんな安い仕事は弁護士を紹介できないなど、納得のいかない対応でした。これで市民の役に立とうとしているのでしょうか。(男性、60~64歳、本庁)
- ・市の行政対応(例えば新型コロナ等)が遅い。対応窓口は当方の質問への明確な回答は、まず無い。(男性、65~69歳、本庁)
- ・デスクワークの仕事が多い、職員の現状把握が必要、市全体の合理化計画(人・費用)の記載がない。(男性、70~74歳、本庁)
- ・松戸市の職員の方々の対応には感謝しています。(男性、70~74歳、小金)
- ・職員のモチベーション向上と公僕としての意識向上を期待する。特に六実支所に対してお願いしたい。(男性、75~79歳、六実)
- ・市役所、支所等、関連施設の職員数が過多と感じている。(男性、80歳以上、常盤平)

#### ⑥ 市議会・市議会議員

- ・議員の活動報告(中・長期計画・責任者の明確)。目標管理・実績の進捗管理、合理化報告。(男性、70~74歳、本庁)
- ・市会議員が多すぎる。効率良く働いてもらえば少なくても良いはず。税金の無駄使いになっている。(男性、75~79歳、常盤平)

#### ⑦ その他

- ・松戸市に引越してきて、まだ3ヵ月ほどですが、とても住みやすいと感じています。落ちついている雰囲気、自然が多いところ、子育てにもやさしい町なのかなと感じています。市の様々な活動ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。(女性、20~24歳、常盤平)
- ・松戸市で育ってきて、子供も産み、現在は子育てをしています。他の場所に住んだことがないので比べることはできませんが、私はこれからも松戸に住み続けたいと思っています。自分が幼かった頃と比べ、松戸は住みやすくなっているような気がしています。これからも様々な取り組みを行って下さい。これからもよろしく申し上げます。(女性、30~34歳、常盤平)
- ・松戸市の中でも格差が大きい(浮浪者が多い。)(女性、30~34歳、新松戸)
- ・30代の主婦です。二人目の子どもを出産してすぐに松戸市に引っ越してきました。それまで都内の狭い家で暮らしていたというのがありますが、松戸市での生活にはとても満足しています。具体的には、緑豊かな自然が多い、公園が広い、子育て支援センターの利用しやすさ、スーパーや買い物などの便利さ、などなど。引っ越し先を検討していた時の条件を全て満たしています。(女性、30~34歳、東部)
- ・市民皆が安心、安全、平等に過ごせる事を願います。(女性、60~64歳、常盤平)
- ・松戸市に住んでもう長くなりました。はじめは、私達は東京からお友達が千葉県に家を買ったので、いいところだからこっちはおいでとさそわれて来ました。今は松戸に来てとってもよかったと思っています。私も77才も残り少ない年になりましたが、本当に住みやすい所です。よろしく申し上げます。(女性、年齢不明、六実)
- ・葬儀費用に対するの補助を充実して欲しい。(男性、70~74歳、矢切)

## 9. その他

---

### ① 放射能問題

- ・松戸は3. 11 の原発事故の後、ホットスポットになりましたが、その後の追跡もしていただきたい。(女性、75～79 歳、常盤平)

### ② その他

- ・アンケートは調査票を分けて欲しいです(問題冊子と)。(女性、25～29 歳、小金)
- ・内容が分かりづらく、答えるのに苦労した。(女性、35～39 歳、常盤平)
- ・F11について、不満があるかと聞かれれば、ないので“2”を選びました。(女性、50～54 歳、小金)
- ・昔からの古い住民が、新参者を受け入れない古い体質が気に入らない。(女性、55～59 歳、小金)
- ・子ども関連事業従事者へのコロナワクチン優先接種など、子育て支援に力を入れている事もとてもいい事だと思いますが、私は子育てを卒業している年代です。いろいろな立場でアンケートの回答が違ってきますので、今回の質問は難しかったです。(女性、55～59 歳、小金)
- ・調査票に答えて、いかに自分が松戸について知らなかったか驚きました。これからもう少し自分が住んでいる「松戸市」を知ろうと思いました。(女性、60～64 歳、新松戸)
- ・F11について、税金と行政サービスを結びつけて考えたことがないので、答えようがありませんでした。実は行政サービスがどんなものかも知りません。(女性、65～69 歳、矢切)
- ・アンケート調査について、大変なお仕事でしょうが、私共は役に立てません。毎日の生活でせいっぱいで、心にゆとりがもてません。今後は、若い人にアンケートをお願いします。(女性、75～79 歳、本庁)
- ・松戸市に長年住んでいますが、あまり知りません。ただただ毎日を送らせてもらっています。(女性、80 歳以上、本庁)
- ・目が悪いので、行間が見にくく、乱れていて、すいません。(女性、80 歳以上、常盤平)
- ・高齢で何も適した回答が出来ず申し訳ありません。(女性、80 歳以上、東部)
- ・松戸市はNHKの戸別訪問を禁止してほしい。(男性、35～39 歳、本庁)
- ・このような調査を紙で実施するのが不満です。インターネットでの調査に切り替えてほしいです。(男性、35～39 歳、本庁)
- ・アンケートの締め切りが早すぎる。(男性、45～49 歳、馬橋)
- ・F1～F6は、個人を特定できる質問に思えます。(男性、50～54 歳、本庁)
- ・がんばって下さい。(男性、55～59 歳、常盤平)
- ・このアンケートの集計結果はまとまり次第、広報やHPですべからく発表して下さい。必ずですよ！(男性、65～69 歳、小金原)
- ・まずこのようなアンケート調査をIT化すべきだと思います。そうすれば即座に集計できますし、時々刻々のアンケート状況も把握できます。住基カード、マイナンバーは使い道が今のところ全くないのが不満です。コロナワクチン接種で身分証明のため住基カードをはじめて使いましたが、期限切れで役に立ちませんでした。(男性、70～74 歳、本庁)
- ・<今回の市民意識調査について>今後、この種の意識調査を私達市民にお願いする場合は、調査用紙を少なくとも回答期限の1ヶ月前には届くようにして下さい。人間、生きているということは何かと忙しい毎日です。それゆえ回答期限が2週間では短すぎます。(男性、80 歳以上、常盤平)
- ・40年以上松戸に住んでおりますが、仕事が都内ですので、松戸のことは十分わかりません。(男性、80 歳以上、矢切)
- ・特にありませんが、スタッフの皆様御苦労様です。これからも頑張ってください。(性別不明、年齢不明、常盤平)



## 添付資料：市民意識調査 調査票





--	--	--	--	--

(この欄は調査票の整理に使用しますので、何も記入しないようにお願いします。)

## 後期基本計画進行管理のための市民意識調査

### ■■ アンケート調査ご協力をお願い ■■

本市では現在、市の施策の方向性を体系的に示した松戸市総合計画後期基本計画を推進しております。

つきましては、短期的な個別事業計画である第6次実施計画の達成状況及び後期基本計画における「めざそう値」実績を把握し、市政運営の参考とするため、市民の皆さんへアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、令和3年6月15日現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。アンケートの結果につきましては、統計的に処理し、市が調査する目的以外には使用いたしません。

令和3年7月 松戸市長 本郷谷 健次

### ■■ ご記入にあたって ■■

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、普段ご自分が考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 表紙の右上の整理欄に記入している数字は、お住まいの地区を表すもので、個人を特定するものではありません。
4. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
5. 質問の中には、選択した番号により、次の質問をお聞きするものがありますので、ご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、（ ）内に内容を具体的にお書きください。
7. ご記入いただいた調査票は、7月16日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。
8. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問い合わせください。

### 【 問い合わせ先 】

松戸市 総合政策部 広報広聴課 広聴担当室

〒271-8588 松戸市根本387番地の5

電話：047-366-1162 FAX：047-366-2707

E-MAIL：mcshisoudan@city.matsudo.chiba.jp

I あなたの日頃の身の回りのことや、感じていることなどについてお聞きします。

Q1 あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか。次の中で、人権が守られていないと日頃感じるものがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |            |              |             |
|------------|--------------|-------------|
| 1 女性の人権問題  | 4 障害者の人権問題   | 7 患者の人権問題   |
| 2 子どもの人権問題 | 5 同和問題       | 8 その他 ( )   |
| 3 高齢者の人権問題 | 6 外国籍市民の人権問題 | 9 人権問題は特くない |

Q2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感するほうですか、それとも同感しないほうですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 同感するほう    | 3 同感しないほう |
| 2 どちらともいえない | 4 わからない   |

Q3 あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1 大変感じている  | 3 ある程度感じている | 5 ほとんど感じていない |
| 2 かなり感じている | 4 あまり感じていない |              |

Q4 あなたは今、健康だと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |             |                   |            |
|-------------|-------------------|------------|
| 1 非常に健康だと思う | 3 どちらとも言えない       | 5 健康でないと思う |
| 2 健康なほうだと思う | 4 あまり健康なほうではないと思う |            |

Q5 あなたは今、生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか。次の中から特に気になるものがあれば、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1 自分の健康               | 8 子どもの将来   |
| 2 家族の健康               | 9 住居や住まい   |
| 3 将来自分や家族が必要になったときの介護 | 10 財産や資産   |
| 4 現在の生活や家計            | 11 人との付き合い |
| 5 将来の生活や家計            | 12 生きがい    |
| 6 仕事                  | 13 その他 ( ) |
| 7 出産や子育て              | 14 特くない    |

Q6 あなたは日頃、市内で地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に、積極的に参加していますか。次の中で、参加しているものがあれば、全てに○をつけてください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 町会・自治会           | 6 企業による奉仕活動       |
| 2 ボランティア団体         | 7 有志・仲間との奉仕活動     |
| 3 PTA              | 8 その他 ( )         |
| 4 NPO法人(特定非営利活動法人) | 9 積極的に参加しているものはない |
| 5 子ども会育成会          |                   |

Q7 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| 1 ほぼ毎日   | 3 月に数日ほど | 5 全くない |
| 2 週に数日ほど | 4 年に数日ほど |        |

Q8 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください。

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 仕事、職業に活かされている     | 5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている |
| 2 自分自身の向上に活かされている   | 6 その他 ( )                 |
| 3 家庭や家族に活かされている     | 7 活かされていない                |
| 4 地域活動や社会活動に活かされている | 8 学習活動をしたことがない            |

Q9 あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 日常的にしている | 3 あまりしていない |
| 2 ときどきしている | 4 全くしていない  |

Q10 あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 守られ、増えていると感じている             | 3 守られていないと感じている |
| 2 守られていると感じているが、増えているとは感じていない |                 |



Q14 あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 大変よくある | 3 ときどきある | 5 ほとんどない |
| 2 しばしばある | 4 あまりない  |          |

Q15 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。次の中から、あてはまる番号全てに○をつけてください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 消火器の設置      | 6 身内との連絡方法の確立  |
| 2 住宅用火災警報器の設置 | 7 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 家具などの転倒防止   | 8 防災訓練などへの参加   |
| 4 水や食糧の備蓄     | 9 その他 ( )      |
| 5 非常持ち出し用品の確保 | 10 特に準備はしていない  |

Q16 あなたは、この1年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか。次の中から、トラブルや被害にあった番号全てに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1 店舗で購入した商品やサービスでのトラブルや被害                |
| 2 訪問販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害              |
| 3 通信販売（ネットオークション含む）で購入した商品やサービスでのトラブルや被害 |
| 4 電話勧誘販売で購入した商品やサービスでのトラブルや被害            |
| 5 その他 ( )                                |
| 6 トラブルや被害にあっていない                         |

Q17 あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 以前より非常に良くなっている | 4 以前より多少悪くなっている  |
| 2 以前より多少良くなっている  | 5 以前より非常に悪くなっている |
| 3 以前と変わらない       |                  |

Q18 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目に、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ア 保健・医療・福祉サービス	1	2	3	4	5	6
イ まちの賑わいや買い物の便	1	2	3	4	5	6
ウ 通勤・通学などの交通の便	1	2	3	4	5	6
エ 子どもの教育環境	1	2	3	4	5	6
オ 文化・芸術の鑑賞や活動環境	1	2	3	4	5	6
カ スポーツや健康づくりのための環境	1	2	3	4	5	6
キ 道路、公園、下水道などの都市施設	1	2	3	4	5	6
ク 出産や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1	2	3	4	5	6
サ まち並み、建物などまち全体の景観	1	2	3	4	5	6
シ 事故や災害に強い安全なまち	1	2	3	4	5	6
ス 史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産	1	2	3	4	5	6
セ 特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1	2	3	4	5	6
ソ 多様な世代との交流	1	2	3	4	5	6
タ 地域とのつながり	1	2	3	4	5	6
チ 住環境のゆとりなどの住宅事情	1	2	3	4	5	6

SQ (Q18-チで4または5を選択した方のみお答えください)

あなたが、住環境のゆとりなどの住宅事情に、「やや不満」または「きわめて不満」と感じる理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 高齢者等への配慮が足りない(段差がないなど)
- 2 冷暖房の機器が省エネルギー対応になっていないため、費用負担がかさむ
- 3 地震・台風時の住宅の安全性が心配
- 4 住宅の断熱性や気密性が不足している
- 5 住宅の防犯性が心配
- 6 住宅が古く、いたんでいる
- 7 収納が少なく、使いにくい
- 8 外部からの騒音などに対する遮音性が足りない
- 9 火災時の避難が心配
- 10 換気性能(臭気や煙などの残留感が少ない)が悪い
- 11 台所・トイレ・浴室等が使いにくい
- 12 住宅の維持や管理がしにくい
- 13 居間など主たる居住室の採光が悪く、暗い
- 14 住宅の広さや間取りそのものに不満がある

Q19 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 大変住みやすい        | 3 どちらかといえば、住みにくい |
| 2 どちらかといえば、住みやすい | 4 大変住みにくい        |



Q20 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 住み続けたい

2 できることなら住み続けたい

3 どちらとも言えない

4 あまり住み続けたくない

5 住み続けたくない

→ SQ1 (Q20で1または2を選択した方のみお答えください)

あなたが、これからも松戸市に、「住み続けたい」または「できることなら住み続けたい」と感じる理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 親の代から住んでいるまちだから
- 2 隣近所との付き合いを失いたくないから
- 3 通勤や通学に便利だから
- 4 自然災害の心配が少ないから
- 5 下水道や道路などの基盤が整備されているから
- 6 緑が多く、静かな住環境に満足しているから
- 7 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから
- 8 子育てや教育などの環境が充実しているから
- 9 子どもの学校が変わることが困るから
- 10 治安や防犯の心配が少ないから
- 11 買い物や娯楽に便利なまちだから
- 12 東京に近いから
- 13 商売や事業を続けているから
- 14 家賃などが安いから
- 15 経済的な理由など、仕方ないから
- 16 その他 ( )

SQ2 (Q20で4または5を選択した方のみお答えください)

あなたが、これからは松戸市に、「あまり住み続けたくない」または「住み続けたくない」と感じる理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 住宅や土地の価格・広さに満足できないから
- 2 通勤や通学に不便だから
- 3 自然災害への備え(防災)が心配だから
- 4 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから
- 5 騒音などの生活環境に満足できないから
- 6 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから
- 7 子育てや教育などの環境に満足できないから
- 8 近所付き合いなどがわずらわしいから
- 9 治安や防犯などが心配だから
- 10 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから
- 11 もっと自然の多い土地で暮らしたいから
- 12 商売や事業を行いやさしい環境ではないから
- 13 もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから
- 14 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから
- 15 その他 ( )

## II 松戸市の放射能対策についてお聞きします。

本市では、東日本大震災により発生した放射能問題への対応として、『松戸市放射能対策総合計画』を策定し、市民の皆さんの放射能への不安を払拭するため、さまざまな対策を実施してきました。(平成26年度で終了)

これまでの市の取り組みに対する、皆さんのご意見をお尋ねします。

### 市が行ってきた主な対策の例

**除染対策**

- 保育所(園)・幼稚園・学校・公園等の全720施設を除染完了
- 住宅除染完了
- 市民向け放射線測定器の貸し出し
- 公共施設の定期的な空間放射線量測定

**食品安全対策**

- 保育所・学校給食の放射線物質検査(これまですべて不検出)
- 市内産農産物の検査(すべて出荷自粛解除)
- 市民持ち込みによる農作物・流通食品の検査

**健康管理対策**

- 放射線専門医による相談
- 幼児検診における放射能問診
- 内部被ばく検査(ホールボディカウンター)の費用助成
- 甲状腺エコー検査実施・費用助成
- 保健師等による健康相談

**焼却灰対策**

- 剪定枝の別収集
- 指定廃棄物等の適正保管
- 国に対し、指定廃棄物長期保管施設の早期確保等を要望

Q1 あなたは、現在の松戸市内の生活において、放射能に対する不安を感じることはありますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

<p>1 おおいにある</p> <p>2 ときどきある</p>	<p>3 ほとんどない</p> <p>4 まったくない</p>
---------------------------------	---------------------------------

➡ SQ (Q1で1または2を選択した人のみお答えください)

あなたは、どのような内容で放射能に対する不安を感じていますか。次の中から、特にあてはまる番号1つに○をつけてください。

<p>1 除染対策について</p> <p>2 食品安全対策について</p> <p>3 健康管理対策について</p> <p>4 焼却灰対策について</p> <p>5 その他 ( )</p>
---

SQの回答において、具体的な不安がございましたらご自由にお書き下さい。


### Ⅲ 松戸市の魅力についておたずねします。

松戸市では、市民の皆さんや市に愛着のある人と行政が一緒になって、松戸市の魅力を発見・創造・発信していく「情報共創型（情報を共に創る）」のプロモーション活動を進めています。

市民参加型のプロジェクトチーム「まつどやさしい暮らしラボ」の市民メンバーの皆さんや、魅力を記事にして専用のホームページで伝える市民記者の皆さんなど、多くの市民の皆さんと一緒に、松戸市の魅力や松戸市らしい暮らしやすさ（やさしい暮らし）を見つけて、市内外に向けて発信しています。



そこで、松戸市の魅力についておたずねします。

Q1 あなたが思う松戸市の魅力や愛着を感じる箇所は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1 交通の便が良い        | 6 暮らしやすい   |
| 2 自然が多い          | 7 子育てがしやすい |
| 3 行事やイベントなど活気がある | 8 特にない     |
| 4 地域や市民の活動がさかん   | 9 その他      |
| 5 人と人とのつながりがある   | ( )        |

Q2 市内の施設や名所・イベントなどについて、知っているもの全てに○をつけてください。

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1 戸定邸・戸定歴史館     | 11 緑と花のフェスティバル             |
| 2 21世紀の森と広場     | 12 オープンフォレスト in 松戸         |
| 3 市立博物館         | 13 こども祭り                   |
| 4 森のホール21       | 14 松戸花火大会                  |
| 5 東松戸ゆいの花公園     | 15 松戸まつり                   |
| 6 和名ヶ谷スポーツセンター  | 16 ドコでもシアター                |
| 7 矢切の渡し         | 17 大農業まつり                  |
| 8 七草マラソン大会      | 18 観光梨園                    |
| 9 桜まつり（市内各所）    | 19 ジャパンポップカルチャーカーニバル（JPCC） |
| 10 松戸子育てフェスティバル |                            |

Q3 あなたは、この松戸市をイメージしたロゴマークとスローガンを知っていますか。

ロゴマーク



スローガン

やさシティ、まつど。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1 両方とも知っている    | 3 スローガンのみ知っている |
| 2 ロゴマークのみ知っている | 4 両方とも知らない     |

IV あなた自身についておたずねします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 女性 | 2 男性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 6 45～49歳  | 11 70～74歳 |
| 2 25～29歳 | 7 50～54歳  | 12 75～79歳 |
| 3 30～34歳 | 8 55～59歳  | 13 80歳以上  |
| 4 35～39歳 | 9 60～64歳  |           |
| 5 40～44歳 | 10 65～69歳 |           |

F 3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1 会社員                | 7 専業主婦 |
| 2 公務員(教員、団体職員などを含む。) | 8 無職   |
| 3 自営業(農業を含む。)        |        |
| 4 アルバイトやパートなどの臨時雇用   |        |
| 5 学生                 |        |
| 6 その他( )             |        |

→ SQ (F 3で1～6を選択した方のみお答えください)  
あなたの勤務地または通学地をお答えください。(1つに○)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 自宅           | 4 東京都内    |
| 2 松戸市内(自宅を除く)  | 5 埼玉県・茨城県 |
| 3 千葉県内(松戸市を除く) | 6 その他( )  |

F 4 あなたの松戸市在住年数をお答えください。(1つに○)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満      | 4 10年以上15年未満 |
| 2 1年以上5年未満  | 5 15年以上20年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 20年以上      |

F 5 あなたの出身地をお答えください。(1つに○)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1 松戸市              | 7 中部地方     |
| 2 千葉県(松戸市を除く)      | 8 近畿地方     |
| 3 東京都              | 9 中国・四国地方  |
| 4 関東地方(千葉県・東京都を除く) | 10 九州・沖縄地方 |
| 5 北海道地方            | 11 海外      |
| 6 東北地方             |            |

F 6 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1 ひとり世帯                           |  |
| 2 夫婦のみ世帯                          |  |
| 3 親と子供世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯          |  |
| 4 親と子供世帯で、3以外の世帯                  |  |
| 5 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯 |  |
| 6 親と子供と孫の3世代以上の世帯で、5以外の世帯         |  |
| 7 その他 ( )                         |  |

F 7 あなたが今、興味や関心をお持ちのことについてお答えください。(3つまで○)

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1 家族の日常生活のこと                      |  |
| 2 友人との交流やつながりなど、友人関係のこと           |  |
| 3 近隣の人たちとの交流のこと                   |  |
| 4 地域の住み易さなど生活環境のこと                |  |
| 5 昇進や収入など仕事や職場のこと                 |  |
| 6 不況、失業や低金利などの経済のこと               |  |
| 7 公的年金や医療保障など社会福祉のこと              |  |
| 8 子供の教育環境などの教育関係のこと               |  |
| 9 貧困や民族紛争などの国際問題のこと               |  |
| 10 地球温暖化や自然破壊などの地球環境のこと           |  |
| 11 外国人の世話をしたり日本を外国に紹介するなどの国際交流のこと |  |
| 12 特にない                           |  |
| 13 その他 ( )                        |  |

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲についてお答えください。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 隣近所    | 5 千葉県内    |
| 2 町会程度   | 6 東京都内    |
| 3 近隣町会程度 | 7 その他 ( ) |
| 4 松戸市内程度 |           |

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけの時に利用する主な交通手段をお答えください。  
(2つまで○)

- |        |               |
|--------|---------------|
| 1 電車   | 5 オートバイ・スクーター |
| 2 バス   | 6 自転車         |
| 3 タクシー | 7 徒歩          |
| 4 自家用車 | 8 その他 ( )     |

F10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。  
(2つまで○)

1 テレビ・ラジオ	7 各種パンフレット
2 新聞・雑誌	8 町会などでの集会や会合
3 広報誌(広報まつど)	9 市が主催する説明会など
4 松戸市のホームページ	10 特にない
5 松戸市安全安心メール	11 その他( )
6 ツイッター、フェイスブック等のSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	

F11 あなたは、納めた税金などの対価として提供された市の行政サービスについて、どのように感じているかお答えください。(1つに○)

1 非常に満足している	4 あまり満足していない
2 まあまあ満足している	5 ほとんど満足していない
3 どちらとも言えない	

自由記載欄

(松戸市に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記載してください。)


**ご協力ありがとうございました。**

\*記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、  
7月16日(金)までに、投函してください。

松戸市 総合政策部 広報広聴課 広聴担当室

〒271-8588 松戸市根本 387-5

TEL:047-366-1162

FAX:047-366-2707

E-mail: [mcshisoudan@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcshisoudan@city.matsudo.chiba.jp)